

太宰府まちづくり市民意識調査 報 告 書

平成 31 年 3 月

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果の分析	7
第1節 回答者の属性	7
1. 性別（問1）	7
2. 年齢（問2）	8
3. 世帯構成（問3）	9
4. 職業（問4）	10
5. 通勤・通学先（問4付問1）	11
6. 小学校区（問5）	12
7. 居住年数（問6）	13
8. 住居形態（問7）	14
第2節 住みやすさについて	15
1. 太宰府市の住みやすさ（問8）	15
2. 継続居住意向（問9）	16
3. 住み続けたい理由（問9付問1）	17
4. 住み続けたくない理由（問9付問2）	19
第3節 日頃の暮らし、行動について	21
1. 子育て支援の推進（問10）	21
2. 高齢者福祉の推進	22
（1）生きがいの実感（問11）	22
（2）高齢者福祉サービスの充実度（問12）	23
（3）高齢者福祉サービスの充実度に対する理由（問12付問1）	24
3. 障がい福祉の推進	27
（1）障がい福祉サービスの充実度（問13）	27
（2）公共施設の弱者への配慮（問14）	27
（3）民間施設の弱者への配慮（問15）	29
（4）交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況（問16）	30
4. 地域福祉の推進（問17）	31
5. 生涯健康づくりの推進	32
（1）健康状態（問18）	32
（2）健康増進の取り組み状況（問19）	33
（3）健康診査の受診状況（問20）	34
（4）健康推進事業の認知度（問21）	35
（5）健康推進事業の参加率（問21付問1）	36
6. 防災・消防体制の整備充実	37
（1）災害に対する日頃の備え（問22）	37

(2) 消防団の認知度 (問 23)	39
7. 防犯・暴力追放運動の推進	40
(1) 防犯面の安心度 (問 24)	40
(2) 防犯上危険と思う場所 (問 24 付問 1)	41
8. 安全な消費生活の推進	44
(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況 (問 25)	44
(2) 被害や不安に感じた内容 (問 25 付問 1)	45
9. 人権を尊重するまちづくりの推進	45
(1) 人権侵害の経験の有無 (問 26)	46
(2) 人権侵害の内容 (問 26 付問 1)	47
(3) 太宰府市での人権の尊重 (問 27)	48
10. 男女共同参画の推進	49
(1) 固定的な役割分担に対する考え方 (問 28)	49
(2) DVを受けた経験がある場合の相談経験 (問 29)	50
11. 生涯学習の推進	51
(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 30)	51
(2) 運動・スポーツの取り組み頻度 (問 31)	52
12. 文化芸術の振興 (問 32)	53
13. 生活環境の向上	54
(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 33)	54
(2) 地域の環境マナーの順守状況 (問 34)	55
(3) 地域の美化運動への参加状況 (問 35)	56
14. 自然共生社会の構築	57
(1) 市内の自然の豊かさについて (問 36)	57
(2) 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について (問 37)	58
15. 循環型社会の構築	59
(1) 生ごみ堆肥化の取り組み状況 (問 38)	59
(2) 不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況 (問 39)	60
16. 低炭素社会の構築 (問 40)	61
17. 環境教育・学習の推進 (問 41)	62
18. 未来に伝える景観づくり	63
(1) 市内の自然の美しさに対する評価 (問 42)	63
(2) 市内の歴史的景観の美しさに対する評価 (問 43)	64
(3) 居住地区のまちなみに対する評価 (問 44)	65
19. 計画的なまちづくりの推進	66
(1) 住環境の快適さに対する評価 (問 45)	66
(2) 商業施設等の利便性に対する評価 (問 46)	67
(3) 近くにあると便利だと思う施設 (問 46 付問 1)	68
20. 地域交通体系の整備	71
(1) 市内のバスの利便性に対する評価 (問 47)	71
(2) コミュニティバスの利便性に対する評価 (問 47 付問 1)	72
(3) 市内の鉄道の利便性に対する評価 (問 48)	73
(4) 市内の道路の円滑性に対する評価 (問 49)	74
(5) 歩行者環境に対する評価 (問 49 付問 1)	75
(6) 自転車環境に対する評価 (問 49 付問 2)	76
(7) 外出時の移動手段 (問 50)	77
21. 産業の振興 (問 51)	78
22. 文化遺産の保存と活用	79
(1) 歴史文化遺産に対する評価 (問 52)	79

(2) 歴史文化遺産の日本遺産認定に対する認知度 (問 53)	80
23. 観光基盤の整備充実	81
(1) 観光客の来訪に対する評価 (問 54)	81
(2) 太宰府観光に必要なこと (問 55)	82
24. 国際交流・友好都市交流の推進	82
(1) 市内在住外国人との交流頻度 (問 56)	83
(2) 姉妹都市、友好都市の認知度 (問 57)	84
25. コミュニティ活動等への参加	86
(1) 自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況 (問 58)	86
(2) ボランティア活動への参加状況 (問 59)	87
26. 情報の共有化と活用	88
(1) 市民と行政との情報共有 (問 60)	88
(2) 行政情報の接触状況 (問 61)	89
(3) 「広報だざいふ」の閲読内容 (問 61 付問 1)	92
(4) 「広報だざいふ」の閲読媒体 (問 61 付問 2)	94
(5) インターネットの利用状況 (問 62)	95
27. 市民のための行政運営	96
(1) 効果的な行政運営に対する評価 (問 63)	96
(2) 市職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 64)	97
28. 太宰府市が行っている施策について	98
(1) 重要度 (33 施策) (問 65)	98
(2) 満足度 (33 施策) (問 65)	103
(3) 重要度と満足度の相関関係	108
(4) 重要度と満足度の領域別相関関係	109
(5) 平成 29 年度の重要度と満足度の相関関係との比較	109
第 4 節 まちづくりに対する自由意見	112

附属資料＜使用した調査票＞	129
----------------------------	------------

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に活かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1)調査地域

太宰府市全域

(2)調査対象

太宰府市内に居住する 18 歳以上の市民

(3)調査対象者数

1,000 人

(4)抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出法

(5)調査方法

郵送法（お礼兼督促状 1 回郵送）

(6)調査期間

配布：平成 31 年 2 月 8 日（金）
投函締切：平成 31 年 2 月 22 日（金）
（ただし、3 月 1 日到着分まで有効票とした）

(7)回収状況

有効回収数：521 件（回収率 52.1%）

3. 調査項目

回答者の属性		問1	性別
		問2	年齢
		問3	世帯構成
		問4	職業
		問4付問1	通勤・通学先
		問5	小学校区
		問6	居住年数
問7	住居形態		
住みやすさについて		問8	太宰府市の住みやすさ
		問9	継続居住意向
		問9付問1	住み続けたい理由
		問9付問2	住み続けたくない理由
日頃の暮らし、行動について	子育て支援の推進	問10	子育て支援の推進
		問11	生きがいの実感
	高齢者福祉の推進	問12	高齢者福祉サービスの充実度
		問12付問1	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
		障がい福祉の推進	問13
	問14		公共施設の弱者への配慮
	問15		民間施設の弱者への配慮
	問16		交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況
	地域福祉の推進	問17	地域福祉の推進
	生涯健康づくりの推進	問18	健康状態
		問19	健康増進の取り組み状況
		問20	健康診査の受診状況
		問21	健康推進事業の認知度
		問21付問1	健康推進事業の参加率
	防災・消防体制の整備充実	問22	災害に対する日頃の備え
		問23	消防団の認知度
	防犯・暴力追放運動の推進	問24	防犯面の安心度
		問24付問1	防犯上危険と思う場所
	安全な消費生活の推進	問25	不当請求や不適正な取引行為の被害状況
		問25付問1	被害や不安に感じた内容
	人権を尊重する まちづくりの推進	問26	人権侵害の経験の有無
		問26付問1	人権侵害の内容
		問27	太宰府市での人権の尊重
	男女共同参画の推進	問28	固定的な役割分担に対する考え方
		問29	DVを受けた経験がある場合の相談経験
	生涯学習の推進	問30	生涯学習活動の取り組み状況
		問31	運動・スポーツの取り組み頻度
	文化芸術の振興	問32	文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）を行う頻度
	生活環境の向上	問33	自宅周辺の衛生環境
		問34	地域の環境マナーの順守状況
		問35	地域の美化運動への参加状況
		問36	市内の自然の豊かさについて
	自然共生社会の構築	問37	野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について
		問38	生ごみ堆肥化の取り組み状況
	循環型社会の構築	問39	不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況
		問40	日頃からの省エネルギー・省資源の活動状況
	環境教育・学習の推進	問41	環境に関する学習会や講演会、イベントへの参加状況
	未来に伝える景観づくり	問42	市内の自然の美しさに対する評価
		問43	市内の歴史的景観の美しさに対する評価
		問44	居住地区のまちなみに対する評価
	計画的なまちづくりの推進	問45	住環境の快適さに対する評価
		問46	商業施設等の利便性に対する評価
		問46付問1	近くにあると便利だと思う施設
	地域交通体系の整備	問47	市内のバスの利便性に対する評価
		問47付問1	コミュニティバスの利便性に対する評価
		問48	市内の鉄道の利便性に対する評価
		問49	市内の道路の円滑性に対する評価
		問49付問1	歩行者環境に対する評価
		問49付問2	自転車環境に対する評価
		問50	外出時の移動手段
	産業の振興	問51	日頃の買い物地域
	文化遺産の保存と活用	問52	歴史文化遺産に対する評価
		問53	歴史文化遺産の日本遺産認定に対する認知度
	観光基盤の整備充実	問54	観光客の来訪に対する評価
		問55	太宰府観光に必要なこと
	国際交流・ 友好都市交流の推進	問56	市内在住外国人との交流頻度
		問57	姉妹都市・友好都市の認知度
	コミュニティ活動等への参加	問58	自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況
		問59	ボランティア活動への参加状況
	情報の共有化と活用	問60	市民と行政との情報共有
		問61	行政情報の接触状況
		問61付問1	「広報だざいふ」の閲読内容
		問61付問2	「広報だざいふ」の閲読媒体
		問62	インターネットの利用状況
	市民のための行政運営	問63	効果的な行政運営に対する評価
		問64	市職員の対応・姿勢に対する満足度
	太宰府市が行っている 施策について	問65A	施策の重要度（33施策）
		問65B	施策の満足度（33施策）
	自由意見		

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を 100%としている。なお、回答率は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は 100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。
N＝標本全数
n＝該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 過去の調査結果と比較検討が可能な設問については、図中では H26 年度調査、H27 年度調査、H28 年度調査、H29 年度調査の表記で掲載している。なお、一部の質問文や選択肢では、過去の調査とは文言が変更になっているものもある。
- (7) 表中「20 歳代」は、18 歳・19 歳を含む。

第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別(問1)

- 回答者の性別は「男性」が41.3%、「女性」が56.8%となっている。

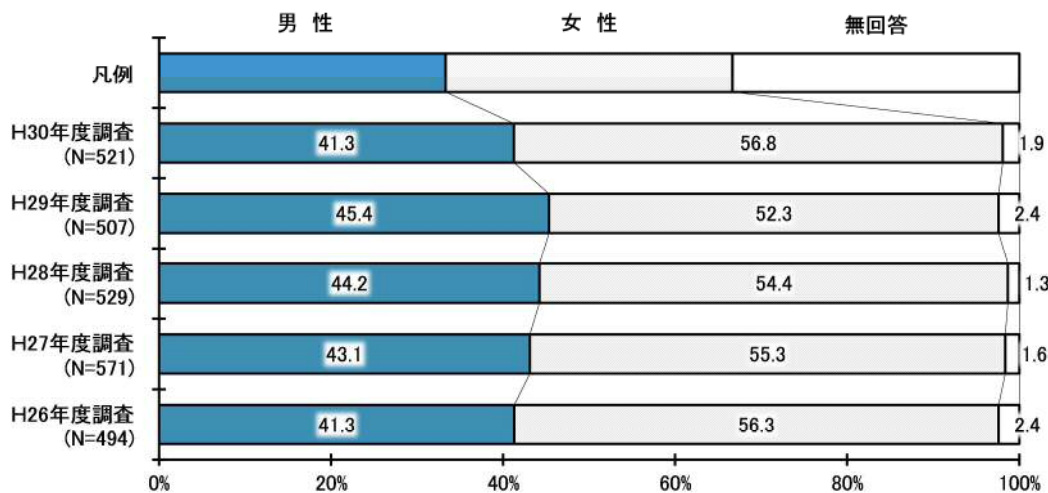
回答者の性別は、「男性」が41.3%、「女性」が56.8%で、女性の方が15.5ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、「女性」の方が高い傾向は変わらないが、前年より女性の回答率が高くなっている。

年代別にみると、すべての年齢層で「女性」の方が「男性」より高くなっており、30歳代と50歳代は「女性」が6割を超えている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「女性」の方が「男性」より高くなっている。

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。



		(%)			
		標本数	男性	女性	無回答
全 体		521	215	296	10
		100.0	41.3	56.8	1.9
年 代 別	20歳代	32	43.8	56.3	-
	30歳代	58	31.0	69.0	-
	40歳代	95	43.2	56.8	-
	50歳代	82	36.6	62.2	1.2
	60歳代	113	44.2	54.9	0.9
	70歳代以上	133	46.6	51.1	2.3
	無回答	8	-	37.5	62.5
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	42.6	57.4	-
	太宰府東小学校区	50	42.0	58.0	-
	太宰府南小学校区	50	32.0	68.0	-
	水城小学校区	87	35.6	60.9	3.4
	水城西小学校区	67	47.8	52.2	-
	太宰府西小学校区	46	41.3	58.7	-
	国分小学校区	58	43.1	55.2	1.7
	わからない	48	45.8	52.1	2.1
	無回答	14	42.9	21.4	35.7

2. 年齢(問2)

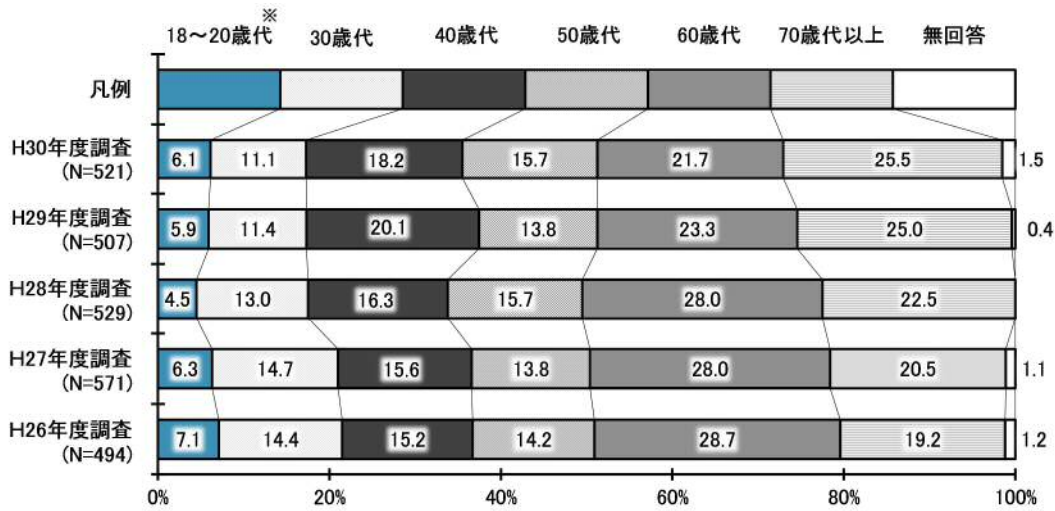
- 回答者の年齢は 70 歳代以上が最も多くなっている。

回答者の年齢は、「70 歳代以上」(25.5%) が最も高く、次いで「60 歳代」(21.7%)、「40 歳代」(18.2%)、「50 歳代」(15.7%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「60 歳代以上」の割合は、平成 29 年度調査から 1.1 ポイント減少している。一方、「70 歳代以上」の割合は 0.5 ポイント増加している。

小学校区別にみると、水城小学校区、太宰府西小学校区を除き、「70 歳代以上」が最も高くなっている。一方、水城小学校区では「60 歳代」、太宰府西小学校区では「40 歳代」が最も高くなっている。

問 2. あなたの年齢を次の中から選びください。(平成 31 年 3 月末時点で)



※H27調査までは20歳以上、H28調査以降は18歳以上が調査対象

		(%)						
		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全 体		521	32	58	95	82	113	133
		100	6.1	11.1	18.2	15.7	21.7	25.5
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	7.9	5.9	14.9	14.9	23.8	31.7
	太宰府東小学校区	50	2.0	10.0	18.0	14.0	18.0	34.0
	太宰府南小学校区	50	-	16.0	6.0	16.0	26.0	36.0
	水城小学校区	87	8.0	13.8	20.7	11.5	24.1	21.8
	水城西小学校区	67	6.0	14.9	20.9	17.9	17.9	22.4
	太宰府西小学校区	46	6.5	8.7	30.4	17.4	21.7	15.2
	国分小学校区	58	6.9	8.6	19.0	20.7	17.2	27.6
	わからない	48	10.4	16.7	18.8	18.8	22.9	12.5
無回答		14	-	-	14.3	7.1	21.4	21.4
								35.7

3. 世帯構成(問3)

- 「2世代世帯」が5割以上、「夫婦のみ」の世帯が約3割となっている。
 - 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が高く、特に70歳代以上で高い。

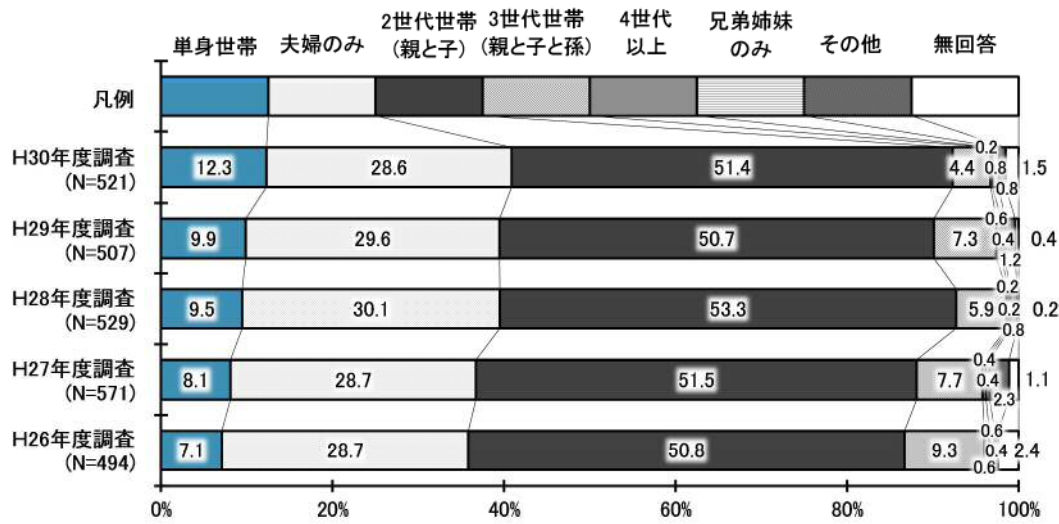
回答者の世帯構成は、「2世代世帯(親と子)」(51.4%)が最も高く、次いで「夫婦のみ」(28.6%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「2世代世帯(親と子)」が最も高くなっている。

年代別にみると、50歳代以下では、「2世代世帯(親と子)」が6割以上と高くなっている。60歳代以上では「夫婦のみ」が最も高く、70歳代以上では50.4%と特に高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区を除き、「2世代世帯(親と子)」が最も高くなっている。一方、太宰府東小学校区は、「夫婦のみ」(46.0%)が最も高くなっている。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		(%)								
		標本数	単身世帯	夫婦のみ	2世代世帯(親と子)	3世代世帯(親と子と孫)	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		521	64	149	268	23	1	4	4	8
		100.0	12.3	28.6	51.4	4.4	0.2	0.8	0.8	1.5
性別	男性	215	11.6	32.6	51.2	3.3	-	-	0.5	0.9
	女性	296	12.8	26.0	53.0	5.1	0.3	1.4	1.0	0.3
	無回答	10	10.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	50.0
年代別	20歳代	32	9.4	3.1	87.5	-	-	-	-	-
	30歳代	58	13.8	10.3	75.9	-	-	-	-	-
	40歳代	95	12.6	11.6	66.3	8.4	-	-	-	1.1
	50歳代	82	6.1	19.5	63.4	7.3	1.2	1.2	1.2	-
	60歳代	113	13.3	40.7	38.9	3.5	-	2.7	0.9	-
	70歳代以上	133	15.8	50.4	27.8	3.0	-	-	1.5	1.5
	無回答	8	-	25.0	-	12.5	-	-	-	62.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	11.9	24.8	49.5	7.9	1.0	2.0	3.0	-
	太宰府東小学校区	50	6.0	46.0	36.0	10.0	-	-	-	2.0
	太宰府南小学校区	50	12.0	30.0	48.0	6.0	-	-	-	4.0
	水城小学校区	87	12.6	28.7	54.0	3.4	-	1.1	-	-
	水城西小学校区	67	6.0	28.4	62.7	1.5	-	1.5	-	-
	太宰府西小学校区	46	2.2	23.9	71.7	2.2	-	-	-	-
	国分小学校区	58	6.9	29.3	58.6	3.4	-	-	1.7	-
	わからない	48	39.6	25.0	35.4	-	-	-	-	-
	無回答	14	28.6	14.3	21.4	-	-	-	-	35.7

4. 職業(問4)

- 職業は「会社員」(25.7%)、「無職」(21.7%)、「家事専業」(16.3%) が主である。

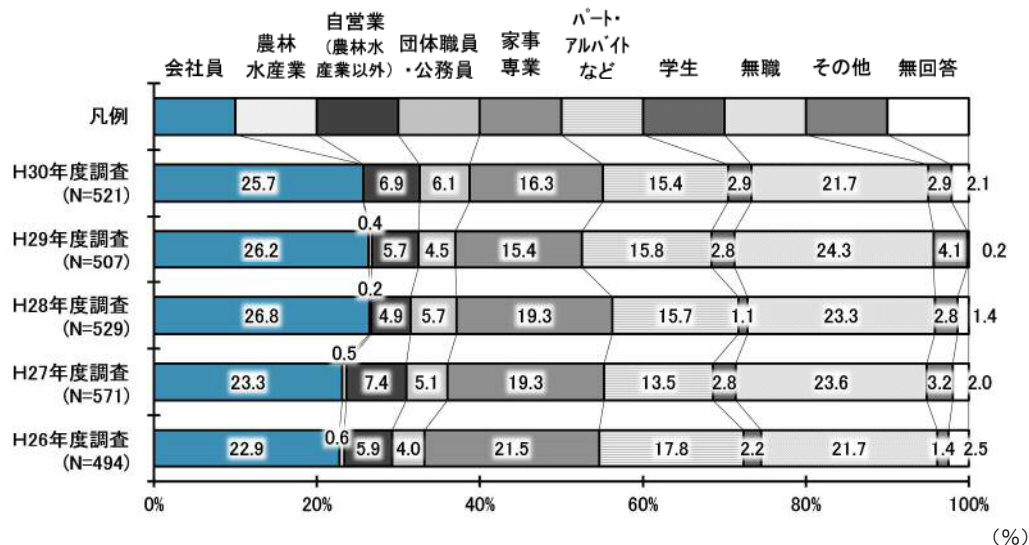
回答者の職業は、「会社員」(25.7%)が最も高く、次いで「無職」(21.7%)、「家事専業」(16.3%)、の順となっている。

過去の調査結果と比べると、過去5年間の調査で「会社員」と「無職」の割合が高い傾向は変わらない。

性別・年代別にみると、男性は「会社員」(42.8%)が最も高くなっている。一方、女性は「家事専業」(28.4%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「会社員」が最も高いのは、水城西小学校区(32.8%)となっている。一方、「無職」が最も高いのは、太宰府南小学校区(34.0%)となっている。

問4. あなたのご職業を次の中から選びください。(2つ以上あるときは主なもの1つ)



		標 本 数	会 社 員	農 林 水 産 業	水産業以外) 自営業(農林	団 体 職 員 ・ 公 務 員	家 事 専 業	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト な ど	学 生	無 職	そ の 他	無 回 答
全 体		521 100.0	134 25.7	- -	36 6.9	32 6.1	85 16.3	80 15.4	15 2.9	113 21.7	15 2.9	11 2.1
性別	男 性	215	42.8	-	9.3	7.0	-	6.0	3.3	27.0	3.7	0.9
	女 性	296	14.2	-	5.4	5.7	28.4	22.3	2.7	17.6	2.4	1.4
	無回答	10	-	-	-	-	10.0	10.0	-	30.0	-	50.0
性別・年代別	男性:20歳代	14	21.4	-	-	21.4	-	-	50.0	7.1	-	-
	男性:30歳代	18	77.8	-	5.6	11.1	-	-	-	5.6	-	-
	男性:40歳代	41	70.7	-	7.3	14.6	-	4.9	-	2.4	-	-
	男性:50歳代	30	63.3	-	20.0	6.7	-	3.3	-	6.7	-	-
	男性:60歳代	50	46.0	-	10.0	4.0	-	6.0	-	34.0	-	-
	男性:70歳代以上	62	6.5	-	8.1	-	-	11.3	-	58.1	12.9	3.2
	女性:20歳代	18	11.1	-	-	-	16.7	22.2	44.4	-	-	5.6
	女性:30歳代	40	22.5	-	5.0	5.0	35.0	20.0	-	12.5	-	-
	女性:40歳代	54	22.2	-	11.1	13.0	11.1	31.5	-	5.6	5.6	-
	女性:50歳代	51	19.6	-	2.0	13.7	19.6	39.2	-	3.9	2.0	-
	女性:60歳代	62	9.7	-	6.5	1.6	46.8	24.2	-	9.7	-	1.6
	女性:70歳代以上	68	2.9	-	4.4	-	32.4	2.9	-	50.0	4.4	2.9
	無回答	13	7.7	-	-	-	7.7	7.7	-	38.5	-	38.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	16.8	-	12.9	9.9	15.8	12.9	5.0	20.8	4.0	2.0
	太宰府東小学校区	50	26.0	-	4.0	6.0	30.0	12.0	-	20.0	2.0	-
	太宰府南小学校区	50	18.0	-	-	-	18.0	24.0	-	34.0	4.0	2.0
	水城小学校区	87	28.7	-	5.7	9.2	13.8	14.9	3.4	20.7	2.3	1.1
	水城西小学校区	67	32.8	-	4.5	7.5	11.9	13.4	4.5	20.9	4.5	-
	太宰府西小学校区	46	26.1	-	6.5	4.3	17.4	23.9	-	19.6	-	2.2
	国分小学校区	58	29.3	-	10.3	5.2	20.7	10.3	3.4	15.5	3.4	1.7
	わからない	48	37.5	-	6.3	2.1	10.4	16.7	4.2	20.8	2.1	-
	無回答	14	7.1	-	7.1	-	-	14.3	-	35.7	-	35.7

5. 通勤・通学先(問4付問1)

● 通勤・通学先は「太宰府市」が28.2%、「福岡市」が26.3%となっている。

回答者の通勤・通学先は「太宰府市」(28.2%)が最も高く、次いで「福岡市」(26.3%)、「筑紫野市」、「それ以外の福岡県内市町村」(ともに8.8%)となっている。

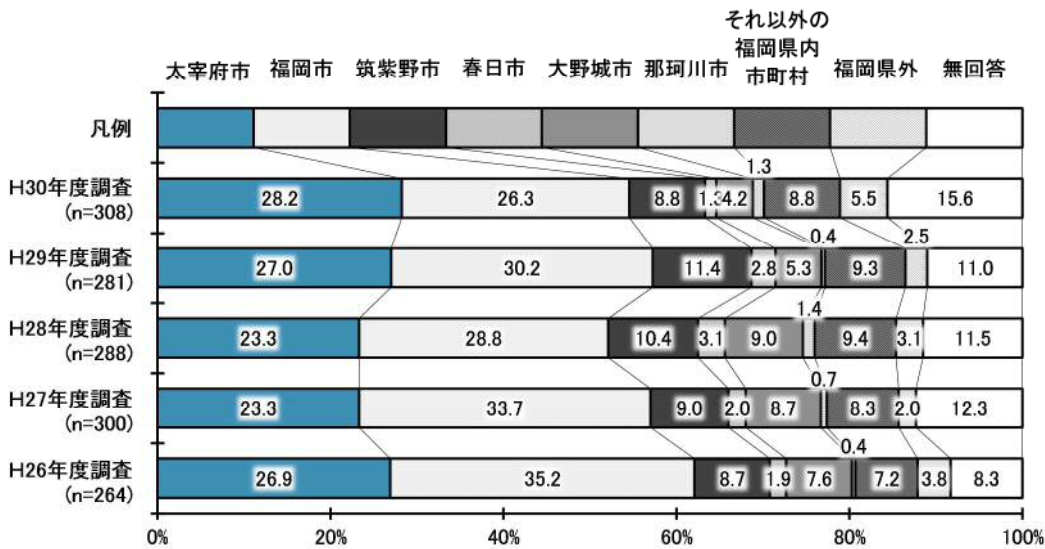
過去の調査結果と比べると、「太宰府市」の割合が増加し、過去5年間の調査で最も高くなっている一方、「福岡市」の割合は、過去5年間の調査で最も低くなっている。

性別にみると、男性は「福岡市」(34.2%)が、女性は「太宰府市」(33.3%)が、それぞれ最も高くなっている。

年代別にみると、30歳代以下は「福岡市」が、50歳代を除き40歳代以上は「太宰府市」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「福岡市」が最も高いのは、水城西小学校区(40.5%)となっている。一方、「太宰府市」が最も高いのは、国分小学校区(31.4%)となっている。

問4付問1.【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中から
お選びください。



		(%)									
		標 本 数	太 宰 府 市	福 岡 市	筑 紫 野 市	春 日 市	大 野 城 市	那 珂 川 市	内 市 の 福 岡 以 外 の 市 町 村	福 岡 県 外	無 回 答
全 体		308 100.0	87 28.2	81 26.3	27 8.8	4 1.3	13 4.2	4 1.3	27 8.8	17 5.5	48 15.6
性別	男 性	149	24.2	34.2	4.7	0.7	4.0	0.7	9.4	8.7	13.4
	女 性	153	33.3	19.6	12.4	2.0	4.6	2.0	8.5	2.6	15.0
	無回答	6	-	-	16.7	-	-	-	-	-	83.3
年代別	20歳代	28	21.4	35.7	3.6	-	3.6	-	10.7	7.1	17.9
	30歳代	38	26.3	36.8	10.5	2.6	5.3	5.3	5.3	-	7.9
	40歳代	82	25.6	22.0	7.3	3.7	7.3	-	14.6	4.9	14.6
	50歳代	66	28.8	28.8	15.2	-	3.0	1.5	3.0	7.6	12.1
	60歳代	61	37.7	24.6	9.8	-	3.3	-	8.2	8.2	8.2
	70歳代以上	27	29.6	14.8	-	-	-	3.7	11.1	3.7	37.0
	無回答	6	-	16.7	-	-	-	-	-	-	83.3
小学校区別	太宰府小学校区	60	30.0	20.0	10.0	-	1.7	1.7	11.7	13.3	11.7
	太宰府東小学校区	24	25.0	37.5	8.3	4.2	4.2	-	8.3	-	12.5
	太宰府南小学校区	22	22.7	22.7	13.6	-	4.5	4.5	4.5	-	27.3
	水城小学校区	55	30.9	21.8	7.3	1.8	5.5	-	10.9	7.3	14.5
	水城西小学校区	42	31.0	40.5	7.1	-	4.8	2.4	2.4	4.8	7.1
	太宰府西小学校区	29	24.1	20.7	10.3	6.9	13.8	3.4	6.9	-	13.8
	国分小学校区	35	31.4	20.0	8.6	-	2.9	-	14.3	5.7	17.1
	わからない	32	21.9	37.5	9.4	-	-	-	9.4	3.1	18.8
	無回答	9	33	11	-	-	-	-	-	-	56

6. 小学校区(問5)

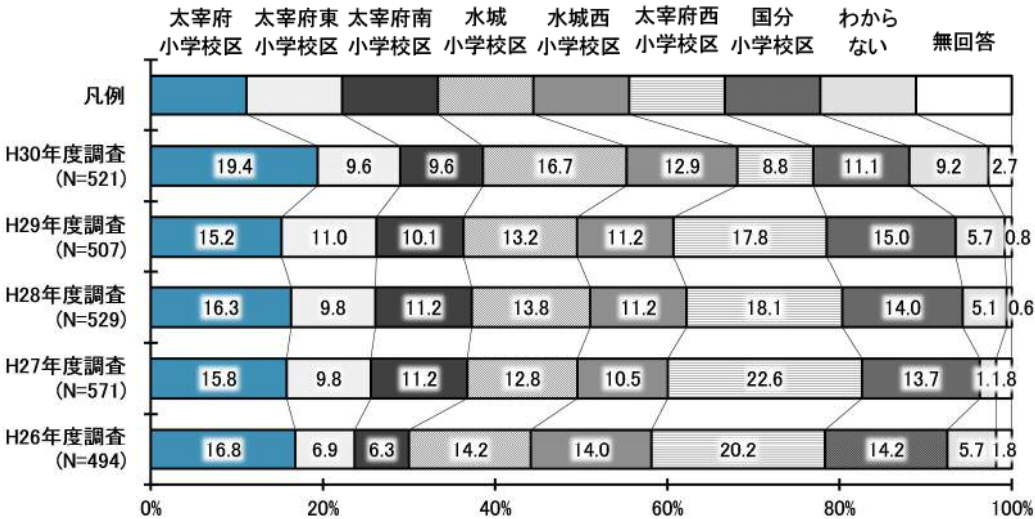
- 住んでいる小学校区は「太宰府小学校区」(19.4%)と「水城小学校区」(16.7%)が多くなっている。

回答者の住んでいる小学校区は「太宰府小学校区」(19.4%)が最も高く、次いで「水城小学校区」(16.7%)、「水城西小学校区」(12.9%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「太宰府小学校区」が最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代、50歳代以上は、「太宰府小学校区」が、30歳代、40歳代では「水城小学校区」が最も高くなっている。

問 5. あなたの住んでいる小学校区を次の中から選びください。



		(%)									
		標 本 数	小太 学幸 区府	小太 学幸 区東	小太 学幸 区南	小水 学城 校区	小水 学城 西区	小太 学幸 区西	小国 学分 校区	い わ か ら な	無 回 答
全 体		521 100.0	101 19.4	50 9.6	50 9.6	87 16.7	67 12.9	46 8.8	58 11.1	48 9.2	14 2.7
性 別	男 性	215	20.0	9.8	7.4	14.4	14.9	8.8	11.6	10.2	2.8
	女 性	296	19.6	9.8	11.5	17.9	11.8	9.1	10.8	8.4	1.0
	無回答	10	-	-	-	30.0	-	-	10.0	10.0	50.0
年 代 別	20歳代	32	25.0	3.1	-	21.9	12.5	9.4	12.5	15.6	-
	30歳代	58	10.3	8.6	13.8	20.7	17.2	6.9	8.6	13.8	-
	40歳代	95	15.8	9.5	3.2	18.9	14.7	14.7	11.6	9.5	2.1
	50歳代	82	18.3	8.5	9.8	12.2	14.6	9.8	14.6	11.0	1.2
	60歳代	113	21.2	8.0	11.5	18.6	10.6	8.8	8.8	9.7	2.7
	70歳代以上	133	24.1	12.8	13.5	14.3	11.3	5.3	12.0	4.5	2.3
無回答		8	12.5	25.0	-	-	-	-	-	-	62.5

7. 居住年数(問6)

- 居住年数が「25 年以上」が約4割を占めている。
- 平成 29 年度調査と比べ、「3 年未満」が8.4 ポイント増加している。

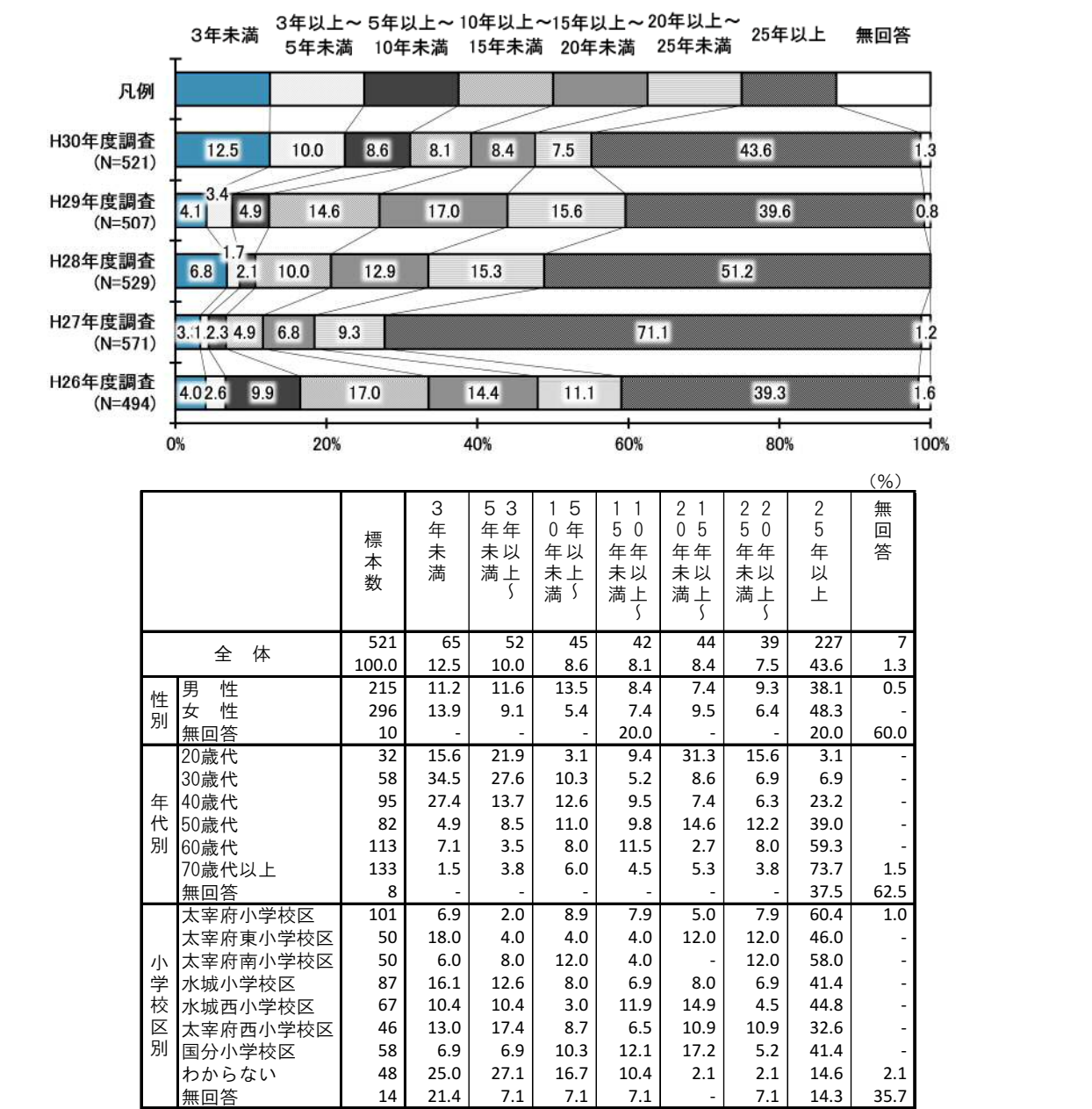
回答者の居住年数は「25 年以上」(43.6%) が最も高く 4 割を超えている。次いで「3 年未満」(12.5%)、「3 年以上～5 年未満」(10.0%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、平成 27 年度調査から「25 年以上」は大きく減少している傾向にあるが、今年度調査で増加に転じた。「3 年未満」では平成 29 年度調査より 8.4 ポイント増加している。

年代別にみると、50 歳代以上では、年代が上がるにつれて在住歴が長い傾向にある。一方、30 歳代では、『5 年未満』、40 歳代では「3 年未満」の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「25 年以上」が最も高くなっている。小学校区の特徴としては、『5 年未満』は太宰府西小学校区、水城小学校区が 3 割を占めており、他の小学校区に比べて割合が高くなっている。一方、太宰府小学校区、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区では、5 割以上が『20 年以上』となっており、他の小学校区よりも在住歴が長くなっている。

問 6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(平成 31 年 3 月末時点で)



8. 住居形態(問7)

●「持ち家・分譲マンション」が68.3%で、最も高くなっている。

回答者の住居形態は「持ち家・分譲マンション」（「一戸建て」と「集合住宅」の合計）（68.3%）が最も高く、次いで「賃貸住宅・アパート」（「一戸建て」と「集合住宅」の合計）（27.6%）の順となっている。

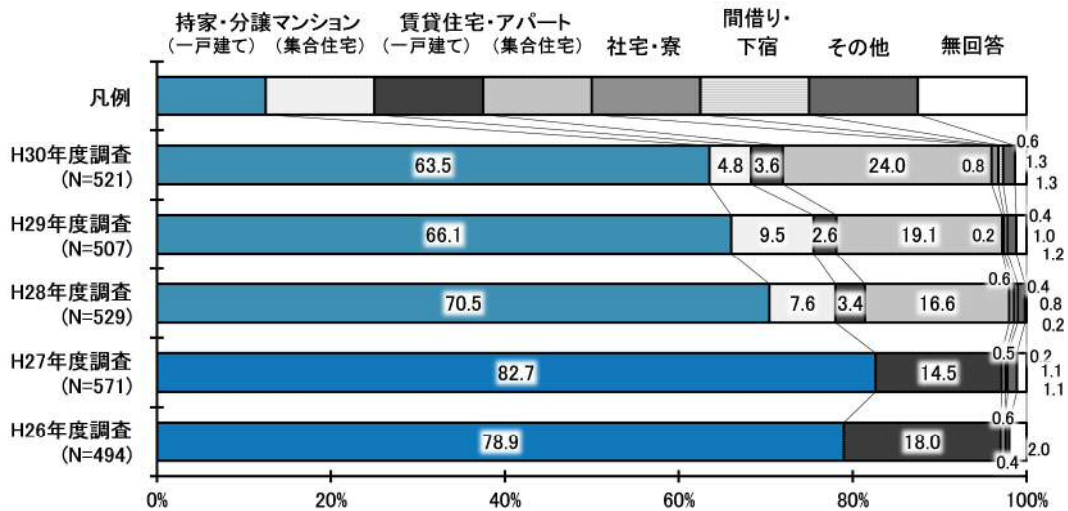
過去の調査結果と比べると、「持ち家・分譲マンション」は、平成29年度調査から7.3ポイント減少している。一方、「賃貸住宅・アパート」の割合は5.9ポイント増加している。

性別にみると、男女とも「持ち家・分譲マンション」が最も高くなっている。

年代別にみると、年代が上がるにつれて「持ち家・分譲マンション」の割合が高くなっており70歳代以上では、8割以上となっている。

小学校区別にみると、水城小学校区、水城西小学校区を除き、「持ち家・分譲マンション」の割合が7割以上と高くなっている。水城小学校区、水城西小学校区では、他の小学校区に比べ「賃貸住宅・アパート」の割合が高くなっている。

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。



※「持ち家(一戸建て)」「持ち家(集合住宅)」「賃貸住宅(一戸建て)」「賃貸住宅(集合住宅)」は、H28年度調査より追加された項目。H27までは「持ち家・分譲マンション」「賃貸住宅・アパート」

		標本数	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (集合住宅)	賃貸住宅 (一戸建て)	賃貸住宅 (集合住宅)	社宅・寮	間借り・ 下宿	その他	無回答
全体		521	33.1	25	19	125	4	3	7	7
		100.0	63.5	4.8	3.6	24.0	0.8	0.6	1.3	1.3
性別	男性	215	60.9	6.0	6.0	22.8	0.5	0.5	2.3	0.9
	女性	296	66.9	3.7	2.0	25.3	1.0	0.7	0.3	-
	無回答	10	20.0	10.0	-	10.0	-	-	10.0	50.0
年代別	20歳代	32	34.4	12.5	3.1	46.9	3.1	-	-	-
	30歳代	58	44.8	5.2	3.4	43.1	1.7	-	1.7	-
	40歳代	95	54.7	3.2	2.1	35.8	2.1	1.1	1.1	-
	50歳代	82	67.1	7.3	2.4	20.7	-	1.2	1.2	-
	60歳代	113	65.5	5.3	7.1	19.5	-	0.9	0.9	0.9
	70歳代以上	133	82.7	2.3	3.0	9.0	-	-	2.3	0.8
	無回答	8	37.5	-	-	-	-	-	-	62.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	81.2	5.0	1.0	9.9	-	1.0	1.0	1.0
	太宰府東小学校区	50	88.0	2.0	8.0	-	-	-	2.0	-
	太宰府南小学校区	50	94.0	-	6.0	-	-	-	-	-
	水城小学校区	87	44.8	9.2	1.1	43.7	1.1	-	-	-
	水城西小学校区	67	53.7	6.0	3.0	32.8	-	1.5	1.5	1.5
	太宰府西小学校区	46	73.9	2.2	4.3	17.4	2.2	-	-	-
	国分小学校区	58	69.0	6.9	6.9	15.5	-	-	1.7	-
	わからない	48	14.6	4.2	2.1	66.7	4.2	2.1	6.3	-
	無回答	14	14.3	-	7.1	42.9	-	-	-	35.7

第2節 住みやすさについて

1. 太宰府市の住みやすさ(問8)

● 太宰府市の住みやすさについて『満足派』は71.4%、『不満派』は10.4%となっている。

太宰府市の住みやすさについて、『満足派』（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）の割合は71.4%、一方、『不満派』（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は10.4%で、『満足派』が7割以上と高くなっている。

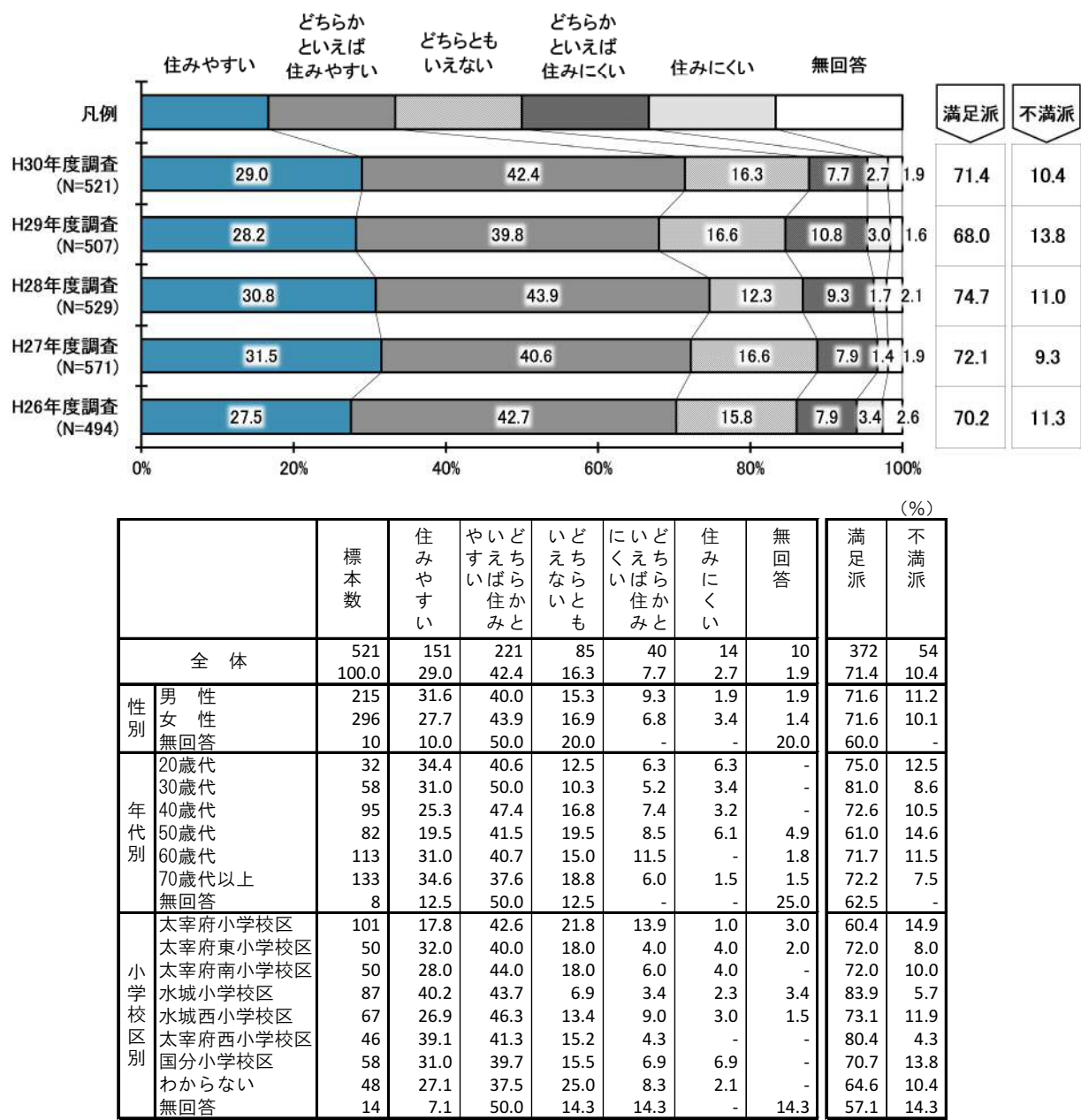
過去の調査結果と比べると、『満足派』は平成29年度調査から3.4ポイント増加している。

性別にみると、『満足派』は男女とも同じ割合（71.6%）となっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が6割を超えている。なお、『満足派』が最も高いのは30歳代（81.0%）となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『満足派』が6割を超えている。『満足派』の割合が最も高いのは水城小学校区（83.9%）となっている。

問 8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。（〇は1つ）



2. 継続居住意向(問9)

- 「住み続けたい」は63.3%、「住み続けたくない」は10.0%となっている。

太宰府市への継続居住意向について、今後も「住み続けたい」と答えた人は63.3%で、「住み続けたくない」(10.0%)を大きく上回っている。

過去の調査結果と比べると、「住み続けたい」は平成29年度調査から2.6ポイント減少している。

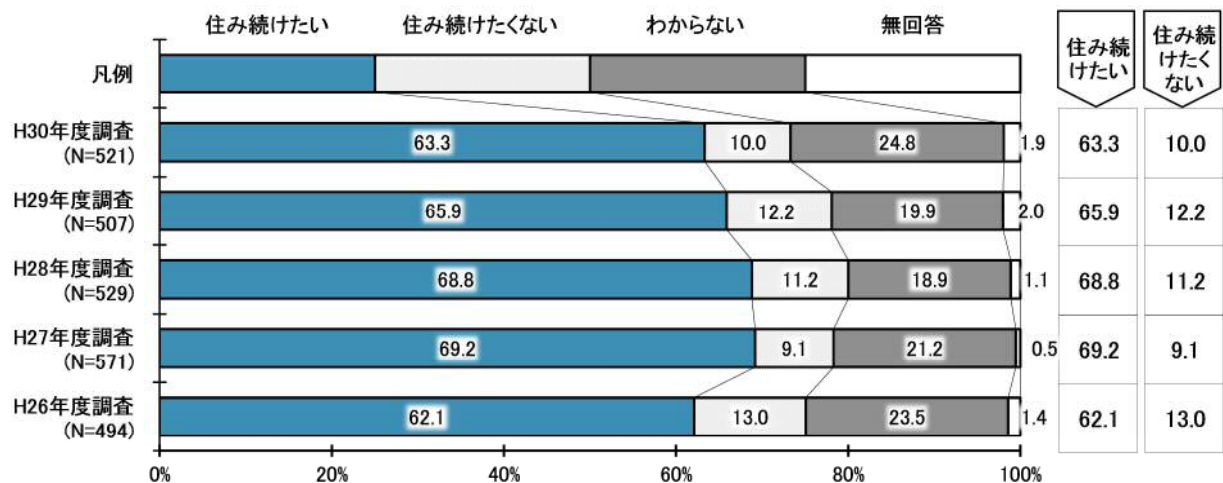
性別にみると、「住み続けたい」は男性(67.9%)の方が女性(60.8%)より高くなっている。

年代別にみると、「住み続けたい」が最も高いのは60歳代(72.6%)となっている。一方、「住み続けたくない」の割合が最も高いのは50歳代(19.5%)となっている。

小学校区別にみると、「住み続けたい」の割合が最も高いのは太宰府東小学校区(74.0%)となっている。一方、「住み続けたくない」の割合が最も高いのは国分小学校区(17.2%)となっている。

住みやすさ別にみると、住みやすいと感じている人の約8割が、「住み続けたい」意向を持っている。

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	住み続けたい (%)	住み続けたくない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全 体		521	63.3	10.0	24.8	1.9
性別	男 性	215	67.9	7.0	23.3	1.9
	女 性	296	60.8	12.5	25.3	1.4
	無回答	10	40.0	-	40.0	20.0
年代別	20歳代	32	50.0	12.5	37.5	-
	30歳代	58	51.7	13.8	34.5	-
	40歳代	95	61.1	8.4	29.5	1.1
	50歳代	82	54.9	19.5	23.2	2.4
	60歳代	113	72.6	8.0	18.6	0.9
	70歳代以上	133	69.9	5.3	21.1	3.8
	無回答	8	75.0	-	12.5	12.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	69.3	6.9	22.8	1.0
	太宰府東小学校区	50	74.0	12.0	12.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	60.0	12.0	28.0	-
	水城小学校区	87	71.3	8.0	18.4	2.3
	水城西小学校区	67	62.7	9.0	26.9	1.5
	太宰府西小学校区	46	73.9	2.2	19.6	4.3
	国分小学校区	58	50.0	17.2	32.8	-
	わからない	48	41.7	16.7	39.6	2.1
	無回答	14	42.9	7.1	35.7	14.3
住みやすさ別	住みやすい	372	76.9	2.7	19.6	0.8
	どちらともいえない	85	34.1	12.9	51.8	1.2
	住みにくい	54	24.1	53.7	22.2	-
	無回答	10	20.0	20.0	-	60.0

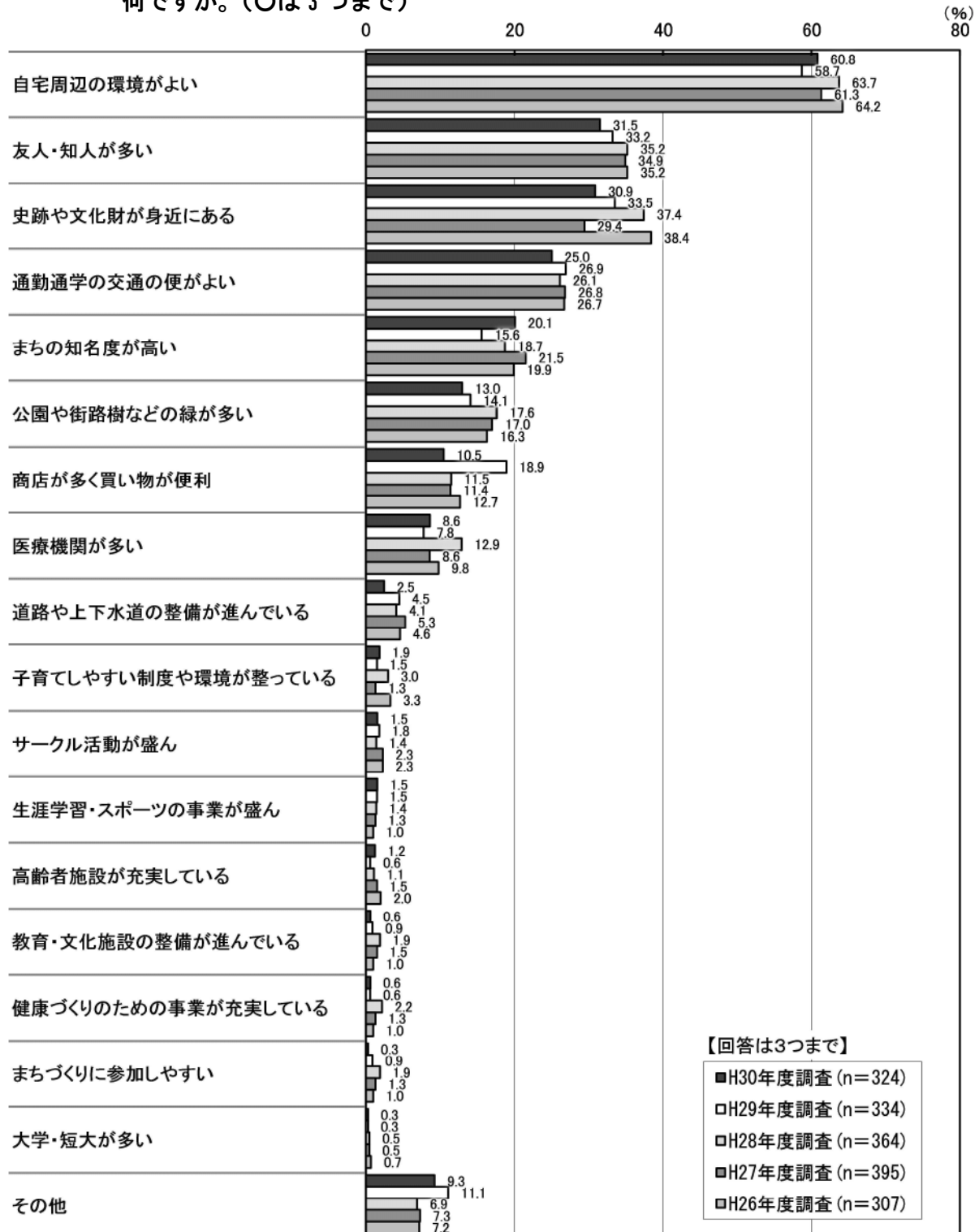
3. 住み続けたい理由(問9付問1)

- 住み続けたい理由は、「自宅周辺の環境がよい」(60.8%) が最も高く、次いで「友人・知人が多い」(31.5%)、「史跡や文化財が身近にある」(30.9%) などの順となっている。

太宰府市に住み続けたい理由について、「自宅周辺の環境がよい」(60.8%) が最も高く、次いで「友人・知人が多い」(31.5%)、「史跡や文化財が身近にある」(30.9%) となっている。

過去の調査結果と比べると、「自宅周辺の環境がよい」は、平成29年度調査から2.1ポイント増加しており、「史跡や文化財が身近にある」は、平成29年度調査から2.6ポイント減少している。

問9付問1.【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



性別にみると、男女ともに1位になっている「自宅周辺の環境がよい」は男性56.3%に対して女性64.2%で、女性の方がやや高い割合となっている。また、男性では2位以下が「史跡や文化財が身近にある」(34.0%)、「通勤通学の交通の便がよい」(25.7%)の順となっており、女性では「友人・知人が多い」(39.8%)、「史跡や文化財が身近にある」(27.8%)の順となっている。

年代別にみると、20歳代は「友人・知人が多い」(46.7%)が、30歳代以上はいずれの年代も「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。それぞれの年代の特色としては、30歳代は「友人・知人が多い」(44.4%)、40～50歳代は「通勤通学の交通の便がよい」、60歳代以上は「史跡や文化財が身近にある」が、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。

(%)

	標本数	自宅周辺の環境がよい	友人・知人が多い	ある史跡や文化財が身近に	よ通勤通学の交通の便が	まちの知名度が高い	公園や街路樹などの緑が多い	利商店が多く買い物が便	医療機関が多い	道路や上下水道の整備が進んでいる	環境が整っている制度や子育てしやすい制度や	サークル活動が盛ん	生涯学習・スポーツの	いる高齢者施設が充実して	が教育・文化施設の整備が進んでいる	健康づくりのための事業が充実している	すまいづくりに参加しや	大学・短大が多い	その他	無回答
全 体	324	197	102	100	81	65	42	34	28	8	6	5	5	4	2	2	1	1	30	12
	-	60.8	31.5	30.9	25.0	20.1	13.0	10.5	8.6	2.5	1.9	1.5	1.5	1.2	0.6	0.6	0.3	0.3	9.3	3.7
性別	男 性	144	56.3	22.2	34.0	25.7	20.1	17.4	9.7	4.2	2.1	1.4	2.1	2.1	0.7	-	-	-	10.4	2.8
	女 性	176	64.2	39.8	27.8	25.0	18.8	9.7	10.8	8.0	1.1	1.7	1.1	0.6	0.6	1.1	0.6	0.6	8.0	4.5
	無回答	4	75.0	-	50.0	-	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-
年代別	20歳代	15	40.0	46.7	26.7	40.0	20.0	-	13.3	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	27	63.0	44.4	25.9	25.9	3.7	3.7	11.1	3.7	-	3.7	-	-	-	-	-	3.7	14.8	3.7
	40歳代	57	64.9	26.3	22.8	42.1	17.5	14.0	8.8	3.5	-	3.5	-	-	-	-	-	-	15.8	3.5
	50歳代	44	65.9	25.0	29.5	36.4	22.7	9.1	6.8	4.5	4.5	-	-	-	-	-	-	-	4.5	2.3
	60歳代	82	56.1	26.8	34.1	23.2	22.0	17.1	12.2	11.0	2.4	-	2.4	1.2	-	-	-	-	11.0	6.1
	70歳代以上	93	62.4	34.4	35.5	9.7	21.5	16.1	10.8	15.1	4.3	-	3.2	4.3	2.2	2.2	1.1	-	5.4	3.2
	無回答	6	66.7	50.0	33.3	-	50.0	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	70	45.7	38.6	37.1	20.0	28.6	2.9	7.1	8.6	4.3	-	-	1.4	2.9	1.4	1.4	-	10.0	4.3
	太宰府東小学校区	36	63.9	22.2	33.3	30.6	11.1	11.1	-	2.8	2.8	5.6	-	2.8	-	2.8	-	-	5.6	2.8
	太宰府南小学校区	30	63.3	33.3	30.0	6.7	26.7	20.0	-	13.3	3.3	-	3.3	-	-	-	-	-	6.7	3.3
	水城小学校区	61	57.4	23.0	36.1	36.1	24.6	14.8	13.1	3.3	-	1.6	1.6	1.6	-	-	-	1.6	14.8	4.9
	水城西小学校区	42	66.7	45.2	23.8	35.7	14.3	9.5	19.0	14.3	2.4	-	4.8	2.4	2.4	-	-	-	7.1	2.4
	太宰府西小学校区	32	84.4	21.9	12.5	25.0	9.4	12.5	28.1	18.8	6.3	6.3	-	-	-	-	-	-	12.5	3.1
	国分小学校区	28	67.9	39.3	35.7	10.7	17.9	25.0	3.6	-	-	3.6	3.6	7.1	3.6	-	-	-	3.6	-
	わからない	19	57.9	26.3	26.3	31.6	10.5	26.3	5.3	15.8	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	5.3
	無回答	6	50.0	16.7	33.3	-	33.3	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7

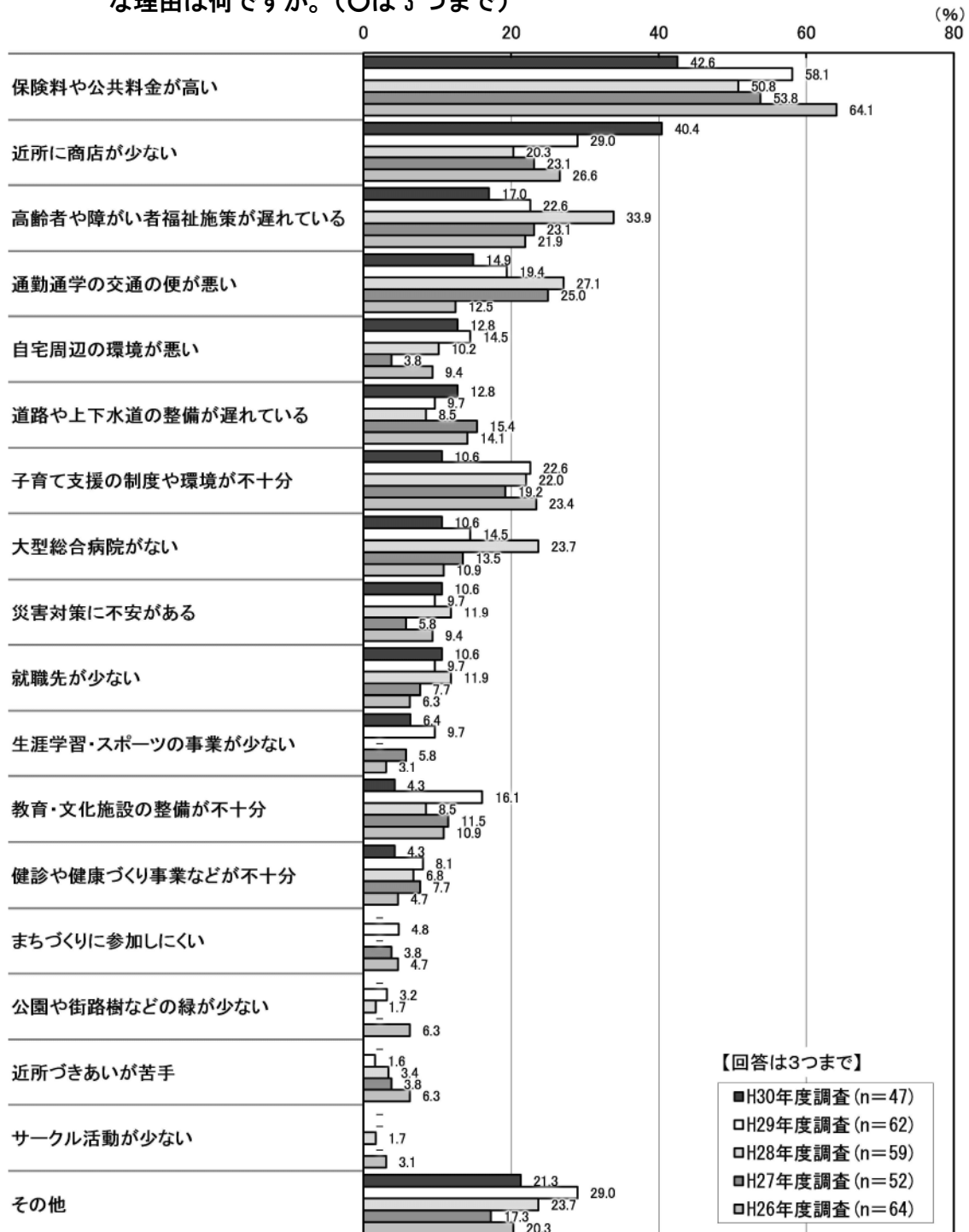
4. 住み続けたくない理由(問9付問2)

- 住み続けたくない理由は、「保険料や公共料金が高い」(42.6%) が最も高い。

太宰府市に住み続けたくない理由について、「保険料や公共料金が高い」(42.6%) が最も高く、次いで「近所に商店が少ない」(40.4%)、「高齢者や障がい者福祉施策が遅れている」(17.0%)、「通勤通学の交通の便が悪い」(14.9%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、平成 29 年度調査から「保険料や公共料金が高い」(15.5 ポイント減)、「子育て支援の制度や環境が不十分」(12.0 ポイント減) が大きく減少している。一方、「近所に商店が少ない」が 11.4 ポイント増加している。

問9付問2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



性別にみると、男性では「保険料や公共料金が高い」(78.6%)が最も高くなっている。次いで「近所に商店が少ない」、「高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている」(ともに28.6%)、「就職先がない」(21.4%)の順になっている。一方、女性では「近所に商店が少ない」(45.5%)が最も高くなっている。次いで「保険料や公共料金が高い」(27.3%)、「通勤通学の交通の便が悪い」(18.2%)の順になっている。

		(%)																					
		標本数	い保険料や公共料金が高	近所に商店が少ない	祉高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている	悪い通勤通学の交通の便が悪い	自宅周辺の環境が悪い	道路や上下水道の整備が遅れている	境が不十分	子育て支援の制度や環境が不十分	大型総合病院がない	災害対策に不安がある	就職先が少ない	生涯学習・スポーツの事業が少ない	教育・文化施設の整備が不十分	健診や健康づくり事業などが不十分	まちづくりに参加しない	公園や街路樹などの緑が少ない	近所づきあいが苦手	サークル活動が少ない	その他	無回答	
全 体		47	20	19	8	7	6	6	5	5	5	5	5	3	2	2	-	-	-	-	10	5	
		-	42.6	40.4	17.0	14.9	12.8	12.8	10.6	10.6	10.6	10.6	10.6	6.4	4.3	4.3	-	-	-	-	21.3	10.6	
性別	男 性	14	78.6	28.6	28.6	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	-	-	21.4	-	-	-	-	-	-	-	35.7	-	
	女 性	33	27.3	45.5	12.1	18.2	12.1	15.2	12.1	12.1	15.2	6.1	9.1	6.1	6.1	-	-	-	-	-	15.2	15.2	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年代別	20歳代	3	66.7	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	
	30歳代	6	50.0	-	16.7	33.3	16.7	-	50.0	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	50.0	-	
	40歳代	8	37.5	62.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	
	50歳代	15	40.0	53.3	6.7	13.3	20.0	13.3	6.7	13.3	20.0	6.7	6.7	-	-	-	-	-	-	-	13.3	6.7	
	60歳代	9	44.4	44.4	33.3	11.1	-	22.2	-	11.1	22.2	22.2	22.2	-	11.1	-	-	-	-	-	22.2	11.1	
	70歳代以上	6	33.3	33.3	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	50.0	16.7	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	7	42.9	71.4	-	14.3	14.3	28.6	14.3	-	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	-	28.6	-	
	太宰府東小学校区	6	33.3	66.7	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	
	太宰府南小学校区	4	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0	
	水城小学校区	6	50.0	16.7	50.0	-	16.7	-	33.3	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-	
	水城西小学校区	6	50.0	50.0	16.7	50.0	-	33.3	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	太宰府西小学校区	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	国分小学校区	8	50.0	37.5	37.5	-	25.0	25.0	12.5	-	12.5	25.0	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-	
	わからない	8	37.5	25.0	-	25.0	12.5	-	-	-	-	25.0	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	50.0	12.5	
	無回答	1	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3節 日頃の暮らし、行動について

1. 子育て支援の推進(問 10)

- 『子育てがしやすい派』は 70.5%、『子育てがしにくい派』は 29.5%となっている。

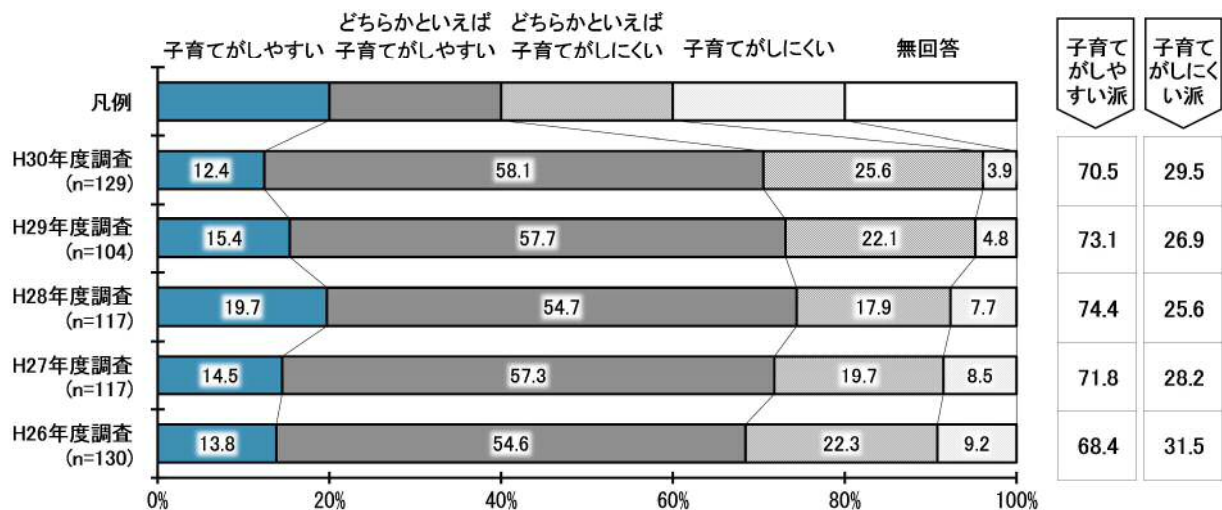
子育て支援の推進について、『子育てがしやすい派』（「子育てがしやすい」と「どちらかといえば子育てがしやすい」の合計）は 70.5%となっている。一方、『子育てがしにくい派』（「子育てがしにくい」と「どちらかといえば子育てがしにくい」の合計）は 29.5%で、『子育てがしやすい派』の方が『子育てがしにくい派』よりも 41.0 ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、平成 29 年度調査から『子育てがしやすい派』は 2.6 ポイント減少している。

性別にみると、『子育てがしやすい派』は男性（71.4%）の方が女性（69.3%）より 2.1 ポイント高くなっている。

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 10. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	子育てがしやすい	どちらかといえば子育てがしやすい	どちらかといえば子育てがしにくい	子育てがしにくい	無回答	子育てがしやすい派	子育てがしにくい派
全体		129	16	75	33	5	91	38	
		100.0	12.4	58.1	25.6	3.9	70.5	29.5	
性別	男性	49	14.3	57.1	26.5	2.0	71.4	28.6	
	女性	78	10.3	59.0	25.6	5.1	69.2	30.8	
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	100.0	-	
年代別	20歳代	6	16.7	50.0	33.3	-	66.7	33.3	
	30歳代	39	12.8	53.8	30.8	2.6	66.7	33.3	
	40歳代	59	8.5	61.0	27.1	3.4	69.5	30.5	
	50歳代	9	11.1	55.6	22.2	11.1	66.7	33.3	
	60歳代	8	12.5	75.0	12.5	-	87.5	12.5	
	70歳代以上	7	28.6	57.1	-	14.3	85.7	14.3	
	無回答	1	100.0	-	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	16	12.5	43.8	37.5	6.3	56.3	43.8	
	太宰府東小学校区	15	20.0	66.7	6.7	6.7	86.7	13.3	
	太宰府南小学校区	9	-	44.4	44.4	11.1	44.4	55.6	
	水城小学校区	22	9.1	59.1	31.8	-	68.2	31.8	
	水城西小学校区	26	15.4	53.8	30.8	-	69.2	30.8	
	太宰府西小学校区	19	5.3	78.9	10.5	5.3	84.2	15.8	
	国分小学校区	15	13.3	53.3	26.7	6.7	66.7	33.3	
	わからない	6	16.7	66.7	16.7	-	83.3	16.7	
	無回答	1	100.0	-	-	-	100.0	-	

2. 高齢者福祉の推進

(1) 生きがいの実感(問 11)

- 生きがいを感じている『充実派』は 76.9%となっている。

生きがいの実感について、生きがいを感じている『充実派』（「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は 76.9%で、7 割以上が『充実』と感じている。一方、『不満派』（「全く感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計）は 20.6%となっている。

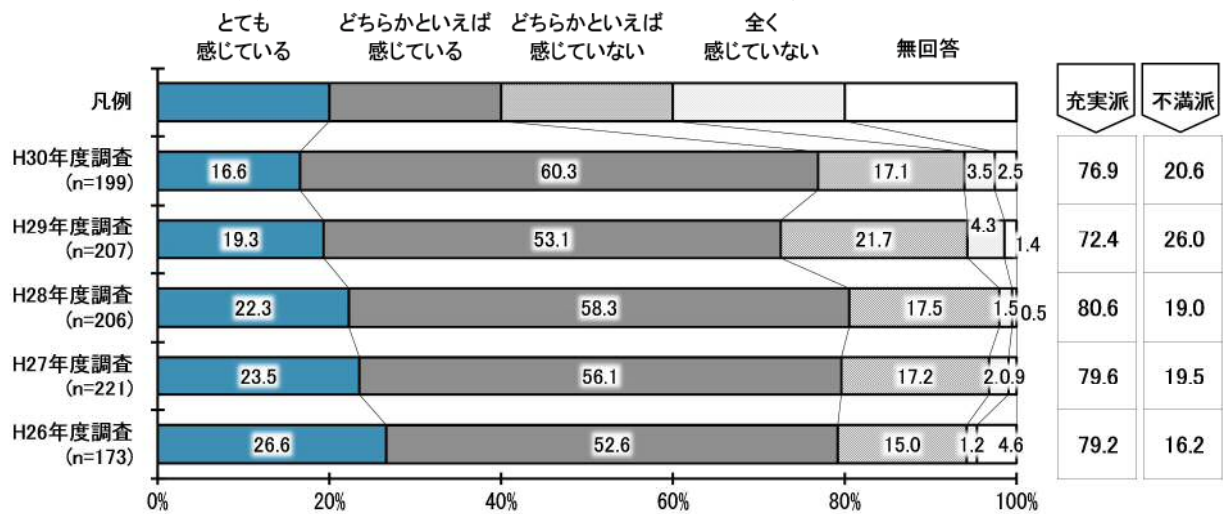
過去の調査結果と比べると、『充実派』は平成 29 年度調査から 4.5 ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』は男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、『充実派』は、60 歳代（72.7%）より 70 歳以上（78.9%）の方が割合が高くなっている。

【65 歳以上の方だけにおたずねします】

問 11. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。（○は 1 つ）



		標本数	とても感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	全く感じていない	無回答	充実派 (%)	不満派 (%)
全 体		199	33	120	34	7	5	153	41
		100.0	16.6	60.3	17.1	3.5	2.5	76.9	20.6
性別	男 性	89	13.5	62.9	13.5	5.6	4.5	76.4	19.1
	女 性	106	17.9	59.4	20.8	1.9	-	77.4	22.6
	無回答	4	50.0	25.0	-	-	25.0	75.0	-
年代別	60歳代	66	19.7	53.0	19.7	7.6	-	72.7	27.3
	70歳以上	133	15.0	63.9	15.8	1.5	3.8	78.9	17.3
小学校区別	太宰府小学校区	47	12.8	66.0	14.9	2.1	4.3	78.7	17.0
	太宰府東小学校区	25	8.0	72.0	20.0	-	-	80.0	20.0
	太宰府南小学校区	26	26.9	46.2	26.9	-	-	73.1	26.9
	水城小学校区	30	26.7	53.3	16.7	3.3	-	80.0	20.0
	水城西小学校区	22	9.1	63.6	18.2	4.5	4.5	72.7	22.7
	太宰府西小学校区	12	25.0	58.3	8.3	8.3	-	83.3	16.7
	国分小学校区	23	13.0	69.6	8.7	4.3	4.3	82.6	13.0
	わからない	8	12.5	50.0	12.5	25.0	-	62.5	37.5
無回答		6	16.7	33.3	33.3	-	16.7	50.0	33.3

(2)高齢者福祉サービスの充実度(問 12)

- 高齢者福祉サービスについて、『充実派』は 18.2%、『不足派』は 24.6%となっている。

高齢者福祉サービスの充実度について、『充実派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は 18.2%となっている。一方、『不足派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は 24.6%で、『不足派』の方が『充実派』より高くなっている。

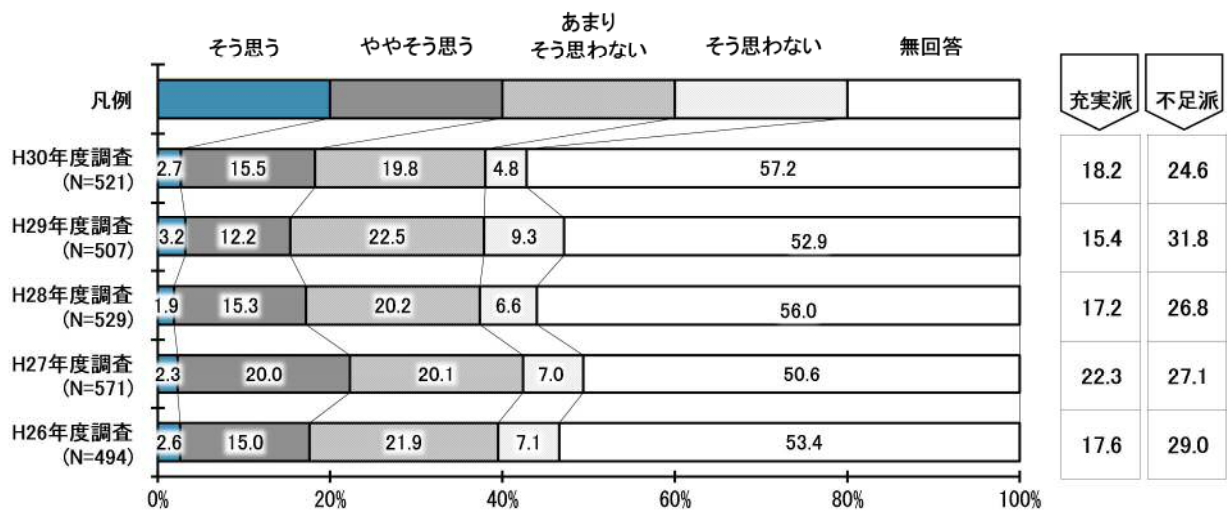
過去の調査結果と比べると、『充実派』は平成 29 年度調査から 2.8 ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』は女性（20.3%）の方が男性（16.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『充実派』は 60 歳代（30.1%）と 70 歳以上（32.3%）が他の年代に比べて高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で『不足派』の方が『充実派』よりも高く、特に太宰府東小学校区（42.0%）では『不足派』が 4 割以上となっている。

問 12. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。（○は 1 つ）



								(%)	
		標 本 数	そ う 思 う	う や や そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	無 回 答	充 実 派	不 足 派
全 体		521 100.0	14 2.7	81 15.5	103 19.8	25 4.8	298 57.2	95 18.2	128 24.6
性 別	男 性	215	2.8	13.5	21.9	6.0	55.8	16.3	27.9
	女 性	296	2.7	17.6	17.2	3.4	59.1	20.3	20.6
	無回答	10	-	-	50.0	20.0	30.0	-	70.0
年 代 別	20歳代	32	3.1	9.4	9.4	3.1	75.0	12.5	12.5
	30歳代	58	-	5.2	5.2	-	89.7	5.2	5.2
	40歳代	95	2.1	3.2	7.4	-	87.4	5.3	7.4
	50歳代	82	-	7.3	7.3	1.2	84.1	7.3	8.5
	60歳代	113	5.3	24.8	24.8	6.2	38.9	30.1	31.0
	70歳代以上	133	3.8	28.6	41.4	11.3	15.0	32.3	52.6
	無回答	8	-	-	12.5	12.5	75.0	-	25.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	2.0	20.8	22.8	5.9	48.5	22.8	28.7
	太宰府東小学校区	50	2.0	14.0	34.0	8.0	42.0	16.0	42.0
	太宰府南小学校区	50	6.0	28.0	12.0	6.0	48.0	34.0	18.0
	水城小学校区	87	1.1	14.9	18.4	3.4	62.1	16.1	21.8
	水城西小学校区	67	3.0	11.9	17.9	-	67.2	14.9	17.9
	太宰府西小学校区	46	-	8.7	19.6	2.2	69.6	8.7	21.7
	国分小学校区	58	1.7	15.5	19.0	10.3	53.4	17.2	29.3
	わからない	48	8.3	8.3	12.5	2.1	68.8	16.7	14.6
無回答		14	-	7.1	21.4	7.1	64.3	7.1	28.6

(3)高齢者福祉サービスの充実度に対する理由(問 12 付問 1)

問 12 付問 1. なぜそう思うのか理由を記入してください。

校区	性別	年代	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実していると思う理由（「そう思う」「ややそう思う」を選択した方の回答）			
太宰府	男性	40代	デイサービスなどで補助がある
太宰府	男性	50代	養父が利用していたので
太宰府	男性	70代以上	未だ施設を利用したことがない
太宰府	男性	70代以上	福祉協議会、老人センターなどが近くにあり助かる
太宰府	男性	70代以上	近くに老人ホーム等がある
太宰府	女性	50代	市報をみている限りでは、なんとなく、いきいき情報センターやルミナス？
太宰府	女性	60代	もう少しサービスがありますというのを知らせてほしい所もあります
太宰府	女性	70代以上	まほろばが多く交通はうまく利用できれば町の行き来は充分です。
太宰府	女性	70代以上	近くに医療機関との連携がなされているし情報も入りやすい。
太宰府	女性	70代以上	まだ利用したことがないので
太宰府東	男性	30代	高齢の方々がいきいきしているように感じます
太宰府東	男性	50代	母が福祉サービスを受けているから
太宰府東	女性	40代	サークル、公園が多い
太宰府東	女性	60代	詳しい事を知らないから
太宰府東	女性	60代	母が介護４で施設に入っていました、大変お世話になりました。
太宰府東	女性	70代以上	ふれあいサロンに参加していますが、会長さんはじめスタッフの方に感謝しています。
太宰府南	男性	60代	文化活動、サークル活動が多い
太宰府南	男性	60代	今のところ親から不満が出ていない
太宰府南	男性	60代	福祉サービスを行う施設が多い
太宰府南	女性	60代	老人クラブなどで楽しく遊んでいるから
太宰府南	女性	70代以上	広報などをみてサービスを知る
太宰府南	女性	70代以上	友人の話を聞くと私たちは恵まれているように思う。
太宰府南	女性	70代以上	現在おかげさまで健康のためあまりサービスを利用していないため
太宰府南	女性	70代以上	市というより区の公民館行事等みていると楽しそうに心待ちにしている方がたくさんいらっしゃいます。
太宰府南	女性	70代以上	他の地域の方から話を聞くと少し遅れていると思う。
太宰府南	女性	70代以上	健康体操、健康講座など良い企画だと思う
太宰府南	女性	70代以上	今行っている施設が良いから
水城	男性	60代	元気づくりポイント事業が充実していると思います。
水城	男性	70代以上	入所時の対応が早かった
水城	男性	70代以上	自宅からスーパーへの買い物と交通が不便
水城	男性	70代以上	各自自治体において長年取り組んでおりそれなりに充実しているのでは（財政の許す限り）
水城	男性	70代以上	文化活動が盛んで、高齢者をよく遊ばせる。無料の音楽会などが他の市より大きい。
水城	男性	70代以上	利用したことが無いから分からない
水城	女性	60代	他の市町村の事を知らないので比較できない、あるものでいいと思う。
水城	女性	70代以上	両親が父９５歳、母９３歳で介護でオムツ代が大変だったのですが、１ヵ月一人６０００円分オムツがもらえるので助かっています。
水城	女性	70代以上	ひまわり会
水城西	男性	30代	祖母が支援を受けているから
水城西	女性	50代	近隣市より高齢者が多いように思います。実際何が（サービス）行われているのか知りませんが、少なくとも働く世代へのサービスは少ない市だと思います。（町内会でも老人の催し物ばかり）
水城西	女性	60代	福祉サービスを使っていないので分からないというのが本当
水城西	女性	70代以上	高齢者サービスを受けていないので身近に感じてなくて分からない
太宰府西	男性	70代以上	自治会組織への支援
太宰府西	女性	60代	デイサービスや高齢者住宅も多いように思う

校区	性別	年代	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実していると思う理由（「そう思う」「ややそう思う」を選択した方の回答）（つづき）			
国分	男性	60代	自分が知っている範囲で困っている人は見えないし、裕福に暮らしている人が大多数である。
国分	男性	70代以上	福祉関係が動きが早い
国分	女性	50代	要支援2の母が1月に亡くなりました。が、その前に介護の面でトイレの補助的な道具、その他の家の中の柱（つかまる木）がしてあり、他の市と比べてないですが、ありがたい事だと思っていました。
国分	女性	60代	民生委員の方の活動をみていて高齢者も見守ってあるのでいろいろサービスを聞く
国分	女性	70代以上	元気作りポイントカードの実施（歩こう会の実施を含む）で目的がある。自治会との連携がやや良いと思います。
わからない	男性	40代	施設が多い
わからない	男性	60代	企業が少ないので役所は予算を大事に
わからない	女性	50代	よくデイケアの車を見かける
わからない	女性	60代	現在、母がデイサービスを利用しているが、スタッフの方もケアマネージャーの方もとても親身になって、相談しやすい

校区	性別	年代	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実していないと思う理由（「そう思わない」「あまりそう思わない」を選択した方の回答）			
太宰府	男性	40代	PR活動的なものが不足しているのではないかな
太宰府	男性	70代以上	福祉施設、介護施設が少ない
太宰府	男性	70代以上	福祉サービスを受けていない
太宰府	男性	70代以上	交通、道路の整備及び標示。高齢者のための施設が一か所にあり地方の人は利用しにくい。
太宰府	男性	70代以上	行政側は他市との比較でどう思うのか
太宰府	男性	70代以上	他地域に少し劣っている
太宰府	女性	50代	親が84歳で全くの元気なので高齢者福祉サービスを利用することがない
太宰府	女性	50代	まほろば号にシニア割引がない。高齢者に対して親切な説明がない。
太宰府	女性	60代	情報提供が充分でない気がする。高齢者自身が何もわからないので家族に具体的な情報を親身になって提供してくれる機関があればよいのに。
太宰府	女性	60代	特定の人にしかいきわたっていない
太宰府	女性	70代以上	サービスを受けた事がないので分からない
太宰府	女性	70代以上	特にサービスがあるとは思えない
太宰府	女性	70代以上	福祉サービスにばらつきがある。何を基準に対応しているのかはっきり見えない、例えば要介護でも判断基準がどうなるか過去からでもみうけられる。
太宰府東	男性	18～20代	施設が少ない、坂が多いのにバスの本数が少ないと聞いた
太宰府東	男性	60代	高齢者サービスを受けていないので内容を理解していない。地域の包括支援サービスの構築が遅れている
太宰府東	男性	70代以上	利用したことが無いから分からない
太宰府東	男性	70代以上	高齢者福祉サービスとは何か理解できない
太宰府東	男性	70代以上	市の高齢者福祉サービスの車両を見かけない
太宰府東	男性	70代以上	筑紫野市の友人と話すうち、太宰府には老人大学や生涯学習について充実していない感じを受けた。知らないだけかもしれませんが広報とかによる紹介がないので。
太宰府東	男性	70代以上	福岡市内の乗り物無料などのサービスがない
太宰府東	男性	70代以上	サービスが少ない、多種のサービスを。
太宰府東	女性	60代	社会福祉協議会は民間企業であるにも関わらずまるで官庁的発想から脱却していた。
太宰府東	女性	70代以上	交通の便が悪い
太宰府東	女性	70代以上	まだ利用していないので分からない
太宰府東	女性	70代以上	住民の意見を述べるところがない
太宰府南	男性	60代	お茶、菓子を食べながら読書する場所がない
太宰府南	女性	30代	思いつかないから
太宰府南	女性	70代以上	タクシー代の補助など他の市町村に比べて劣っている。

校区	性別	年代	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実していないと思う理由（「そう思わない」「あまりそう思わない」を選択した方の回答）（つづき）			
水城	男性	60代	他の市区町村と比較したことがないため分からない
水城	男性	60代	高齢者サービスを具体的に知らない
水城	男性	70代以上	サービスを受けた事はなく、その関係資料も持たない
水城	男性	70代以上	あまり意識していなかった
水城	女性	30代	筑紫野みたいなカミーリアなどの施設がない、お店や（大きい）病院が少ない
水城	女性	70代以上	若い人中心だと思います
水城	女性	70代以上	福岡市にくらべて交通費の割引が全くない
水城	女性	70代以上	あまり関係していないし自分がまだ経験していないため
水城	女性	70代以上	未だ現実にサービスを受けていない
水城	女性	70代以上	高齢者でも元気な人には充実しているかと思いますが家に閉じこもりの方々も多いと思う。
水城西	男性	18～20代	太宰府市全域に広がっていないと思うから
水城西	男性	60代	実感がないため
水城西	女性	70代以上	外出しやすいように在宅の方への声かけ、お誘いの手段交通（財政的に無理かも）まほろば号の便数
水城西	女性	70代以上	包括支援センターなどが少ない
水城西	女性	70代以上	他市に比べて福祉サービスが充実してとは思えない
太宰府西	男性	60代	どういうサービスがあるのか分からない
太宰府西	男性	60代	福祉サービスを受けていないので分からない
太宰府西	男性	60代	福祉サービスを受けている実感がない
太宰府西	男性	70代以上	福祉サービスの内容がよく分からない
太宰府西	男性	70代以上	サービスを受けていないので分からない
太宰府西	男性	70代以上	福祉サービスの内容が理解できていない目が少々不自由なため書類など見ていない。市民へのPRを。
太宰府西	女性	50代	高齢者が多すぎてサービスが行き届かない
太宰府西	女性	60代	周りでサービスが充実しているということを聞かないから
太宰府西	女性	70代以上	年金生活の中から介護保険料を払っていますが、実際に病気の時必要に生かされているのか心配です。
太宰府西	女性	70代以上	福祉サービスを利用したことが無い
国分	男性	18～20代	あふれている
国分	男性	70代以上	年1回の検診の内容をもっと充実してほしい
国分	男性	70代以上	福岡市の友人などの話を聞くと例えばバス優待制度など太宰府より多くありそう
国分	男性	70代以上	高齢者に対する福利厚生のなものが無い
国分	女性	50代	太宰府市を信用していないため。市民の税金を大切に使われているのか？高齢者と限定せず、児童等、子どもに対するサービスも福岡市と比べて遅れていると思われます。
国分	女性	60代	どういうサービスがあるのか分からない
国分	女性	60代	足が痛いのですが、今までも高齢者向けの身体を動かす内容の声かけを耳にしない。
国分	女性	70代以上	福岡市に比べて公共交通機関の無料回数券や施設の割引券等サービスが不足しているのでは。
わからない	男性	60代	サービスを受けたことがない
わからない	女性	40代	あまり耳にしない
わからない	女性	40代	近所の高齢者の方々と話をする機会も少なく、充実しているかどうか分からない。
不明	男性	60代	福祉サービスを受けている実感がない
不明	不明	不明	福祉サービスに何があるかわからない、福祉に対してPR不足では？

校区	性別	年代	高齢者福祉サービスの充実度に対する理由
●充実度 無回答			
太宰府	女性	60代	まだ活用したことがないので分からない
太宰府	女性	70代以上	まだサービスを受けていないので分からないが友人から聞いた
太宰府東	女性	70代以上	サービスを受けていないので分からない
太宰府南	男性	60代	サービスを受けていないので分からない
水城	女性	60代	わからない、まだ自分自身歳を取っている感覚がないから
水城西	男性	70代以上	市が主体でやっている高齢者福祉サービスがよくわからない。民間のボランティアグループ活動を楽しんでいる
不明	女性	60代	まだ考えたことが無い

3. 障がい福祉の推進

(1) 障がい福祉サービスの充実度(問 13)

- 障がい福祉サービスについて『不足派』は 25.7%で、『充実派』(14.4%) よりも高い。

障がい福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 14.4%、『不足派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 25.7%で、『不足派』の方が『充実派』より高くなっている。

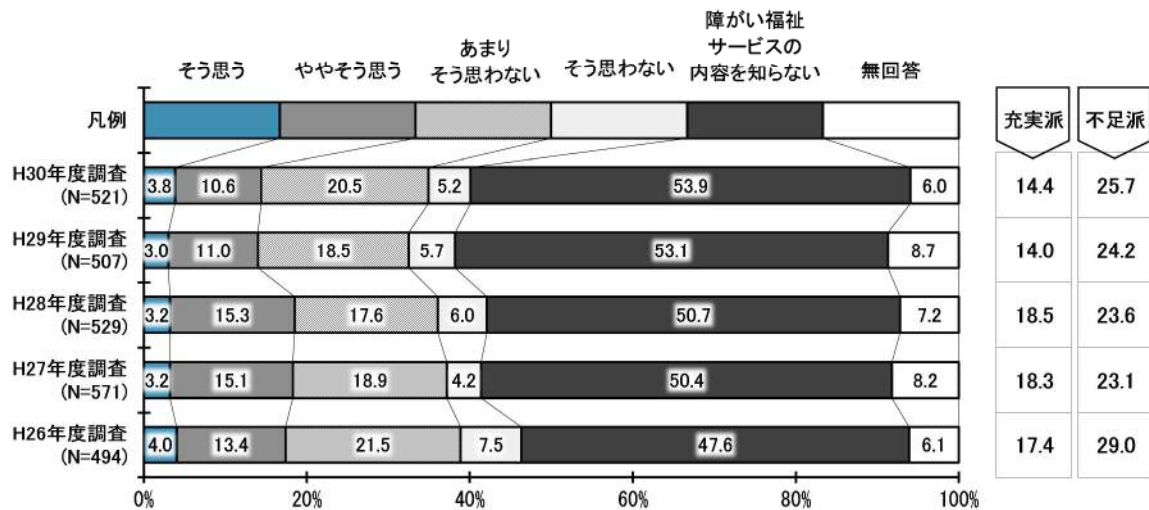
過去の調査結果と比べると、平成 29 年度調査から『不足派』は 1.5 ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』は女性 (17.2%) の方が男性 (10.7%) より高くなっている。

年代別にみると、『不足派』は 30 歳代を除くすべての年代で、2 割以上となっている。なお、最も高いのは 70 歳代以上 (31.6%) となっている。

小学校区別にみると、『充実派』が最も高くなっているのは太宰府南小学校区 (26.0%) となっている。一方、『不足派』が最も高くなっているのは太宰府西小学校区 (37.0%) となっている。

問 13. あなたは太宰府市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(〇は 1 つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	障がい福祉サービスの内容を知らない	無回答	充実派 (%)	不足派 (%)
全 体		521	20	55	107	27	281	31	75	134
性別	男 性	215	4.7	6.0	22.3	6.5	54.0	6.5	10.7	28.8
	女 性	296	3.4	13.9	19.6	4.4	53.7	5.1	17.2	24.0
	無回答	10	-	10.0	10.0	-	60.0	20.0	10.0	10.0
年代別	20歳代	32	6.3	3.1	25.0	3.1	62.5	-	9.4	28.1
	30歳代	58	5.2	12.1	13.8	1.7	58.6	8.6	17.2	15.5
	40歳代	95	2.1	5.3	21.1	5.3	64.2	2.1	7.4	26.3
	50歳代	82	2.4	12.2	19.5	6.1	51.2	8.5	14.6	25.6
	60歳代	113	4.4	12.4	15.9	8.8	52.2	6.2	16.8	24.8
	70歳代以上	133	4.5	12.8	27.8	3.8	45.1	6.0	17.3	31.6
	無回答	8	-	12.5	-	-	62.5	25.0	12.5	-
小学校区別	太宰府小学校区	101	4.0	14.9	16.8	4.0	54.5	5.9	18.8	20.8
	太宰府東小学校区	50	-	6.0	26.0	2.0	60.0	6.0	6.0	28.0
	太宰府南小学校区	50	4.0	22.0	10.0	8.0	50.0	6.0	26.0	18.0
	水城小学校区	87	5.7	5.7	19.5	4.6	56.3	8.0	11.5	24.1
	水城西小学校区	67	3.0	7.5	25.4	3.0	55.2	6.0	10.4	28.4
	太宰府西小学校区	46	2.2	10.9	30.4	6.5	47.8	2.2	13.0	37.0
	国分小学校区	58	6.9	5.2	22.4	10.3	51.7	3.4	12.1	32.8
	わからない	48	4.2	14.6	18.8	6.3	54.2	2.1	18.8	25.0
	無回答	14	-	7.1	14.3	-	50.0	28.6	7.1	14.3

(2) 公共施設の弱者への配慮(問 14)

- 公共施設の配慮について『否定派』は 32.8%で、『肯定派』(27.2%) よりも高い。

公共施設の弱者への配慮について、配慮されているという『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 27.2%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 32.8%となっており、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

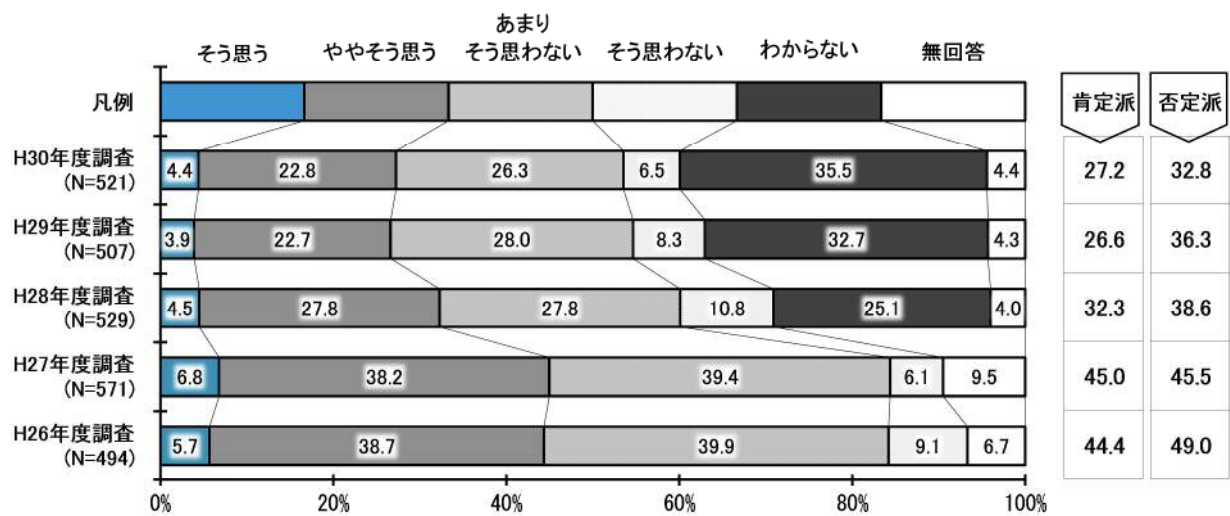
過去の調査結果と比べると、『否定派』は減少傾向になっている。

性別にみると、『肯定派』は女性(29.4%)の方が男性(25.1%)よりも高くなっている。

年代別にみると、20 歳代の『肯定派』が 40.6%と高い割合となっているものの、その他の年代では『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』が『肯定派』より高くなっている。

問 14. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(〇は1つ)



※「わからない」は、H28年度調査より追加された項目

		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	(%)	
全 体		521	23	119	137	34	185	23	142	171
		100.0	4.4	22.8	26.3	6.5	35.5	4.4	27.2	32.8
性別	男 性	215	4.7	20.5	27.9	5.6	36.3	5.1	25.1	33.5
	女 性	296	4.4	25.0	25.7	7.1	34.5	3.4	29.4	32.8
	無回答	10	-	10.0	10.0	10.0	50.0	20.0	10.0	20.0
年代別	20歳代	32	6.3	34.4	25.0	3.1	31.3	-	40.6	28.1
	30歳代	58	5.2	20.7	24.1	5.2	37.9	6.9	25.9	29.3
	40歳代	95	3.2	21.1	27.4	6.3	40.0	2.1	24.2	33.7
	50歳代	82	3.7	24.4	29.3	4.9	31.7	6.1	28.0	34.1
	60歳代	113	3.5	17.7	23.9	8.0	42.5	4.4	21.2	31.9
	70歳代以上	133	6.0	25.6	27.8	8.3	27.8	4.5	31.6	36.1
	無回答	8	-	25.0	12.5	-	50.0	12.5	25.0	12.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	6.9	21.8	29.7	4.0	33.7	4.0	28.7	33.7
	太宰府東小学校区	50	2.0	22.0	22.0	6.0	44.0	4.0	24.0	28.0
	太宰府南小学校区	50	-	30.0	26.0	10.0	30.0	4.0	30.0	36.0
	水城小学校区	87	5.7	17.2	19.5	8.0	43.7	5.7	23.0	27.6
	水城西小学校区	67	3.0	23.9	32.8	3.0	31.3	6.0	26.9	35.8
	太宰府西小学校区	46	-	23.9	34.8	4.3	37.0	-	23.9	39.1
	国分小学校区	58	6.9	25.9	27.6	12.1	24.1	3.4	32.8	39.7
	わからない	48	8.3	25.0	18.8	8.3	37.5	2.1	33.3	27.1
	無回答	14	-	14.3	21.4	-	42.9	21.4	14.3	21.4

(3)民間施設の弱者への配慮(問 15)

- 民間施設の配慮について『否定派』は39.4%で、『肯定派』(19.8%)よりも高い。

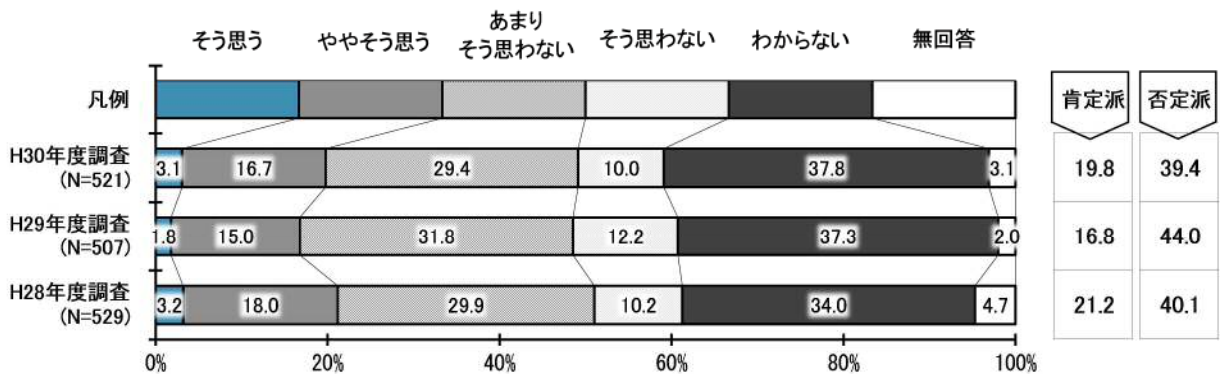
民間施設の弱者への配慮について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は19.8%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は39.4%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

性別にみると、『否定派』は男性(40.9%)の方が女性(37.8%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代の『肯定派』が37.5%と高い割合となっているものの、その他のすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。特に、太宰府西小学校区は『否定派』が50.0%と高い割合となっている。

問 15. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	わからない	無回答	(%)	
全体		521	16	87	153	52	197	16	103	205
		100.0	3.1	16.7	29.4	10.0	37.8	3.1	19.8	39.4
性別	男性	215	2.8	16.3	31.2	9.8	37.7	2.3	19.1	40.9
	女性	296	3.4	17.2	27.7	10.1	38.2	3.4	20.6	37.8
	無回答	10	-	10.0	40.0	10.0	30.0	10.0	10.0	50.0
年代別	20歳代	32	6.3	31.3	28.1	3.1	31.3	-	37.5	31.3
	30歳代	58	3.4	15.5	27.6	5.2	41.4	6.9	19.0	32.8
	40歳代	95	-	16.8	32.6	11.6	37.9	1.1	16.8	44.2
	50歳代	82	2.4	19.5	28.0	8.5	36.6	4.9	22.0	36.6
	60歳代	113	2.7	12.4	26.5	14.2	43.4	0.9	15.0	40.7
	70歳代以上	133	5.3	15.8	32.3	9.0	33.8	3.8	21.1	41.4
	無回答	8	-	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	37.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	5.9	15.8	29.7	10.9	36.6	1.0	21.8	40.6
	太宰府東小学校区	50	-	12.0	30.0	12.0	44.0	2.0	12.0	42.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	30.0	24.0	8.0	30.0	6.0	32.0	32.0
	水城小学校区	87	2.3	10.3	25.3	8.0	49.4	4.6	12.6	33.3
	水城西小学校区	67	4.5	16.4	32.8	7.5	35.8	3.0	20.9	40.3
	太宰府西小学校区	46	-	17.4	37.0	13.0	30.4	2.2	17.4	50.0
	国分小学校区	58	5.2	19.0	29.3	13.8	31.0	1.7	24.1	43.1
	わからない	48	2.1	20.8	27.1	8.3	39.6	2.1	22.9	35.4
無回答		14	-	7.1	35.7	7.1	35.7	14.3	7.1	42.9

(4)交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況(問 16)

- 移動手段の確保について『否定派』は52.8%で、『肯定派』(21.1%)よりも高い。

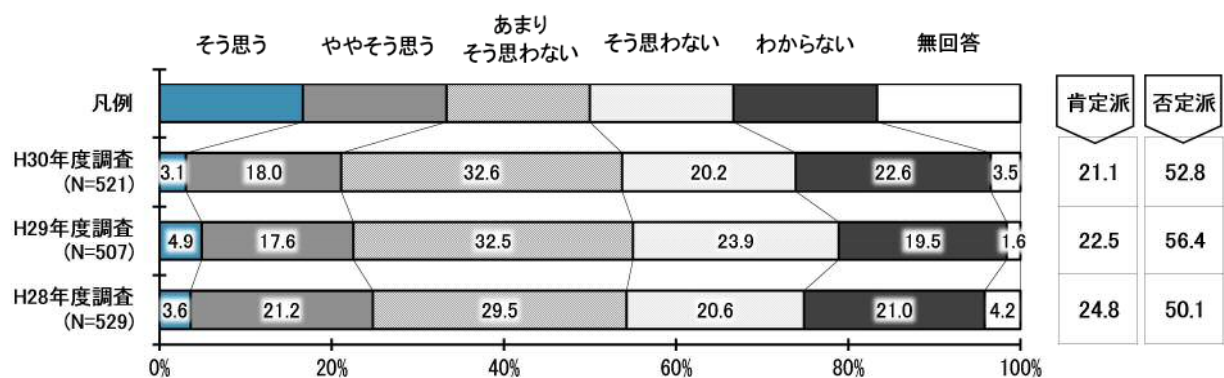
交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は21.1%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は52.8%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

性別にみると、『否定派』は男性(55.3%)の方が女性(51.4%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 16. あなたは太宰府市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全 体		521	16	94	170	105	118	18	110	275
		100.0	3.1	18.0	32.6	20.2	22.6	3.5	21.1	52.8
性別	男 性	215	1.9	19.5	32.6	22.8	20.0	3.3	21.4	55.3
	女 性	296	4.1	16.9	33.1	18.2	24.3	3.4	20.9	51.4
	無回答	10	-	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	20.0	40.0
年代別	20歳代	32	9.4	37.5	28.1	6.3	18.8	-	46.9	34.4
	30歳代	58	3.4	15.5	36.2	12.1	25.9	6.9	19.0	48.3
	40歳代	95	1.1	13.7	34.7	16.8	31.6	2.1	14.7	51.6
	50歳代	82	1.2	15.9	36.6	28.0	13.4	4.9	17.1	64.6
	60歳代	113	6.2	11.5	31.9	19.5	30.1	0.9	17.7	51.3
	70歳代以上	133	1.5	24.1	30.1	25.6	14.3	4.5	25.6	55.6
	無回答	8	-	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	4.0	28.7	30.7	19.8	14.9	2.0	32.7	50.5
	太宰府東小学校区	50	-	18.0	32.0	26.0	22.0	2.0	18.0	58.0
	太宰府南小学校区	50	-	16.0	32.0	24.0	22.0	6.0	16.0	56.0
	水城小学校区	87	4.6	8.0	24.1	17.2	41.4	4.6	12.6	41.4
	水城西小学校区	67	1.5	14.9	41.8	19.4	19.4	3.0	16.4	61.2
	太宰府西小学校区	46	2.2	23.9	37.0	21.7	13.0	2.2	26.1	58.7
	国分小学校区	58	5.2	13.8	43.1	22.4	13.8	1.7	19.0	65.5
	わからない	48	6.3	18.8	29.2	14.6	29.2	2.1	25.0	43.8
無回答		14	-	21.4	14.3	14.3	28.6	21.4	21.4	28.6

4. 地域福祉の推進(問 17)

- 地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』が 56.4%で、『肯定派』(36.5%) よりも高い。

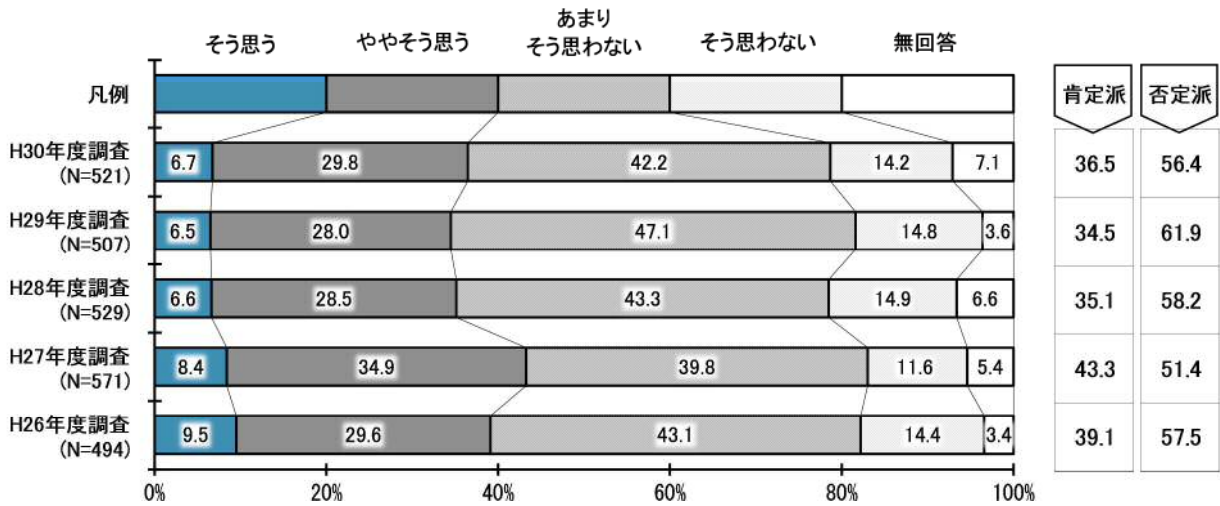
地域福祉の促進について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計) は 36.5%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計) は 56.4%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

性別にみると、男女とも、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』は 60 歳代 (28.3%) で最も低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区を除くすべての小学校区で『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

問 17. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は 1 つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		521	35	155	220	74	37	190	294
		100.0	6.7	29.8	42.2	14.2	7.1	36.5	56.4
性別	男性	215	6.5	27.0	45.1	16.3	5.1	33.5	61.4
	女性	296	7.1	32.4	39.5	12.5	8.4	39.5	52.0
	無回答	10	-	10.0	60.0	20.0	10.0	10.0	80.0
年代別	20歳代	32	6.3	34.4	43.8	12.5	3.1	40.6	56.3
	30歳代	58	6.9	31.0	41.4	6.9	13.8	37.9	48.3
	40歳代	95	7.4	34.7	35.8	14.7	7.4	42.1	50.5
	50歳代	82	4.9	28.0	45.1	17.1	4.9	32.9	62.2
	60歳代	113	6.2	22.1	48.7	16.8	6.2	28.3	65.5
	70歳代以上	133	8.3	33.1	39.8	12.8	6.0	41.4	52.6
	無回答	8	-	12.5	37.5	25.0	25.0	12.5	62.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	7.9	36.6	39.6	8.9	6.9	44.6	48.5
	太宰府東小学校区	50	14.0	28.0	42.0	8.0	8.0	42.0	50.0
	太宰府南小学校区	50	8.0	28.0	46.0	14.0	4.0	36.0	60.0
	水城小学校区	87	2.3	20.7	46.0	20.7	10.3	23.0	66.7
	水城西小学校区	67	9.0	23.9	50.7	13.4	3.0	32.8	64.2
	太宰府西小学校区	46	8.7	45.7	34.8	6.5	4.3	54.3	41.3
	国分小学校区	58	3.4	29.3	43.1	19.0	5.2	32.8	62.1
	わからない	48	4.2	33.3	31.3	22.9	8.3	37.5	54.2
無回答		14	-	14.3	42.9	14.3	28.6	14.3	57.1

5. 生涯健康づくりの推進

(1)健康状態(問 18)

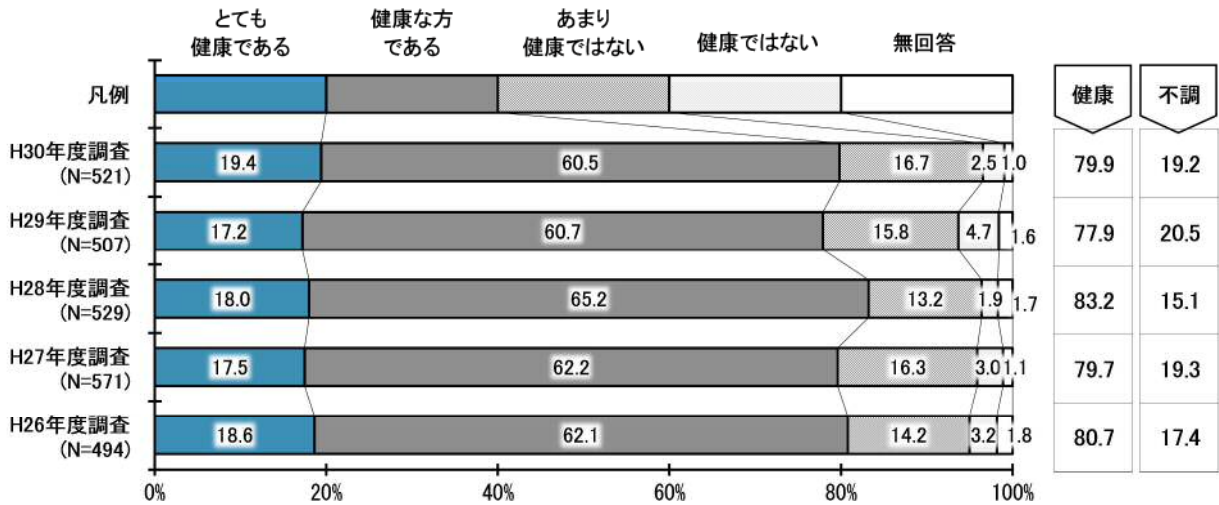
- ここ数週間の健康状態は『健康』は 79.9%、『不調』は 19.2%となっている。

ここ数週間の健康状態について、『健康』（「とても健康である」と「健康な方である」の合計）は 79.9%、一方、『不調』（「健康ではない」と「あまり健康ではない」の合計）は 19.2%で、『健康』が 8 割近くと高くなっている。

性別にみると、『健康』は女性（82.1%）の方が男性（77.2%）より高くなっている。

年代別にみると、『不調』は 60 歳代以上の年代で 2 割を超えている。

問 18. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。（○は 1 つ）



		標本数	とても健康である	健康な方である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	健康 (%)	不調 (%)
全 体		521	101	315	87	13	5	416	100
		100.0	19.4	60.5	16.7	2.5	1.0	79.9	19.2
性別	男 性	215	18.6	58.6	20.0	1.9	0.9	77.2	21.9
	女 性	296	20.6	61.5	14.2	3.0	0.7	82.1	17.2
	無回答	10	-	70.0	20.0	-	10.0	70.0	20.0
年代別	20歳代	32	40.6	46.9	9.4	3.1	-	87.5	12.5
	30歳代	58	31.0	55.2	12.1	-	1.7	86.2	12.1
	40歳代	95	22.1	64.2	11.6	2.1	-	86.3	13.7
	50歳代	82	22.0	62.2	11.0	3.7	1.2	84.1	14.6
	60歳代	113	12.4	59.3	22.1	5.3	0.9	71.7	27.4
	70歳代以上	133	12.8	63.9	21.8	0.8	0.8	76.7	22.6
	無回答	8	-	50.0	37.5	-	12.5	50.0	37.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	19.8	65.3	12.9	1.0	1.0	85.1	13.9
	太宰府東小学校区	50	16.0	54.0	26.0	2.0	2.0	70.0	28.0
	太宰府南小学校区	50	26.0	60.0	14.0	-	-	86.0	14.0
	水城小学校区	87	20.7	54.0	19.5	4.6	1.1	74.7	24.1
	水城西小学校区	67	19.4	64.2	13.4	3.0	-	83.6	16.4
	太宰府西小学校区	46	32.6	52.2	15.2	-	-	84.8	15.2
	国分小学校区	58	8.6	77.6	12.1	1.7	-	86.2	13.8
	わからない	48	14.6	54.2	20.8	8.3	2.1	68.8	29.2
	無回答	14	14.3	50.0	28.6	-	7.1	64.3	28.6

(2)健康増進の取り組み状況(問 19)

- 健康増進のために取り組んでいるものが「ある」は 56.2%で、毎年 5 割以上で推移している。

健康増進のために日頃から取り組んでいるものについて、取り組んでいるものが「ある」と答えた割合は 56.2%、「ない」と答えた割合は 42.4%となっている。

過去の調査結果と比べると、「ある」の割合は、毎年 5 割以上で推移している。

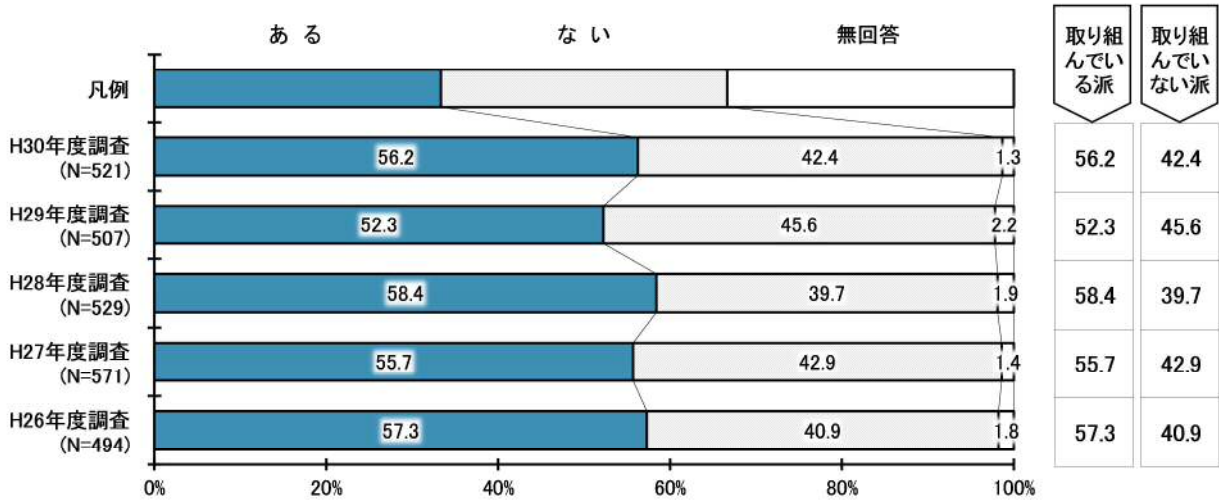
性別にみると、「ある」と答えた人の割合は女性 (56.8%) の方が男性 (55.3%) より高くなっている。

年代別にみると、50 歳代以上では、「ある」の方が「ない」の割合より高くなっている。一方、40 歳代以下では「ない」の方が「ある」の割合より高くなっている。

健康状態別にみると、健康な人ほど『取り組んでいる派』の割合が高く、健康状態と健康増進の取り組みで関連性がみられる。

小学校区別にみると、水城西小学校区を除くすべての小学校区で「ある」の方が「ない」より高くなっている。

問 19. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(〇は 1 つ)



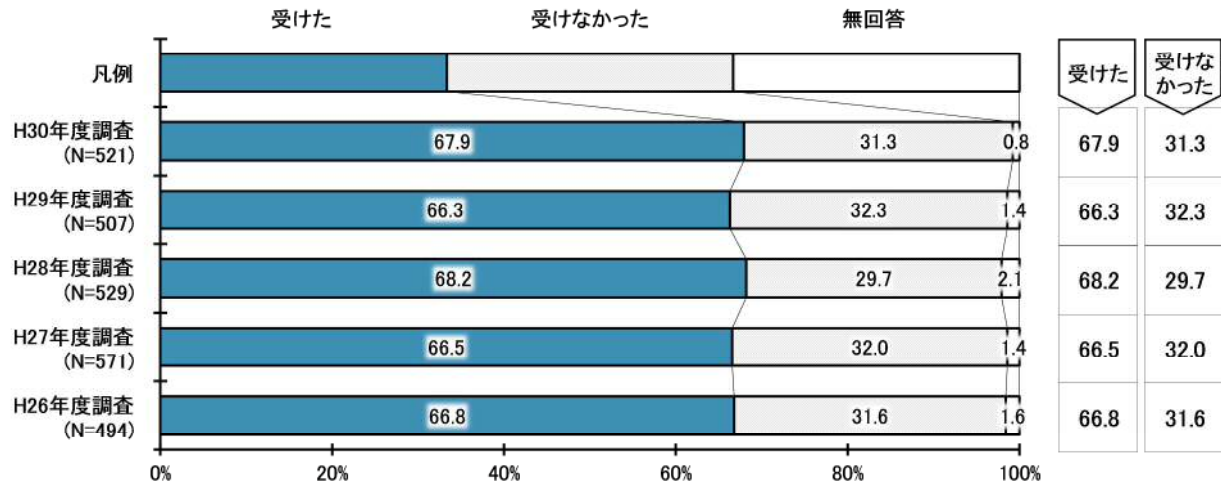
		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全 体		521	293	221	7
		100.0	56.2	42.4	1.3
性別	男 性	215	55.3	43.7	0.9
	女 性	296	56.8	42.2	1.0
	無回答	10	60.0	20.0	20.0
年代別	20歳代	32	37.5	62.5	-
	30歳代	58	39.7	58.6	1.7
	40歳代	95	47.4	52.6	-
	50歳代	82	53.7	43.9	2.4
	60歳代	113	61.1	36.3	2.7
	70歳代以上	133	71.4	28.6	-
	無回答	8	62.5	25.0	12.5
健康状態別	とても健康である	101	68.3	31.7	-
	健康な方である	315	55.6	43.8	0.6
	あまり健康でない	87	50.6	48.3	1.1
	健康ではない	13	30.8	69.2	-
小学校区別	無回答	5	20.0	-	80.0
	太宰府小学校区	101	58.4	40.6	1.0
	太宰府東小学校区	50	62.0	36.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	64.0	36.0	-
	水城小学校区	87	54.0	43.7	2.3
	水城西小学校区	67	47.8	52.2	-
	太宰府西小学校区	46	52.2	47.8	-
	国分小学校区	58	58.6	41.4	-
	わからない	48	62.5	35.4	2.1
	無回答	14	28.6	57.1	14.3

(3)健康診査の受診状況(問 20)

● この一年間の健康診査の受診率は 67.9%となっている。

健康診査の受診状況について、一年間の健康診査の受診状況をみると、「受けた」が 67.9%、「受けなかった」は 31.3%となっている。
過去の調査結果をみると、受診率は毎年 6 割以上で推移している。
性別・年代別にみると、女性の 20 歳代、30 歳代を除き、「受けた」の方が「受けなかった」より高くなっている。また、女性（60.1%）に比べて男性（78.6%）の受診率が高くなっている。
健康状態別に受診率をみると、「健康ではない」の受診率は 53.8%と低くなっている。
小学校区別にみると、すべての小学校区で、受診率は 6 割以上となっている。

問 20. あなたはこの一年間に、「健康診査」（がん検診、人間ドックを含む）を受けましたか。
（○は1つ）



		標本数	受けた	か受けたな	無回答
全 体		521	354	163	4
		100.0	67.9	31.3	0.8
性別	男 性	215	78.6	20.9	0.5
	女 性	296	60.1	39.2	0.7
	無回答	10	70.0	20.0	10.0
性別・年代別	男性:20歳代	14	64.3	35.7	-
	男性:30歳代	18	77.8	22.2	-
	男性:40歳代	41	78.0	22.0	-
	男性:50歳代	30	83.3	16.7	-
	男性:60歳代	50	82.0	16.0	2.0
	男性:70歳代以上	62	77.4	22.6	-
	女性:20歳代	18	33.3	66.7	-
	女性:30歳代	40	40.0	57.5	2.5
	女性:40歳代	54	68.5	31.5	-
	女性:50歳代	51	76.5	21.6	2.0
	女性:60歳代	62	64.5	35.5	-
	女性:70歳代以上	68	55.9	44.1	-
	無回答	13	69.2	23.1	7.7
健康状態別	とても健康である	101	69.3	30.7	-
	健康な方である	315	69.8	30.2	-
	あまり健康でない	87	64.4	35.6	-
	健康ではない	13	53.8	46.2	-
	無回答	5	20.0	-	80.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	73.3	26.7	-
	太宰府東小学校区	50	62.0	36.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	68.0	32.0	-
	水城小学校区	87	66.7	32.2	1.1
	水城西小学校区	67	68.7	31.3	-
	太宰府西小学校区	46	71.7	28.3	-
	国分小学校区	58	67.2	32.8	-
	わからない	48	66.7	31.3	2.1
	無回答	14	50.0	42.9	7.1

(4)健康推進事業の認知度(問 21)

- 健康推進事業の認知度は 39.2%となっている。

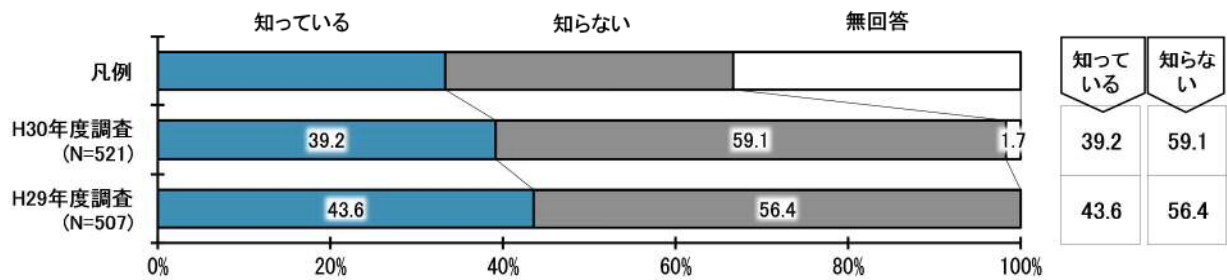
健康推進事業の認知度について、健康寿命の延伸を目的に元気づくりポイント事業を実施していることを「知っている」と答えた割合は 39.2%、「知らない」と答えた割合は 59.1%となっている。

性別・年代別にみると、認知度が最も高いのは男女ともに 70 歳代以上となっている。

健康状態別に受診率をみると、健康状態に関わらず、「知らない」の方が「知っている」の割合より高くなっている。

小学校区別にみると、最も認知度が高いのは太宰府小学校区 (56.4%) となっている。一方、最も認知度が低いのは水城西小学校区 (28.4%) となっている。

問 21. 市では、40 歳以上の市民を対象として、健康寿命の延伸を目的に元気づくりポイント事業を実施していますが、ご存じですか。(〇は 1 つ)



		(%)			
		標本数	知っている	知らない	無回答
全 体		521	204	308	9
		100.0	39.2	59.1	1.7
性別・年代別	男性:20歳代	14	7.1	92.9	-
	男性:30歳代	18	5.6	88.9	5.6
	男性:40歳代	41	22.0	75.6	2.4
	男性:50歳代	30	10.0	90.0	-
	男性:60歳代	50	24.0	76.0	-
	男性:70歳代以上	62	53.2	43.5	3.2
	女性:20歳代	18	11.1	77.8	11.1
	女性:30歳代	40	22.5	75.0	2.5
	女性:40歳代	54	40.7	59.3	-
	女性:50歳代	51	41.2	56.9	2.0
	女性:60歳代	62	59.7	40.3	-
	女性:70歳代以上	68	69.1	30.9	-
	無回答	13	53.8	38.5	7.7
健康状態別	とても健康である	101	35.6	62.4	2.0
	健康な方である	315	41.9	57.5	0.6
	あまり健康でない	87	34.5	64.4	1.1
	健康ではない	13	46.2	53.8	-
	無回答	5	-	20.0	80.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	56.4	42.6	1.0
	太宰府東小学校区	50	48.0	50.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	48.0	52.0	-
	水城小学校区	87	34.5	63.2	2.3
	水城西小学校区	67	28.4	68.7	3.0
	太宰府西小学校区	46	32.6	65.2	2.2
	国分小学校区	58	43.1	56.9	-
	わからない	48	10.4	89.6	-
	無回答	14	35.7	50.0	14.3

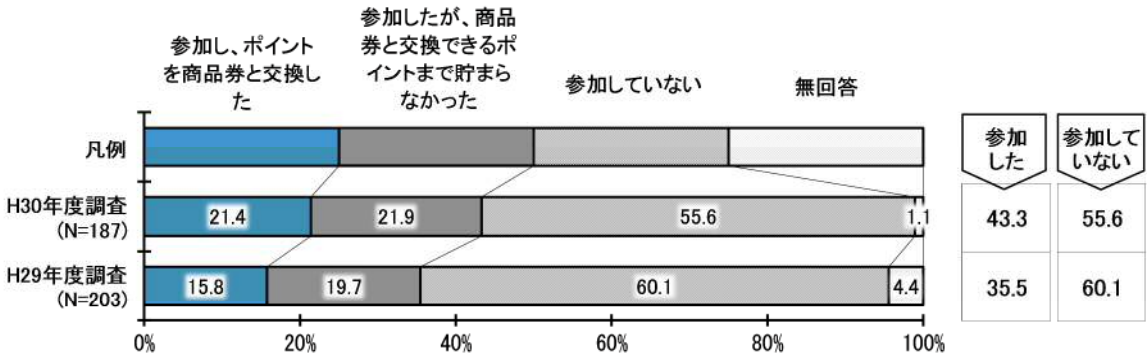
(5)健康推進事業の参加率(問 21 付問1)

- 健康推進事業の参加率は 43.3%となっている。

健康推進事業の参加率について、40 歳以上で元気づくりポイント事業の実施を知っている人のうち、『参加した』（「参加し、ポイントを商品券と交換した」と「参加したが、商品券と交換できるポイントまで貯まらなかった」の合計）と回答した人の割合は 43.3%となっている。

過去の調査結果と比べると、平成 29 年度調査から『参加した』は 7.8 ポイント増加している。
性別・年代別にみると、『参加した』は 70 歳代以上女性が最も高くなっている。

問 21 付問 1. 【知っているとお答えの方】で 40 歳以上の方におたずねします。あなたは、平成 30 年度に元気づくりポイント事業に参加しましたか。(〇は 1 つ)



		標本数	参加した商品券と交換した	参加したが、商品券と交換できなかった	参加していない	無回答
全体		187	40	41	104	2
		100.0	21.4	21.9	55.6	1.1
性別・年代別	男性:40歳代	9	-	33.3	66.7	-
	男性:50歳代	3	-	-	100.0	-
	男性:60歳代	12	41.7	8.3	50.0	-
	男性:70歳代以上	33	27.3	21.2	51.5	-
	女性:40歳代	22	-	27.3	68.2	4.5
	女性:50歳代	21	-	23.8	76.2	-
	女性:60歳代	37	21.6	21.6	54.1	2.7
	女性:70歳代以上	47	36.2	23.4	40.4	-
無回答		3	33.3	-	66.7	-
健康状態別	とても健康である	32	18.8	28.1	46.9	6.3
	健康な方である	122	19.7	23.0	57.4	-
	あまり健康でない	27	33.3	11.1	55.6	-
	健康ではない	6	16.7	16.7	66.7	-
	無回答	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	54	29.6	16.7	51.9	1.9
	太宰府東小学校区	22	22.7	22.7	54.5	-
	太宰府南小学校区	23	26.1	39.1	34.8	-
	水城小学校区	25	24.0	12.0	64.0	-
	水城西小学校区	16	12.5	18.8	62.5	6.3
	太宰府西小学校区	15	6.7	26.7	66.7	-
	国分小学校区	24	16.7	25.0	58.3	-
	わからない	5	-	40.0	60.0	-
無回答		3	-	-	100.0	-

6. 防災・消防体制の整備充実

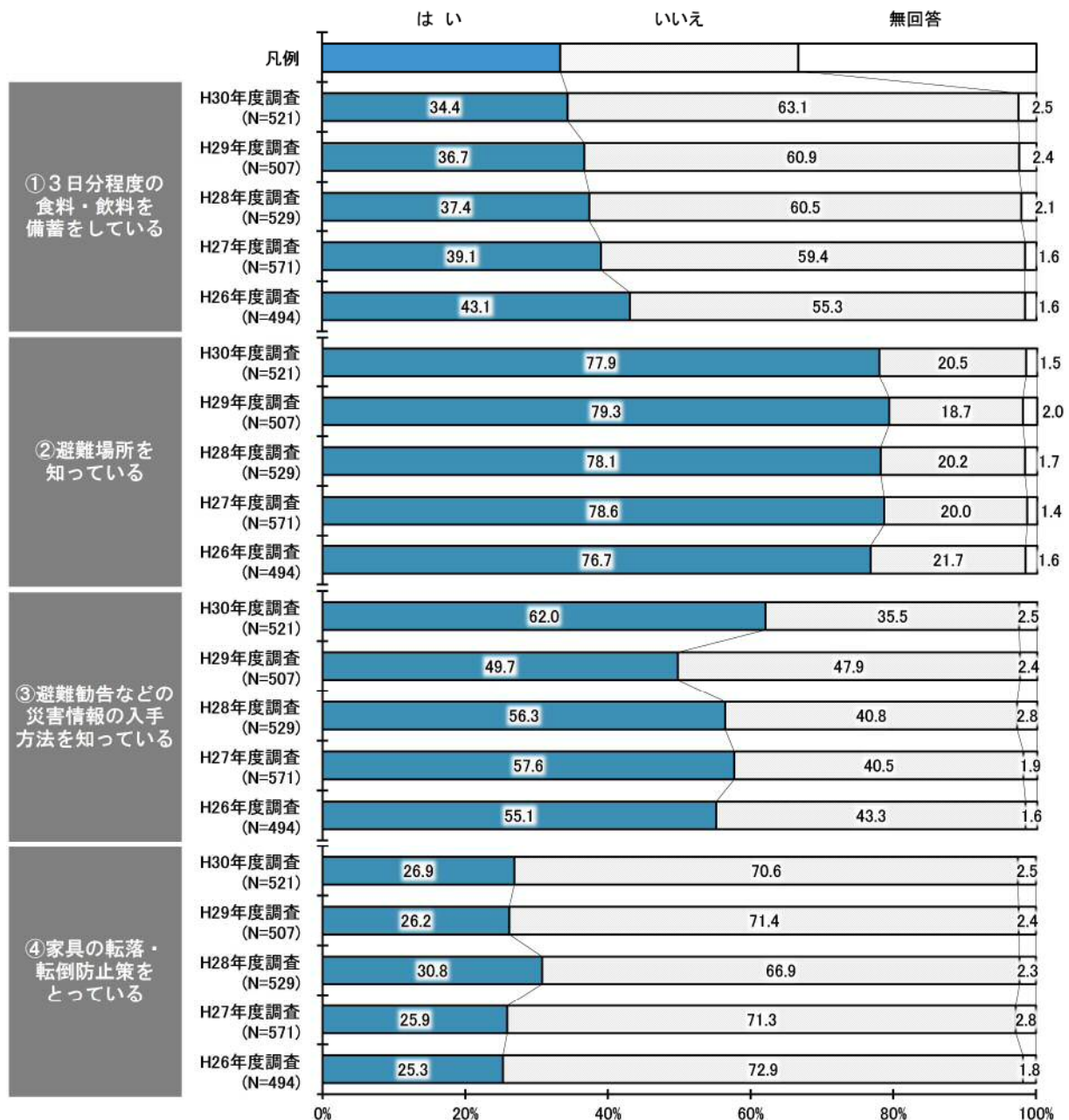
(1) 災害に対する日頃の備え(問 22)

- 日頃の災害に対する備えができていないのは「②避難場所を知っている」、「③災害情報源の認知」、「①食料の備蓄」、「④家具の転倒防止策」の順となっている。

防災・消防体制の整備充実について、実施率（「はい」の割合）をみると「②避難場所を知っている」（77.9％）が最も高く、次いで「③災害情報源の認知」（62.0％）、「①食料の備蓄」（34.4％）、「④家具の転倒防止策」（26.9％）の順となっている。なお、備えができていない人（「いいえ」と回答した人）ができていない人（「はい」）より高いのは、「①食料の備蓄」（63.1％）と「④家具の転倒防止策」（70.6％）の2項目である。

過去の調査結果と比べると、実施率は「①食料の備蓄」で減少傾向がみられ、過去5年間の調査で最も低くなっている。一方、平成29年度調査から「③災害情報源の認知」は12.3ポイント増加している。

問 22. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（〇はそれぞれ1つずつ）



性別にみると、実施率（「はい」の割合）は、すべての項目で女性の方が男性より高くなっている。

年代別にみると、実施率（「はい」の割合）は、30歳代を除くすべての年代で「②避難場所を知っている」が最も高くなっており、70歳代以上（86.5%）では他の年代より高くなっている。

小学校区別にみると、「②避難場所を知っている」の実施率（「はい」の割合）は、太宰府西小学校区（73.9%）、水城小学校区（75.9%）は、他の小学校区よりも低くなっている。

														(%)
		標 本 数	①3日分程度の食料・飲料を備蓄をしている			②避難場所を知っている			③避難勧告などの災害情報の入手方法を知っている			④家具の転落・転倒防止策をとっている		
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全 体		521 100.0	179 34.4	329 63.1	13 2.5	406 77.9	107 20.5	8 1.5	323 62.0	185 35.5	13 2.5	140 26.9	368 70.6	13 2.5
性別	男 性	215	28.4	67.9	3.7	72.1	26.0	1.9	59.5	38.1	2.3	25.1	72.1	2.8
	女 性	296	38.9	60.1	1.0	81.8	17.2	1.0	64.9	32.8	2.4	28.7	69.3	2.0
	無回答	10	30.0	50.0	20.0	90.0	-	10.0	30.0	60.0	10.0	10.0	80.0	10.0
年代別	20歳代	32	21.9	78.1	-	65.6	31.3	3.1	56.3	40.6	3.1	21.9	78.1	-
	30歳代	58	32.8	65.5	1.7	65.5	32.8	1.7	67.2	31.0	1.7	22.4	75.9	1.7
	40歳代	95	28.4	69.5	2.1	67.4	31.6	1.1	60.0	38.9	1.1	22.1	73.7	4.2
	50歳代	82	28.0	69.5	2.4	80.5	17.1	2.4	62.2	36.6	1.2	35.4	63.4	1.2
	60歳代	113	39.8	59.3	0.9	84.1	15.9	-	61.1	37.2	1.8	26.5	72.6	0.9
	70歳代以上	133	41.4	54.1	4.5	86.5	12.0	1.5	65.4	30.8	3.8	29.3	67.7	3.0
	無回答	8	37.5	50.0	12.5	87.5	-	12.5	25.0	50.0	25.0	12.5	62.5	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	35.6	59.4	5.0	85.1	12.9	2.0	71.3	24.8	4.0	25.7	70.3	4.0
	太宰府東小学校区	50	38.0	58.0	4.0	84.0	14.0	2.0	68.0	28.0	4.0	26.0	72.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	36.0	64.0	-	80.0	20.0	-	56.0	42.0	2.0	30.0	66.0	4.0
	水城小学校区	87	28.7	67.8	3.4	75.9	21.8	2.3	62.1	34.5	3.4	29.9	66.7	3.4
	水城西小学校区	67	38.8	61.2	-	85.1	14.9	-	65.7	34.3	-	34.3	65.7	-
	太宰府西小学校区	46	21.7	78.3	-	73.9	26.1	-	47.8	52.2	-	17.4	80.4	2.2
	国分小学校区	58	41.4	58.6	-	82.8	17.2	-	74.1	24.1	1.7	29.3	70.7	-
	わからない	48	35.4	64.6	-	52.1	45.8	2.1	47.9	52.1	-	20.8	79.2	-
	無回答	14	28.6	50.0	21.4	57.1	28.6	14.3	21.4	64.3	14.3	14.3	71.4	14.3

(2)消防団の認知度(問 23)

- 消防団の認知度は 86.0%となっている。

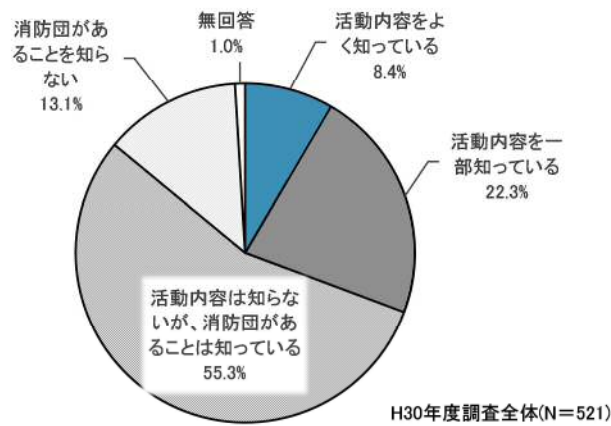
消防団の認知度について、『知っている』（「活動をよく知っている」と「活動内容を一部知っている」と「活動内容は知らないが、消防団があることは知っている」の合計）と答えた割合は 86.0%、「知らない」と答えた割合は 13.1%となっている。『知っている』と答えた人の中で、『活動内容をよく知っている』（「活動をよく知っている」と「活動内容を一部知っている」の合計）は 30.7%となっている。

性別にみると、女性（15.9%）の方が、男性（9.8%）よりも「知らない」の割合が高くなっている。

年代別にみると、年代が上がるにつれ、『知っている』の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、『知っている』の割合が最も高くなっているのは太宰府小学校区（93.1%）となっている。一方、『知っている』の割合が最も低くなっているのは太宰府東小学校区（78.0%）となっている。

問 23. あなたは消防団という団体の活動内容を知っていますか。（○は1つ）



			活動内容に関する認知度 (%)					回答割合 (%)	
		標本数	よく知っている	一部知っている	知らないが、消防団があることは知っている	知らない	無回答	知っている	知らない
全 体		521 100.0	44 8.4	116 22.3	288 55.3	68 13.1	5 1.0	448 86.0	68 13.1
性別	男 性	215	8.8	24.2	56.3	9.8	0.9	89.3	9.8
	女 性	296	8.4	20.9	54.1	15.9	0.7	83.4	15.9
	無回答	10	-	20.0	70.0	-	10.0	90.0	-
年代別	20歳代	32	3.1	31.3	43.8	21.9	-	78.1	21.9
	30歳代	58	6.9	12.1	58.6	20.7	1.7	77.6	20.7
	40歳代	95	7.4	16.8	60.0	14.7	1.1	84.2	14.7
	50歳代	82	7.3	25.6	51.2	14.6	1.2	84.1	14.6
	60歳代	113	9.7	22.1	57.5	10.6	-	89.4	10.6
	70歳代以上	133	11.3	27.1	53.4	7.5	0.8	91.7	7.5
	無回答	8	-	12.5	62.5	12.5	12.5	75.0	12.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	15.8	31.7	45.5	5.9	1.0	93.1	5.9
	太宰府東小学校区	50	4.0	18.0	56.0	20.0	2.0	78.0	20.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	24.0	54.0	20.0	-	80.0	20.0
	水城小学校区	87	10.3	19.5	55.2	13.8	1.1	85.1	13.8
	水城西小学校区	67	7.5	16.4	62.7	13.4	-	86.6	13.4
	太宰府西小学校区	46	4.3	19.6	65.2	10.9	-	89.1	10.9
	国分小学校区	58	10.3	24.1	55.2	10.3	-	89.7	10.3
	わからない	48	6.3	22.9	54.2	16.7	-	83.3	16.7
	無回答	14	-	7.1	64.3	14.3	14.3	71.4	14.3

7. 防犯・暴力追放運動の推進

(1)防犯面の安心度(問 24)

● 防犯面について『安心派』は70.2%、『不安派』は28.4%となっている。

防犯面の安心度について、『安心派』（「とても安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計）は70.2%となっている。一方、『不安派』（「とても不安である」と「どちらかといえば不安である」の合計）は28.4%で、『安心派』の方が『不安派』よりも高くなっている。

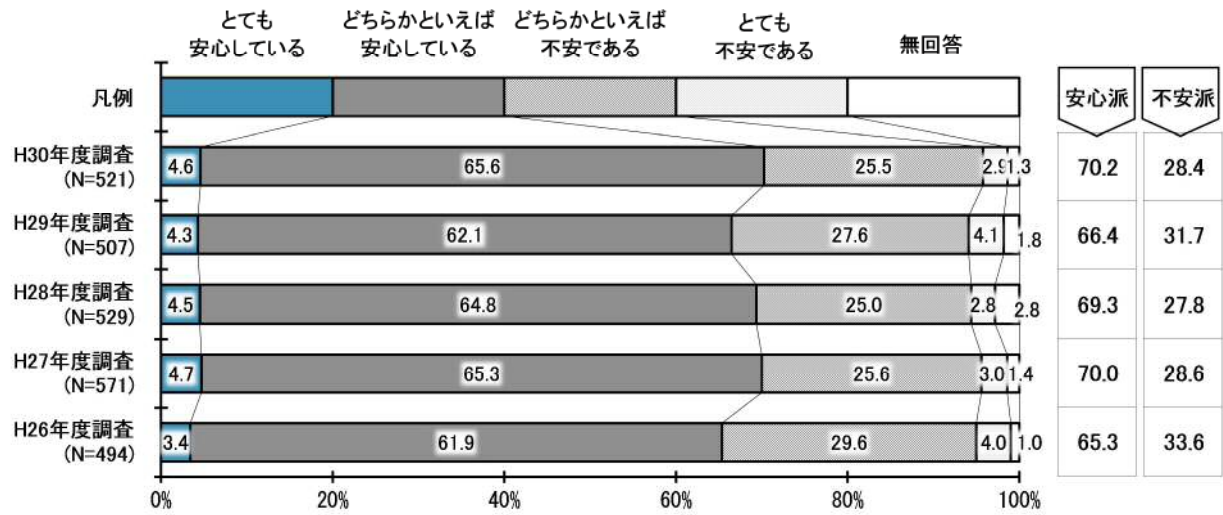
過去の調査結果と比べると、『安心派』は平成29年度調査から3.8ポイント増加しており、『不安派』は3.3ポイント減少している。

性別にみると、『安心派』は男女とも約6割以上となっており、大きな差はみられない。

年代別にみると、『安心派』は30歳代を除くすべての年代で6割を超えており、70歳代以上では78.2%と特に高くなっている。

小学校区別にみると、『安心派』が7割未満となっているのは太宰府南小学校区（62.0%）、国分小学校区（65.5%）、水城小学校区（67.8%）の3小学校区となっている。

問 24. あなたは市内に住むことについて防犯の面で安心していますか。（○は1つ）



		標本数	とても安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	とても不安である	無回答	安心派	不安派
全 体		521	24	342	133	15	7	366	148
		100.0	4.6	65.6	25.5	2.9	1.3	70.2	28.4
性別	男 性	215	8.4	64.2	22.8	4.2	0.5	72.6	27.0
	女 性	296	2.0	66.6	27.7	2.0	1.7	68.6	29.7
	無回答	10	-	70.0	20.0	-	10.0	70.0	20.0
年代別	20歳代	32	12.5	59.4	25.0	3.1	-	71.9	28.1
	30歳代	58	3.4	55.2	34.5	5.2	1.7	58.6	39.7
	40歳代	95	4.2	65.3	27.4	2.1	1.1	69.5	29.5
	50歳代	82	3.7	58.5	30.5	4.9	2.4	62.2	35.4
	60歳代	113	2.7	71.7	20.4	3.5	1.8	74.3	23.9
	70歳代以上	133	6.0	72.2	21.1	0.8	-	78.2	21.8
	無回答	8	-	50.0	37.5	-	12.5	50.0	37.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	8.9	65.3	22.8	2.0	1.0	74.3	24.8
	太宰府東小学校区	50	4.0	66.0	24.0	2.0	4.0	70.0	26.0
	太宰府南小学校区	50	4.0	58.0	36.0	2.0	-	62.0	38.0
	水城小学校区	87	5.7	62.1	29.9	1.1	1.1	67.8	31.0
	水城西小学校区	67	3.0	80.6	14.9	1.5	-	83.6	16.4
	太宰府西小学校区	46	-	80.4	19.6	-	-	80.4	19.6
	国分小学校区	58	1.7	63.8	27.6	5.2	1.7	65.5	32.8
	わからない	48	6.3	54.2	27.1	12.5	-	60.4	39.6
	無回答	14	-	42.9	42.9	-	14.3	42.9	42.9

(2)防犯上危険と思う場所(問 24 付問1)

問 24 付問 1. あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありましたら、具体的に記入してください。

校区	性別	年代	問24付問1.家の周辺や市内において防犯上危険と思われるような場所
太宰府	男性	30代	自宅までの道のりに電灯が少なく暗くて怖い
太宰府	男性	40代	五条郵便局横の和昇駐車場とメロディー駐車場の野良猫にエサを与えているものがある。(何度注意しても全く聞かずに開き直っている)猫が道路をうろついており、ひかれそうになって事故が発生しそう(実際そういう場面が何度かあった)
太宰府	男性	40代	松川から北谷方面への街灯がない
太宰府	男性	40代	道路がせまく暗い箇所が多い、防犯カメラの未整備
太宰府	男性	50代	年配の方が多いためそのこと自体が防犯上危険だと思う。
太宰府	男性	50代	夜間車やバイクの音がうるさい時がある
太宰府	男性	60代	街灯が少なく夜足元が暗い(主要道路)
太宰府	男性	60代	三条1丁目水瓶池横から砂防ダム方面の道(原川)沿い以前は草刈りされていたが、今は何もされてなく防犯上いかがなものか。
太宰府	男性	70代以上	無人の駐車場が多い
太宰府	男性	70代以上	内山一太宰府間(太宰府天満宮のトンネル)、梅林運動公園の中及び周辺
太宰府	男性	70代以上	街灯が少ない
太宰府	男性	70代以上	南体育館から観世音寺に向かっていく道路の照明が暗すぎる。
太宰府	女性	18~20代	太宰府小学校の体育館の横の道(裏門側)
太宰府	女性	30代	五条駅横の駐輪場(夜になると薄暗くて怖い)
太宰府	女性	40代	街灯が少ない
太宰府	女性	40代	浦の城公園にあるカーブミラーが汚れていて見えないので怖い。連歌屋、三条区域の街灯を増やして欲しい。
太宰府	女性	50代	自宅周辺や戸建ての多い所が夜間街灯が少なく子供や学生の一人は危なく感じる。古都のイメージのせいかオレンジ系統の街灯を使用されているが逆に見えにくい。
太宰府	女性	50代	市の運動公園(松川)まわりの土砂崩れしそうな箇所が多い
太宰府	女性	60代	連歌屋、赤い橋から登って行く道。夜はカーブしたところの道は車からも歩行者が見えないし昼は歩行者から車が見えないので危ないと思う。
太宰府	女性	60代	自宅の前は川、裏は山なので心配している。
太宰府	女性	60代	全体的に暗い所が多い様な感じがします通りが大きい所はいいですが裏通りに入ると気になります。
太宰府	女性	70代以上	東中や太宰府高校から青山地区の道が暗くなると子供達には不安と思う。
太宰府	女性	70代以上	空き家と分かる古い家があります、瓦が落ちそうに傷んでいる家もあり危険です(西鉄太宰府駅の裏などに)
太宰府	女性	70代以上	駅周辺など防犯灯は多いが少し外れると少ないと思います。交通機関がなくなる9時くらいまでは交通機関を多くして欲しい。
太宰府東	男性	18~20代	街灯が少ない、警察のパトロールを増やして欲しい
太宰府東	男性	30代	天神橋通りを歩行者天国と勘違いしている外国人信号は短いうえに歩行者でなかなか進めず車と接触事故でも起こりそうで危険。
太宰府東	男性	30代	石穴神社周辺、太宰府東小から東中周辺の街灯が全体的に暗い
太宰府東	男性	60代	空き家が増えている
太宰府東	女性	40代	自宅の前は交通量が多いのでどろぼうは入らないが、一本奥の段になるとどろぼうに入られやすい。
太宰府南	男性	60代	高雄公園・太宰府東中学校周辺の照明が少なく暗い。高雄公園内に自転車を乗り入れている(親が子供を指導していない及び掲示板小さく自転車乗り入れが禁止だとはっきり分からない)
太宰府南	男性	60代	星ヶ丘保育園交差点から高雄中央公園の間の道路は毎日のように事故になりそうな状況がある
太宰府南	女性	30代	街灯が少ない。玄関先の電気もついていないので夜になると暗くて怖い。人がいても気づけない。
太宰府南	女性	30代	住宅街の中なので夜一人で歩いていると怖いと感じます。子供の通学路で高いブロック塀のお宅が多いので地震が来たら崩れるのも怖いですしもし変な人に声をかけられても高いブロック塀が死角になって怖いと感じています。
太宰府南	女性	40代	街灯が少ない
太宰府南	女性	50代	住宅地の路地の街灯が少ない。暗い。
太宰府南	女性	50代	空き家が多い
太宰府南	女性	60代	空き家

校区	性別	年代	問24付問1.家の周辺や市内において防犯上危険と思われるような場所
水城	男性	30代	街灯が非常に少ないので改善を強く希望します
水城	男性	40代	観世2丁目の川沿いのアパートに泥棒が入った経験あり。
水城	男性	40代	観音寺2丁目のマンションに住んでいる。学校もあり安全だと思っていたが、マンションの駐輪場からある日大半の自転車がなくなっていた。盗難と思われる。
水城	男性	40代	御笠川沿いの歩道、柵がなく危なく感じる
水城	男性	50代	南小学校、地域の方に解放しているため、出入り多い。そういう場所にこそ警備員を配置するべきではないか。
水城	男性	60代	街灯が暗い
水城	男性	60代	夜道の暗い所がある
水城	男性	70代以上	アパートが多い事
水城	男性	70代以上	空き家が多いと聞いている
水城	男性	70代以上	空き家やガード下（トンネル）道路
水城	女性	18～20代	学生は自転車通学する人が多いけれど、歩道は通ってはいけない規制だと車道は狭いし、全体的に道が狭いので少し困っています。図書館の近くの川沿いの道に一か所ガードレールのものがない場所があります。
水城	女性	30代	駅周辺、公園
水城	女性	30代	都府楼前から榎社から西鉄二日市の沿線が夜、街灯が少なく、暗いと思う。
水城	女性	30代	街灯はあるがあまり明るくない
水城	女性	30代	街灯のLEDが狭い範囲しか照らしてくれないので道が全体暗い印象。
水城	女性	30代	近所のトンネル夜は暗く人通りが少ない
水城	女性	40代	街灯が少なく暗い場所
水城	女性	40代	街灯が少ない、二日市駅付近の草むらが怖い
水城	女性	50代	西鉄二日市駅イオンの脇道が夜になると暗く街灯が少なく不安になります。もう少し明るくして欲しいです。
水城	女性	60代	西鉄二日市駅から桜町公民館に向かう道路の防犯灯が少なく暗い（反対側の大きな新しい道には防犯灯があるが人はほとんど歩いていない。人が歩く道に防犯灯のあかるさがあったほうが防犯上効果的ではないか。）
水城	女性	60代	近所に住んでいる男の近辺
水城	女性	60代	都府楼駅前の自転車置き場で時々自転車を盗もうとしている人を見かけます。都府楼駅周辺、時々暴走族がバイクを乗り回している。（深夜）
水城西	男性	40代	落合公園
水城西	男性	40代	ルミエール、ニトリ近くの高速道路下のトンネル辺りの道、暗くて寂しい場所なので昼間でも1人で歩くのを躊躇する
水城西	男性	50代	高速道路下トンネルが暗くて怖い
水城西	男性	50代	吉松、九州自動車道高架下（御笠川沿い）
水城西	男性	70代以上	以前より空き家が増えてきて近所にもあり対策を望みます。子供の通学路の見守りパトロールも必要では。
水城西	女性	30代	長浦台の地下道は子どもの交通事故防止にはいいかも知れないが防犯上は不安で子どもを通らせたくない、最近公園で変な男の人に声かけられたりと怖い思いをしたので人が少ない、暗い道を子どもが通ることに不安を感じます。
水城西	女性	30代	都府楼駅前から宰都に向かう道が夜は暗くて人通りが少なくて怖いです。
水城西	女性	30代	都府楼地区、駅までの道など街灯が多くついたらいいと思う、暗くて怖い
水城西	女性	30代	ゴミ集積所。大佐野向井佐野のマンションには缶回収を目当てに鹿児島ナンバーの軽トラがゴミを漁っている。子供にゴミを捨てに行かせられない（こわがる）注意したいが怖くてできない。
水城西	女性	40代	アパートの隣の住人が夜中に発狂したような声を出しているのが不安である。（どんな人が住んでいるのか分からない）
水城西	女性	40代	都府楼地区にグリーンベルトが少ない、交通量は多く登下校をはじめ、子どもたちの安全面が不安。
水城西	女性	40代	夜道路が暗い
水城西	女性	40代	アプローズマンションを渡り杉塚公民館の道路が狭く小学生の通学路が心配
水城西	女性	50代	食肉センター周囲が夜は暗い。112号線から住宅地へ入るところが暗い。
水城西	女性	50代	空き家、街灯の少なさ
水城西	女性	60代	都府楼団地東公園。街灯がないため樹木が茂りすぎて暗い
水城西	女性	60代	昨年同期と太西の川添の道を散歩していたら2～30代の男が立っていてとても不気味でした。暗かったのと帽子が黒子みたいな感じになっていて黒ずくめの格好だった。

校区	性別	年代	問24付問1.家の周辺や市内において防犯上危険と思われるような場所
水城西	女性	60代	西鉄二日市駅から明治肉市。街灯があまりなく暗くなったら怖くて通れない
水城西	女性	60代	鉄道沿線上の樹木、雑草等の掃除、草刈りを増やして欲しい。
水城西	女性	70代以上	住居が高速沿線にあり平成30年に高速で土砂崩れが発生した（自宅の反対側崩れた）
水城西	女性	70代以上	筑紫野市にある総合公園など
太宰府西	男性	70代以上	夜間の眠り
太宰府西	男性	70代以上	太宰府西校の大池周辺
太宰府西	男性	70代以上	市街地周辺の夜間の街灯が少ない
太宰府西	女性	40代	長浦台いこいの家の隣のオリーブの木が茂っていて道まで飛び出している。歩くとき木が邪魔になり道の真ん中を歩かなくてはいけなくなる。雨の日は特に危険です。
太宰府西	女性	40代	大佐野、大池公園から長浦台へ抜ける歩道、池もあり人通りが少なく夜間は暗い。
太宰府西	女性	40代	この頃公園付近に放置自転車を見かけることが多い。盗難自転車ではないかとそういう事をする人が近くにいるのではと不安になります。
太宰府西	女性	50代	大佐野交差点から太宰府方面に行くJRの高架のところの上下が暗くて怖い、JR都府楼駅南からルミエールへ踏切を渡って行く細い道が暗いのが人が歩く農道のような道なのに車が往来し危険いつか事故が起これと思う。歩行者専用にして照明をつけていただきたい。
太宰府西	女性	60代	公園を臨時駐車場にしているが出入りの危険を感じる
国分	男性	30代	街灯が少ない
国分	男性	30代	国道以外の裏道の街灯が点滅していたり消えたりして暗い道がある。私は国分1丁目に住んでるのでそこでも多々あつたりします。
国分	男性	40代	夜間薄暗いところ
国分	男性	40代	都府楼駅前の無料駐車場は非常にありがたいが、夜間は暗く、防犯上危険、安心さに欠ける。
国分	男性	50代	空き家が多い
国分	男性	60代	近くに砂防ダムがありこの決壊が心配
国分	男性	70代以上	太宰府インターの側道が大型トラック通るため、道はでこぼこ狭く、1日も早く大型は通行禁止にして欲しい。地図で分かりにくいので大和冷機の道
国分	女性	30代	3号線の側道は暗くて怖い
国分	女性	40代	特定の場所ではありませんが、商業施設、事務所、マンション等敷地内の植栽が伸びっぱなしで死角になるところが多いとよろしくないと思う。指導が可能であれば整備を促して欲しい。
国分	女性	40代	国分1丁目付近のトンネル
国分	女性	50代	関屋の交差点から国分の方へ行く道は街灯が少なく人通りの少ない夜間は怖く感じます
国分	女性	50代	道が暗い所がある。街灯を増やして明るくして欲しい
国分	女性	50代	空き家
国分	女性	60代	水城ヶ丘、水城台のグランドライトを明るくして欲しい。とくにトイレ付近
国分	女性	60代	川が近い、山から泥や木が流れてくるのも心配
国分	女性	70代以上	下大利駅から旧3号線を越えたアンダーパスとファミリーマートから家までが危ないと思う（水城）
国分	女性	70代以上	隣が空き家なので心配
国分	女性	70代以上	住んでいる所
国分	女性	70代以上	水城台の三叉路の所とマルキョウの横から上がるところ
わからない	男性	18～20代	夜の西鉄二日市駅
わからない	男性	18～20代	街灯が少ないと感じている
わからない	男性	30代	街灯が暗い、LED等で少ない電力で光が強いものにして欲しい。
わからない	男性	40代	街灯が少ない
わからない	男性	70代以上	独身アパートが増えた、しかしその住人は自治体には参加しないし無関心である。
わからない	女性	30代	ルミエールの裏から都府楼駅。交通量のわりに道幅狭く暗いから。歩行者も自転車も危険。
わからない	女性	30代	隣の家がうるさい。深夜に猫を風呂に入れているようだ。日中人の気配がなく、深夜に人が来ている様。
わからない	女性	50代	都府楼駅から自宅まで夜遅く帰るときは怖い時があります。不審者に追いかけられた時があります（10時過ぎ）
わからない	女性	50代	通古賀の左側の空き家の屋根がトタンで上にブロックをおいてありゴムが切れそう。台風の時や下を通る時非常に不安だ。
無回答	無回答	無回答	夜間の街灯が不足している暗く夜は危ない
無回答	無回答	無回答	自宅で20時ごろ不在の部屋にサッシのガラスを割り侵入したものにバッグを盗まれる。被害総額現金3万円を含み10万円ほど。数年前の話ですが今現在も犯人は捕まっていない。

8. 安全な消費生活の推進

(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況(問 25)

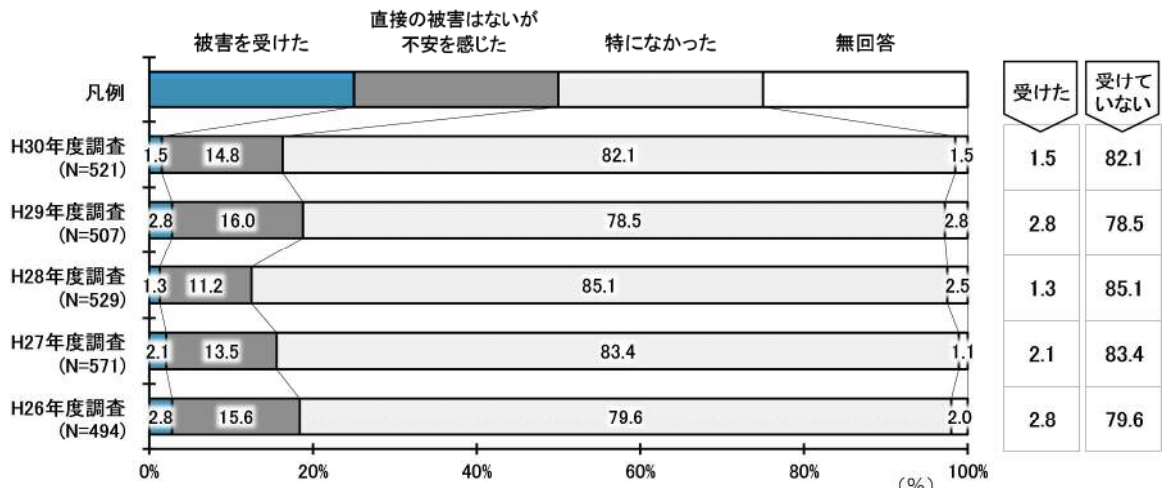
- 不当請求や不適正な取引行為の被害を受けたのは 1.5%、被害はないが不安を感じたのは 14.8%となっている。

不当請求や不適切な取引行為の被害状況について、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」は 1.5%、「直接の被害はないが不安を感じた」は 14.8%となっている。なお、「特になかった」は 82.1%であった。

過去の調査結果と比べると、平成 29 年度調査から「被害を受けた」が 1.3 ポイント減少している。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府西小学校区を除くすべての小学校区で被害を受けた人がみられる。

問 25. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空請求・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。（○は1つ）



	標本数	被害を受けた	直接の被害はないが不安を感じた	特になかった	無回答
全体	521	8	77	428	8
	100.0	1.5	14.8	82.1	1.5
性別					
男性	215	0.5	14.0	83.3	2.3
女性	296	2.4	15.5	81.8	0.3
無回答	10	-	10.0	70.0	20.0
性別・年代別					
男性:20歳代	14	-	14.3	85.7	-
男性:30歳代	18	-	5.6	94.4	-
男性:40歳代	41	-	9.8	85.4	4.9
男性:50歳代	30	3.3	26.7	70.0	-
男性:60歳代	50	-	10.0	90.0	-
男性:70歳代以上	62	-	16.1	79.0	4.8
女性:20歳代	18	-	22.2	77.8	-
女性:30歳代	40	2.5	10.0	87.5	-
女性:40歳代	54	3.7	11.1	85.2	-
女性:50歳代	51	2.0	21.6	76.5	-
女性:60歳代	62	1.6	19.4	79.0	-
女性:70歳代以上	68	2.9	13.2	82.4	1.5
無回答	13	-	7.7	76.9	15.4
小学校区別					
太宰府小学校区	101	2.0	10.9	85.1	2.0
太宰府東小学校区	50	-	14.0	82.0	4.0
太宰府南小学校区	50	2.0	16.0	82.0	-
水城小学校区	87	2.3	17.2	80.5	-
水城西小学校区	67	1.5	14.9	83.6	-
太宰府西小学校区	46	-	8.7	91.3	-
国分小学校区	58	1.7	24.1	74.1	-
わからない	48	2.1	12.5	85.4	-
無回答	14	-	14.3	57.1	28.6

(2)被害や不安に感じた内容(問 25 付問1)

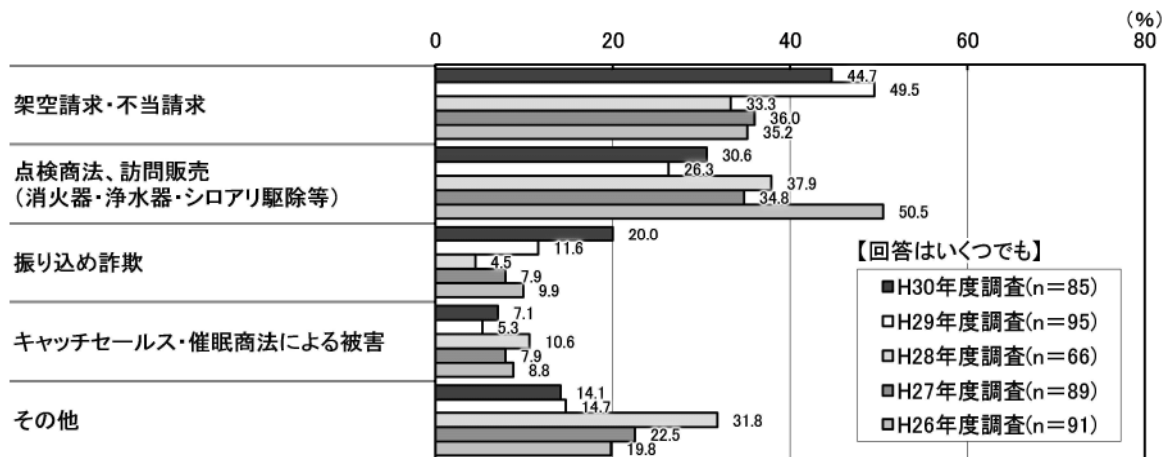
- 「架空請求・不当請求」の被害や不安が最も多く 44.7%となっている。

被害や不安に感じた内容について、「架空請求・不当請求」(44.7%)が最も高く、次いで「点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」(30.6%)、「振り込め詐欺」(20.0%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、平成 29 年度調査から「架空請求・不当請求」が 4.8 ポイント、減少している。一方、「振り込め詐欺」は 8.4 ポイント、「点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」は 4.3 ポイント増加している。

小学校区別にみると、水城西小学校区と太宰府西小学校区を除く小学校区において「架空請求・不当請求」の割合が最も高くなっている。一方、水城西小学校区と太宰府西小学校区では「点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)」の割合が最も高くなっている。

問 25 付問 1.【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。
具体的には、どのような被害や不安ですか。(〇はいくつでも)



		標本数	架空請求・不当請求	点検商法、訪問販売(消火器・浄水器・シロアリ駆除等)	振り込め詐欺	催眠商法による被害・キャッチセールス	その他	無回答
全 体		85	38	26	17	6	12	1
		-	44.7	30.6	20.0	7.1	14.1	1.2
性別	男 性	31	32.3	45.2	16.1	3.2	16.1	3.2
	女 性	53	52.8	22.6	22.6	9.4	11.3	-
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	6	83.3	16.7	-	16.7	-	-
	30歳代	6	33.3	50.0	-	16.7	16.7	-
	40歳代	12	66.7	8.3	8.3	-	25.0	-
	50歳代	22	31.8	45.5	27.3	13.6	9.1	-
	60歳代	18	50.0	16.7	22.2	-	11.1	5.6
	70歳以上	21	33.3	38.1	28.6	4.8	19.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	13	61.5	53.8	15.4	7.7	-	-
	太宰府東小学校区	7	71.4	42.9	14.3	14.3	-	-
	太宰府南小学校区	9	55.6	11.1	22.2	22.2	22.2	-
	水城西小学校区	17	35.3	23.5	17.6	5.9	23.5	-
	水城西小学校区	11	18.2	45.5	27.3	-	9.1	-
	太宰府西小学校区	4	-	50.0	25.0	-	25.0	-
	国分小学校区	15	46.7	6.7	26.7	6.7	20.0	-
	わからない	7	71.4	28.6	14.3	-	14.3	-
無回答		2	-	50.0	-	-	-	50.0

9. 人権を尊重するまちづくりの推進

(1) 人権侵害の経験の有無(問 26)

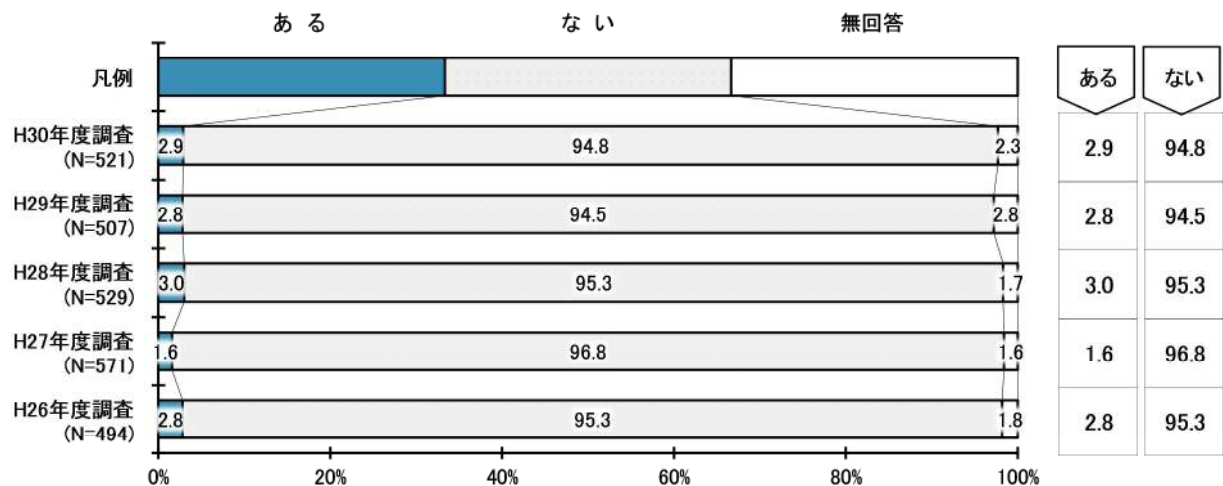
- 人権を侵害されたことが「ある」は 2.9%となっている。

人権侵害の経験の有無について、この1年間に人権を侵害されたことについては、「ない」と答えた人が 94.8%と大半を占めている。なお、「ある」と答えた人は 2.9%となっている。

過去の調査結果と比べると、「ない」と答えた人が9割を超えている傾向は変わらない。

属性別にみると、すべての属性において、「ない」と答えた人が大半を占め、高くなっている。

問 26. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(○は1つ)



		(%)			
		標本数	ある	ない	無回答
全 体		521	15	494	12
		100.0	2.9	94.8	2.3
性別	男 性	215	1.4	96.3	2.3
	女 性	296	4.1	94.3	1.7
	無回答	10	-	80.0	20.0
年代別	20歳代	32	-	96.9	3.1
	30歳代	58	-	100.0	-
	40歳代	95	5.3	92.6	2.1
	50歳代	82	7.3	92.7	-
	60歳代	113	-	98.2	1.8
	70歳代以上	133	3.0	93.2	3.8
	無回答	8	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	2.0	96.0	2.0
	太宰府東小学校区	50	-	98.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	-	96.0	4.0
	水城小学校区	87	5.7	92.0	2.3
	水城西小学校区	67	4.5	95.5	-
	太宰府西小学校区	46	2.2	97.8	-
	国分小学校区	58	6.9	93.1	-
	わからない	48	-	97.9	2.1
	無回答	14	-	71.4	28.6

(2)人権侵害の内容(問 26 付問1)

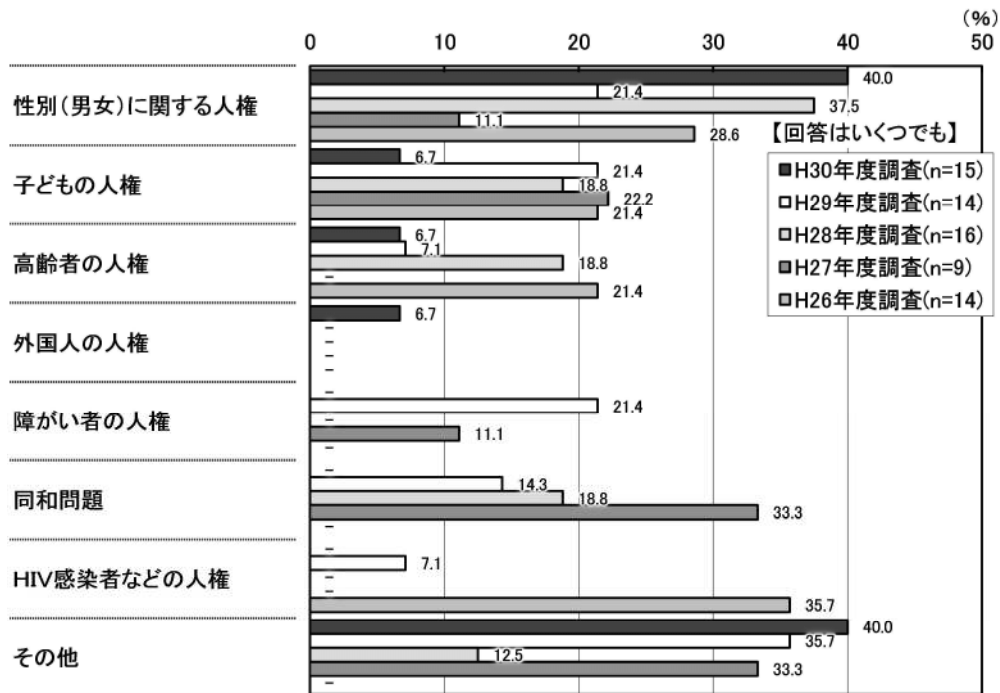
- 「性別（男女）に関する人権」の人権侵害が最も高い。

人権侵害の内容について、「性別（男女）に関する人権」が最も高く、次いで、「子どもの人権」、「高齢者の人権」、「外国人の人権」（いずれも 6.7%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、平成 29 年度調査から「性別（男女）に関する人権」は 18.6 ポイント増加している。

なお、「障害者の人権」、「同和問題」、「HIV 感染者などの人権」での人権侵害があったと答えた人はいなかった。

問 26 付問 1.【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。
（○はいくつでも）



		標本数	性別(男女)に関する人権	子どもの人権	高齢者の人権	外国人の人権	障がい者の人権	同和問題	HIV感染者などの人権	その他	無回答
全 体		15	6 40.0	1 6.7	1 6.7	1 6.7	-	-	-	6 40.0	1 6.7
性別	男 性	3	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-
	女 性	12	50.0	8.3	-	8.3	-	-	-	33.3	8.3
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	5	60.0	-	-	20.0	-	-	-	40.0	-
	50歳代	6	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	33.3	-
	60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70歳以上	4	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	太宰府東小学校区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水城小学校区	5	80.0	-	-	-	-	-	-	40.0	-
	水城西小学校区	3	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-
	太宰府西小学校区	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	国分小学校区	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0
わからない		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3)太宰府市での人権の尊重(問 27)

- 人権が『尊重されている派』は 76.2%、『尊重されていない派』は 12.3%となっている。

太宰府市での人権の尊重について、『尊重されている派』（「尊重されている」と「どちらかといえば尊重されている」の合計）は 76.2%となっている。一方、『尊重されていない派』（「尊重されていない」と「どちらかといえば尊重されていない」の合計）は 12.3%で、『尊重されている派』が 7 割以上と高くなっている。

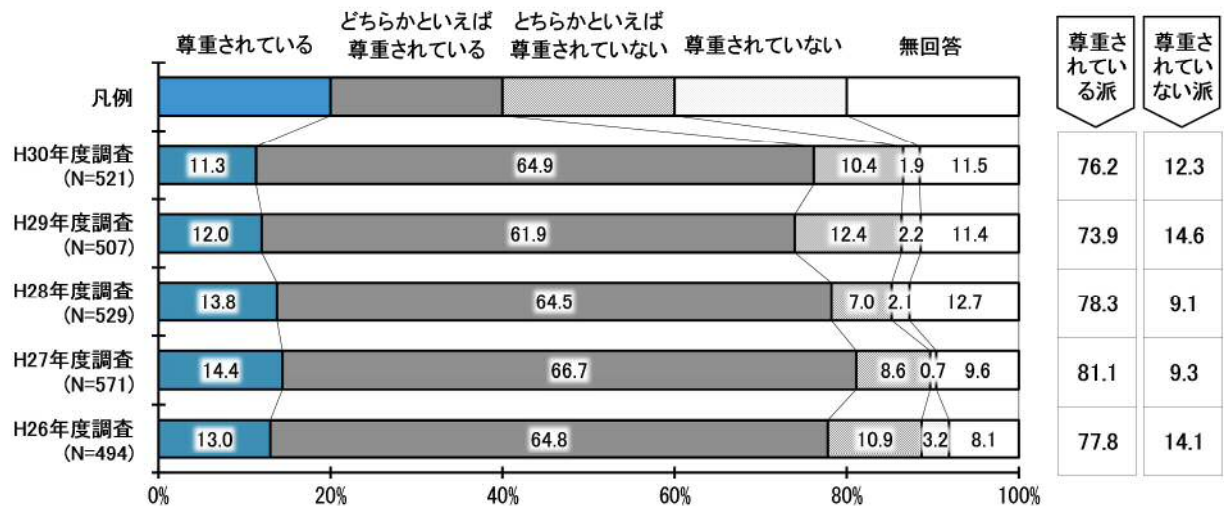
過去の調査結果と比べると、『尊重されている派』が 7 割を超えている傾向は変わらない。

性別にみると、『尊重されている派』は、男性（80.9%）の方が、女性（73.0%）より高くなっている。

年代別にみると、40 歳代を除くすべての年代で『尊重されている派』は 7 割を超えており、20 歳代（84.4%）は、他の年代に比べて最も高くなっている。

小学校区別にみると、『尊重されている派』が最も高いのは、太宰府西小学校区（84.7%）となっている。一方、最も低いのは水城小学校区（69.0%）となっている。

問 27. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	尊重されている	どちらかといえば尊重されている	どちらかといえば尊重されていない	尊重されていない	無回答	尊重されている派 (%)	尊重されていない派 (%)
全 体		521	59	338	54	10	60	397	64
		100.0	11.3	64.9	10.4	1.9	11.5	76.2	12.3
性別	男 性	215	14.4	66.5	7.9	2.8	8.4	80.9	10.7
	女 性	296	9.1	63.9	12.5	1.4	13.2	73.0	13.9
	無回答	10	10.0	60.0	-	-	30.0	70.0	-
年代別	20歳代	32	12.5	71.9	12.5	-	3.1	84.4	12.5
	30歳代	58	5.2	70.7	17.2	1.7	5.2	75.9	19.0
	40歳代	95	9.5	60.0	6.3	5.3	18.9	69.5	11.6
	50歳代	82	11.0	68.3	14.6	1.2	4.9	79.3	15.9
	60歳代	113	9.7	65.5	13.3	1.8	9.7	75.2	15.0
	70歳代以上	133	17.3	62.4	5.3	0.8	14.3	79.7	6.0
	無回答	8	-	50.0	-	-	50.0	50.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	101	12.9	69.3	5.9	1.0	10.9	82.2	6.9
	太宰府東小学校区	50	4.0	66.0	10.0	-	20.0	70.0	10.0
	太宰府南小学校区	50	12.0	64.0	6.0	4.0	14.0	76.0	10.0
	水城小学校区	87	11.5	57.5	16.1	4.6	10.3	69.0	20.7
	水城西小学校区	67	16.4	64.2	11.9	1.5	6.0	80.6	13.4
	太宰府西小学校区	46	4.3	80.4	8.7	-	6.5	84.7	8.7
	国分小学校区	58	17.2	56.9	17.2	1.7	6.9	74.1	19.0
	わからない	48	8.3	72.9	6.3	2.1	10.4	81.3	8.3
	無回答	14	7.1	35.7	7.1	-	50.0	42.9	7.1

10. 男女共同参画の推進

(1) 固定的な役割分担に対する考え方(問 28)

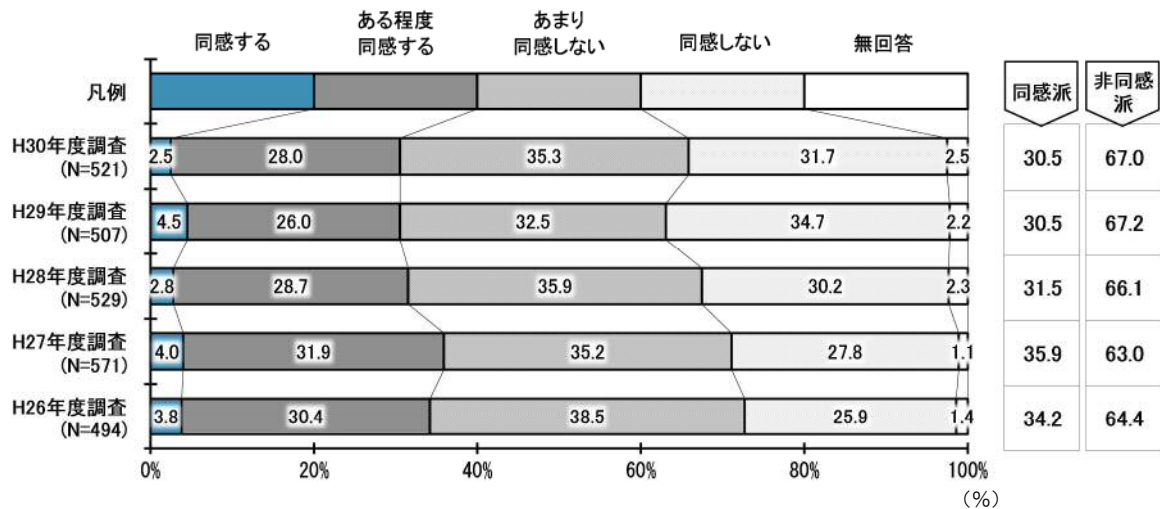
- 固定的な役割分担に『非同感派』(67.0%)の方が、『同感派』(30.5%)よりも高い。

固定的な役割分担に対する考え方について、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に、『同感派』(「同感する」と「ある程度同感する」の合計)は30.5%となっている。一方、『非同感派』(「同感しない」と「あまり同感しない」の合計)は67.0%で、『非同感派』の方が『同感派』より高くなっている。

性別・年代別にみると、男女ともに年代が上がるにつれ『同感派』の割合が高くなっている傾向にある。また、女性(27.0%)よりも男性(35.8%)の方が『同感派』の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『非同感派』の方が『同感派』より高く、太宰府西小学校区(80.4%)で特に『非同感派』の割合が高くなっている。

問 28. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



		標本数	同感する	同感する程度	あまり同感しない	同感しない	無回答	同感派	非同感派
全 体		521	13	146	184	165	13	159	349
		100.0	2.5	28.0	35.3	31.7	2.5	30.5	67.0
性別	男 性	215	3.7	32.1	39.5	21.9	2.8	35.8	61.4
	女 性	296	1.7	25.3	32.1	39.2	1.7	27.0	71.3
	無回答	10	-	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0
性別・年代別	男性：20歳代	14	-	14.3	35.7	50.0	-	14.3	85.7
	男性：30歳代	18	-	22.2	44.4	33.3	-	22.2	77.8
	男性：40歳代	41	2.4	29.3	41.5	22.0	4.9	31.7	63.4
	男性：50歳代	30	10.0	20.0	30.0	40.0	-	30.0	70.0
	男性：60歳代	50	4.0	32.0	52.0	12.0	-	36.0	64.0
	男性：70歳以上	62	3.2	46.8	32.3	11.3	6.5	50.0	43.5
	女性：20歳代	18	5.6	11.1	33.3	50.0	-	16.7	83.3
	女性：30歳代	40	-	15.0	35.0	50.0	-	15.0	85.0
	女性：40歳代	54	3.7	18.5	29.6	46.3	1.9	22.2	75.9
	女性：50歳代	51	2.0	19.6	41.2	37.3	-	21.6	78.4
	女性：60歳代	62	-	29.0	32.3	35.5	3.2	29.0	67.7
	女性：70歳以上	68	1.5	41.2	26.5	29.4	1.5	42.6	55.9
	無回答	13	-	23.1	30.8	23.1	23.1	23.1	53.8
小学校区別	太宰府小学校区	101	3.0	27.7	38.6	28.7	2.0	30.7	67.3
	太宰府東小学校区	50	-	34.0	28.0	34.0	4.0	34.0	62.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	42.0	32.0	20.0	4.0	44.0	52.0
	水城小学校区	87	3.4	29.9	28.7	37.9	-	33.3	66.7
	水城西小学校区	67	4.5	23.9	32.8	37.3	1.5	28.4	70.1
	太宰府西小学校区	46	-	19.6	47.8	32.6	-	19.6	80.4
	国分小学校区	58	3.4	32.8	37.9	24.1	1.7	36.2	62.1
	わからない	48	2.1	16.7	37.5	41.7	2.1	18.8	79.2
無回答		14	-	14.3	42.9	14.3	28.6	14.3	57.1

(2)DVを受けた経験がある場合の相談経験(問 29)

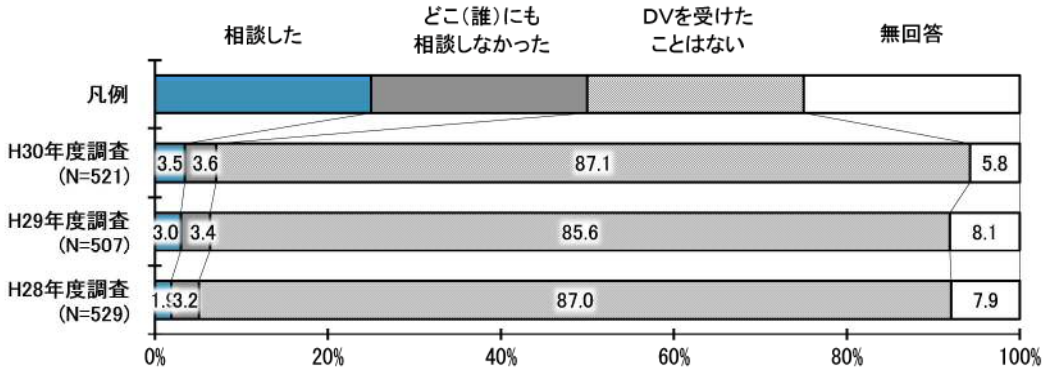
● DV の「相談をした」は 3.5%、「DV を受けたことはない」は 87.1%となっている。

DVを受けた経験がある場合の相談経験について、相談したかについてみると、「DVを受けたことはない」と答えた人が 87.1%と大半を占めている。なお、DVを「相談した」と答えた人は 3.5%となっている。

性別・年代別にみると、女性では 50 歳代を除くすべての年代で「相談した」と回答しており、男性では 40 歳代、70 歳代以上が「相談した」と回答している。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区を除くすべての小学校区で「相談した」経験があると回答している。

問 29. 配偶者(元配偶者も含む)や交際相手から DV を受けた経験がある場合、どこ(誰)かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む](○は1つ)



		標本数	相談した	なにもかも相談しなかった(誰)	いたDこVとをは受なけ	無回答
全 体		521	18	19	454	30
		100.0	3.5	3.6	87.1	5.8
性別・年代別	男性：20歳代	14	-	-	92.9	7.1
	男性：30歳代	18	-	11.1	88.9	-
	男性：40歳代	41	2.4	7.3	82.9	7.3
	男性：50歳代	30	-	-	100.0	-
	男性：60歳代	50	-	2.0	92.0	6.0
	男性：70歳以上	62	1.6	-	87.1	11.3
	女性：20歳代	18	5.6	-	88.9	5.6
	女性：30歳代	40	7.5	5.0	85.0	2.5
	女性：40歳代	54	9.3	1.9	83.3	5.6
	女性：50歳代	51	-	3.9	92.2	3.9
	女性：60歳代	62	6.5	6.5	83.9	3.2
	女性：70歳以上	68	2.9	5.9	85.3	5.9
小学校区別	無回答	13	7.7	-	69.2	23.1
	太宰府小学校区	101	3.0	1.0	90.1	5.9
	太宰府東小学校区	50	4.0	2.0	88.0	6.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	-	94.0	4.0
	水城小学校区	87	4.6	6.9	79.3	9.2
	水城西小学校区	67	4.5	6.0	83.6	6.0
	太宰府西小学校区	46	-	6.5	93.5	-
	国分小学校区	58	3.4	3.4	91.4	1.7
	わからない	48	6.3	4.2	87.5	2.1
	無回答	14	-	-	64.3	35.7

11. 生涯学習の推進

(1)生涯学習活動の取り組み状況(問 30)

- 生涯学習の『週1回以上の実施率』は24.6%となっている。

生涯学習活動の取り組み状況について、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日取り組んでいる」と「週に1回程度取り組んでいる」の合計）は24.6%となっている。一方、「ほとんど取り組んでいない」は52.2%で、5割以上を占めている。

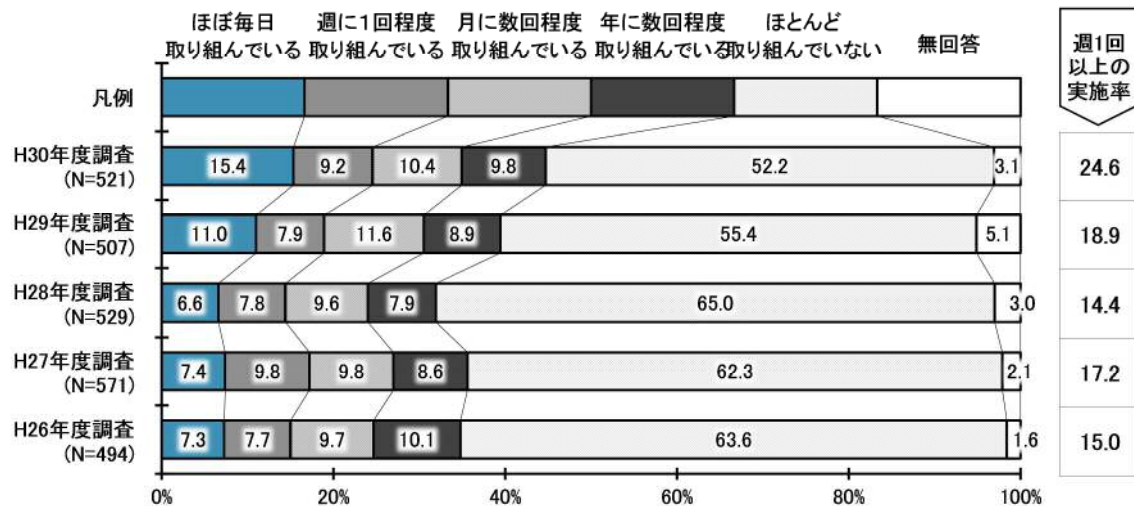
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は過去5年間の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は、男性（28.4%）の方が女性（22.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（46.9%）となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、国分小学校区（31.0%）となっている。

問 30. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。（○は1つ）



		標本数	組ほ んど 毎日 取り組 む	る取 週 に 組 1 回 で 程 い 度	る取 月 に 組 数 回 で 程 い 度	る取 年 に 組 数 回 で 程 い 度	組ほ んど でん いど な取 り	無 回 答	実週 施1 率回 以上 の
全 体		521	80	48	54	51	272	16	128
		100.0	15.4	9.2	10.4	9.8	52.2	3.1	24.6
性 別	男 性	215	19.1	9.3	11.2	8.8	49.3	2.3	28.4
	女 性	296	12.8	9.5	9.8	10.8	54.4	2.7	22.3
	無回答	10	10.0	-	10.0	-	50.0	30.0	10.0
年 代 別	20歳代	32	37.5	9.4	6.3	6.3	37.5	3.1	46.9
	30歳代	58	8.6	13.8	1.7	13.8	60.3	1.7	22.4
	40歳代	95	14.7	7.4	5.3	15.8	53.7	3.2	22.1
	50歳代	82	13.4	11.0	9.8	11.0	53.7	1.2	24.4
	60歳代	113	15.9	9.7	14.2	3.5	54.0	2.7	25.7
	70歳代以上	133	14.3	7.5	16.5	8.3	49.6	3.8	21.8
	無回答	8	12.5	-	-	25.0	37.5	25.0	12.5
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	13.9	8.9	13.9	8.9	51.5	3.0	22.8
	太宰府東小学校区	50	20.0	6.0	6.0	12.0	52.0	4.0	26.0
	太宰府南小学校区	50	14.0	12.0	10.0	4.0	58.0	2.0	26.0
	水城小学校区	87	14.9	9.2	11.5	12.6	46.0	5.7	24.1
	水城西小学校区	67	14.9	7.5	6.0	13.4	58.2	-	22.4
	太宰府西小学校区	46	8.7	10.9	15.2	6.5	58.7	-	19.6
	国分小学校区	58	20.7	10.3	15.5	12.1	41.4	-	31.0
	わからない	48	20.8	12.5	4.2	8.3	52.1	2.1	33.3
無回答		14	-	-	-	-	71.4	28.6	-

(2)運動・スポーツの取り組み頻度(問 31)

● 運動・スポーツの『週1回以上の実施率』は41.8%となっている。

運動・スポーツの取り組み頻度について、『週に1回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に3回程度行っている」、「週に1回程度行っている」の合計）は41.8%となっている。

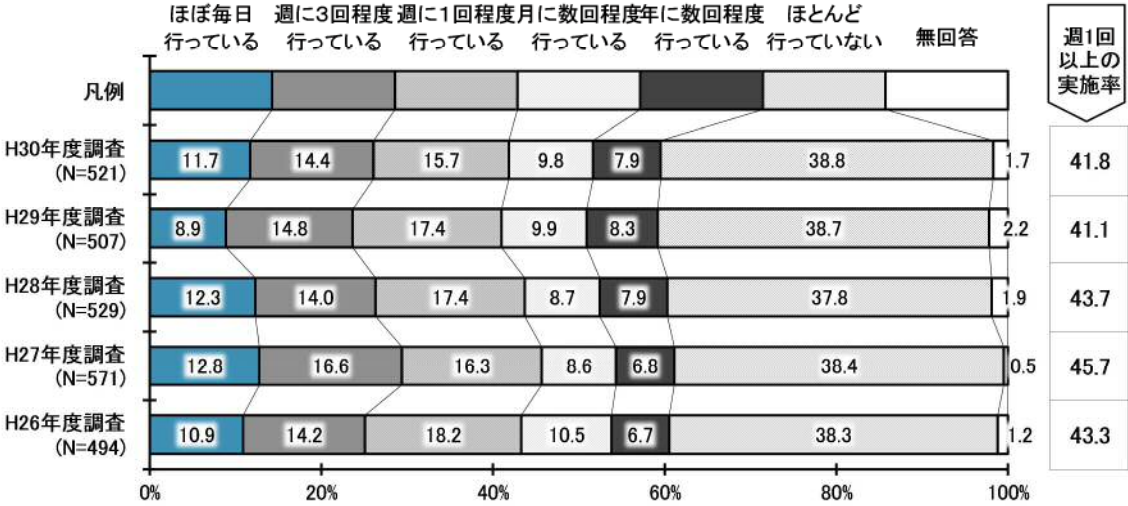
過去の調査結果と比べると、平成26年度の調査から『週1回以上の実施率』は4割以上で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は男性では43.3%、女性では40.5%と、ほぼ同程度となっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳代以上（54.9%）が最も高く、次いで60歳代（49.5%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府西小学校区（47.8%）となっている。一方、最も低いのは水城西小学校区（35.8%）となっている。

問 31. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）



		標本数	行ほ つぽ て毎 い日 る	る度週 行に つ3 て回 い程	る度週 行に つ1 て回 い程	る度月 行に つ数 て回 い程	る度年 行に つ数 て回 い程	い行ほ つと てん いど な	無 回 答	(%) の週 実1 施回 率 上
全 体		521 100.0	61 11.7	75 14.4	82 15.7	51 9.8	41 7.9	202 38.8	9 1.7	218 41.8
性 別	男 性	215	13.0	13.0	17.2	10.2	9.3	34.9	2.3	43.2
	女 性	296	10.1	15.5	14.9	9.8	7.1	41.9	0.7	40.5
	無回答	10	30.0	10.0	10.0	-	-	30.0	20.0	50.0
年 代 別	20歳代	32	3.1	12.5	12.5	15.6	3.1	53.1	-	28.1
	30歳代	58	6.9	3.4	15.5	13.8	13.8	46.6	-	25.9
	40歳代	95	7.4	8.4	14.7	11.6	13.7	42.1	2.1	30.5
	50歳代	82	3.7	14.6	22.0	11.0	7.3	41.5	-	40.2
	60歳代	113	15.0	18.6	15.9	5.3	8.0	36.3	0.9	49.5
	70歳代以上	133	20.3	20.3	14.3	8.3	2.3	31.6	3.0	54.9
	無回答	8	25.0	12.5	-	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	5.0	22.8	16.8	4.0	12.9	35.6	3.0	44.6
	太宰府東小学校区	50	16.0	10.0	16.0	18.0	4.0	34.0	2.0	42.0
	太宰府南小学校区	50	12.0	14.0	16.0	12.0	4.0	42.0	-	42.0
	水城西小学校区	87	12.6	11.5	19.5	9.2	8.0	37.9	1.1	43.7
	水城西小学校区	67	16.4	6.0	13.4	6.0	9.0	49.3	-	35.8
	太宰府西小学校区	46	15.2	10.9	21.7	8.7	6.5	37.0	-	47.8
	国分小学校区	58	12.1	22.4	12.1	10.3	3.4	39.7	-	46.6
	わからない	48	8.3	14.6	10.4	18.8	12.5	35.4	-	33.3
無回答		14	14.3	7.1	7.1	7.1	-	35.7	28.6	28.6

12. 文化芸術の振興(問 32)

- 文化芸術活動について「ほとんど行っていない」が約5割を占めており、実施していても「年に数回程度」が中心である。

文化芸術の振興について、日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、『月数回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に1回程度行っている」、「月に数回程度行っている」の合計）は15.1%となっている。なお、「年に数回程度行っている」は32.6%、「ほとんど行っていない」は50.5%となっている。

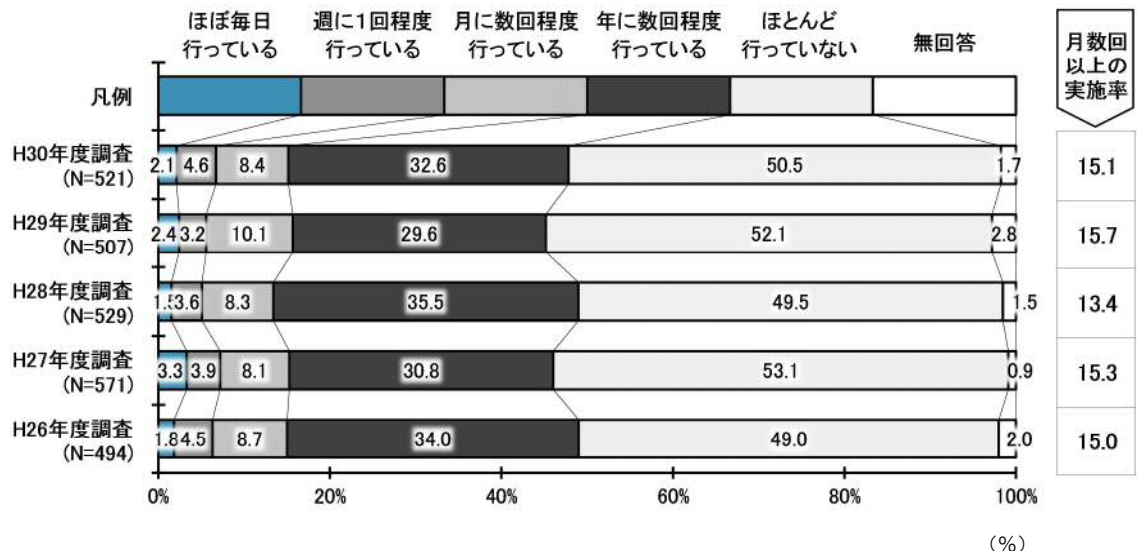
過去の調査結果と比べると、平成26年度の調査から『月1回以上の実施率』は1割以上で推移しており、特に変化はみられない。

性別にみると、『月数回以上の実施率』は、男性（17.2%）の方が女性（13.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、70歳代以上（22.6%）となっている。

小学校区別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（22.0%）となっている。

問 32. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	率上月の数実施以
全 体		521	11	24	44	170	263	9	79
		100.0	2.1	4.6	8.4	32.6	50.5	1.7	15.1
性別	男 性	215	3.7	5.1	8.4	25.6	54.9	2.3	17.2
	女 性	296	1.0	4.4	8.4	38.5	47.3	0.3	13.8
	無回答	10	-	-	10.0	10.0	50.0	30.0	10.0
年代別	20歳代	32	3.1	-	6.3	28.1	59.4	3.1	9.4
	30歳代	58	-	3.4	3.4	25.9	67.2	-	6.9
	40歳代	95	2.1	5.3	7.4	31.6	51.6	2.1	14.7
	50歳代	82	-	2.4	7.3	37.8	51.2	1.2	9.8
	60歳代	113	1.8	8.0	8.0	30.1	52.2	-	17.7
	70歳代以上	133	4.5	4.5	13.5	36.8	38.3	2.3	22.6
	無回答	8	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	101	2.0	5.9	6.9	34.7	48.5	2.0	14.9
	太宰府東小学校区	50	4.0	2.0	16.0	32.0	44.0	2.0	22.0
	太宰府南小学校区	50	4.0	8.0	6.0	32.0	50.0	-	18.0
	水城小学校区	87	2.3	2.3	11.5	36.8	44.8	2.3	16.1
	水城西小学校区	67	-	3.0	13.4	29.9	53.7	-	16.4
	太宰府西小学校区	46	-	8.7	6.5	26.1	58.7	-	15.2
	国分小学校区	58	1.7	5.2	3.4	36.2	53.4	-	10.3
	わからない	48	4.2	4.2	4.2	33.3	54.2	-	12.5
無回答		14	-	-	-	14.3	57.1	28.6	-

13. 生活環境の向上

(1) 自宅周辺の衛生環境(問 33)

● 自宅周辺の衛生環境について『肯定派』は 77.4%、『否定派』は 20.9%となっている。

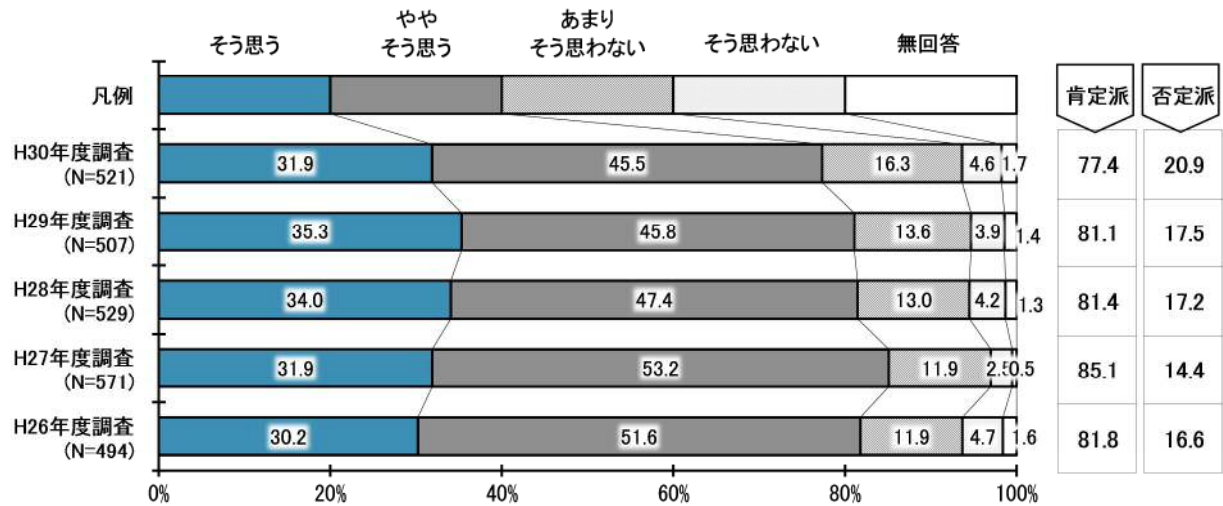
自宅周辺の衛生環境について、『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は 77.4% となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は 20.9% で、『肯定派』が 7 割を超えて高くなっている。

過去の調査結果と比べると、平成 29 年度調査から『肯定派』は 3.7 ポイント減少している。性別にみると、『肯定派』は女性（79.0%）の方が、男性（75.4%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 70 歳代以上（85.7%）となっており、年代が上がるにつれ、割合が高くなっている傾向にある。

小学校区別にみると、全ての小学校区で『肯定派』が 7 割を超えている。なお、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（89.1%）となっており、最も低いのは太宰府小学校区（70.3%）となっている。

問 33. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。（○は 1 つ）



								(%)	
		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全 体		521	166	237	85	24	9	403	109
		100.0	31.9	45.5	16.3	4.6	1.7	77.4	20.9
性別	男 性	215	31.2	44.2	18.6	3.7	2.3	75.4	22.3
	女 性	296	32.4	46.6	14.9	5.4	0.7	79.0	20.3
	無回答	10	30.0	40.0	10.0	-	20.0	70.0	10.0
年代別	20歳代	32	31.3	31.3	28.1	9.4	-	62.5	37.5
	30歳代	58	22.4	37.9	31.0	8.6	-	60.3	39.7
	40歳代	95	28.4	49.5	14.7	5.3	2.1	77.9	20.0
	50歳代	82	31.7	46.3	18.3	3.7	-	78.0	22.0
	60歳代	113	33.6	46.0	12.4	6.2	1.8	79.6	18.6
	70歳代以上	133	37.6	48.1	11.3	0.8	2.3	85.7	12.0
	無回答	8	25.0	50.0	-	-	25.0	75.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	101	28.7	41.6	21.8	5.9	2.0	70.3	27.7
	太宰府東小学校区	50	44.0	38.0	14.0	2.0	2.0	82.0	16.0
	太宰府南小学校区	50	38.0	44.0	14.0	2.0	2.0	82.0	16.0
	水城小学校区	87	37.9	44.8	10.3	5.7	1.1	82.8	16.1
	水城西小学校区	67	28.4	43.3	23.9	4.5	-	71.6	28.4
	太宰府西小学校区	46	34.8	54.3	8.7	2.2	-	89.1	10.9
	国分小学校区	58	27.6	51.7	20.7	-	-	79.3	20.7
	わからない	48	20.8	50.0	14.6	14.6	-	70.8	29.2
無回答		14	14.3	50.0	7.1	-	28.6	64.3	7.1

(2)地域の環境マナーの順守状況(問 34)

- 地域の環境マナーについて『守られている』は73.1%、『守られていない』は25.3%となっている。

地域の環境マナーの順守状況について、『守られている』（「かなり守られている」と「ある程度守られている」の合計）は73.1%となっている。一方、『守られていない』（「ほとんど守られていない」と「あまり守られていない」の合計）は25.3%で、『守られている』が『守られていない』を47.8ポイント上回っている。

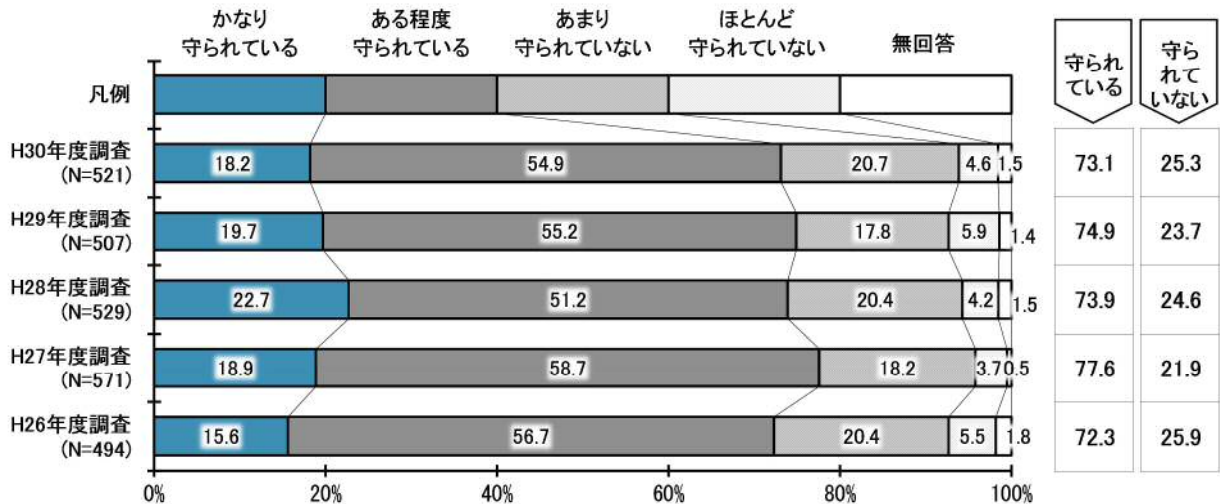
過去の調査結果と比べると、『守られている』は平成29年度調査から1.8ポイント減少している。

性別にみると、男性が73.0%、女性が73.6%とほぼ同程度となっている。

年代別にみると、『守られている』は20歳代（84.4%）の割合が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『守られている』は、太宰府小学校区を除くすべての小学校区で7割を超えている。

問 34. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。
（○は1つ）



		標本数	るらか なてり い守	い守あ るる れ程 て度	ならあ いれま てり い守	い守ほ ならと いれん てど	無回 答	い守 るら れて	い守 なら いて
全 体		521	95	286	108	24	8	73.1	25.3
性別	男 性	215	15.8	57.2	21.4	3.3	2.3	73.0	24.7
	女 性	296	19.9	53.7	20.3	5.7	0.3	73.6	26.0
	無回答	10	20.0	40.0	20.0	-	20.0	60.0	20.0
年代別	20歳代	32	12.5	71.9	15.6	-	-	84.4	15.6
	30歳代	58	12.1	55.2	25.9	6.9	-	67.2	32.8
	40歳代	95	14.7	54.7	22.1	6.3	2.1	69.5	28.4
	50歳代	82	17.1	56.1	25.6	1.2	-	73.2	26.8
	60歳代	113	16.8	57.5	17.7	7.1	0.9	74.3	24.8
	70歳代以上	133	27.8	47.4	18.8	3.8	2.3	75.2	22.6
	無回答	8	-	62.5	12.5	-	25.0	62.5	12.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	15.8	52.5	23.8	5.9	2.0	68.3	29.7
	太宰府東小学校区	50	24.0	54.0	14.0	4.0	4.0	78.0	18.0
	太宰府南小学校区	50	24.0	54.0	22.0	-	-	78.0	22.0
	水城小学校区	87	18.4	52.9	25.3	3.4	-	71.3	28.7
	水城西小学校区	67	14.9	56.7	22.4	6.0	-	71.6	28.4
	太宰府西小学校区	46	23.9	54.3	15.2	6.5	-	78.3	21.7
	国分小学校区	58	15.5	69.0	13.8	1.7	-	84.5	15.5
	わからない	48	18.8	50.0	20.8	10.4	-	68.8	31.3
	無回答	14	-	42.9	28.6	-	28.6	42.9	28.6

(3)地域の美化運動への参加状況(問 35)

● 地域の清掃活動に『参加している派』は71.4%で、年齢が上がるほど参加率が高い。

地域の美化運動への参加状況について、『参加している派』（「いつも参加している」と「たまに参加している」の合計）は71.4%となっている。一方、「参加していない」は26.9%で、『参加している派』が『参加していない派』を44.5ポイントと大幅に上回っている。

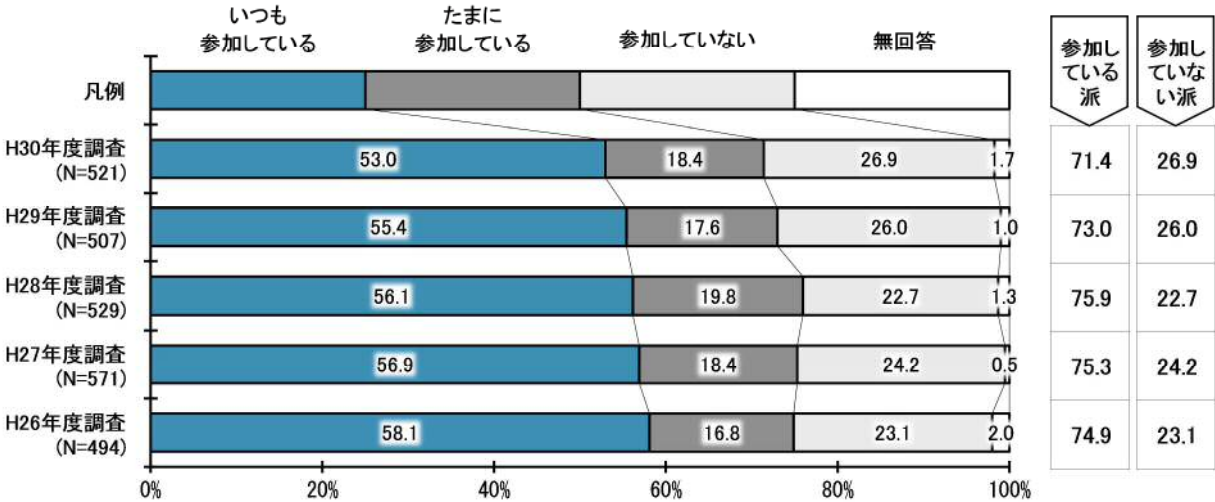
過去の調査結果と比べると、『参加している派』は、平成29年度調査から1.6ポイント減少している。

性別にみると、『参加している派』は女性（72.7%）の方が、男性（70.7%）より高くなっている。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ『参加している派』の割合が高くなる傾向となっている。20歳代では『参加していない派』が7割を超えている。

小学校区別にみると、『参加している派』が最も高いのは、太宰府東小学校区、太宰府南小学校区（ともに86.0%）となっている。一方、『参加していない派』が最も高いのは水城小学校区（41.4%）となっている。

問 35. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（〇は1つ）



		標本数	いつも参加している	たまに参加している	参加していない	無回答	いつも参加している派	参加していない派
全 体		521	276	96	140	9	71.4	26.9
性別	男 性	215	48.8	21.9	27.0	2.3	70.7	27.0
	女 性	296	56.8	15.9	26.4	1.0	72.7	26.4
	無回答	10	30.0	20.0	40.0	10.0	50.0	40.0
年代別	20歳代	32	3.1	21.9	71.9	3.1	25.0	71.9
	30歳代	58	34.5	20.7	44.8	-	55.2	44.8
	40歳代	95	35.8	30.5	31.6	2.1	66.3	31.6
	50歳代	82	48.8	22.0	29.3	-	70.7	29.3
	60歳代	113	72.6	10.6	15.9	0.9	83.2	15.9
	70歳代以上	133	71.4	12.0	13.5	3.0	83.5	13.5
	無回答	8	50.0	25.0	12.5	12.5	75.0	12.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	61.4	22.8	14.9	1.0	84.2	14.9
	太宰府東小学校区	50	72.0	14.0	12.0	2.0	86.0	12.0
	太宰府南小学校区	50	68.0	18.0	14.0	-	86.0	14.0
	水城小学校区	87	41.4	17.2	41.4	-	58.6	41.4
	水城西小学校区	67	53.7	20.9	23.9	1.5	74.6	23.9
	太宰府西小学校区	46	52.2	17.4	30.4	-	69.6	30.4
	国分小学校区	58	63.8	19.0	17.2	-	82.8	17.2
	わからない	48	18.8	12.5	64.6	4.2	31.3	64.6
無回答		14	14.3	21.4	35.7	28.6	35.7	35.7

14. 自然共生社会の構築

(1)市内の自然の豊かさについて(問 36)

- 自然の豊かさについて『肯定派』は88.3%、『否定派』は9.7%となっている。

市内の自然の豊かさについて、『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は88.3%、一方、『否定派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は9.7%で、『肯定派』の方が『否定派』を大きく上回っている。

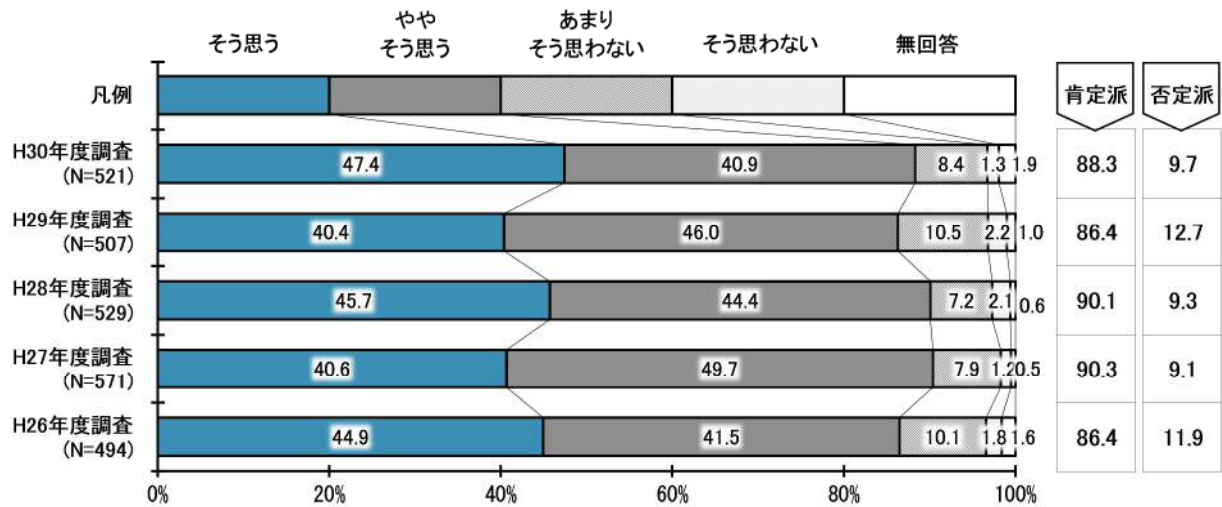
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は平成29年度調査から1.9ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性（89.3%）の方が、女性（87.8%）より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』は8割を超えている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』が8割を超えている。

問 36. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		521	247	213	44	7	10	460	51
		100.0	47.4	40.9	8.4	1.3	1.9	88.3	9.7
性別	男 性	215	44.7	44.7	7.0	1.9	1.9	89.3	8.8
	女 性	296	48.6	39.2	9.8	0.7	1.7	87.8	10.5
	無回答	10	70.0	10.0	-	10.0	10.0	80.0	10.0
年代別	20歳代	32	25.0	62.5	6.3	3.1	3.1	87.5	9.4
	30歳代	58	43.1	46.6	6.9	1.7	1.7	89.7	8.6
	40歳代	95	50.5	36.8	9.5	-	3.2	87.4	9.5
	50歳代	82	46.3	40.2	11.0	2.4	-	86.6	13.4
	60歳代	113	51.3	37.2	8.8	2.7	-	88.5	11.5
	70歳代以上	133	48.9	40.6	7.5	-	3.0	89.5	7.5
	無回答	8	62.5	25.0	-	-	12.5	87.5	-
小学校区別	太宰府小学校区	101	56.4	38.6	3.0	1.0	1.0	95.0	4.0
	太宰府東小学校区	50	50.0	40.0	8.0	-	2.0	90.0	8.0
	太宰府南小学校区	50	46.0	46.0	4.0	4.0	-	92.0	8.0
	水城小学校区	87	50.6	37.9	10.3	1.1	-	88.5	11.5
	水城西小学校区	67	32.8	49.3	14.9	1.5	1.5	82.1	16.4
	太宰府西小学校区	46	52.2	37.0	8.7	-	2.2	89.1	8.7
	国分小学校区	58	48.3	46.6	3.4	1.7	-	94.8	5.2
	わからない	48	37.5	35.4	18.8	2.1	6.3	72.9	20.8
	無回答	14	42.9	28.6	7.1	-	21.4	71.4	7.1

(2)野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について(問 37)

- 市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は 45.5%となっている。

野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について、『満足派』（「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」）は 45.5%となっている。なお、『不満派』（「観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う」）は 3.8%となっている。

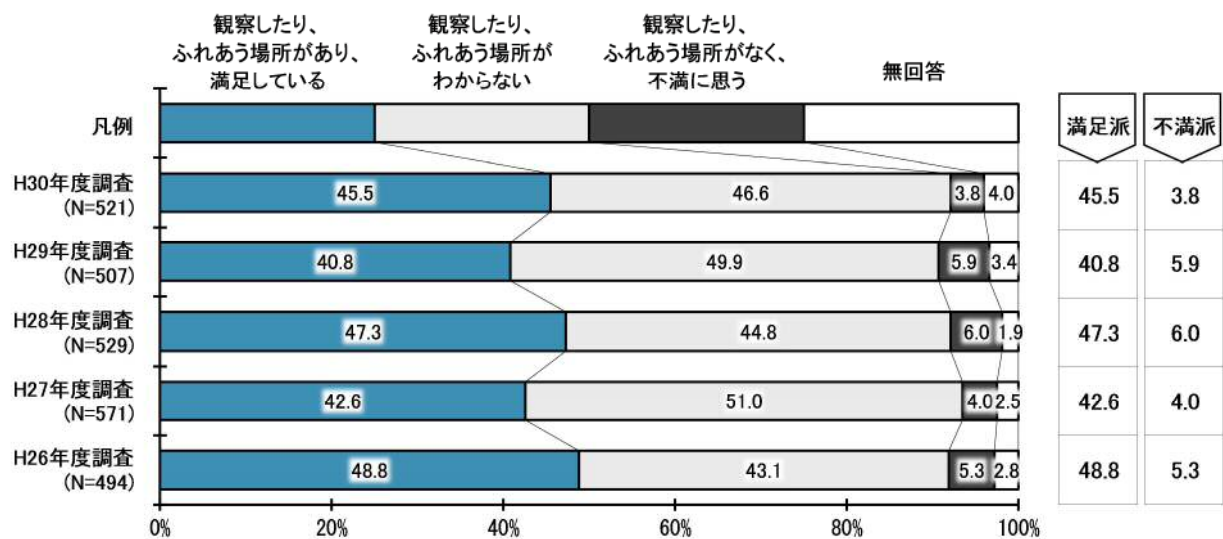
過去の調査結果と比べると、『満足派』は平成 29 年度調査から 4.7 ポイント増加している。

性別にみると、『満足派』は男女とも同じ割合（45.6%）となっている。

年代別にみると、『満足派』は、20 歳代（25.0%）で最も低い割合となっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは太宰府小学校区（59.4%）となっている。

問 37. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。
(○は1つ)



							(%)	
	標本数	しがふ観 てあれ察 いり、あ る、うた 満場り、 足所	がふ観 われ察 かあし らうた な場り、 い所	にがふ観 思なれ察 うくあし うた 不場り、 満所	無 回 答		満 足 派	不 満 派
全 体	521	237	243	20	21	237	20	
	100.0	45.5	46.6	3.8	4.0	45.5	3.8	
性 別	男 性	215	45.6	47.4	4.2	2.8	45.6	4.2
	女 性	296	45.6	46.3	3.7	4.4	45.6	3.7
	無回答	10	40.0	40.0	-	20.0	40.0	-
年 代 別	20歳代	32	25.0	68.8	3.1	3.1	25.0	3.1
	30歳代	58	36.2	56.9	5.2	1.7	36.2	5.2
	40歳代	95	46.3	48.4	2.1	3.2	46.3	2.1
	50歳代	82	50.0	42.7	6.1	1.2	50.0	6.1
	60歳代	113	51.3	42.5	2.7	3.5	51.3	2.7
	70歳代以上	133	45.9	42.9	4.5	6.8	45.9	4.5
	無回答	8	50.0	25.0	-	25.0	50.0	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	59.4	35.6	2.0	3.0	59.4	2.0
	太宰府東小学校区	50	42.0	52.0	2.0	4.0	42.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	44.0	50.0	4.0	2.0	44.0	4.0
	水城小学校区	87	48.3	43.7	2.3	5.7	48.3	2.3
	水城西小学校区	67	35.8	53.7	9.0	1.5	35.8	9.0
	太宰府西小学校区	46	43.5	52.2	2.2	2.2	43.5	2.2
	国分小学校区	58	48.3	43.1	5.2	3.4	48.3	5.2
	わからない	48	31.3	58.3	4.2	6.3	31.3	4.2
	無回答	14	35.7	35.7	7.1	21.4	35.7	7.1

15. 循環型社会の構築

(1) 生ごみ堆肥化の取り組み状況(問 38)

- 生ごみ堆肥化の取り組みについて『実践派』は 16.9%で、『非実践派』(81.4%)の方が多い。

生ごみ堆肥化の取り組み状況について、『実践派』(「取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計)は 16.9%となっている。一方、『非実践派』(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)は 81.4%で、『非実践派』が8割以上を占め、高くなっている。

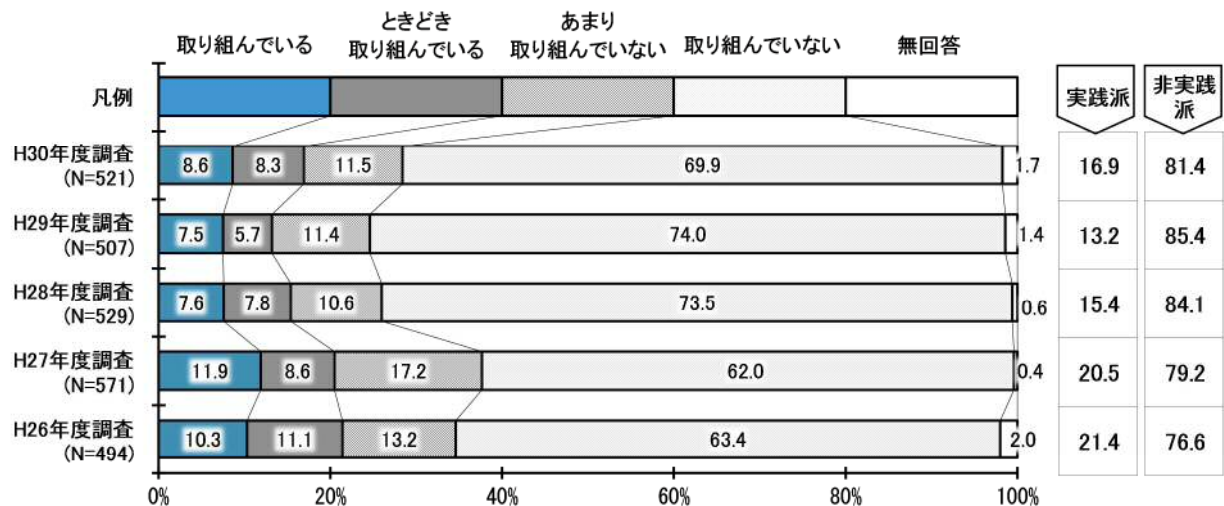
過去の調査結果と比べると、『実践派』は平成 29 年度調査から 3.7 ポイント増加している。

性別にみると、『実践派』は女性 (19.2%) の方が男性 (13.9%) より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『非実践派』が7割を超えている。30 歳代は『非実践派』が 98.3%と特に高い割合となっている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは太宰府南小学校区 (34.0%) となっている。

問 38. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(〇は1つ)



		標本数	取り組んでいる	ときどき取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答	実践派 (%)	非実践派 (%)
全 体		521	45	43	60	364	9	88	424
		100.0	8.6	8.3	11.5	69.9	1.7	16.9	81.4
性別	男 性	215	6.5	7.4	11.6	72.6	1.9	13.9	84.2
	女 性	296	10.1	9.1	11.8	67.9	1.0	19.2	79.7
	無回答	10	10.0	-	-	70.0	20.0	10.0	70.0
年代別	20歳代	32	6.3	3.1	15.6	71.9	3.1	9.4	87.5
	30歳代	58	1.7	-	8.6	89.7	-	1.7	98.3
	40歳代	95	2.1	7.4	12.6	75.8	2.1	9.5	88.4
	50歳代	82	9.8	7.3	13.4	68.3	1.2	17.1	81.7
	60歳代	113	13.3	8.8	9.7	68.1	-	22.1	77.9
	70歳代以上	133	12.0	13.5	11.3	60.2	3.0	25.6	71.4
	無回答	8	12.5	12.5	12.5	50.0	12.5	25.0	62.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	10.9	10.9	14.9	62.4	1.0	21.8	77.2
	太宰府東小学校区	50	4.0	16.0	10.0	68.0	2.0	20.0	78.0
	太宰府南小学校区	50	24.0	10.0	8.0	58.0	-	34.0	66.0
	水城小学校区	87	4.6	5.7	11.5	77.0	1.1	10.3	88.5
	水城西小学校区	67	3.0	7.5	10.4	77.6	1.5	10.4	88.1
	太宰府西小学校区	46	4.3	6.5	8.7	80.4	-	10.9	89.1
	国分小学校区	58	12.1	5.2	12.1	70.7	-	17.2	82.8
	わからない	48	8.3	6.3	10.4	70.8	4.2	14.6	81.3
	無回答	14	7.1	-	21.4	50.0	21.4	7.1	71.4

(2)不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況(問 39)

- 地域の緑化活動の参加状況について『利用している派』は 85.8%、『利用していない派』は 12.7%となっている。

不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況について、『利用している派』（「いつも利用している」と「たまに利用している」の合計）は 85.8%となっている。一方、『利用していない派』は 12.7%で『利用している派』が8割を超え、高くなっている。

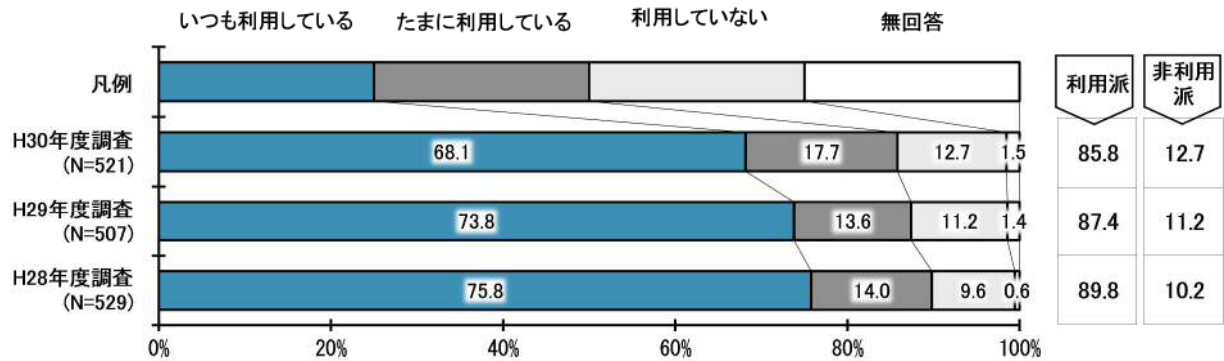
過去調査結果と比較すると、『利用派』は平成 29 年度調査から 1.6 ポイント減少している。

性別にみると、『利用している派』は、女性（86.5%）の方が男性（84.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『利用している派』は 40 歳代以上で8割を超えている。一方、30 歳代以下では『利用していない派』が約3割と40 歳代以上の年代に比べて高い割合となっている。

小学校区別にみると、『利用している派』は太宰府東小学校区（96.0%）が最も高く、次いで、水城西小学校区（91.0%）となっている。

問 39. あなたは、不要な紙類（新聞紙・雑誌及び雑紙・ダンボール）及び古布の資源回収を利用していますか。（○は1つ）



		標本数	る用い しつ ても い利	る用た しま てに い利	い利 な用 いし て	無 回 答	い利 る用 派し て	い利 な用 いし 派て
全 体		521	355	92	66	8	447	66
		100.0	68.1	17.7	12.7	1.5	85.8	12.7
性 別	男 性	215	63.7	20.9	13.5	1.9	84.6	13.5
	女 性	296	71.3	15.2	12.5	1.0	86.5	12.5
	無回答	10	70.0	20.0	-	10.0	90.0	-
年 代 別	20歳代	32	43.8	21.9	28.1	6.3	65.6	28.1
	30歳代	58	41.4	24.1	34.5	-	65.5	34.5
	40歳代	95	61.1	25.3	11.6	2.1	86.3	11.6
	50歳代	82	63.4	26.8	9.8	-	90.2	9.8
	60歳代	113	79.6	12.4	8.0	-	92.0	8.0
	70歳代以上	133	84.2	6.8	6.8	2.3	91.0	6.8
	無回答	8	62.5	25.0	-	12.5	87.5	-
	無回答	8	62.5	25.0	-	12.5	87.5	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	75.2	13.9	9.9	1.0	89.1	9.9
	太宰府東小学校区	50	76.0	20.0	2.0	2.0	96.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	70.0	18.0	12.0	-	88.0	12.0
	水城小学校区	87	69.0	14.9	16.1	-	83.9	16.1
	水城西小学校区	67	74.6	16.4	7.5	1.5	91.0	7.5
	太宰府西小学校区	46	71.7	15.2	13.0	-	87.0	13.0
	国分小学校区	58	70.7	19.0	10.3	-	89.7	10.3
	わからない	48	33.3	29.2	33.3	4.2	62.5	33.3
無回答		14	42.9	21.4	14.3	21.4	64.3	14.3

16. 低炭素社会の構築(問 40)

- 省エネルギー・省資源の活動について『実践派』は 84.7%、『非実践派』は 13.9%となっている。

低炭素社会の構築について、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）の『実践派』（「行っている」と「ある程度行っている」）の合計は 84.7%となっている。一方、『非実践派』（「ほとんど行っていない」と「あまり行っていない」）の合計は 13.9%で、『実践派』が8割を超え、高くなっている。

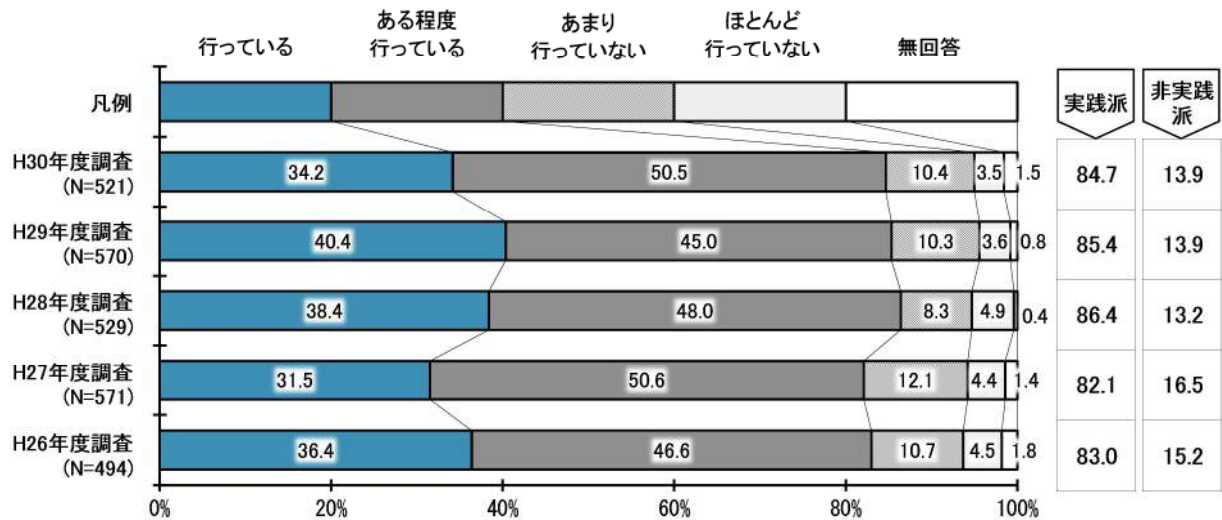
過去の調査結果と比べると、『実践派』が8割を超える傾向は変わらない。

性別にみると、『実践派』は、女性（88.9%）の方が男性（79.1%）より高くなっている。

年代別にみると、『実践派』が最も高いのは、60歳代（93.8%）となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『実践派』が8割を超えている。

問 40. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）



		標本数	行っている	ある程度行っている	あまり行っていない	ほとんど行っていない	無回答	実践派 (%)	非実践派 (%)
全体		521	178	263	54	18	8	441	72
		100.0	34.2	50.5	10.4	3.5	1.5	84.7	13.9
性別	男性	215	25.1	54.0	14.0	5.1	1.9	79.1	19.1
	女性	296	40.9	48.0	8.1	2.0	1.0	88.9	10.1
	無回答	10	30.0	50.0	-	10.0	10.0	80.0	10.0
年代別	20歳代	32	21.9	46.9	21.9	6.3	3.1	68.8	28.1
	30歳代	58	41.4	39.7	15.5	3.4	-	81.0	19.0
	40歳代	95	21.1	55.8	15.8	5.3	2.1	76.8	21.1
	50歳代	82	30.5	48.8	13.4	7.3	-	79.3	20.7
	60歳代	113	35.4	58.4	5.3	0.9	-	93.8	6.2
	70歳代以上	133	43.6	47.4	4.5	1.5	3.0	91.0	6.0
	無回答	8	50.0	37.5	-	-	12.5	87.5	-
小学校区別	太宰府小学校区	101	34.7	49.5	11.9	3.0	1.0	84.2	14.9
	太宰府東小学校区	50	34.0	50.0	12.0	2.0	2.0	84.0	14.0
	太宰府南小学校区	50	46.0	42.0	10.0	2.0	-	88.0	12.0
	水城小学校区	87	39.1	49.4	9.2	2.3	-	88.5	11.5
	水城西小学校区	67	32.8	55.2	10.4	-	1.5	88.1	10.4
	太宰府西小学校区	46	28.3	58.7	8.7	4.3	-	87.0	13.0
	国分小学校区	58	31.0	55.2	8.6	5.2	-	86.2	13.8
	わからない	48	29.2	39.6	14.6	12.5	4.2	68.8	27.1
	無回答	14	14.3	64.3	-	-	21.4	78.6	-

17. 環境教育・学習の推進(問 41)

- 環境に関する学習会や講習会に参加したことがある人は 16.1%となっている。

環境教育・学習の推進について、環境に関する学習会や講習会に参加したことがある、『参加率』（「年に2回以上参加した」と「年に1回程度は参加した」の合計）は 16.1%となっている。一方、「参加したことはない」は 81.8%で、8割を超え、高くなっている。

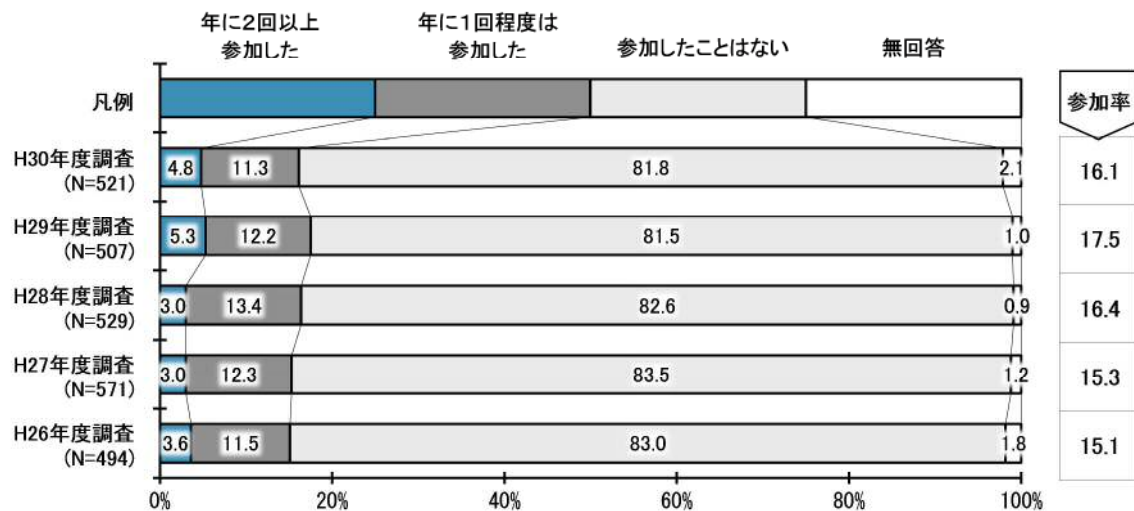
過去の調査結果と比べると、過去5年間の調査で『参加率』は1割台で推移している。

性別にみると、『参加率』は、女性（18.2%）の方が男性（13.9%）よりも高くなっている。

年代別にみると、『参加率』が最も高いのは、70歳代以上（23.3%）となっている。

小学校区別にみると、『参加率』が最も高いのは、太宰府小学校区（21.8%）となっており、次いで国分小学校区（20.7%）、太宰府東小学校区（20.0%）の順となっている。一方、『参加率』が最も低いのは、太宰府西小学校区（10.9%）となっている。

問 41. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベント(環境フェスタ等)に参加したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	上年 参 加 2 回 以 上	た 度 年 は に 参 加 1 回 以 上	と 参 加 な し た こ と	無 回 答	参 加 率
全 体		521	25	59	426	11	84
		100.0	4.8	11.3	81.8	2.1	16.1
性 別	男 性	215	3.7	10.2	84.2	1.9	13.9
	女 性	296	5.7	12.5	79.7	2.0	18.2
	無回答	10	-	-	90.0	10.0	-
年 代 別	20歳代	32	3.1	9.4	84.4	3.1	12.5
	30歳代	58	5.2	8.6	86.2	-	13.8
	40歳代	95	5.3	12.6	78.9	3.2	17.9
	50歳代	82	2.4	8.5	89.0	-	11.0
	60歳代	113	0.9	11.5	85.8	1.8	12.4
	70歳代以上	133	9.8	13.5	73.7	3.0	23.3
	無回答	8	-	12.5	75.0	12.5	12.5
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	8.9	12.9	77.2	1.0	21.8
	太宰府東小学校区	50	2.0	18.0	78.0	2.0	20.0
	太宰府南小学校区	50	4.0	14.0	82.0	-	18.0
	水城小学校区	87	4.6	8.0	85.1	2.3	12.6
	水城西小学校区	67	6.0	9.0	83.6	1.5	14.9
	太宰府西小学校区	46	2.2	8.7	89.1	-	10.9
	国分小学校区	58	5.2	15.5	77.6	1.7	20.7
	わからない	48	2.1	6.3	87.5	4.2	8.3
	無回答	14	-	7.1	71.4	21.4	7.1

18. 未来に伝える景観づくり

(1)市内の自然の美しさに対する評価(問 42)

- 市内の自然が美しいと感じている人は 88.5%となっている。

市内の自然の美しさに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 88.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 9.8%で、『肯定派』が約 9 割を占め、高くなっている。

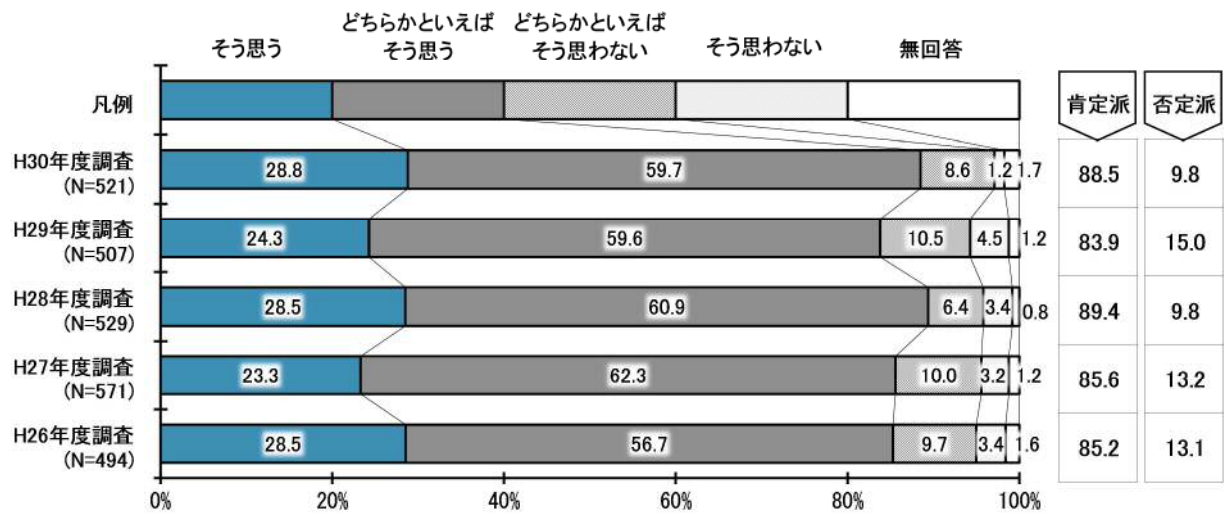
過去の調査結果と比べると、『否定派』は、平成 29 年度調査から 5.2 ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は、女性（89.5%）の方が男性（87.0%）より高くなっている。

年代別にみると、20 歳代を除くすべての年代で『肯定派』が約 9 割となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは、水城西小学校区（95.5%）となっている。

問 42. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		521	150	311	45	6	9	88.5	9.8
性別	男 性	215	26.5	60.5	9.3	1.9	1.9	87.0	11.2
	女 性	296	31.4	58.1	8.4	0.7	1.4	89.5	9.1
	無回答	10	-	90.0	-	-	10.0	90.0	-
年代別	20歳代	32	31.3	46.9	15.6	3.1	3.1	78.1	18.8
	30歳代	58	29.3	62.1	8.6	-	-	91.4	8.6
	40歳代	95	31.6	57.9	8.4	-	2.1	89.5	8.4
	50歳代	82	28.0	61.0	9.8	1.2	-	89.0	11.0
	60歳代	113	28.3	61.1	7.1	2.7	0.9	89.4	9.7
	70歳代以上	133	27.8	60.2	8.3	0.8	3.0	88.0	9.0
	無回答	8	12.5	75.0	-	-	12.5	87.5	-
小学校区別	太宰府小学校区	101	36.6	51.5	10.9	-	1.0	88.1	10.9
	太宰府東小学校区	50	22.0	66.0	10.0	-	2.0	88.0	10.0
	太宰府南小学校区	50	30.0	58.0	8.0	2.0	2.0	88.0	10.0
	水城小学校区	87	37.9	52.9	6.9	2.3	-	90.8	9.2
	水城西小学校区	67	25.4	70.1	3.0	-	1.5	95.5	3.0
	太宰府西小学校区	46	13.0	78.3	8.7	-	-	91.3	8.7
	国分小学校区	58	27.6	63.8	6.9	1.7	-	91.4	8.6
	わからない	48	29.2	45.8	16.7	4.2	4.2	75.0	20.8
	無回答	14	7.1	64.3	7.1	-	21.4	71.4	7.1

(2)市内の歴史的景観の美しさに対する評価(問 43)

● 歴史的な景観が美しいと感じている人は90.2%となっている。

市内の歴史的な景観の美しさに対する評価について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は90.2%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計)は7.8%で、『肯定派』が9割を占め、高くなっている。

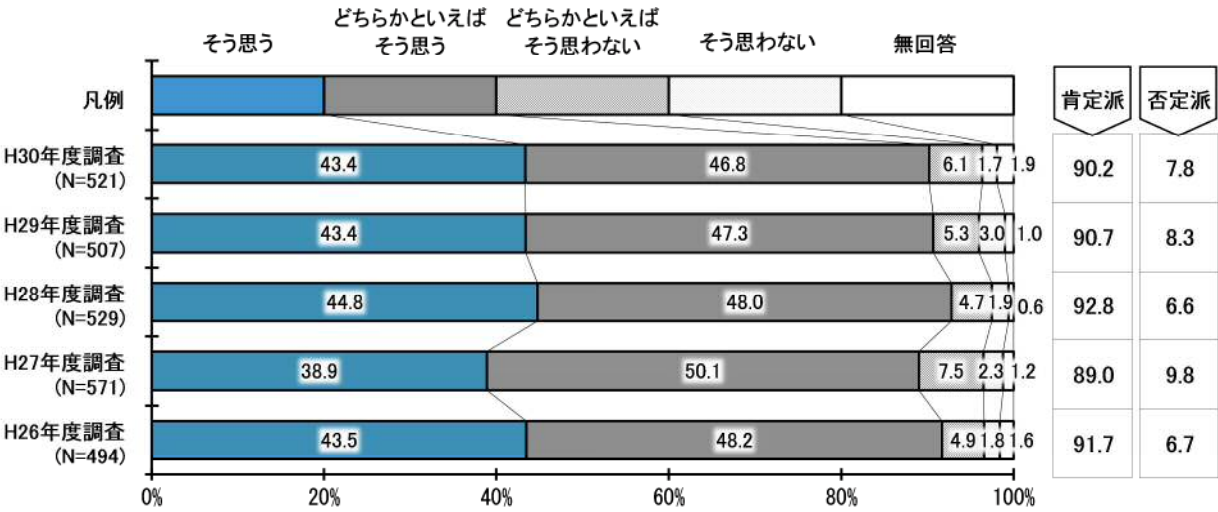
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が約9割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、男性が90.2%、女性が90.5%とほぼ同程度となっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が約9割を占めている。

小学校区別にみると、『肯定派』の割合が最も高いのは太宰府西小学校区(97.8%)となっている。

問 43. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



									(%)	
		標 本 数	そ う 思 う	思 い え ば そ う と	ど ち ら か と 思 わ な い	ど ち ら か と 思 い え ば そ う と	い そ う 思 わ な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		521 100.0	226 43.4	244 46.8	32 6.1	9 1.7	10 1.9	470 90.2	41 7.8	
性 別	男 性	215	40.5	49.8	5.6	2.3	1.9	90.2	7.9	
	女 性	296	45.6	44.9	6.4	1.4	1.7	90.5	7.8	
	無回答	10	40.0	40.0	10.0	-	10.0	80.0	10.0	
年 代 別	20歳代	32	43.8	37.5	9.4	6.3	3.1	81.3	15.6	
	30歳代	58	48.3	44.8	3.4	3.4	-	93.1	6.9	
	40歳代	95	47.4	46.3	3.2	1.1	2.1	93.7	4.2	
	50歳代	82	45.1	46.3	8.5	-	-	91.5	8.5	
	60歳代	113	39.8	47.8	8.0	2.7	1.8	87.6	10.6	
	70歳代以上	133	40.6	50.4	5.3	0.8	3.0	91.0	6.0	
	無回答	8	37.5	37.5	12.5	-	12.5	75.0	12.5	
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	45.5	43.6	8.9	1.0	1.0	89.1	9.9	
	太宰府東小学校区	50	42.0	50.0	4.0	2.0	2.0	92.0	6.0	
	太宰府南小学校区	50	40.0	56.0	-	2.0	2.0	96.0	2.0	
	水城小学校区	87	48.3	37.9	9.2	3.4	1.1	86.2	12.6	
	水城西小学校区	67	41.8	53.7	3.0	-	1.5	95.5	3.0	
	太宰府西小学校区	46	45.7	52.2	2.2	-	-	97.8	2.2	
	国分小学校区	58	43.1	50.0	5.2	1.7	-	93.1	6.9	
	わからない	48	39.6	41.7	10.4	4.2	4.2	81.3	14.6	
	無回答	14	28.6	35.7	14.3	-	21.4	64.3	14.3	

(3)居住地区のまちなみに対する評価(問 44)

- 住んでいる地区のまちなみが良好だと思う人は81.8%となっている。

居住地区のまちなみに対する評価について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は81.8%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は16.5%で、『肯定派』が8割以上を占め、高くなっている。

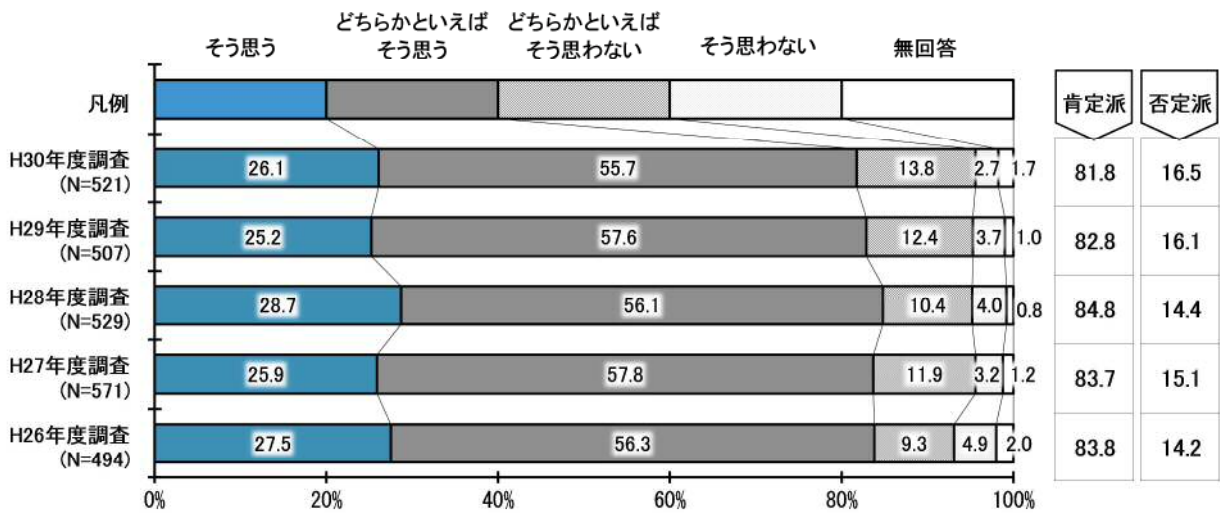
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が約8割を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、男性が81.8%、女性が81.4%とほぼ同程度となっている。

年代別にみると、すべての年代において『肯定派』が約8割を占めている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府南小学校区、国分小学校区以外の小学校区で8割を超えた割合となっている。特に、太宰府西小学校区(100.0%)、太宰府東小学校区(92.0%)が高い割合となっている。

問 44. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		521	136	290	72	14	9	81.8	16.5
性別	男 性	215	27.4	54.4	13.5	2.8	1.9	81.8	16.3
	女 性	296	25.0	56.4	14.5	2.7	1.4	81.4	17.2
	無回答	10	30.0	60.0	-	-	10.0	90.0	-
年代別	20歳代	32	25.0	59.4	12.5	-	3.1	84.4	12.5
	30歳代	58	29.3	50.0	19.0	1.7	-	79.3	20.7
	40歳代	95	26.3	57.9	10.5	3.2	2.1	84.2	13.7
	50歳代	82	20.7	58.5	20.7	-	-	79.3	20.7
	60歳代	113	23.0	57.5	12.4	6.2	0.9	80.5	18.6
	70歳代以上	133	32.3	51.1	11.3	2.3	3.0	83.5	13.5
	無回答	8	-	75.0	12.5	-	12.5	75.0	12.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	26.7	47.5	20.8	4.0	1.0	74.3	24.8
	太宰府東小学校区	50	26.0	66.0	6.0	-	2.0	92.0	6.0
	太宰府南小学校区	50	26.0	50.0	16.0	8.0	-	76.0	24.0
	水城小学校区	87	32.2	56.3	9.2	2.3	-	88.5	11.5
	水城西小学校区	67	25.4	56.7	16.4	-	1.5	82.1	16.4
	太宰府西小学校区	46	30.4	69.6	-	-	-	100.0	-
	国分小学校区	58	22.4	53.4	19.0	3.4	1.7	75.9	22.4
	わからない	48	20.8	54.2	16.7	4.2	4.2	75.0	20.8
	無回答	14	7.1	57.1	14.3	-	21.4	64.3	14.3

19. 計画的なまちづくりの推進

(1)住環境の快適さに対する評価(問 45)

- 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は 66.5%となっている。

住環境の快適さに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 66.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 31.2%で、『肯定派』が6割を超え、高くなっている。

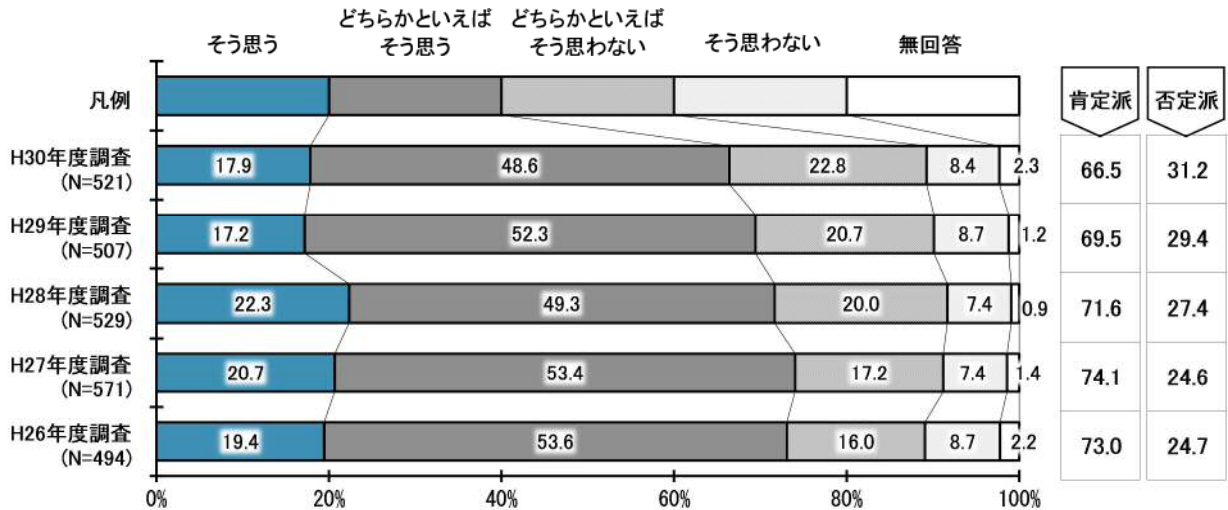
過去の調査結果と比べると、過去5年間の調査で『肯定派』は最も低くなっている。

性別にみると、『肯定派』は、男性（67.4%）の方が女性（65.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは20歳代（71.9%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは50歳代（39.0%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府西小学校区（89.1%）、太宰府東小学校区（80.0%）で、8割を超え高くなっている。一方、『否定派』は、太宰府小学校区（44.6%）、国分小学校区（41.4%）で高い割合となっている。

問 45. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	思いど うえち ばらそ うと	思いど わえち なばら いそか うと	いそ う思 わな	無 回 答	肯定 派	否定 派
全 体		521 100.0	93 17.9	253 48.6	119 22.8	44 8.4	12 2.3	346 66.5	163 31.2
性 別	男 性	215	15.3	52.1	20.9	8.8	2.8	67.4	29.8
	女 性	296	19.9	45.9	24.3	8.1	1.7	65.9	32.4
	無回答	10	10.0	50.0	20.0	10.0	10.0	60.0	30.0
年 代 別	20歳代	32	21.9	50.0	21.9	3.1	3.1	71.9	25.0
	30歳代	58	12.1	50.0	29.3	8.6	-	62.1	37.9
	40歳代	95	14.7	53.7	16.8	12.6	2.1	68.4	29.5
	50歳代	82	15.9	45.1	30.5	8.5	-	61.0	39.0
	60歳代	113	16.8	47.8	20.4	12.4	2.7	64.6	32.7
	70歳代以上	133	24.1	46.6	21.8	3.8	3.8	70.7	25.6
	無回答	8	12.5	50.0	25.0	-	12.5	62.5	25.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	15.8	37.6	29.7	14.9	2.0	53.5	44.6
	太宰府東小学校区	50	18.0	62.0	14.0	4.0	2.0	80.0	18.0
	太宰府南小学校区	50	14.0	54.0	24.0	8.0	-	68.0	32.0
	水城小学校区	87	24.1	47.1	25.3	3.4	-	71.3	28.7
	水城西小学校区	67	17.9	50.7	16.4	11.9	3.0	68.7	28.4
	太宰府西小学校区	46	30.4	58.7	6.5	4.3	-	89.1	10.9
	国分小学校区	58	10.3	46.6	29.3	12.1	1.7	56.9	41.4
	わからない	48	16.7	45.8	27.1	6.3	4.2	62.5	33.3
	無回答	14	-	42.9	28.6	-	28.6	42.9	28.6

(2)商業施設等の利便性に対する評価(問 46)

- 商業施設等が周辺にあり、生活をするうえで便利と感じている人は64.1%となっている。

商業施設等の利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は64.1%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は34.4%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

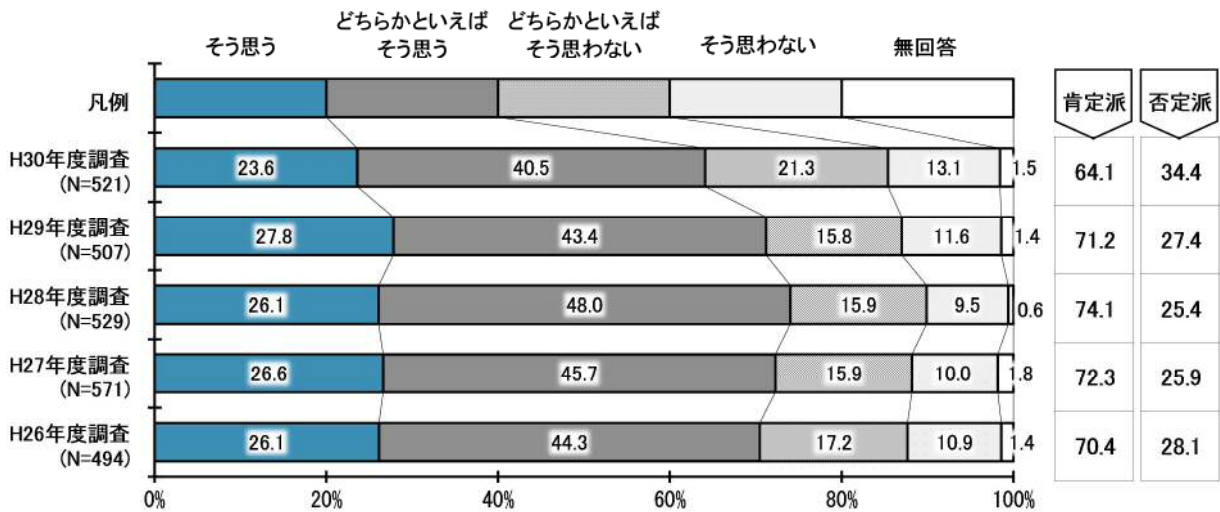
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は平成29年度調査から7.1ポイント減少している。

性別にみると、女性（64.8%）の方が男性（63.7%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は20歳代（78.1%）が最も高く、次いで40歳代（70.5%）の順となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府西小学校区（91.3%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が高いのは太宰府南小学校区（56.0%）、国分小学校区（55.2%）となっている。

問 46. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		521	123	211	111	68	8	334	179
		100.0	23.6	40.5	21.3	13.1	1.5	64.1	34.4
性別	男 性	215	22.8	40.9	23.7	11.2	1.4	63.7	34.9
	女 性	296	24.3	40.5	19.9	13.9	1.4	64.8	33.8
	無回答	10	20.0	30.0	10.0	30.0	10.0	50.0	40.0
年代別	20歳代	32	34.4	43.8	12.5	6.3	3.1	78.1	18.8
	30歳代	58	25.9	41.4	20.7	12.1	-	67.2	32.8
	40歳代	95	21.1	49.5	12.6	14.7	2.1	70.5	27.4
	50歳代	82	15.9	37.8	26.8	19.5	-	53.7	46.3
	60歳代	113	27.4	39.8	20.4	12.4	-	67.3	32.7
	70歳代以上	133	24.1	34.6	27.8	10.5	3.0	58.6	38.3
	無回答	8	12.5	50.0	12.5	12.5	12.5	62.5	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	15.8	36.6	23.8	23.8	-	52.5	47.5
	太宰府東小学校区	50	12.0	46.0	28.0	12.0	2.0	58.0	40.0
	太宰府南小学校区	50	14.0	28.0	40.0	16.0	2.0	42.0	56.0
	水城小学校区	87	32.2	44.8	11.5	11.5	-	77.0	23.0
	水城西小学校区	67	28.4	55.2	11.9	3.0	1.5	83.6	14.9
	太宰府西小学校区	46	56.5	34.8	8.7	-	-	91.3	8.7
	国分小学校区	58	13.8	31.0	36.2	19.0	-	44.8	55.2
	わからない	48	20.8	50.0	16.7	8.3	4.2	70.8	25.0
	無回答	14	21.4	21.4	14.3	21.4	21.4	42.9	35.7

(3) 近くにあると便利だと思う施設(問 46 付問1)

問 46 付問 1. あなたの家の近くにあると便利だと思う施設がありましたら、具体的に記入してください。

家の近くにあると便利だと思う施設	男性							女性							総計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	
総計	3	12	12	6	8	11	52	3	11	13	16	4	8	55	107
1.商業施設	1	4	5	2	7	3	22		5	4	6		3	18	40
2.文化施設	1				1	1	3	2	1	1	1	1		6	9
3.金融機関・行政等	1	1	1			2	5		2		4	1	1	8	13
4.医療施設		2	2	1		2	7				3	1		4	11
5.公園・スポーツ施設		1	1	1		1	4		1	4			1	6	10
6.飲食関連								1	1				1	3	3
7.公共交通関連		2	2	2		1	7								7
8.教育機関		1	1			1	3			1				1	4
9.福祉関連		1					1		1	2		1		4	5
10.その他										1	2		2	5	5

家の近くにあると便利だと思う施設	男性							女性							総計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	
総計	3	12	12	6	8	11	52	3	11	13	16	4	8	55	107
1.商業施設	1	4	5	2	7	3	22		5	4	6		3	18	40
商業・ショッピングセンター						1	1				1			1	2
・ショッピングセンター															
・商業施設															
コンビニ		3	1		1		5		1					1	6
・コンビニ															
スーパー	1	1	1	2	3	1	9		2	3	5		2	12	21
・スーパー															
・スーパー（青山付近）															
・マルキョウなど買い物する店が近いと良い															
・いきいき情報センターのママーズ跡にスーパーが入って欲しい															
・太宰府駅周辺にスーパーが欲しい															
・大型スーパー															
食品			1				1			1				1	2
・だざいふの里が開店になって困りました。自然食品等の商店の出店を希望します。															
・太宰府駅周辺にパン屋があると便利															
薬局					3		3		1					1	4
・ドラッグストア															
・薬局															
商店			1			1	2		1				1	2	4
・商店															
・食品と日用品が揃う店舗が欲しい															
・駅ビル（二日市、太宰府駅）天満宮まで行かなくても様々なお土産が買える施設。地域住民やお土産買い忘れの観光客のために															
商店街			1				1								1
・商店街が駅前にあると活気が沸く															
2.文化施設	1				1	1	3	2	1	1	1	1		6	9
公民館					1	1	2								2
・公民館。外観塗装工事で実施されたがエレベーターなどの導入は費用でカットされた。高齢化を考えると目指す時期では。															
・利用しやすい公民館															
施設									1		1			2	2
・コミュニティセンター															
・コミュニティセンター（筑紫野市はたくさんあるが太宰府市はない）															
図書館	1						1	1				1		2	3
・図書館															
・もっと本を読む場所も充実した図書館。															
美術館										1				1	1
・美術館															
勉強施設								1						1	1
・学生がいつでも勉強できるスペース。公民館を開放するなど															

家の近くにあると便利だと思う施設	男性							女性							総計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	
3.金融機関・行政等	1	1	1			2	5		2		4	1	1	8	13
銀行		1	1				2				2	1		3	5
・銀行															
・銀行（ATM）															
郵便											1			1	1
・ポストととっても近い郵便局															
リサイクルセンター	1						1								1
・資源リサイクルセンター															
資源									1					1	1
・古紙回収BOX															
交番						1	1				1			1	2
・交番															
・派出所															
行政									1					1	1
・住民票などが発行できる簡易施設。市役所が混むため。															
支所						1	1								1
・市役所の支所															
避難所													1	1	1
・公民館がハザードマップで避難できない場所なので、安心して集合できる場所。															
4.医療施設		2	2	1		2	7				3	1		4	11
AED						1	1								1
・AED設置場所が近くにあると安心と思う。															
病院		2	2	1		1	6				3	1		4	10
・外科															
・小児科															
・総合病院															
・病院															
5.公園・スポーツ施設		1	1	1		1	4		1	4			1	6	10
運動施設						1	1			1				1	2
・プールがついた運動場															
・運動施設															
公園		1					1		1	3			1	5	6
・公園															
・広めの公園															
・子供のびのび遊べる公園															
・市営の運動公園															
・大きな公園															
勉強施設				1			1								1
・子供が自由に遊べる勉強できる開放された施設															
遊ぶ施設			1				1								1
・雨天、真夏日に子供が利用できる施設（かくれんぼ等）などを各地区に。															
6.飲食関連								1	1				1	3	3
飲食									1					1	1
・特産品を食べられる飲食店															
飲食店								1						1	1
・家族で行けるご飯屋さん															
食事処													1	1	1
・食事処が少なすぎる															
7.公共交通関連		2	2	2		1	7								7
バス停				2		1	3								3
・バス停															
・坂が多くバスの便が悪い。															
公共交通		1					1								1
・二日市（西鉄）水城（JR）等近隣の市の駅までまほろば号が行けたらいいです。															
駅		1					1								1
・駅															
交通			1				1								1
・インフラストラクチャー整備															
歩道橋			1				1								1
・エレベーター付きのバリエーション歩道橋															

家の近くにあると便利だと思う施設	男性							女性							総計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計	
8.教育機関		1	1			1	3			1				1	4
学校		1				1	2			1				1	3
・小学校、中学校 ・小学校がかなり遠いので子供が通いだす事に不安を感じています。															
塾			1				1								1
・学習塾、図書館今の場所は冬に大渋滞して行きにくい。 とびうめアリーナあたりに別館が欲しい。															
9.福祉関連		1					1		1	2		1		4	5
保育所										1				1	1
・保育園															
子育て施設		1					1		1	1				2	3
・子育て支援センター ・週末も無償で利用できる子育て支援センター ・児童館															
施設（高齢者）												1		1	1
・お年寄りが集まる部屋。お年寄りが集まってくれるような1日ワンコインという料金で、1日いる事が出来るような場を作るのが夢です。お年寄りの居場所を。															
10.その他										1	2		2	5	5
駐車場											2		1	3	3
・コインパーキング ・駐車場 ・駐車場。道幅が狭いけど実際は車を止めて荷物をおろしたりするからちょっとした駐車場が欲しい。															
入浴施設										1				1	1
・入浴施設															
その他													1	1	1
・毎日自由に出入りができる場所															

20. 地域交通体系の整備

(1)市内のバスの利便性に対する評価(問 47)

- バスの利便性について『肯定派』は 40.9%、『否定派』は 29.4%となっている。

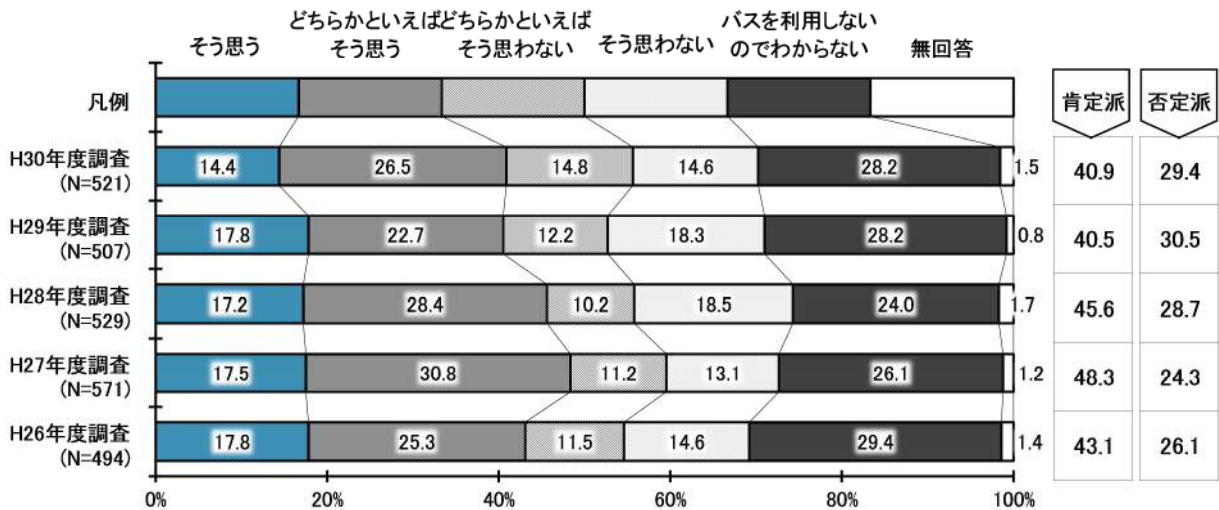
市内のバスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 40.9%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 29.4%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。なお、「バスを利用しないのでわからない」は 28.2%となっている。

性別にみると、『肯定派』は女性（42.6%）の方が男性（38.6%）より高くなっている

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは、70 歳代以上（51.2%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府南小学校区、太宰府西小学校区（ともに 50.0%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府東小学校区（40.0%）となっている。

問 47. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	えどち ばち そう か 思 と う い	なえど いばち そう か 思 と わ い	そう 思 わ な い	らなバ ないス のを で利 わ用 かし	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		521 100.0	75 14.4	138 26.5	77 14.8	76 14.6	147 28.2	8 1.5	213 40.9	153 29.4
性別	男 性	215	12.6	26.0	17.2	14.4	28.8	0.9	38.6	31.6
	女 性	296	15.9	26.7	13.2	14.9	27.7	1.7	42.6	28.0
	無回答	10	10.0	30.0	10.0	10.0	30.0	10.0	40.0	20.0
年代別	20歳代	32	28.1	12.5	21.9	12.5	25.0	-	40.6	34.4
	30歳代	58	19.0	22.4	10.3	10.3	36.2	1.7	41.4	20.7
	40歳代	95	8.4	28.4	18.9	9.5	33.7	1.1	36.8	28.4
	50歳代	82	4.9	28.0	15.9	25.6	23.2	2.4	32.9	41.5
	60歳代	113	11.5	24.8	12.4	14.2	36.3	0.9	36.3	26.5
	70歳代以上	133	21.1	30.1	13.5	15.0	19.5	0.8	51.2	28.6
	無回答	8	25.0	37.5	12.5	-	-	25.0	62.5	12.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	20.8	26.7	16.8	15.8	17.8	2.0	47.5	32.7
	太宰府東小学校区	50	12.0	28.0	14.0	26.0	18.0	2.0	40.0	40.0
	太宰府南小学校区	50	16.0	34.0	10.0	22.0	18.0	-	50.0	32.0
	水城小学校区	87	12.6	20.7	18.4	9.2	39.1	-	33.3	27.6
	水城西小学校区	67	9.0	22.4	13.4	16.4	38.8	-	31.3	29.9
	太宰府西小学校区	46	19.6	30.4	17.4	13.0	17.4	2.2	50.0	30.4
	国分小学校区	58	10.3	27.6	19.0	12.1	29.3	1.7	37.9	31.0
	わからない	48	14.6	22.9	6.3	6.3	50.0	-	37.5	12.5
	無回答	14	7.1	42.9	7.1	7.1	14.3	21.4	50.0	14.3

(2)コミュニティバスの利便性に対する評価(問 47 付問 1)

● コミュニティバスの利便性について『肯定派』は44.1%、『否定派』は20.1%となっている。

コミュニティバスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は44.1%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は20.1%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

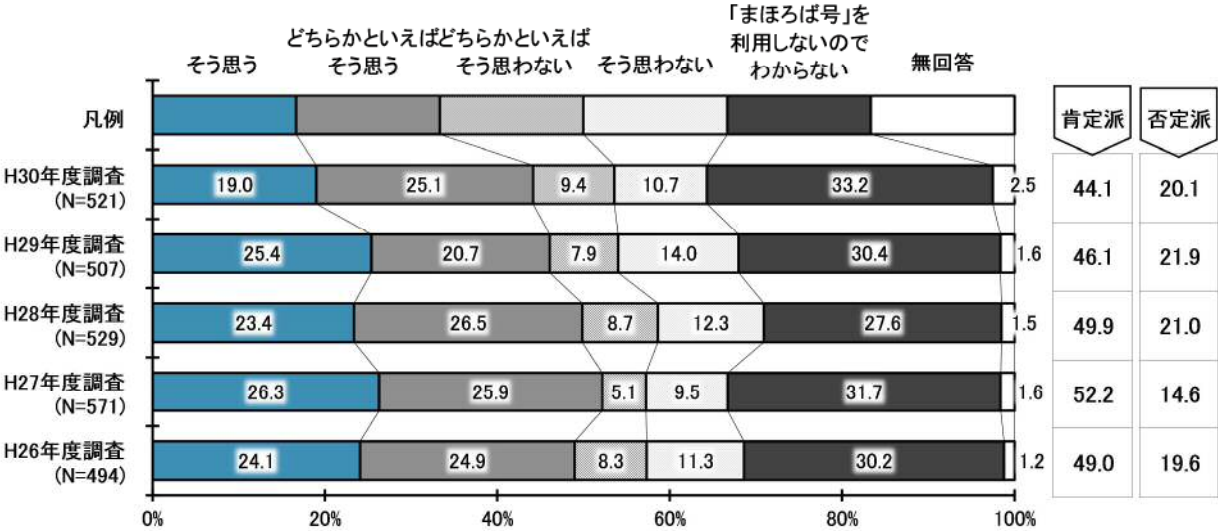
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は平成29年度調査から2.0ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は女性（45.2%）の方が男性（42.3%）より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が『否定派』より高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは70歳代以上（51.9%）となっている。

小学校区別にみると、いずれも『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。『肯定派』が最も高いのは太宰府小学校区（61.4%）である。

問 47 付問 1. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についてお尋ねします。
まほろば号は便利だと思いますか。（○は1つ）



		標 本 数	（％）						肯 定 派	否 定 派
			そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	「ま ほ ろ ば 号」 を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答		
全 体		521 100.0	99 19.0	131 25.1	49 9.4	56 10.7	173 33.2	13 2.5	230 44.1	105 20.1
性 別	男 性	215	14.4	27.9	9.8	9.8	35.3	2.8	42.3	19.6
	女 性	296	22.6	22.6	9.5	11.8	31.4	2.0	45.2	21.3
	無回答	10	10.0	40.0	-	-	40.0	10.0	50.0	-
年 代 別	20歳代	32	18.8	18.8	25.0	6.3	31.3	-	37.5	31.3
	30歳代	58	20.7	22.4	12.1	13.8	29.3	1.7	43.1	25.9
	40歳代	95	11.6	29.5	10.5	9.5	36.8	2.1	41.1	20.0
	50歳代	82	9.8	26.8	7.3	19.5	34.1	2.4	36.6	26.8
	60歳代	113	16.8	27.4	6.2	8.0	38.1	3.5	44.2	14.2
	70歳代以上	133	30.8	21.1	8.3	9.0	29.3	1.5	51.9	17.3
	無回答	8	25.0	37.5	-	-	12.5	25.0	62.5	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	30.7	30.7	7.9	7.9	19.8	3.0	61.4	15.8
	太宰府東小学校区	50	14.0	20.0	12.0	16.0	34.0	4.0	34.0	28.0
	太宰府南小学校区	50	18.0	24.0	8.0	12.0	38.0	-	42.0	20.0
	水城小学校区	87	14.9	17.2	12.6	12.6	41.4	1.1	32.2	25.3
	水城西小学校区	67	14.9	25.4	9.0	11.9	38.8	-	40.3	20.9
	太宰府西小学校区	46	23.9	23.9	17.4	8.7	23.9	2.2	47.8	26.1
	国分小学校区	58	13.8	37.9	10.3	10.3	25.9	1.7	51.7	20.7
	わからない	48	14.6	18.8	-	8.3	54.2	4.2	33.3	8.3
	無回答	14	21.4	28.6	-	7.1	21.4	21.4	50.0	7.1

(3)市内の鉄道の利便性に対する評価(問 48)

- 鉄道の利便性について『肯定派』は 72.7%となっており、利便性はコミュニティバス(44.1%)より高い。

市内の鉄道に対する利便性について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は 72.7%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は 18.2%で、『肯定派』が 7 割を占め、高くなっている。

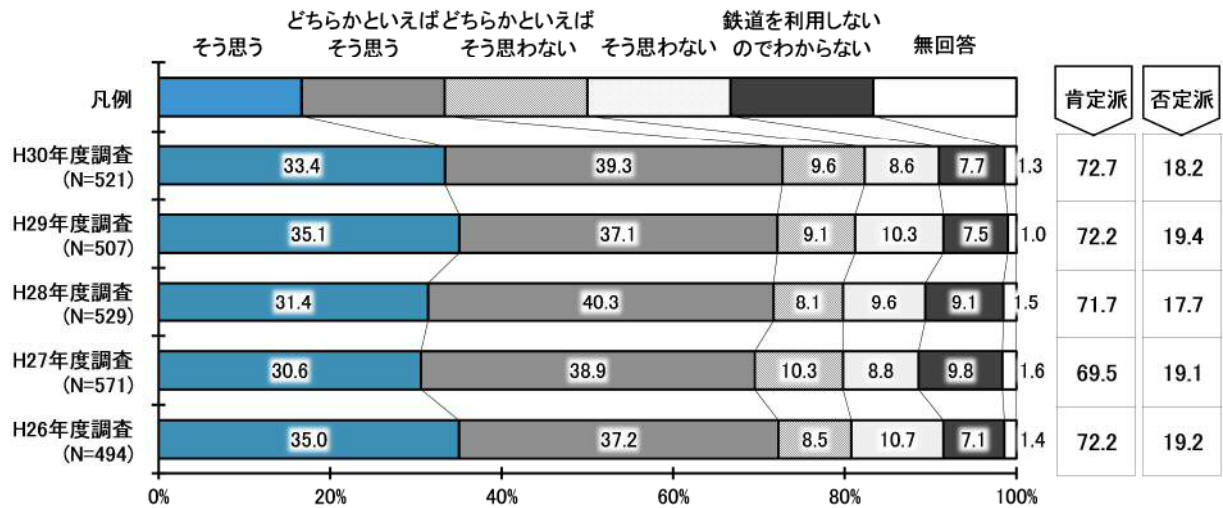
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は平成 29 年度調査から 0.5 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性(75.7%)の方が男性(69.3%)より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』はいずれも 6 割を超えている。なお『肯定派』が最も高いのは、30 歳代(82.8%)となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは、水城小学校区(85.1%)である。

問 48. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(〇は 1 つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 思 と う い	な え ど い ば ち そう か 思 と わ い	そう 思 わ な い	ら な い の で 利 用 か し	鉄 道 を 利 用 し な い	無 回 答	肯定 派	否定 派
全 体		521 100.0	174 33.4	205 39.3	50 9.6	45 8.6	40 7.7	7 1.3		379 72.7	95 18.2
性 別	男 性	215	31.6	37.7	13.0	6.5	10.2	0.9		69.3	19.5
	女 性	296	35.1	40.5	7.4	10.1	5.4	1.4		75.7	17.6
	無回答	10	20.0	40.0	-	10.0	20.0	10.0		60.0	10.0
年 代 別	20歳代	32	50.0	31.3	3.1	6.3	6.3	3.1		81.3	9.4
	30歳代	58	39.7	43.1	8.6	5.2	3.4	-		82.8	13.8
	40歳代	95	28.4	43.2	9.5	8.4	9.5	1.1		71.6	17.9
	50歳代	82	26.8	45.1	11.0	8.5	7.3	1.2		72.0	19.5
	60歳代	113	37.2	30.1	11.5	11.5	8.8	0.9		67.3	23.0
	70歳代以上	133	32.3	41.4	9.0	8.3	8.3	0.8		73.7	17.3
	無回答	8	12.5	37.5	12.5	12.5	-	25.0		50.0	25.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	45.5	37.6	8.9	5.0	3.0	-		83.2	13.9
	太宰府東小学校区	50	24.0	44.0	8.0	18.0	4.0	2.0		68.0	26.0
	太宰府南小学校区	50	14.0	48.0	14.0	12.0	12.0	-		62.0	26.0
	水城小学校区	87	46.0	39.1	4.6	3.4	5.7	1.1		85.1	8.0
	水城西小学校区	67	41.8	35.8	7.5	9.0	6.0	-		77.6	16.4
	太宰府西小学校区	46	21.7	41.3	13.0	10.9	10.9	2.2		63.0	23.9
	国分小学校区	58	20.7	37.9	19.0	12.1	8.6	1.7		58.6	31.0
	わからない	48	37.5	33.3	6.3	4.2	18.8	-		70.8	10.4
	無回答	14	7.1	42.9	7.1	14.3	7.1	21.4		50.0	21.4

(4)市内の道路の円滑性に対する評価(問 49)

● 道路の円滑性について『否定派』が48.3%で、『肯定派』(46.8%)より高い。

市内の道路は渋滞もなく円滑に移動できるかについて、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は48.3%となっている。一方、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は46.8%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

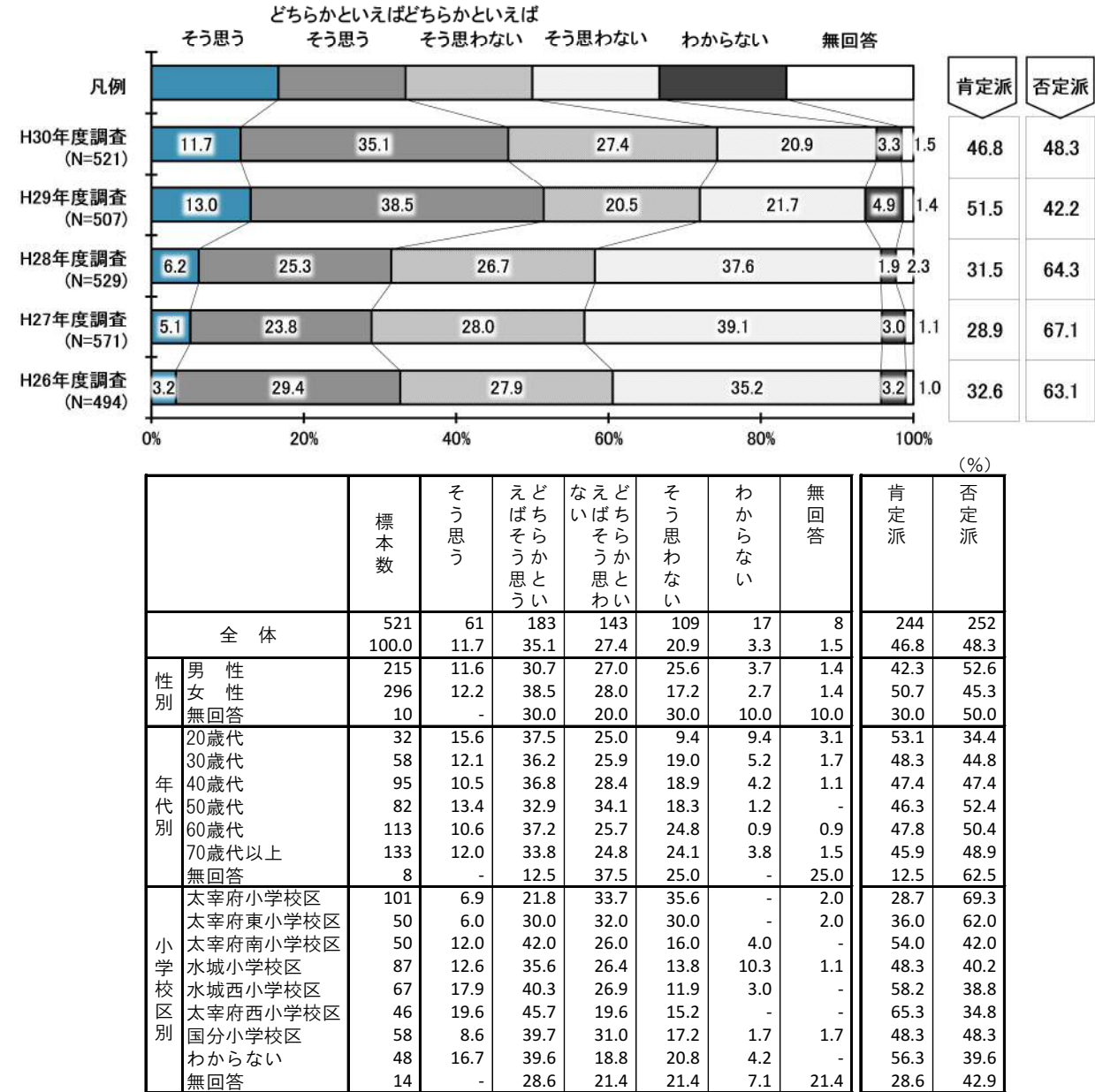
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は平成29年度調査から4.7%減少している。

性別にみると、『肯定派』は女性(50.7%)の方が男性(42.3%)より高くなっている。

年代別にみると、30歳代以下の年代では『肯定派』の方が『否定派』より高く、50歳代以上の年代では『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは20歳代(53.1%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区、水城小学校区、水城西小学校区、太宰府西小学校区の4小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは、太宰府西小学校区(65.3%)である。

問 49. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。
(○は1つ)



(5)歩行者環境に対する評価(問 49 付問 1)

- 歩行者環境に対する評価について『否定派』が50.1%で、『肯定派』(45.3%)よりも高い。

歩行者環境に対する評価について、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は50.1%となっている。一方、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は45.3%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

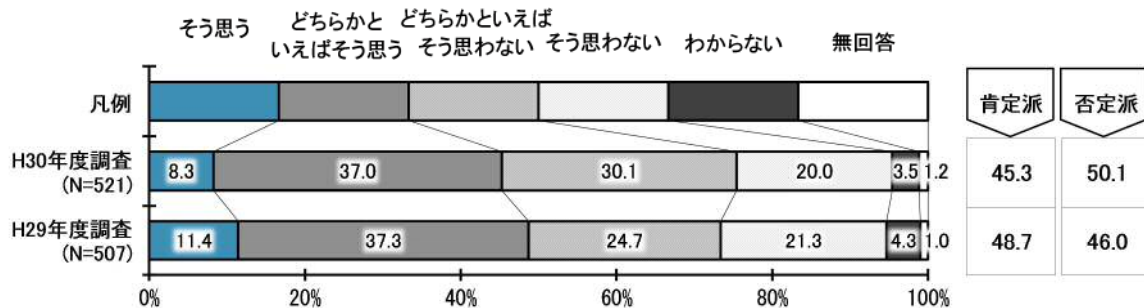
過去の調査結果を比べると、『肯定派』は平成29年度調査から3.4ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は男性(47.5%)の方が女性(44.2%)より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは20歳代(59.4%)となっている。一方、『否定派』が最も高いのは40歳代(60.0%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区、国分小学校区の2校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

問 49 付問 1. 歩行者環境についてお尋ねします。安全に歩ける環境が整備されていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	(%)	
									肯定派	否定派
全 体		521	43	193	157	104	18	6	236	261
		100.0	8.3	37.0	30.1	20.0	3.5	1.2	45.3	50.1
性別	男 性	215	8.4	39.1	27.9	18.1	5.1	1.4	47.5	46.0
	女 性	296	8.4	35.8	32.1	20.9	2.0	0.7	44.2	53.0
	無回答	10	-	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	30.0	50.0
年代別	20歳代	32	21.9	37.5	31.3	6.3	3.1	-	59.4	37.5
	30歳代	58	8.6	36.2	29.3	24.1	1.7	-	44.8	53.4
	40歳代	95	4.2	31.6	41.1	18.9	3.2	1.1	35.8	60.0
	50歳代	82	7.3	39.0	31.7	19.5	2.4	-	46.3	51.2
	60歳代	113	8.0	33.6	22.1	29.2	7.1	-	41.6	51.3
	70歳代以上	133	9.0	44.4	27.8	14.3	2.3	2.3	53.4	42.1
	無回答	8	-	12.5	37.5	25.0	-	25.0	12.5	62.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	5.0	27.7	30.7	31.7	4.0	1.0	32.7	62.4
	太宰府東小学校区	50	6.0	28.0	36.0	26.0	2.0	2.0	34.0	62.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	46.0	30.0	18.0	2.0	2.0	48.0	48.0
	水城小学校区	87	10.3	32.2	34.5	20.7	2.3	-	42.5	55.2
	水城西小学校区	67	7.5	34.3	37.3	14.9	6.0	-	41.8	52.2
	太宰府西小学校区	46	17.4	60.9	10.9	8.7	2.2	-	78.3	19.6
	国分小学校区	58	5.2	50.0	27.6	13.8	3.4	-	55.2	41.4
	わからない	48	16.7	37.5	29.2	14.6	2.1	-	54.2	43.8
無回答		14	7.1	14.3	21.4	21.4	14.3	21.4	21.4	42.9

(6)自転車環境に対する評価(問 49 付問 2)

● 自転車環境に対する評価について『否定派』が65.7%で、『肯定派』(19.0%)より高い。

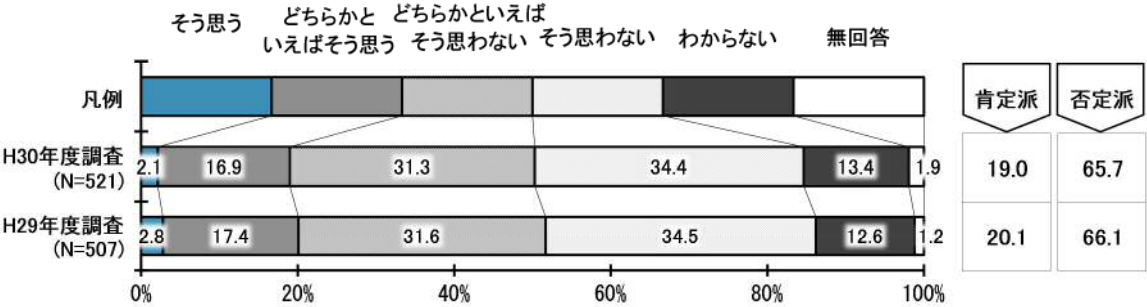
自転車環境に対する評価について『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は19.0%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は65.7%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

性別にみると、『否定派』は男性(68.4%)の方が女性(63.5%)より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは、20歳代(43.8%)となっている。一方、『否定派』が最も高いのは50歳代(70.7%)となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。なお、『否定派』が最も高いのは国分小学校区(74.1%)である。

問 49 付問 2. 自転車環境についてお尋ねします。安全に自転車を運転できる環境が整備されていると思いますか。(○は1つ)



										(%)
		標 本 数	そ う 思 う	ど ち ら か と い う	ど ち ら か と い な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		521 100.0	11 2.1	88 16.9	163 31.3	179 34.4	70 13.4	10 1.9	99 19.0	342 65.7
性 別	男 性	215	2.3	16.7	32.1	36.3	10.7	1.9	19.1	68.4
	女 性	296	2.0	17.6	31.1	32.4	15.2	1.7	19.6	63.5
	無回答	10	-	-	20.0	50.0	20.0	10.0	-	70.0
年 代 別	20歳代	32	9.4	34.4	18.8	31.3	6.3	-	43.8	50.0
	30歳代	58	5.2	15.5	29.3	36.2	13.8	-	20.7	65.5
	40歳代	95	-	16.8	34.7	33.7	12.6	2.1	16.8	68.4
	50歳代	82	2.4	17.1	34.1	36.6	9.8	-	19.5	70.7
	60歳代	113	1.8	15.0	24.8	43.4	12.4	2.7	16.8	68.1
	70歳代以上	133	0.8	15.8	36.8	25.6	18.8	2.3	16.5	62.4
	無回答	8	-	-	25.0	37.5	12.5	25.0	-	62.5
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	1.0	16.8	25.7	43.6	10.9	2.0	17.8	69.3
	太宰府東小学校区	50	2.0	16.0	24.0	42.0	14.0	2.0	18.0	66.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	8.0	40.0	30.0	16.0	4.0	10.0	70.0
	水城小学校区	87	3.4	18.4	24.1	39.1	14.9	-	21.8	63.2
	水城西小学校区	67	3.0	11.9	35.8	35.8	13.4	-	14.9	71.6
	太宰府西小学校区	46	-	32.6	32.6	21.7	13.0	-	32.6	54.3
	国分小学校区	58	1.7	13.8	43.1	31.0	8.6	1.7	15.5	74.1
	わからない	48	4.2	25.0	33.3	18.8	18.8	-	29.2	52.1
	無回答	14	-	-	28.6	28.6	14.3	28.6	-	57.1

(7)外出時の移動手段(問 50)

- 日頃の外出時の交通手段は「自家用車」(58.9%)が最も高い。

外出時の移動手段について、日頃の外出時における交通手段は、「自家用車」(58.9%)が最も高くなっている。次いで「徒歩」(9.2%)、「鉄道」(7.9%)、「自転車」(7.5%)、「コミュニティバス(まほろば号)」(2.5%)、「路線バス」(2.3%)の順となっている。

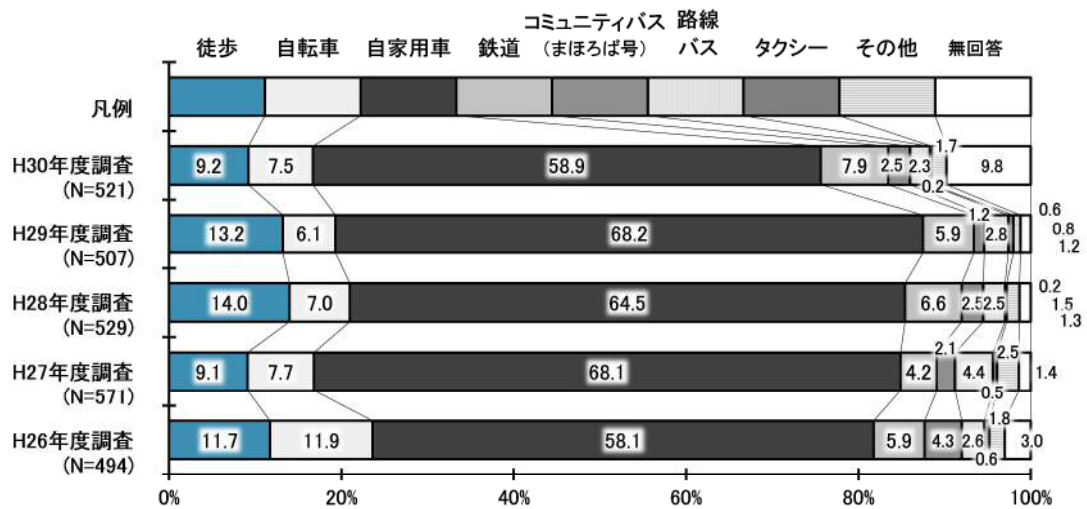
過去調査結果と比較すると、「自家用車」は過去5年間の調査で最も高くなっている。

性別にみると、男女とも「自家用車」が最も高くなっているが、男性は63.3%、女性は55.4%と男女に差がみられる。

年代別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自家用車」が最も高くなっている。なお、「自家用車」が最も高いのは太宰府南小学校区(72.0%)である。

問 50. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なものの1つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	コミュニティバス (まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全 体		521	48	39	307	41	13	12	1	9	51
		100.0	9.2	7.5	58.9	7.9	2.5	2.3	0.2	1.7	9.8
性別	男 性	215	9.3	7.0	63.3	6.5	0.9	1.9	-	0.5	10.7
	女 性	296	9.5	8.1	55.4	8.8	3.7	2.7	0.3	2.4	9.1
	無回答	10	-	-	70.0	10.0	-	-	-	10.0	10.0
年代別	20歳代	32	18.8	31.3	34.4	12.5	3.1	-	-	-	-
	30歳代	58	8.6	5.2	70.7	12.1	-	-	-	1.7	1.7
	40歳代	95	2.1	7.4	80.0	7.4	1.1	-	-	-	2.1
	50歳代	82	7.3	3.7	65.9	14.6	3.7	1.2	-	3.7	-
	60歳代	113	14.2	5.3	57.5	3.5	2.7	0.9	-	1.8	14.2
	70歳代以上	133	9.8	7.5	41.4	4.5	3.8	7.5	0.8	2.3	22.6
	無回答	8	-	-	62.5	12.5	-	-	-	-	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	9.9	3.0	51.5	12.9	4.0	-	-	-	18.8
	太宰府東小学校区	50	8.0	2.0	66.0	2.0	-	6.0	-	-	16.0
	太宰府南小学校区	50	-	2.0	72.0	-	2.0	12.0	2.0	4.0	6.0
	水城小学校区	87	13.8	14.9	55.2	10.3	1.1	-	-	1.1	3.4
	水城西小学校区	67	13.4	9.0	61.2	6.0	3.0	-	-	3.0	4.5
	太宰府西小学校区	46	8.7	6.5	65.2	4.3	6.5	4.3	-	-	4.3
	国分小学校区	58	6.9	10.3	60.3	1.7	3.4	1.7	-	3.4	12.1
	わからない	48	6.3	12.5	54.2	20.8	-	-	-	4.2	2.1
	無回答	14	14.3	-	42.9	7.1	-	-	-	-	35.7

21. 産業の振興(問 51)

- 日頃買い物する場所は「太宰府市」(60.7%) が最も高い。

日頃主に買い物する場所については、「太宰府市」(60.7%) が最も高く、全体の6割を占めている。次いで「筑紫野市」(20.7%)、「大野城市」(5.0%)、「福岡市」(3.8%)の順となっている。

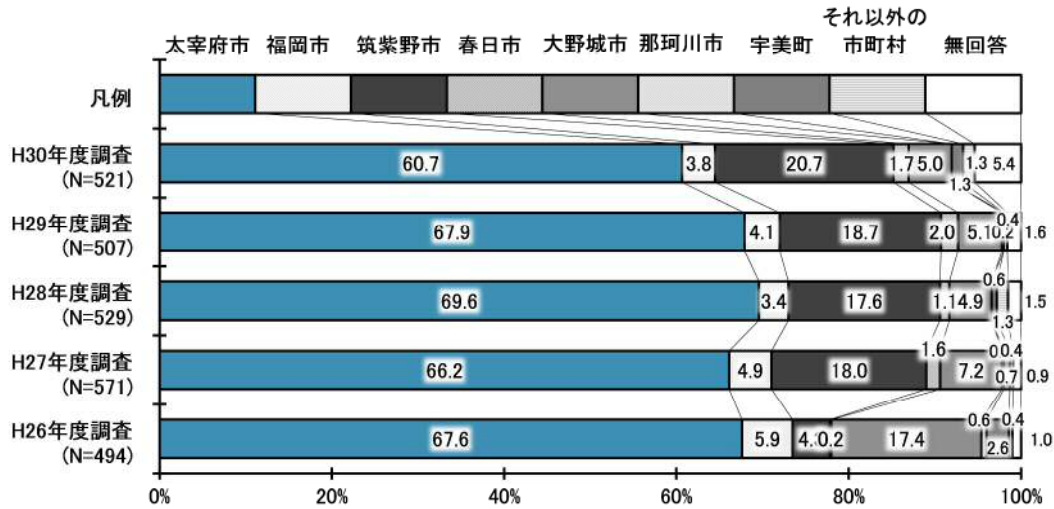
過去の調査結果と比べると、平成29年度から「太宰府市」が7.2ポイント減少している。

性別でみると、「太宰府市」は、男性(60.0%)、女性(60.5%)と、ほぼ同程度となっている。

年代別でみると、すべての年代で「太宰府市」が最も高くなっている。また、20歳代を除くすべての年代で「筑紫野市」が2番目に高くなっている。なお、20歳代は「福岡市」が2番目に高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で「太宰府市」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「筑紫野市」(56.0%)が最も高くなっている。

問 51. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川市	宇美町	その他市町村	無回答
全 体		521	316	20	108	9	26	-	7	7	28
		100.0	60.7	3.8	20.7	1.7	5.0	-	1.3	1.3	5.4
性別	男 性	215	60.0	3.7	21.9	1.4	5.6	-	1.4	0.5	5.6
	女 性	296	60.5	4.1	20.3	2.0	4.7	-	1.4	2.0	5.1
	無回答	10	80.0	-	10.0	-	-	-	-	-	10.0
年代別	20歳代	32	43.8	18.8	12.5	-	3.1	-	-	6.3	15.6
	30歳代	58	53.4	1.7	31.0	-	1.7	-	-	-	12.1
	40歳代	95	61.1	-	16.8	3.2	9.5	-	3.2	1.1	5.3
	50歳代	82	56.1	7.3	25.6	4.9	3.7	-	1.2	1.2	-
	60歳代	113	62.8	2.7	21.2	0.9	5.3	-	2.7	0.9	3.5
	70歳代以上	133	68.4	3.0	18.8	0.8	4.5	-	-	1.5	3.0
	無回答	8	62.5	-	-	-	-	-	-	-	37.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	58.4	5.0	20.8	1.0	-	-	5.9	3.0	5.9
	太宰府東小学校区	50	70.0	2.0	22.0	-	-	-	-	-	6.0
	太宰府南小学校区	50	34.0	2.0	56.0	-	-	-	-	-	8.0
	水城小学校区	87	57.5	4.6	26.4	-	5.7	-	1.1	-	4.6
	水城西小学校区	67	74.6	1.5	13.4	4.5	4.5	-	-	-	1.5
	太宰府西小学校区	46	80.4	-	2.2	4.3	8.7	-	-	-	4.3
	国分小学校区	58	53.4	5.2	10.3	3.4	19.0	-	-	3.4	5.2
	わからない	48	58.3	8.3	16.7	2.1	6.3	-	-	4.2	4.2
	無回答	14	64.3	7.1	7.1	-	-	-	-	-	21.4

22. 文化遺産の保存と活用

(1) 歴史文化遺産に対する評価(問 52)

- 市の歴史文化遺産を誇りに思っている人は 92.7%となっている。

歴史文化遺産に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 92.7%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 5.4%となっており、『肯定派』が 9 割を占め、高くなっている。

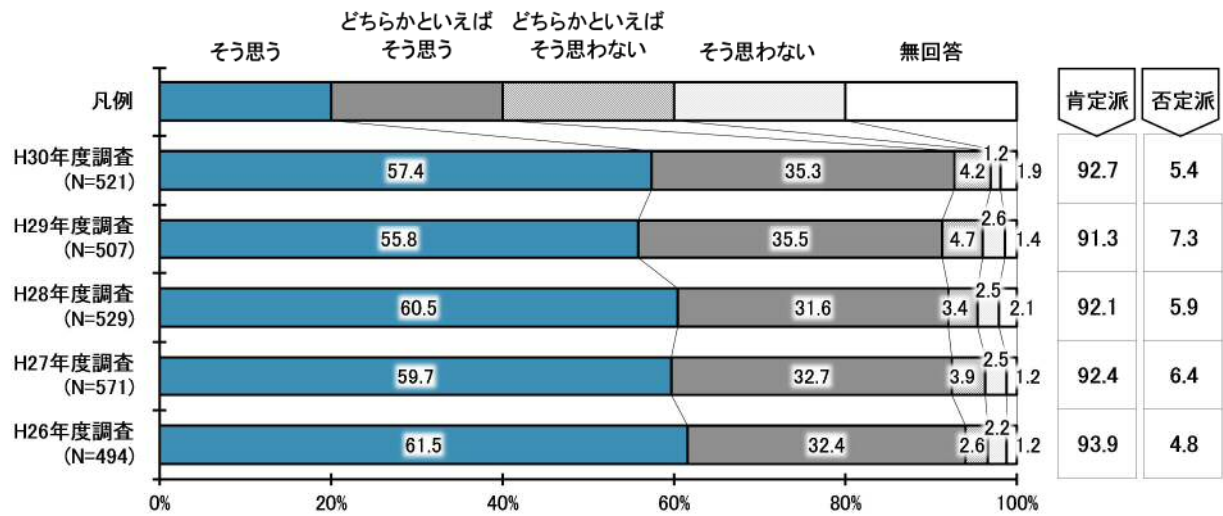
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が 9 割以上を占めている傾向は変わらない。

性別にみると、『肯定派』は、女性（95.3%）の方が男性（89.7%）より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が 8 割を超えている。

小学校区別にみると、『肯定派』は太宰府西小学校区（97.8%）が最も高くなっている。一方、『肯定派』が最も低いのは国分小学校区（87.9%）となっている。

問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。（○は 1 つ）



							(%)	
		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派
全 体		521	299	184	22	6	10	483
		100.0	57.4	35.3	4.2	1.2	1.9	92.7
性別	男 性	215	51.6	38.1	5.6	2.3	2.3	89.7
	女 性	296	61.5	33.8	3.0	0.3	1.4	95.3
	無回答	10	60.0	20.0	10.0	-	10.0	80.0
年代別	20歳代	32	46.9	37.5	12.5	3.1	-	84.4
	30歳代	58	56.9	39.7	1.7	1.7	-	96.6
	40歳代	95	52.6	44.2	2.1	-	1.1	96.8
	50歳代	82	61.0	35.4	1.2	2.4	-	96.3
	60歳代	113	51.3	38.9	5.3	1.8	2.7	90.3
	70歳代以上	133	66.9	24.8	5.3	-	3.0	91.7
	無回答	8	50.0	12.5	12.5	-	25.0	62.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	56.4	34.7	7.9	-	1.0	91.1
	太宰府東小学校区	50	52.0	42.0	2.0	2.0	2.0	94.0
	太宰府南小学校区	50	70.0	24.0	4.0	-	2.0	94.0
	水城小学校区	87	65.5	31.0	2.3	1.1	-	96.6
	水城西小学校区	67	50.7	44.8	3.0	-	1.5	95.5
	太宰府西小学校区	46	67.4	30.4	2.2	-	-	97.8
	国分小学校区	58	50.0	37.9	5.2	3.4	3.4	87.9
	わからない	48	50.0	43.8	2.1	2.1	2.1	93.8
	無回答	14	42.9	14.3	14.3	7.1	21.4	57.1

(2)歴史文化遺産の日本遺産認定に対する認知度(問 53)

- 太宰府地域の歴史文化が、日本遺産として文化庁に認定されていることを知っている人は49.9%となっている。

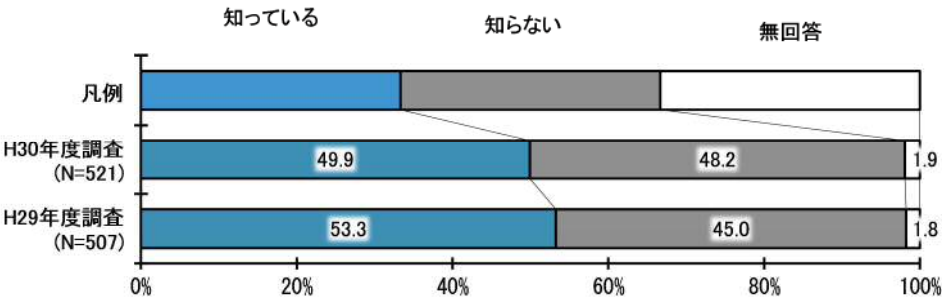
歴史文化遺産の日本遺産認定に対する認知度について、「知っている」(49.9%)の方が、「知らない」(48.2%)より高くなっている。

性別にみると、「知っている」は、女性(50.3%)の方が男性(49.8%)より高くなっている。

年代別にみると、70歳代以上は「知っている」の方が高くなっている。一方、20歳代、40歳代、50歳代は「知らない」の方が高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区と太宰府西小学校区を除いたすべての小学校区で「知っている」が高くなっている。

問 53. あなたは太宰府地域の歴史文化が、日本遺産として文化庁に認定されていることをご存じですか。(〇は1つ)



		(%)			
		標本数	知っている	知らない	無回答
全 体		521 100.0	260 49.9	251 48.2	10 1.9
性別	男 性	215	49.8	47.9	2.3
	女 性	296	50.3	48.3	1.4
	無回答	10	40.0	50.0	10.0
年代別	20歳代	32	37.5	62.5	-
	30歳代	58	50.0	50.0	-
	40歳代	95	33.7	65.3	1.1
	50歳代	82	46.3	52.4	1.2
	60歳代	113	48.7	48.7	2.7
	70歳代以上	133	68.4	29.3	2.3
	無回答	8	37.5	37.5	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	54.5	43.6	2.0
	太宰府東小学校区	50	56.0	40.0	4.0
	太宰府南小学校区	50	54.0	44.0	2.0
	水城西小学校区	87	56.3	42.5	1.1
	水城西小学校区	67	41.8	58.2	-
	太宰府西小学校区	46	37.0	63.0	-
	国分小学校区	58	51.7	46.6	1.7
	わからない	48	45.8	54.2	-
	無回答	14	28.6	50.0	21.4

23. 観光基盤の整備充実

(1)観光客の来訪に対する評価(問 54)

- 観光客の来訪について好ましいと思っている人は67.7%となっている。

観光客の来訪について、『好ましい』（「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と「どちらかといえば好ましいと思う」の合計）は67.7%で6割以上を占めている。一方、『好ましくない』（「ごみや渋滞などが発生し、好ましくない」と「どちらかといえば好ましくない」の合計）は29.8%となっている。

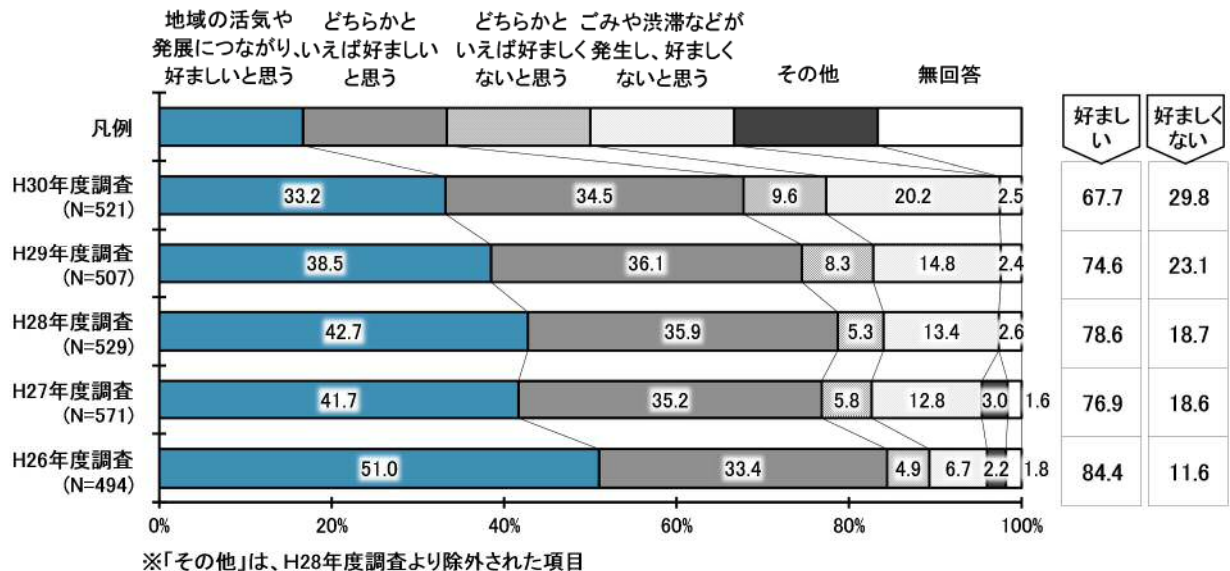
過去の調査結果と比べると、『好ましくない』は過去5年間の調査で増加傾向がみられ、平成30年度の調査が最も高くなっている。また、『好ましくない』は平成29年度調査から6.7%増加している。

性別にみると、『好ましい』は、女性（68.9%）の方が男性（66.0%）より高くなっている。

年代別にみると、30歳代以下の年代で『好ましい』が7割を超えている。

小学校区別にみると、『好ましい』が最も高いのは、太宰府西小学校区（86.9%）となっている。

問 54. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。（○は1つ）



		標本数	と地域 の活気 や発展 につなが り、好ま しいと思 う	とど ちらか といえ ば好ま しいと思 う	とど ちらか といえ ば好ま しくない と思 う	とど ちらか といえ ば好ま しくない と思 う	とど ちらか といえ ば好ま しくない と思 う	とど ちらか といえ ば好ま しくない と思 う	とど ちらか といえ ば好ま しくない と思 う	無 回 答	好 ま し い	好 ま し く な い
全 体		521	173	180	50	105	13	353	155			
		100.0	33.2	34.5	9.6	20.2	2.5	67.7	29.8			
性 別	男 性	215	35.3	30.7	10.7	20.9	2.3	66.0	31.6			
	女 性	296	31.4	37.5	9.1	19.6	2.4	68.9	28.7			
	無回答	10	40.0	30.0	-	20.0	10.0	70.0	20.0			
年 代 別	20歳代	32	46.9	37.5	9.4	6.3	-	84.4	15.6			
	30歳代	58	44.8	29.3	5.2	19.0	1.7	74.1	24.1			
	40歳代	95	32.6	36.8	10.5	18.9	1.1	69.5	29.5			
	50歳代	82	28.0	39.0	6.1	24.4	2.4	67.1	30.5			
	60歳代	113	33.6	32.7	10.6	21.2	1.8	66.4	31.9			
	70歳代以上	133	28.6	33.1	12.8	21.8	3.8	61.7	34.6			
	無回答	8	25.0	37.5	-	12.5	25.0	62.5	12.5			
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	22.8	29.7	18.8	26.7	2.0	52.5	45.5			
	太宰府東小学校区	50	20.0	46.0	8.0	22.0	4.0	66.0	30.0			
	太宰府南小学校区	50	32.0	38.0	4.0	26.0	-	70.0	30.0			
	水城小学校区	87	39.1	34.5	6.9	18.4	1.1	73.6	25.3			
	水城西小学校区	67	40.3	29.9	13.4	13.4	3.0	70.1	26.9			
	太宰府西小学校区	46	47.8	39.1	4.3	8.7	-	86.9	13.0			
	国分小学校区	58	31.0	37.9	10.3	17.2	3.4	69.0	27.6			
	わからない	48	39.6	33.3	4.2	20.8	2.1	72.9	25.0			
	無回答	14	28.6	14.3	-	35.7	21.4	42.9	35.7			

(2)太宰府観光に必要なこと(問 55)

- 太宰府観光に必要なことは、「道路整備」(56.6%)が最も高い

太宰府観光に必要なことについて、「道路整備」(56.6%)が最も高くなっている。次いで、「宿泊施設」(43.4%)、「駐車場整備」(36.5%)、「市内交通機関」(28.8%)の順となっている。

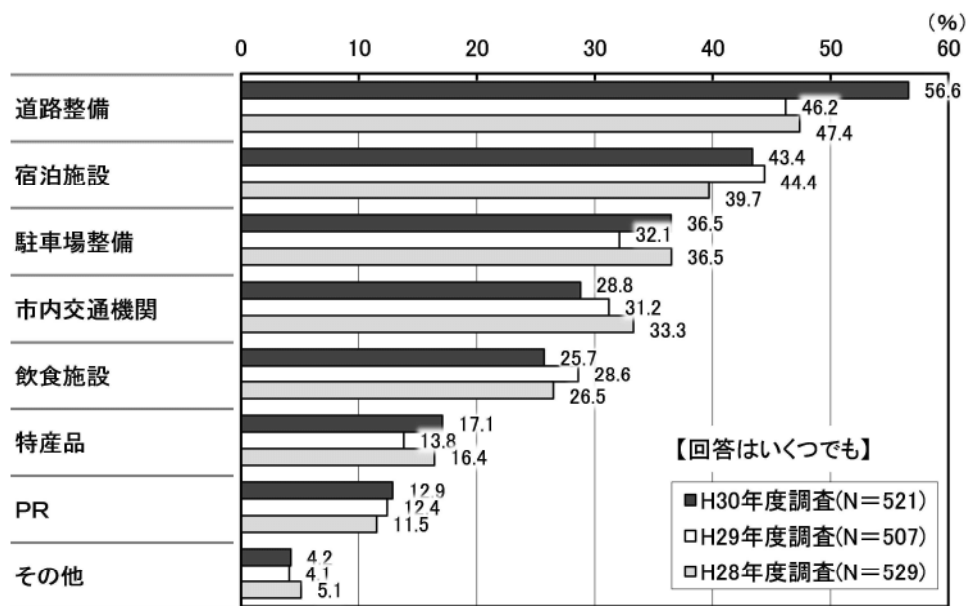
過去調査結果と比較すると、「道路整備」は、平成29年度から10.4ポイント増加している。一方、「宿泊施設」は1.0ポイント減少している。

性別にみると、「市内交通機関」と「特産品」を除いたすべての項目で男性の方が女性より高くなっている。

年代別にみると、20歳代は「宿泊施設」、30歳代以上では「道路整備」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、それぞれの校区で最も高くなっているのは、太宰府南小学校区は「駐車場整備」、太宰府西小学校区は「宿泊施設」、その他の小学校区では「道路整備」が最も高くなっている。

問 55. 今後の太宰府観光に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



		標本数	道路整備	宿泊施設	備駐車場整備	機市内交通	飲食施設	特産品	P R	その他	無回答
全 体		521	295	226	190	150	134	89	67	22	19
		-	56.6	43.4	36.5	28.8	25.7	17.1	12.9	4.2	3.6
性別	男 性	215	61.9	44.7	37.7	26.5	27.0	15.3	18.1	6.5	2.8
	女 性	296	53.0	42.9	35.1	31.1	25.0	18.9	9.1	2.7	3.7
	無回答	10	50.0	30.0	50.0	10.0	20.0	-	10.0	-	20.0
年代別	20歳代	32	46.9	53.1	18.8	25.0	40.6	9.4	18.8	-	6.3
	30歳代	58	53.4	39.7	39.7	37.9	27.6	27.6	19.0	12.1	3.4
	40歳代	95	61.1	40.0	36.8	30.5	31.6	15.8	15.8	5.3	2.1
	50歳代	82	58.5	40.2	36.6	34.1	29.3	15.9	17.1	-	1.2
	60歳代	113	55.8	48.7	40.7	26.5	22.1	18.6	10.6	2.7	1.8
	70歳代以上	133	58.6	43.6	35.3	24.8	19.5	15.0	6.8	5.3	5.3
	無回答	8	25.0	25.0	37.5	-	-	12.5	-	-	37.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	72.3	48.5	29.7	27.7	26.7	12.9	5.9	4.0	2.0
	太宰府東小学校区	50	72.0	48.0	42.0	28.0	28.0	16.0	14.0	2.0	4.0
	太宰府南小学校区	50	50.0	28.0	54.0	34.0	22.0	20.0	12.0	6.0	4.0
	水城小学校区	87	54.0	50.6	40.2	23.0	28.7	18.4	19.5	11.5	3.4
	水城西小学校区	67	52.2	44.8	28.4	38.8	19.4	16.4	11.9	-	1.5
	太宰府西小学校区	46	32.6	47.8	34.8	37.0	19.6	17.4	10.9	-	-
	国分小学校区	58	60.3	39.7	29.3	27.6	34.5	24.1	12.1	1.7	5.2
	わからない	48	50.0	37.5	41.7	22.9	29.2	16.7	20.8	6.3	2.1
	無回答	14	35.7	14.3	35.7	7.1	7.1	7.1	7.1	-	35.7

24. 国際交流・友好都市交流の推進

(1)市内在住外国人との交流頻度(問 56)

- 市内在住の外国人との交流は、9割が「ほとんど交流していない」。

市内在住の外国人との交流頻度について、『交流率』（「年に数回程度交流している」以上の交流頻度の合計）は8.2%と低く、「ほとんど交流していない」が90.6%と高くなっている。

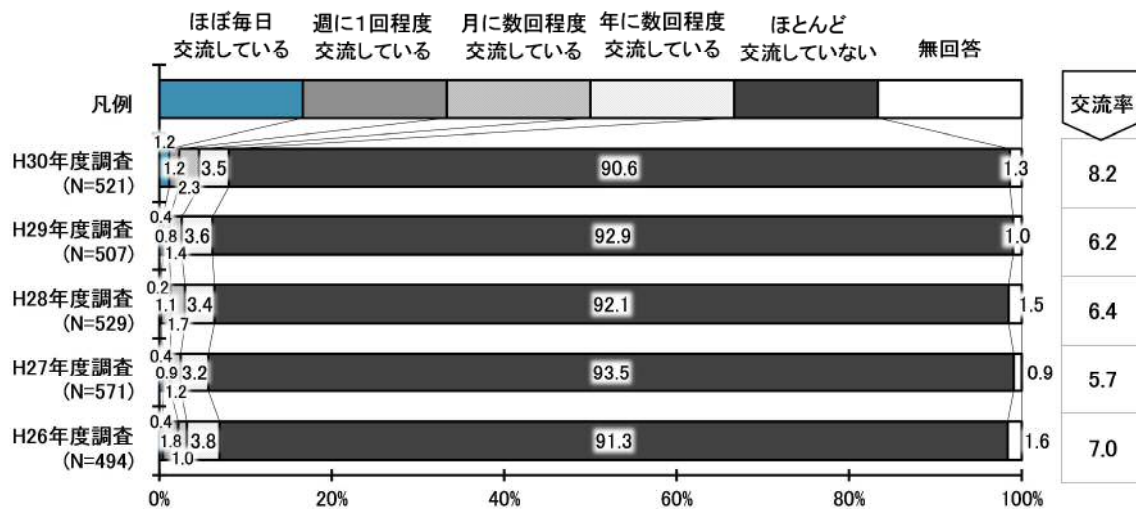
過去の調査結果と比べると、『交流率』は平成29年度調査より2.0ポイント増加している。

性別にみると、『交流率』は女性（9.8%）の方が男性（6.1%）より高くなっている。

年代別にみると、『交流率』が最も高いのは、40歳代（12.7%）となっている。

小学校区別にみると、『交流率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（12.0%）となっている。

問 56. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率
全 体		521	6	6	12	18	472	7	42
		100.0	1.2	1.2	2.3	3.5	90.6	1.3	8.2
性別	男 性	215	1.4	0.9	1.9	1.9	91.6	2.3	6.1
	女 性	296	1.0	1.4	2.7	4.7	89.9	0.3	9.8
	無回答	10	-	-	-	-	90.0	10.0	-
年代別	20歳代	32	-	6.3	-	-	93.8	-	6.3
	30歳代	58	-	3.4	-	6.9	87.9	1.7	10.3
	40歳代	95	3.2	-	4.2	5.3	86.3	1.1	12.7
	50歳代	82	2.4	1.2	3.7	4.9	87.8	-	12.2
	60歳代	113	0.9	0.9	2.7	1.8	92.9	0.9	6.2
	70歳代以上	133	-	-	1.5	2.3	94.7	1.5	3.8
	無回答	8	-	-	-	-	75.0	25.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	101	2.0	-	4.0	5.0	87.1	2.0	10.9
	太宰府東小学校区	50	-	4.0	2.0	6.0	86.0	2.0	12.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	2.0	2.0	2.0	92.0	-	8.0
	水城小学校区	87	1.1	-	3.4	2.3	93.1	-	6.9
	水城西小学校区	67	1.5	-	-	4.5	94.0	-	6.0
	太宰府西小学校区	46	-	2.2	-	2.2	95.7	-	4.3
	国分小学校区	58	1.7	-	1.7	1.7	93.1	1.7	5.2
	わからない	48	-	4.2	4.2	4.2	87.5	-	12.5
無回答		14	-	-	-	-	78.6	21.4	-

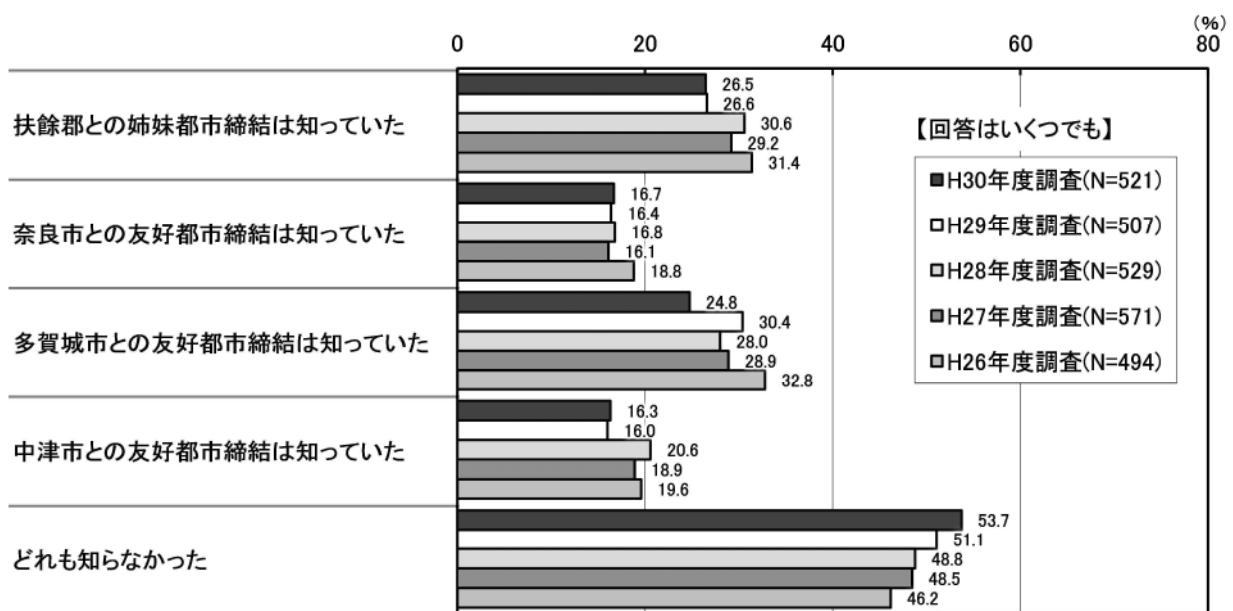
(2) 姉妹都市・友好都市の認知度(問 57)

- 太宰府市の姉妹都市・友好都市締結については約5割が「どれも知らなかった」と回答している。

太宰府市の姉妹都市・友好都市締結の認知度について、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(26.5%)が最も高く、次いで「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(24.8%)、「奈良市との友好都市締結は知っていた」(16.7%)、「中津市との友好都市締結は知っていた」(16.3%)の順となっている。なお、「どれも知らなかった」は53.7%となっている。

過去の調査結果と比べると、平成29年度調査から「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は5.6ポイント減少している。

問 57. あなたは太宰府市が^{フ ヨ グ}大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。
(○はいくつでも)



※「中津市との友好都市締結は知っていた」は、H28年度調査より追加された項目

性別にみると、女性は「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」（29.4%）が、男性は「多賀城市との友好都市締結は知っていた」（24.2%）が最も高くなっている。

年代別にみると、いずれの都市との締結においても70歳以上の認知度の割合が最も高くなっている。なお、「どれも知らなかった」は30歳代（81.0%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区、太宰府南小学校区は「多賀城市との友好都市締結は知っていた」が最も高く、太宰府西小学校区、太宰府東小学校区、水城小学校区は「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」が最も高くなっている。

		(%)						
		標 本 数	知妹扶 つ都餘 て市郡 い締と た結の は姉	知好奈 つ都良 て市市 い締と た結の は友	は友多 知好賀 つ都城 て市市 い締と た結の	知好中 つ都津 て市市 い締と た結の は友	かど つれ たも 知ら な	無 回 答
全 体		521 141.1	138 26.5	87 16.7	129 24.8	85 16.3	280 53.7	16 3.1
性 別	男 性	215	23.3	15.3	24.2	16.7	58.1	2.8
	女 性	296	29.4	17.6	25.7	16.6	51.0	2.7
	無回答	10	10.0	20.0	10.0	-	40.0	20.0
年 代 別	20歳代	32	9.4	12.5	18.8	9.4	71.9	-
	30歳代	58	8.6	6.9	5.2	8.6	81.0	-
	40歳代	95	23.2	16.8	24.2	11.6	58.9	4.2
	50歳代	82	22.0	12.2	17.1	8.5	65.9	1.2
	60歳代	113	34.5	12.4	17.7	16.8	53.1	1.8
	70歳代以上	133	37.6	28.6	45.9	30.1	28.6	5.3
	無回答	8	12.5	12.5	25.0	-	25.0	25.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	30.7	25.7	40.6	22.8	39.6	5.0
	太宰府東小学校区	50	36.0	10.0	24.0	18.0	48.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	12.0	6.0	18.0	8.0	66.0	2.0
	水城小学校区	87	35.6	20.7	27.6	20.7	51.7	-
	水城西小学校区	67	20.9	13.4	20.9	17.9	59.7	1.5
	太宰府西小学校区	46	41.3	17.4	21.7	10.9	47.8	-
	国分小学校区	58	27.6	22.4	27.6	19.0	44.8	5.2
	わからない	48	6.3	6.3	2.1	2.1	91.7	2.1
	無回答	14	-	14.3	14.3	14.3	42.9	28.6

25. コミュニティ活動等への参加

(1)自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況(問 58)

- 自治会活動に参加しているのは 28.1%となっている。
- 20 歳代は他の年代に比べて参加率が極めて低い。

自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況について、『参加派』（「積極的に参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は 28.1%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は 69.4%で、『不参加派』の方が『参加派』より高くなっている。

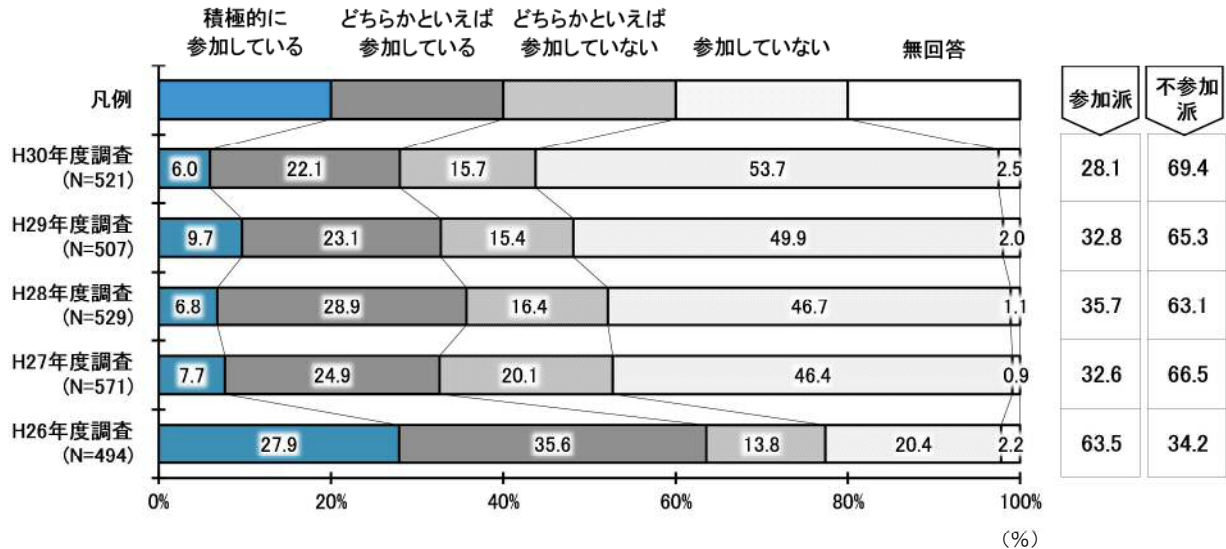
過去の調査結果と比べると、『参加派』は平成 29 年度調査から 4.7 ポイント減少している。

性別にみると、『参加派』は女性（30.7%）の方が男性（24.1%）より高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は、40 歳代（33.7%）が最も高くなっている。また、20 歳代は『参加派』（6.2%）が極めて低くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』は、太宰府西小学校区（39.1%）が最も高くなっている。一方、『参加派』が最も低くなっているのは、水城西小学校区（25.4%）となっている。

問 58. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか。（○は 1 つ）



		標本数	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	どちらかといえば参加していない	参加していない	無回答	参加派	不参加派
全 体		521	31	115	82	280	13	146	362
		100.0	6.0	22.1	15.7	53.7	2.5	28.1	69.4
性別	男 性	215	7.4	16.7	17.7	55.3	2.8	24.1	73.0
	女 性	296	4.7	26.0	14.9	52.7	1.7	30.7	67.6
	無回答	10	10.0	20.0	-	50.0	20.0	30.0	50.0
年代別	20歳代	32	3.1	3.1	3.1	90.6	-	6.2	93.8
	30歳代	58	5.2	24.1	13.8	56.9	-	29.3	70.7
	40歳代	95	7.4	26.3	14.7	48.4	3.2	33.7	63.2
	50歳代	82	2.4	20.7	17.1	57.3	2.4	23.2	74.4
	60歳代	113	4.4	25.7	15.9	54.0	-	30.1	69.9
	70歳代以上	133	9.8	19.5	20.3	45.9	4.5	29.3	66.2
	無回答	8	-	37.5	-	37.5	25.0	37.5	37.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	10.9	20.8	15.8	50.5	2.0	31.7	66.3
	太宰府東小学校区	50	10.0	28.0	12.0	48.0	2.0	38.0	60.0
	太宰府南小学校区	50	6.0	20.0	16.0	54.0	4.0	26.0	70.0
	水城小学校区	87	5.7	20.7	16.1	57.5	-	26.4	73.6
	水城西小学校区	67	6.0	19.4	17.9	56.7	-	25.4	74.6
	太宰府西小学校区	46	4.3	34.8	19.6	41.3	-	39.1	60.9
	国分小学校区	58	1.7	31.0	22.4	39.7	5.2	32.8	62.1
	わからない	48	-	8.3	4.2	85.4	2.1	8.3	89.6
	無回答	14	-	7.1	14.3	50.0	28.6	7.1	64.3

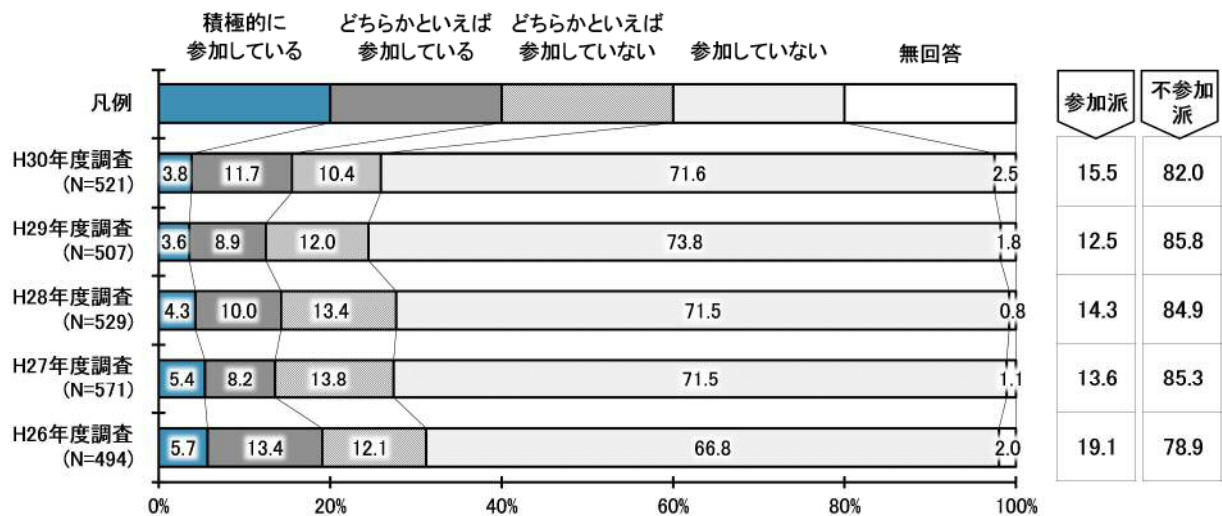
(2) ボランティア活動への参加状況(問 59)

- ボランティア活動に参加しているのは 15.5%となっている。

ボランティア活動への参加状況について、『参加派』（「積極的に参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は 15.5%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は 82.0%で、『不参加派』が 8 割以上となっている。

過去の調査結果と比べると、『参加派』は、平成 29 年度調査から 3.0 ポイント増加している。性別にみると、『参加派』は、女性（16.2%）の方が男性（15.4%）より、高くなっている。年代別にみると、『参加派』は 70 歳代以上（19.5%）で最も高くなっている。小学校区別にみると、『参加派』が最も高いのは国分小学校区（20.7%）となっている。

問 59. あなたは自治会活動以外(問 58 以外)のボランティア活動に参加していますか。
(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	どちらかといえば参加していない	参加していない	無回答	参加派 (%)	不参加派 (%)
全体		521	20	61	54	373	13	81	427
		100.0	3.8	11.7	10.4	71.6	2.5	15.5	82.0
性別	男性	215	4.7	10.7	11.2	71.2	2.3	15.4	82.3
	女性	296	3.4	12.8	9.8	72.0	2.0	16.2	81.8
	無回答	10	-	-	10.0	70.0	20.0	-	80.0
年代別	20歳代	32	3.1	6.3	3.1	87.5	-	9.4	90.6
	30歳代	58	-	17.2	3.4	79.3	-	17.2	82.8
	40歳代	95	4.2	13.7	11.6	67.4	3.2	17.9	78.9
	50歳代	82	1.2	8.5	9.8	79.3	1.2	9.8	89.0
	60歳代	113	3.5	11.5	11.5	73.5	-	15.0	85.0
	70歳代以上	133	7.5	12.0	14.3	60.9	5.3	19.5	75.2
	無回答	8	-	-	-	75.0	25.0	-	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	5.0	11.9	10.9	69.3	3.0	16.8	80.2
	太宰府東小学校区	50	4.0	10.0	14.0	70.0	2.0	14.0	84.0
	太宰府南小学校区	50	-	20.0	10.0	68.0	2.0	20.0	78.0
	水城小学校区	87	4.6	12.6	8.0	74.7	-	17.2	82.8
	水城西小学校区	67	6.0	7.5	10.4	76.1	-	13.4	86.6
	太宰府西小学校区	46	2.2	13.0	15.2	69.6	-	15.2	84.8
	国分小学校区	58	5.2	15.5	13.8	60.3	5.2	20.7	74.1
	わからない	48	2.1	6.3	4.2	85.4	2.1	8.3	89.6
	無回答	14	-	-	-	71.4	28.6	-	71.4

26. 情報の共有化と活用

(1)市民と行政との情報共有(問 60)

- 市民と行政の情報の共有ができていないかについて『否定派』が67.2%で、『肯定派』(27.1%)より多い。

市民と行政の情報共有について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は27.1%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は67.2%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

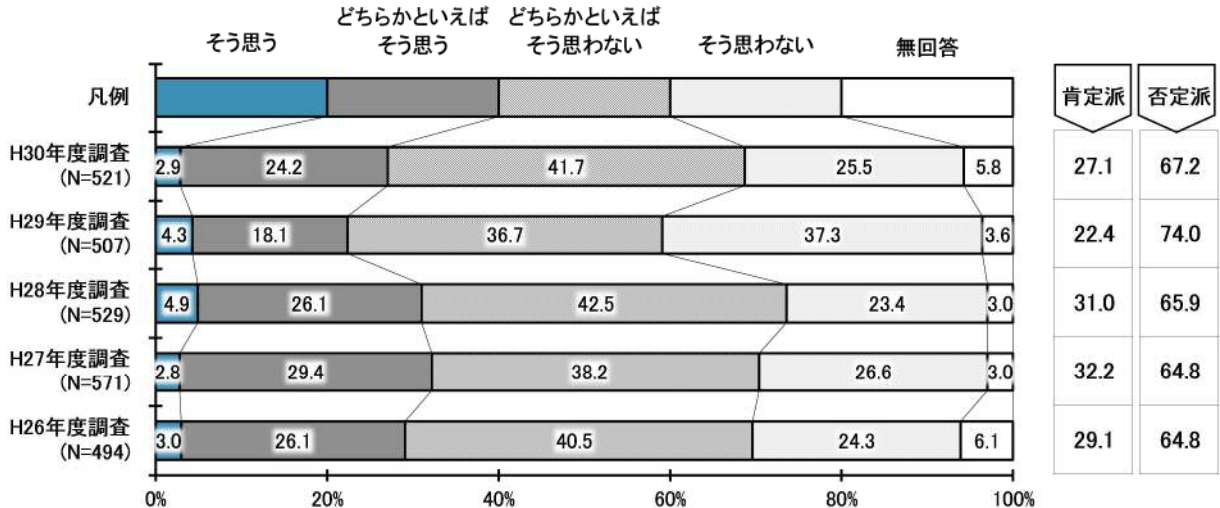
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は平成29年度調査から4.7%増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性(28.0%)の方が女性(26.7%)より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、最も高いのは50歳代(74.4%)となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、最も高いのは水城小学校区(74.7%)となっている。一方、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区(41.3%)となっている。

問 60. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(〇は1つ)



									(%)	
		標 本 数	そ う 思 う	え ど ち ら か と い	え ど ち ら か と い な い	そ う 思 わ な い	無 回 答		肯 定 派	否 定 派
全 体		521 100.0	15 2.9	126 24.2	217 41.7	133 25.5	30 5.8		141 27.1	350 67.2
性 別	男 性	215	3.3	24.7	39.5	27.9	4.7		28.0	67.4
	女 性	296	2.7	24.0	42.6	24.7	6.1		26.7	67.2
	無回答	10	-	20.0	60.0	-	20.0		20.0	60.0
年 代 別	20歳代	32	3.1	28.1	31.3	34.4	3.1		31.3	65.6
	30歳代	58	3.4	19.0	48.3	25.9	3.4		22.4	74.1
	40歳代	95	4.2	29.5	36.8	24.2	5.3		33.7	61.1
	50歳代	82	1.2	23.2	42.7	31.7	1.2		24.4	74.4
	60歳代	113	-	22.1	46.0	28.3	3.5		22.1	74.3
	70歳代以上	133	5.3	24.8	40.6	18.8	10.5		30.1	59.4
	無回答	8	-	12.5	37.5	12.5	37.5		12.5	50.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	5.9	28.7	43.6	18.8	3.0		34.7	62.4
	太宰府東小学校区	50	4.0	22.0	38.0	26.0	10.0		26.0	64.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	26.0	34.0	32.0	6.0		28.0	66.0
	水城小学校区	87	1.1	18.4	44.8	29.9	5.7		19.5	74.7
	水城西小学校区	67	6.0	20.9	53.7	16.4	3.0		26.9	70.1
	太宰府西小学校区	46	2.2	39.1	37.0	17.4	4.3		41.3	54.3
	国分小学校区	58	-	24.1	39.7	29.3	6.9		24.1	69.0
	わからない	48	-	18.8	37.5	39.6	4.2		18.8	77.1
	無回答	14	-	14.3	28.6	28.6	28.6		14.3	57.1

(2)行政情報の接触状況(問 61)

①「広報だざいふ」

- 「広報だざいふ」の閲読率は77.4%となっている。

「広報だざいふ」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は77.4%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は20.1%となっている。

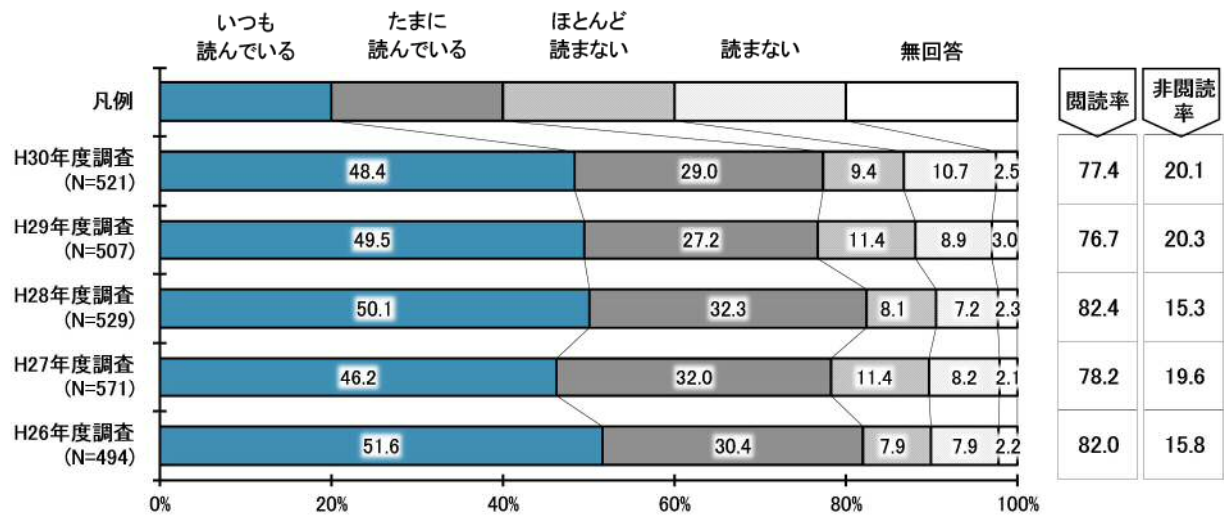
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は平成29年度調査から0.7ポイント増加している。

性別にみると、『閲読率』は、女性（83.8%）の方が男性（69.8%）より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で『閲読率』は7割を超えている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『閲読率』は7割を超えている。

問 61. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。
（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全 体		521	252	151	49	56	13	403	105
		100.0	48.4	29.0	9.4	10.7	2.5	77.4	20.1
性別	男 性	215	38.6	31.2	12.6	15.3	2.3	69.8	27.9
	女 性	296	55.4	28.4	7.1	7.1	2.0	83.8	14.2
	無回答	10	50.0	-	10.0	20.0	20.0	50.0	30.0
年代別	20歳代	32	25.0	25.0	21.9	28.1	-	50.0	50.0
	30歳代	58	39.7	32.8	10.3	17.2	-	72.4	27.6
	40歳代	95	36.8	40.0	10.5	8.4	4.2	76.8	18.9
	50歳代	82	40.2	32.9	8.5	15.9	2.4	73.2	24.4
	60歳代	113	53.1	28.3	13.3	5.3	-	81.4	18.6
	70歳代以上	133	67.7	19.5	2.3	6.8	3.8	87.2	9.0
	無回答	8	37.5	12.5	12.5	12.5	25.0	50.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	60.4	23.8	6.9	6.9	2.0	84.2	13.9
	太宰府東小学校区	50	54.0	30.0	8.0	6.0	2.0	84.0	14.0
	太宰府南小学校区	50	56.0	24.0	8.0	10.0	2.0	80.0	18.0
	水城小学校区	87	47.1	31.0	17.2	4.6	-	78.2	21.8
	水城西小学校区	67	46.3	34.3	4.5	14.9	-	80.6	19.4
	太宰府西小学校区	46	45.7	34.8	8.7	8.7	2.2	80.4	17.4
	国分小学校区	58	53.4	20.7	10.3	10.3	5.2	74.1	20.7
	わからない	48	18.8	37.5	10.4	31.3	2.1	56.3	41.7
	無回答	14	21.4	28.6	7.1	14.3	28.6	50.0	21.4

②「議会だより」

- 「議会だより」の閲読率は49.5%となっている。

「議会だより」について、『閲読率』（「いつも読んでいます」と「たまに読んでいます」の合計）は49.5%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は41.8%となっている。

過去の調査結果と比べると、『閲読率』は平成29年度調査から4.0ポイント減少しており、過去5年間の調査で最も低くなっている。

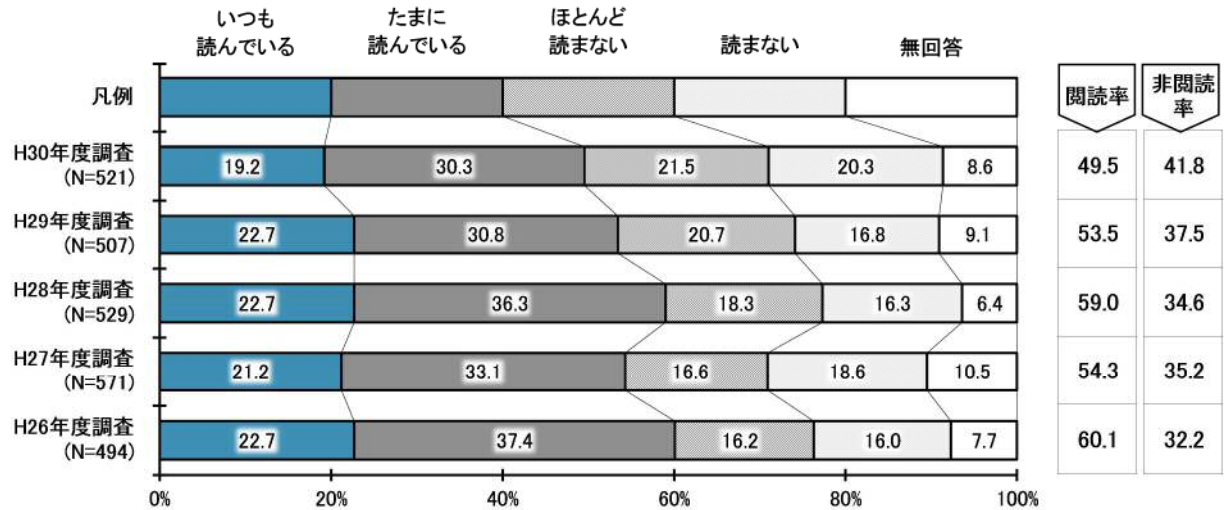
性別にみると、『閲読率』は女性（56.1%）の方が男性（40.5%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲読率』が最も高くなっているのは、70歳代以上（67.6%）となっている。

小学校区別にみると、『閲読率』が最も高いのは、太宰府小学校区（63.4%）となっている。

一方、『非閲読率』が最も高いのは、太宰府南小学校区（48.0%）となっている。

問 61. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。
（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも読んでいます	たまに読んでいます	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全 体		521	100	158	112	106	45	258	218
		100.0	19.2	30.3	21.5	20.3	8.6	49.5	41.8
性別	男 性	215	16.3	24.2	21.4	27.9	10.2	40.5	49.3
	女 性	296	21.6	34.5	22.0	14.9	7.1	56.1	36.8
	無回答	10	10.0	40.0	10.0	20.0	20.0	50.0	30.0
年代別	20歳代	32	3.1	18.8	28.1	50.0	-	21.9	78.1
	30歳代	58	6.9	32.8	29.3	29.3	1.7	39.7	58.6
	40歳代	95	18.9	22.1	28.4	22.1	8.4	41.1	50.5
	50歳代	82	20.7	22.0	26.8	24.4	6.1	42.7	51.2
	60歳代	113	19.5	33.6	21.2	14.2	11.5	53.1	35.4
	70歳代以上	133	27.8	39.8	9.0	11.3	12.0	67.6	20.3
	無回答	8	12.5	37.5	12.5	12.5	25.0	50.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	30.7	32.7	19.8	12.9	4.0	63.4	32.7
	太宰府東小学校区	50	26.0	28.0	22.0	12.0	12.0	54.0	34.0
	太宰府南小学校区	50	10.0	38.0	30.0	18.0	4.0	48.0	48.0
	水城小学校区	87	18.4	26.4	20.7	23.0	11.5	44.8	43.7
	水城西小学校区	67	19.4	35.8	17.9	23.9	3.0	55.2	41.8
	太宰府西小学校区	46	10.9	39.1	21.7	19.6	8.7	50.0	41.3
	国分小学校区	58	24.1	24.1	19.0	17.2	15.5	48.3	36.2
	わからない	48	4.2	16.7	29.2	43.8	6.3	20.8	72.9
	無回答	14	7.1	35.7	7.1	14.3	35.7	42.9	21.4

③「太宰府市ホームページ」

- 「太宰府市ホームページ」の閲覧率は28.0%となっている。

「太宰府市ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は28.0%となっている。一方、『非閲覧率』（「見ていない」と「ほとんど見ていない」、「見ることができない」の合計）は62.7%となっている。

過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は平成29年度調査から0.8ポイント増加している。

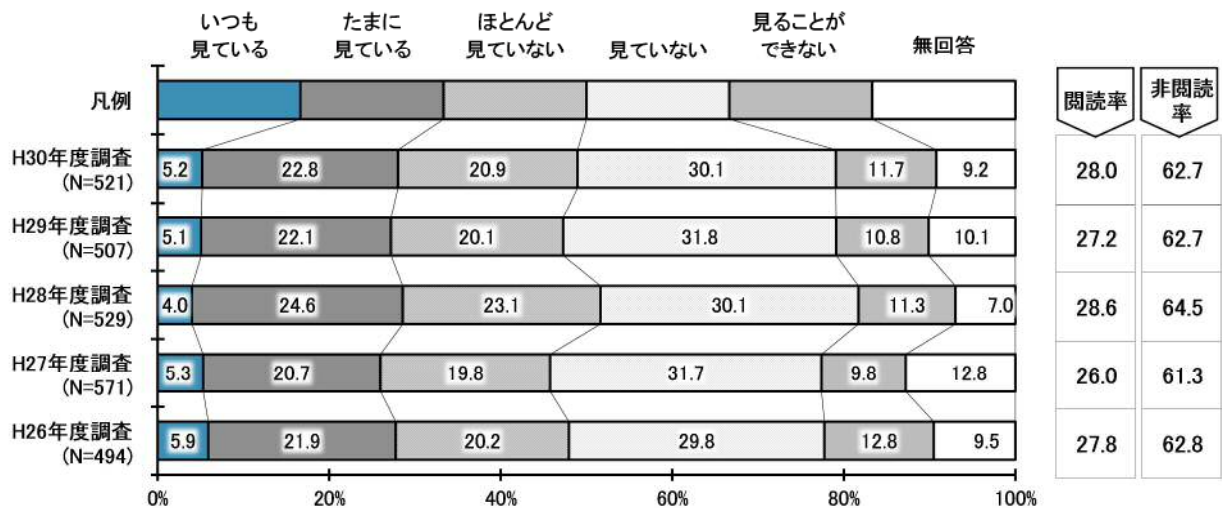
性別にみると、『閲覧率』は、男性（31.1%）の方が女性（25.0%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』は70歳代以上（36.1%）が最も高くなっている。一方、『非閲覧率』は20歳代で最も高く90.7%となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、水城西小学校区（35.9%）となっている。

一方、『非閲覧率』が最も高いのは、太宰府南小学校区（68.0%）となっている。

問 61. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。
（○はそれぞれ1つ）



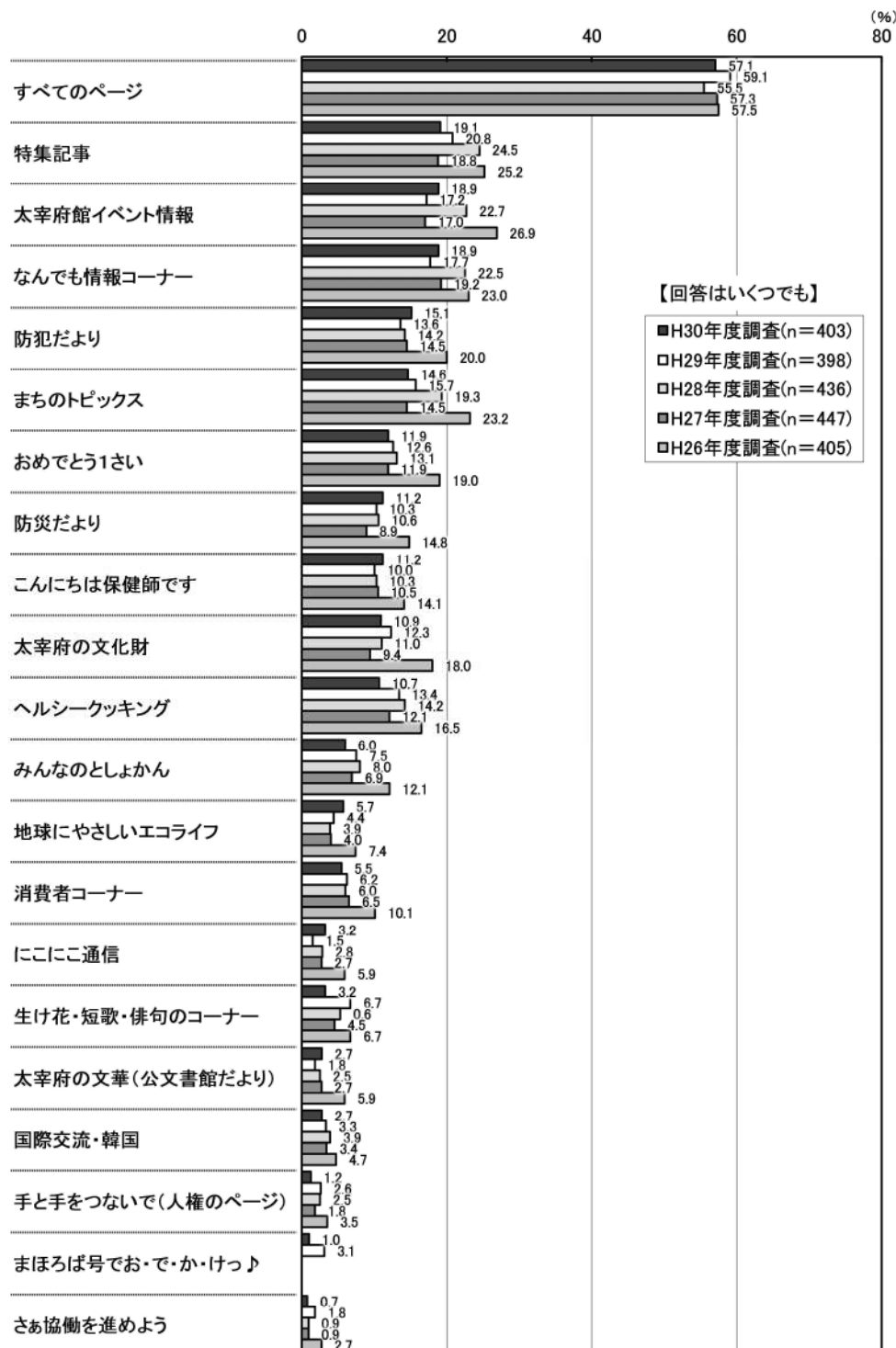
		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見ていない	見ることができない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全 体		521	27	119	109	157	61	48	146	327
		100.0	5.2	22.8	20.9	30.1	11.7	9.2	28.0	62.7
性別	男 性	215	5.1	26.0	22.8	28.8	7.4	9.8	31.2	59.1
	女 性	296	5.1	19.9	19.9	32.1	14.5	8.4	25.0	66.6
	無回答	10	10.0	40.0	10.0	-	20.0	20.0	50.0	30.0
年代別	20歳代	32	3.1	6.3	18.8	68.8	3.1	-	9.4	90.7
	30歳代	58	-	34.5	24.1	37.9	1.7	1.7	34.5	63.8
	40歳代	95	3.2	23.2	32.6	29.5	2.1	9.5	26.3	64.2
	50歳代	82	2.4	18.3	28.0	35.4	7.3	8.5	20.7	70.7
	60歳代	113	4.4	22.1	17.7	29.2	15.0	11.5	26.5	61.9
	70歳代以上	133	11.3	24.8	9.8	16.5	25.6	12.0	36.1	51.9
	無回答	8	12.5	25.0	25.0	12.5	-	25.0	37.5	37.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	9.9	24.8	15.8	31.7	11.9	5.9	34.7	59.4
	太宰府東小学校区	50	-	20.0	16.0	46.0	4.0	14.0	20.0	66.0
	太宰府南小学校区	50	6.0	22.0	26.0	24.0	18.0	4.0	28.0	68.0
	水城西小学校区	87	8.0	21.8	19.5	24.1	14.9	11.5	29.9	58.6
	水城西小学校区	67	6.0	29.9	28.4	23.9	9.0	3.0	35.9	61.2
	太宰府西小学校区	46	2.2	21.7	28.3	30.4	8.7	8.7	23.9	67.4
	国分小学校区	58	1.7	17.2	22.4	32.8	10.3	15.5	19.0	65.5
	わからない	48	2.1	22.9	16.7	39.6	12.5	6.3	25.0	68.8
無回答		14	-	21.4	14.3	7.1	21.4	35.7	21.4	42.9

(3)「広報ださいふ」の閲読内容(問 61 付問 1)

- 「広報ださいふ」のすべてのページを閲覧している人は57.1%となっている。
- 「特集記事」、「太宰府館イベント情報」、「なんでも情報コーナー」などの内容が多く読まれている。

「広報ださいふ」の閲読内容について、最も高いものは、「すべてのページ」(57.1%)となっている。内容別では「特集記事」(19.1%)、「太宰府館イベント情報」、「なんでも情報コーナー」(ともに18.9%)の順となっている。

問 61 付問 1. 「広報ださいふ」を【いつも読んでいる・たまに読んでいる】と答えた方にお尋ねします。どのページを読みますか。(〇はいくつでも)



※「まほろば号でお・で・か・けっ♪」は、H29年度調査より追加された項目

性別にみると、男性は「特集記事」(22.0%)、「太宰府イベント情報」(20.0%)、「まちのトピックス」(16.0%)など、女性は「なんでも情報コーナー」(20.6%)、「防犯だより」(15.3%)、「おめでとう1さい」(14.5%)、「ヘルシークッキング」(14.1%)などの割合がそれぞれ高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で「すべてのページ」が5割を超えている。

小学校区別にみると、「すべてのページ」は、すべての小学校区で5割を超えている。

(%)																									
		標本数	すべてのページ	特集記事	太宰府館イベント情報	なんでも情報コーナー	防犯だより	まちのトピックス	おめでとう1さい	防災だより	こんにちは保健師です	太宰府の文化財	ヘルシークッキング	みんなのとしよかん	地球にやさしいエコライフ	消費者コーナー	にここ通信	生け花・短歌・俳句のコーナー	太宰府の文華（公文書館だより）	国際交流・韓国	手と手をつないで（人権のページ）	まほろば号でお・で・か・けっ♪	さあ協働を進めよう	その他	無回答
全 体		403	230	77	76	76	61	59	48	45	45	44	43	24	23	22	13	13	11	11	5	4	3	3	7
		-	57.1	19.1	18.9	18.9	15.1	14.6	11.9	11.2	11.2	10.9	10.7	6.0	5.7	5.5	3.2	3.2	2.7	2.7	1.2	1.0	0.7	0.7	1.7
性別	男 性	150	54.7	22.0	20.0	15.3	14.0	16.0	7.3	12.7	8.0	14.7	4.0	2.0	4.0	4.0	2.0	1.3	2.0	2.0	2.0	1.3	1.3	-	2.0
	女 性	248	58.5	17.7	17.7	20.6	15.3	13.7	14.5	10.1	12.9	8.5	14.1	8.1	6.0	6.5	4.0	4.4	2.8	3.2	0.8	0.8	0.4	1.2	1.6
無回答		5	60.0	-	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	16	31.3	31.3	12.5	25.0	18.8	12.5	31.3	18.8	18.8	-	12.5	6.3	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	6.3
	30歳代	42	50.0	19.0	14.3	28.6	7.1	7.1	31.0	11.9	16.7	7.1	19.0	9.5	7.1	2.4	14.3	-	-	-	2.4	-	-	2.4	2.4
	40歳代	73	60.3	15.1	20.5	11.0	11.0	9.6	12.3	8.2	8.2	9.6	6.8	4.1	4.1	5.5	1.4	-	2.7	1.4	-	-	-	-	1.4
	50歳代	60	55.0	16.7	26.7	28.3	20.0	23.3	5.0	15.0	13.3	13.3	8.3	8.3	3.3	6.7	1.7	3.3	3.3	5.0	-	1.7	-	1.7	-
	60歳代	92	54.3	26.1	21.7	19.6	18.5	20.7	7.6	12.0	7.6	13.0	9.8	6.5	6.5	7.6	3.3	5.4	5.4	4.3	1.1	2.2	1.1	-	2.2
	70歳代以上	116	62.9	16.4	13.8	13.8	14.7	12.1	9.5	9.5	11.2	12.1	12.1	4.3	6.0	5.2	-	5.2	1.7	2.6	2.6	0.9	1.7	0.9	1.7
無回答		4	100.0	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	85	63.5	17.6	23.5	16.5	18.8	15.3	8.2	11.8	8.2	15.3	8.2	5.9	5.9	7.1	2.4	3.5	4.7	5.9	-	-	1.2	1.2	2.4
	太宰府東小学校区	42	57.1	19.0	21.4	16.7	16.7	16.7	19.0	7.1	14.3	11.9	14.3	7.1	2.4	-	4.8	4.8	2.4	2.4	-	-	-	-	2.4
	太宰府南小学校区	40	55.0	17.5	20.0	15.0	7.5	15.0	5.0	10.0	2.5	12.5	7.5	7.5	7.5	7.5	2.5	2.5	2.5	-	-	2.5	-	2.5	-
	水城小学校区	68	58.8	14.7	16.2	22.1	19.1	13.2	14.7	14.7	13.2	10.3	14.7	4.4	7.4	8.8	5.9	4.4	1.5	1.5	4.4	-	-	-	2.9
	水城西小学校区	54	53.7	24.1	11.1	11.1	9.3	9.3	13.0	11.1	9.3	7.4	9.3	3.7	-	5.6	1.9	3.7	1.9	3.7	-	-	1.9	1.9	1.9
	太宰府西小学校区	37	67.6	10.8	10.8	10.8	5.4	2.7	10.8	2.7	5.4	-	5.4	2.7	2.7	-	2.7	-	-	-	-	2.7	-	-	-
	国分小学校区	43	55.8	25.6	18.6	34.9	20.9	20.9	9.3	20.9	20.9	18.6	11.6	9.3	7.0	4.7	2.3	2.3	7.0	-	2.3	2.3	2.3	-	2.3
	わからない	27	33.3	33.3	29.6	22.2	14.8	25.9	7.4	11.1	11.1	18.5	7.4	7.4	11.1	3.7	3.7	-	-	3.7	3.7	3.7	-	-	-
	無回答	7	42.9	-	28.6	42.9	28.6	28.6	-	14.3	-	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-

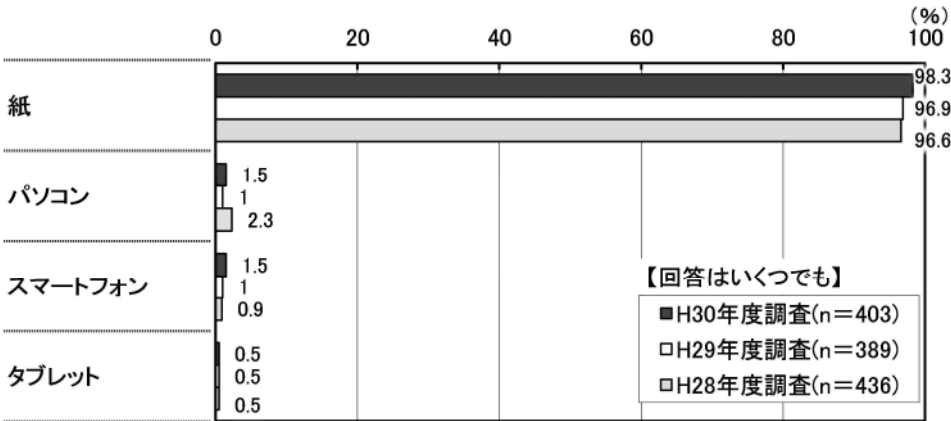
(4)「広報だざいふ」の閲読媒体(問 61 付問 2)

- 「広報だざいふ」を閲読している媒体は「紙」が98.3%となっている

「広報だざいふ」を閲読している媒体について、「紙」(98.3%)が最も高く、次いで「パソコン」、「スマートフォン」(ともに1.5%)、「タブレット」(0.5%)の順となっている。ほとんどの回答者が「紙」で閲読している。

属性別にみると、「紙」はすべての属性で、9割を超えている。

問 61 付問 2. 「広報だざいふ」はどの媒体で読みますか。(○はいくつでも)



		標本数	紙	パソコン	スマートフォン	タブレット	無回答
全 体		403	396 98.3	6 1.5	6 1.5	2 0.5	3 0.7
性別	男 性	150	97.3	2.0	2.0	0.7	-
	女 性	248	98.8	1.2	1.2	0.4	1.2
	無回答	5	100.0	-	-	-	-
年代別	20歳代	16	100.0	-	-	-	-
	30歳代	42	100.0	-	-	-	-
	40歳代	73	98.6	-	-	-	1.4
	50歳代	60	98.3	1.7	5.0	-	-
	60歳代	92	97.8	1.1	2.2	1.1	1.1
	70歳代以上	116	97.4	3.4	0.9	0.9	0.9
	無回答	4	100.0	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	85	96.5	3.5	1.2	1.2	1.2
	太宰府東小学校区	42	95.2	-	2.4	2.4	2.4
	太宰府南小学校区	40	100.0	-	2.5	-	-
	水城小学校区	68	100.0	-	1.5	-	-
	水城西小学校区	54	100.0	-	-	-	-
	太宰府西小学校区	37	100.0	2.7	-	-	-
	国分小学校区	43	97.7	4.7	2.3	-	2.3
	わからない	27	96.3	-	3.7	-	-
	無回答	7	100.0	-	-	-	-

(5)インターネットの利用状況(問 62)

- インターネットの利用率は 65.6%となっている。

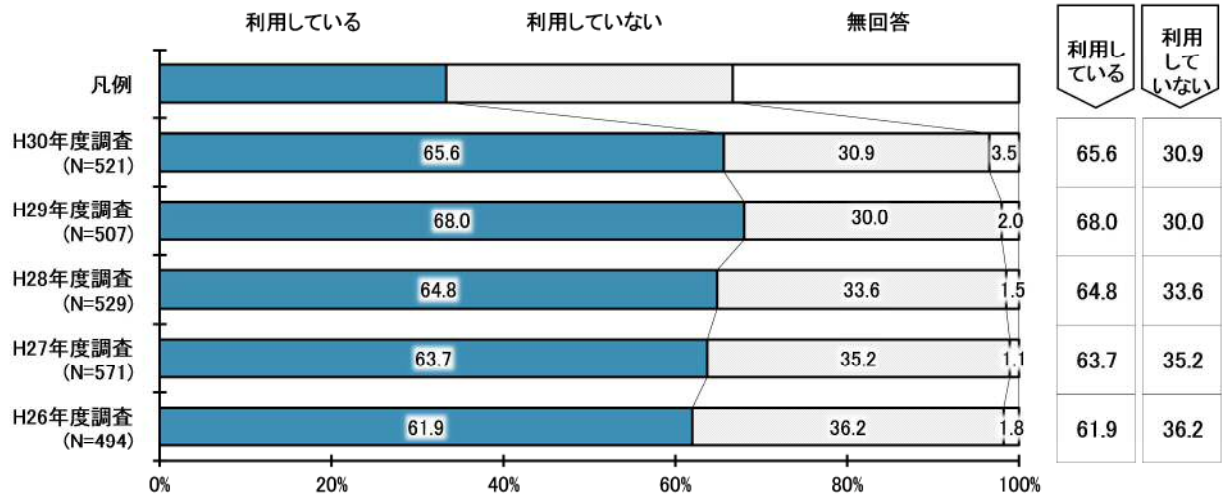
インターネットの利用について、「利用している」は 65.6%となっている。一方、「利用していない」は 30.9%となっている。

性別にみると、利用率は男性（73.5%）の方が女性（60.8%）より高くなっている。

年代別にみると、利用率が最も高いのは 30 歳代（91.4%）となっている。一方、最も低いのは 70 歳代以上（29.3%）となっている。

小学校区別にみると、利用率は太宰府西小学校区が最も高く 82.6%となっている。

問 62. あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ)



		(%)			
		標本数	利用している	利用していない	無回答
全 体		521	342	161	18
		100.0	65.6	30.9	3.5
性別	男 性	215	73.5	23.3	3.3
	女 性	296	60.8	36.1	3.0
	無回答	10	40.0	40.0	20.0
年代別	20歳代	32	87.5	9.4	3.1
	30歳代	58	91.4	6.9	1.7
	40歳代	95	89.5	6.3	4.2
	50歳代	82	82.9	14.6	2.4
	60歳代	113	57.5	41.6	0.9
	70歳代以上	133	29.3	65.4	5.3
	無回答	8	50.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	101	59.4	37.6	3.0
	太宰府東小学校区	50	68.0	30.0	2.0
	太宰府南小学校区	50	66.0	32.0	2.0
	水城小学校区	87	66.7	32.2	1.1
	水城西小学校区	67	65.7	29.9	4.5
	太宰府西小学校区	46	82.6	17.4	-
	国分小学校区	58	62.1	31.0	6.9
	わからない	48	68.8	29.2	2.1
	無回答	14	42.9	28.6	28.6

27. 市民のための行政運営

(1)効果的な行政運営に対する評価(問 63)

● 効果的な行政運営について『肯定派』は45.1%、『否定派』は48.7%となっている。

太宰府市の効果的な行政運営について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は45.1%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は48.7%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

過去の調査結果と比べると、平成29年度調査から『肯定派』は19.0ポイントと大きく増加している。

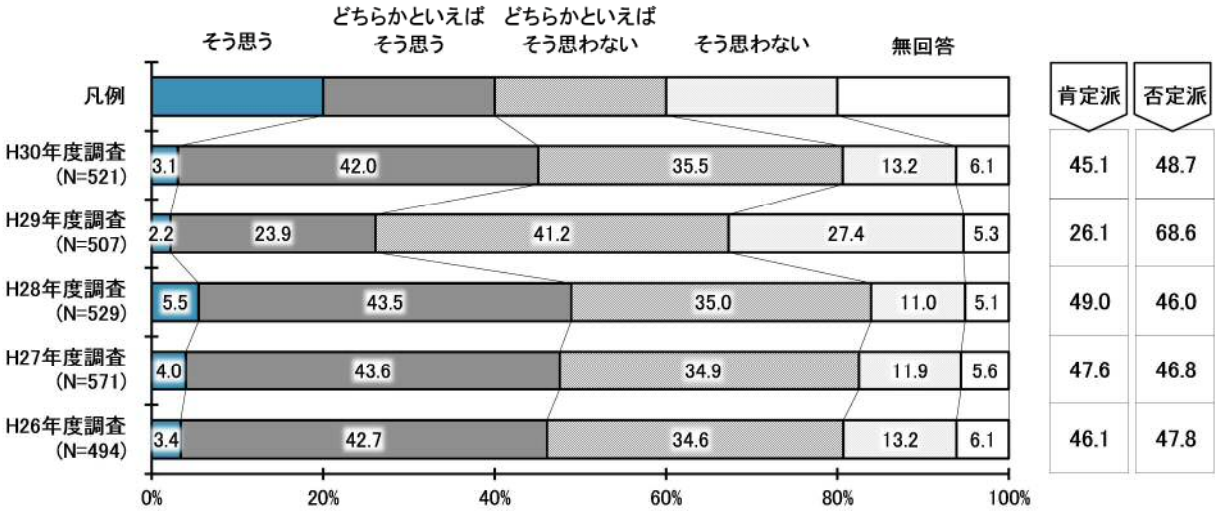
性別にみると、『肯定派』は女性（46.9%）の方が男性（42.4%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは20歳代（53.1%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（54.3%）となっている。

一方、『否定派』が最も高いのは、太宰府東小学校区（62.0%）となっている。

問 63. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。（○は1つ）



									(%)	
		標 本 数	そ う 思 う	え ど ち ら そ う か と い	え ど ち ら そ う か と わ い	そ う 思 わ な い	無 回 答		肯 定 派	否 定 派
全 体		521 100.0	16 3.1	219 42.0	185 35.5	69 13.2	32 6.1		235 45.1	254 48.7
性 別	男 性	215	3.3	39.1	36.7	14.4	6.5		42.4	51.2
	女 性	296	3.0	43.9	34.8	12.8	5.4		46.9	47.6
	無回答	10	-	50.0	30.0	-	20.0		50.0	30.0
年 代 別	20歳代	32	3.1	50.0	31.3	9.4	6.3		53.1	40.6
	30歳代	58	3.4	32.8	39.7	17.2	6.9		36.2	56.9
	40歳代	95	3.2	41.1	34.7	16.8	4.2		44.2	51.6
	50歳代	82	1.2	41.5	31.7	20.7	4.9		42.7	52.4
	60歳代	113	0.9	43.4	40.7	10.6	4.4		44.2	51.3
	70歳代以上	133	6.0	45.9	32.3	8.3	7.5		51.9	40.6
	無回答	8	-	12.5	50.0	-	37.5		12.5	50.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	101	2.0	48.5	36.6	8.9	4.0		50.5	45.5
	太宰府東小学校区	50	2.0	28.0	50.0	12.0	8.0		30.0	62.0
	太宰府南小学校区	50	2.0	44.0	26.0	22.0	6.0		46.0	48.0
	水城小学校区	87	4.6	42.5	33.3	16.1	3.4		47.1	49.4
	水城西小学校区	67	1.5	46.3	32.8	16.4	3.0		47.8	49.3
	太宰府西小学校区	46	4.3	50.0	32.6	6.5	6.5		54.3	39.1
	国分小学校区	58	3.4	36.2	44.8	10.3	5.2		39.7	55.2
	わからない	48	4.2	37.5	29.2	16.7	12.5		41.7	45.8
	無回答	14	7.1	28.6	28.6	7.1	28.6		35.7	35.7

(2)市職員の対応や行動に対する満足度(問 64)

- 市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について『満足派』は 77.4%、『不満派』は 19.2%となっている。

市職員の対応・姿勢に対する満足度について、『満足派』(「満足している」と「ある程度満足している」の合計)は 77.4%となっている。一方、『不満派』(「満足していない」と「あまり満足していない」の合計)は 19.2%で、『満足派』の方が『不満派』より高くなっている。

過去の調査結果を比べると、『満足派』は平成 29 年度調査から 20.0 ポイントと大きく増加している。

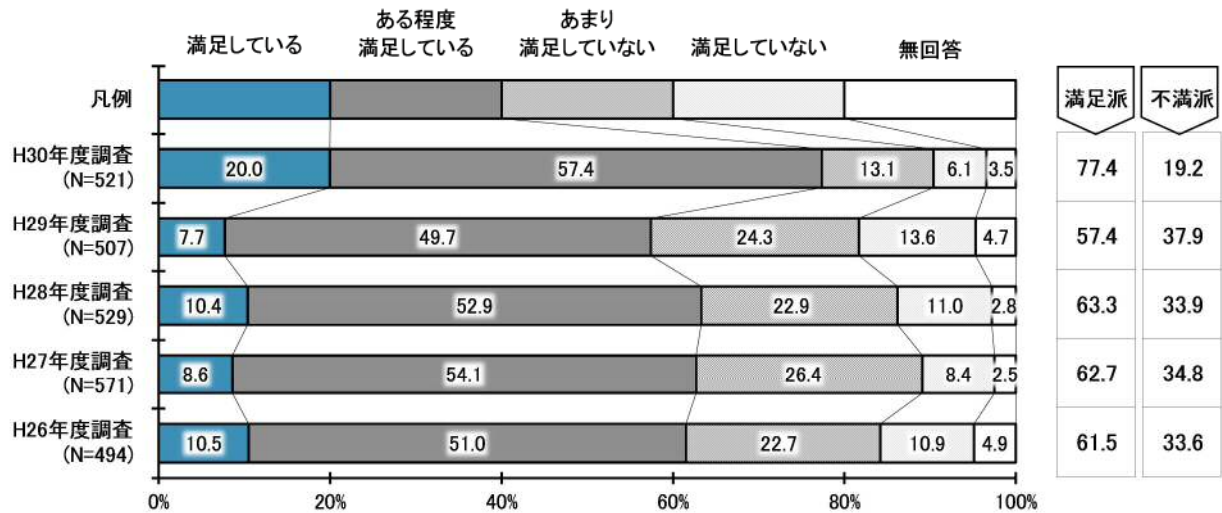
性別にみると、『満足派』は女性(79.0%)の方が男性(74.4%)より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が7割を超えて、『不満派』より高くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは太宰府西小学校区(89.1%)となっている。

一方、『不満派』が最も高いのは太宰府南小学校区(28.0%)となっている。

問 64. あなたは市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。
(○は1つ)



		標本数	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全 体		521	104	299	68	32	18	403	100
		100.0	20.0	57.4	13.1	6.1	3.5	77.4	19.2
性別	男 性	215	20.0	54.4	14.4	7.0	4.2	74.4	21.4
	女 性	296	19.9	59.1	12.5	5.7	2.7	79.0	18.2
	無回答	10	20.0	70.0	-	-	10.0	90.0	-
年代別	20歳代	32	18.8	65.6	6.3	6.3	3.1	84.4	12.5
	30歳代	58	25.9	48.3	15.5	6.9	3.4	74.1	22.4
	40歳代	95	21.1	64.2	9.5	4.2	1.1	85.3	13.7
	50歳代	82	23.2	51.2	14.6	9.8	1.2	74.4	24.4
	60歳代	113	14.2	57.5	18.6	7.1	2.7	71.7	25.7
	70歳代以上	133	20.3	58.6	10.5	4.5	6.0	78.9	15.0
	無回答	8	12.5	50.0	12.5	-	25.0	62.5	12.5
小学校区別	太宰府小学校区	101	18.8	59.4	12.9	5.0	4.0	78.2	17.8
	太宰府東小学校区	50	16.0	60.0	16.0	4.0	4.0	76.0	20.0
	太宰府南小学校区	50	14.0	56.0	20.0	8.0	2.0	70.0	28.0
	水城小学校区	87	19.5	52.9	18.4	6.9	2.3	72.4	25.3
	水城西小学校区	67	23.9	56.7	9.0	7.5	3.0	80.6	16.4
	太宰府西小学校区	46	30.4	58.7	4.3	4.3	2.2	89.1	8.7
	国分小学校区	58	13.8	74.1	5.2	5.2	1.7	87.9	10.3
	わからない	48	25.0	41.7	20.8	10.4	2.1	66.7	31.3
	無回答	14	21.4	50.0	-	-	28.6	71.4	-

28. 太宰府市が行っている施策について

(1)重要度(33 施策)(問 65)

- 「施策 25 良質な水道水の安定供給」「施策 24 地域交通体系の整備」「施策 06 社会保障の適正な運営」「施策 07 防災・消防体制の整備充実」などで「重要」の割合が高い。

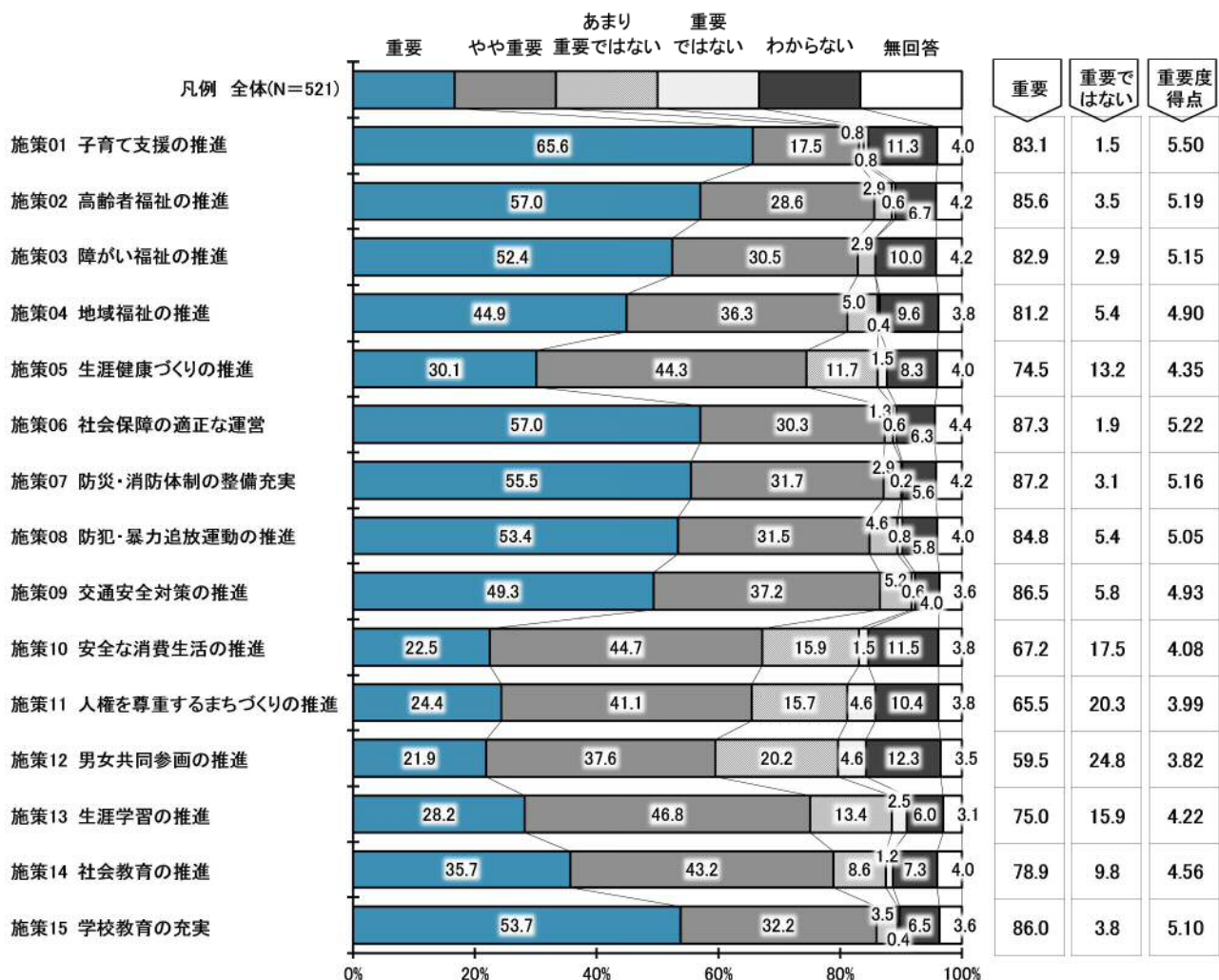
第五次太宰府市総合計画後期基本計画の施策に掲げた 33 項目への取り組みについて、『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）と考えている割合が高いのは「25. 良質な水道水の安定供給」（88.7%）、「24. 地域交通体系の整備」（88.3%）、「06. 社会保障の適正な運営」（87.3%）、「07. 防災・消防体制の整備充実」（87.2%）、「09. 交通安全対策の推進」（86.5%）、「26. 下水道の整備と普及促進」（86.2%）などがある。

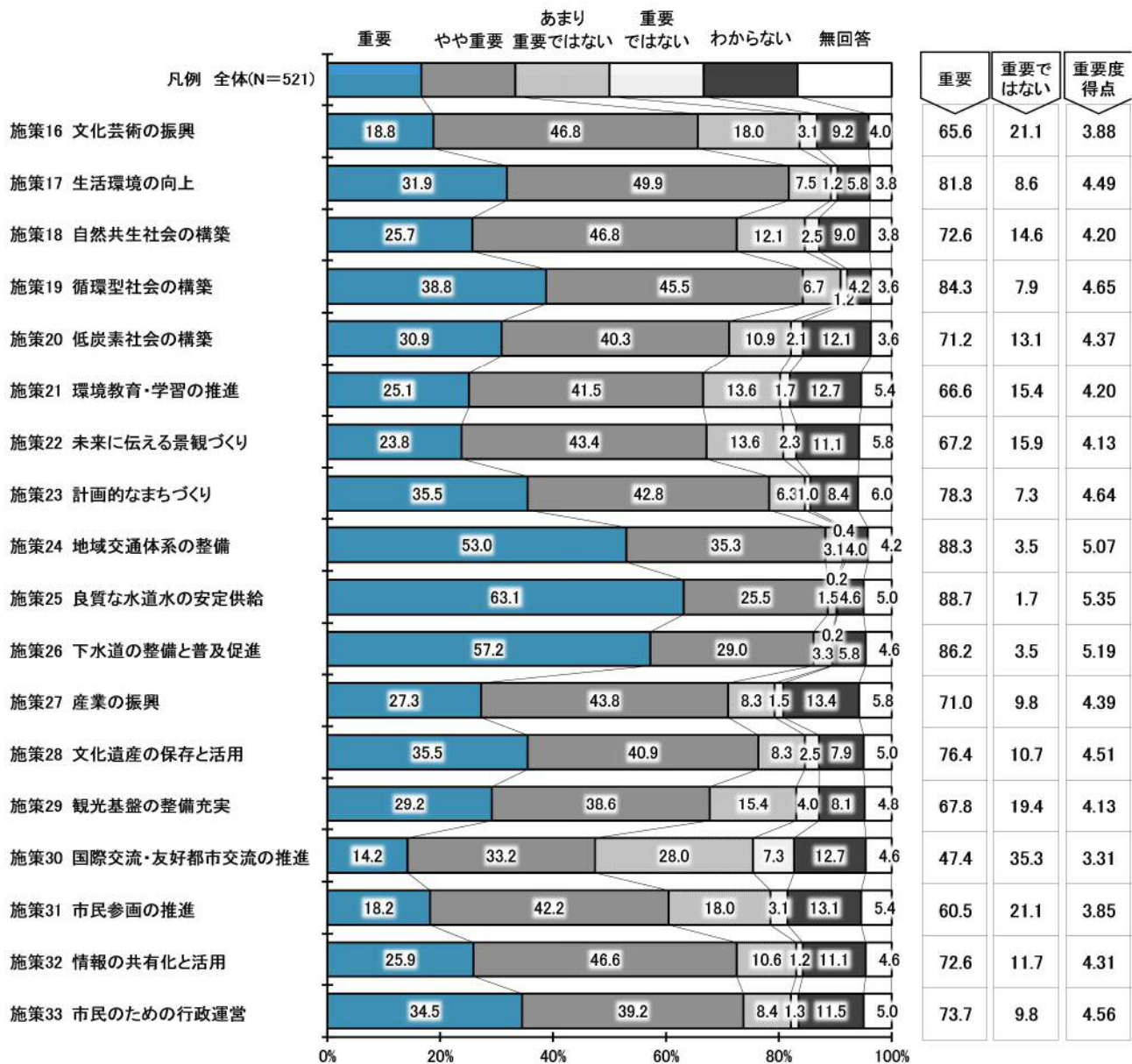
一方、『重要度』が低い施策としては、「30. 国際交流・友好都市交流の推進」（47.4%）や「12. 男女共同参画の推進」（59.5%）などがあげられる。

問 65. 太宰府市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の 1～33 の施策についてお尋ねします。

(A) あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





重要度の得点化の手順

重要度	得点
1. 重要	→ 6点
2. やや重要	→ 4点
3. あまり重要ではない	→ 2点
4. 重要ではない	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

重要度得点	=	$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4の回答者数})}$
-------	---	---

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要ではない』	わからない	重要度 得点	順位
施策01 子育て支援の推進	83.1	1.5	11.3	5.50	1
施策25 良質な水道水の安定供給	88.7	1.7	4.6	5.35	2
施策06 社会保障の適正な運営	87.3	1.9	6.3	5.22	3
施策26 下水道の整備と普及促進	86.2	3.5	5.8	5.19	4
施策02 高齢者福祉の推進	85.6	3.5	6.7	5.19	5
施策07 防災・消防体制の整備充実	87.2	3.1	5.6	5.16	6
施策03 障がい福祉の推進	82.9	2.9	10.0	5.15	7
施策15 学校教育の充実	86.0	3.8	6.5	5.10	8
施策24 地域交通体系の整備	88.3	3.5	4.0	5.07	9
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	84.8	5.4	5.8	5.05	10
施策09 交通安全対策の推進	86.5	5.8	4.0	4.93	11
施策04 地域福祉の推進	81.2	5.4	9.6	4.90	12
施策19 循環型社会の構築	84.3	7.9	4.2	4.65	13
施策23 計画的なまちづくり	78.3	7.3	8.4	4.64	14
施策33 市民のための行政運営	73.7	9.8	11.5	4.56	15
施策14 社会教育の推進	78.9	9.8	7.3	4.56	16
施策28 文化遺産の保存と活用	76.4	10.7	7.9	4.51	17
施策17 生活環境の向上	81.8	8.6	5.8	4.49	18
施策27 産業の振興	71.0	9.8	13.4	4.39	19
施策20 低炭素社会の構築	71.2	13.1	12.1	4.37	20
施策05 生涯健康づくりの推進	74.5	13.2	8.3	4.35	21
施策32 情報の共有化と活用	72.6	11.7	11.1	4.31	22
施策13 生涯学習の推進	75.0	15.9	6.0	4.22	23
施策18 自然共生社会の構築	72.6	14.6	9.0	4.20	24
施策21 環境教育・学習の推進	66.6	15.4	12.7	4.20	25
施策22 未来に伝える景観づくり	67.2	15.9	11.1	4.13	26
施策29 観光基盤の整備充実	67.8	19.4	8.1	4.13	27
施策10 安全な消費生活の推進	67.2	17.5	11.5	4.08	28
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	65.5	20.3	10.4	3.99	29
施策16 文化芸術の振興	65.6	21.1	9.2	3.88	30
施策31 市民参画の推進	60.5	21.1	13.1	3.85	31
施策12 男女共同参画の推進	59.5	24.8	12.3	3.82	32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	47.4	35.3	12.7	3.31	33

重要度
【平均値】
4.56

『重要』＝「重要」＋「やや重要」

『重要ではない』＝「あまり重要ではない」＋「重要ではない」

各施策について、第五次総合計画に掲げた市民意識調査による重要度評価を整理する。

①性別

重要度の平均値は 4.56 となり、その内訳をみると男性が 4.48 に対し女性は 4.61 で、女性の方がやや高い。

男性は、「24. 地域交通体系の整備」「18. 自然共生社会の構築」「09. 交通安全対策の推進」「29. 観光基盤の整備充実」「28. 文化遺産の保存と活用」「17. 生活環境の向上」「08. 防犯・暴力追放運動の推進」「23. 計画的なまちづくり」の計 8 項目で女性より重要度得点が高い。

また、女性の方が重要度得点が高い項目（男女差が 0.3 以上）は、「30. 国際交流・友好都市交流の推進」「14. 社会教育の推進」「20. 低炭素社会の構築」「21. 環境教育・学習の推進」がある。

②年齢別

第 1 位をみると、20 歳代と 30 歳代と 40 歳代は「01. 子育て支援の推進」、50 歳代は「02. 高齢者福祉の推進」、60 歳代以上は「25. 良質な水道水の安定供給」、となっている。

③地域別

第 1 位をみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区を除き、すべての小学校区で「01. 子育て支援の推進」となっている。なお、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区は「25. 良質な水道水の安定供給」が第 1 位の得点となっている。

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要ではない』	わからない	重要度 得点	順位
施策01 子育て支援の推進	83.1	1.5	11.3	5.50	1
施策25 良質な水道水の安定供給	88.7	1.7	4.6	5.35	2
施策06 社会保障の適正な運営	87.3	1.9	6.3	5.22	3
施策26 下水道の整備と普及促進	86.2	3.5	5.8	5.19	4
施策02 高齢者福祉の推進	85.6	3.5	6.7	5.19	5
施策07 防災・消防体制の整備充実	87.2	3.1	5.6	5.16	6
施策03 障がい福祉の推進	82.9	2.9	10.0	5.15	7
施策15 学校教育の充実	86.0	3.8	6.5	5.10	8
施策24 地域交通体系の整備	88.3	3.5	4.0	5.07	9
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	84.8	5.4	5.8	5.05	10
施策09 交通安全対策の推進	86.5	5.8	4.0	4.93	11
施策04 地域福祉の推進	81.2	5.4	9.6	4.90	12
施策19 循環型社会の構築	84.3	7.9	4.2	4.65	13
施策23 計画的なまちづくり	78.3	7.3	8.4	4.64	14
施策33 市民のための行政運営	73.7	9.8	11.5	4.56	15
施策14 社会教育の推進	78.9	9.8	7.3	4.56	16
施策28 文化遺産の保存と活用	76.4	10.7	7.9	4.51	17
施策17 生活環境の向上	81.8	8.6	5.8	4.49	18
施策27 産業の振興	71.0	9.8	13.4	4.39	19
施策20 低炭素社会の構築	71.2	13.1	12.1	4.37	20
施策05 生涯健康づくりの推進	74.5	13.2	8.3	4.35	21
施策32 情報の共有化と活用	72.6	11.7	11.1	4.31	22
施策13 生涯学習の推進	75.0	15.9	6.0	4.22	23
施策18 自然共生社会の構築	72.6	14.6	9.0	4.20	24
施策21 環境教育・学習の推進	66.6	15.4	12.7	4.20	25
施策22 未来に伝える景観づくり	67.2	15.9	11.1	4.13	26
施策29 観光基盤の整備充実	67.8	19.4	8.1	4.13	27
施策10 安全な消費生活の推進	67.2	17.5	11.5	4.08	28
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	65.5	20.3	10.4	3.99	29
施策16 文化芸術の振興	65.6	21.1	9.2	3.88	30
施策31 市民参画の推進	60.5	21.1	13.1	3.85	31
施策12 男女共同参画の推進	59.5	24.8	12.3	3.82	32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	47.4	35.3	12.7	3.31	33

重要度
【平均値】
4.56

『重要』＝「重要」＋「やや重要」

『重要ではない』＝「あまり重要ではない」＋「重要ではない」

各施策について、第五次総合計画に掲げた市民意識調査による重要度評価を整理する。

①性別

重要度の平均値は 4.56 となり、その内訳をみると男性が 4.48 に対し女性は 4.61 で、女性の方がやや高い。

男性は、「24. 地域交通体系の整備」「18. 自然共生社会の構築」「09. 交通安全対策の推進」「29. 観光基盤の整備充実」「28. 文化遺産の保存と活用」「17. 生活環境の向上」「08. 防犯・暴力追放運動の推進」「23. 計画的なまちづくり」の計 8 項目で女性より重要度得点が高い。

また、女性の方が重要度得点が高い項目（男女差が 0.3 以上）は、「30. 国際交流・友好都市交流の推進」「14. 社会教育の推進」「20. 低炭素社会の構築」「21. 環境教育・学習の推進」がある。

②年齢別

第 1 位をみると、20 歳代と 30 歳代と 40 歳代は「01. 子育て支援の推進」、50 歳代は「02. 高齢者福祉の推進」、60 歳代以上は「25. 良質な水道水の安定供給」、となっている。

③地域別

第 1 位をみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区を除き、すべての小学校区で「01. 子育て支援の推進」となっている。なお、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区は「25. 良質な水道水の安定供給」が第 1 位の得点となっている。

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体		男性		女性		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代 以上	
施策01 子育て支援の推進	5.50	1	5.42	1	5.54	1	5.72	1	5.82	1	5.59	1	5.35	2	5.43	3	5.33	3
施策25 良質な水道水の安定供給	5.35	2	5.26	2	5.42	2	5.24	4	5.25	4	5.27	2	5.30	3	5.45	1	5.44	1
施策06 社会保障の適正な運営	5.22	3	5.12	4	5.27	5	5.38	3	5.00	8	5.03	7	5.23	6	5.44	2	5.21	4
施策26 下水道の整備と普及促進	5.19	4	5.05	7	5.30	4	5.00	8	5.10	6	5.02	9	5.26	5	5.21	7	5.40	2
施策02 高齢者福祉の推進	5.19	5	5.01	9	5.30	3	5.10	6	5.00	8	5.05	5	5.45	1	5.27	5	5.14	7
施策07 防災・消防体制の整備充実	5.16	6	5.02	8	5.26	6	4.97	10	5.02	7	4.99	10	5.28	4	5.35	4	5.14	6
施策03 障がい福祉の推進	5.15	7	5.10	5	5.18	8	5.03	7	5.26	3	5.02	8	5.17	9	5.22	6	5.16	5
施策15 学校教育の充実	5.10	8	4.94	11	5.23	7	5.00	8	5.36	2	5.11	4	5.05	11	5.04	8	5.13	8
施策24 地域交通体系の整備	5.07	9	5.20	3	4.99	10	5.50	2	4.98	10	5.04	6	5.19	8	5.00	9	5.03	10
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	5.05	10	5.07	6	5.04	9	5.24	4	4.92	11	5.16	3	5.14	10	4.89	11	5.03	9
施策09 交通安全対策の推進	4.93	11	4.97	10	4.90	12	4.76	14	5.13	5	4.84	12	4.92	12	4.86	12	4.99	11
施策04 地域福祉の推進	4.90	12	4.78	12	4.98	11	4.60	15	4.88	12	4.87	11	5.23	6	5.00	9	4.70	13
施策19 循環型社会の構築	4.65	13	4.55	14	4.70	14	4.00	28	4.50	16	4.35	19	4.73	15	4.85	13	4.83	12
施策23 計画的なまちづくり	4.64	14	4.65	13	4.63	15	4.81	12	4.77	14	4.70	13	4.69	16	4.44	19	4.62	16
施策33 市民のための行政運営	4.56	15	4.52	16	4.60	16	4.88	11	4.46	17	4.50	16	4.48	19	4.64	14	4.59	17
施策14 社会教育の推進	4.56	16	4.34	18	4.71	13	4.57	17	4.81	13	4.37	17	4.45	20	4.59	15	4.66	14
施策28 文化遺産の保存と活用	4.51	17	4.54	15	4.49	18	4.38	19	4.36	20	4.69	14	4.82	14	4.19	22	4.54	18
施策17 生活環境の向上	4.49	18	4.50	17	4.47	19	3.93	30	4.35	21	4.62	15	4.87	13	4.48	18	4.32	24
施策27 産業の振興	4.39	19	4.32	19	4.44	20	4.77	13	4.59	15	4.16	24	4.52	17	4.30	21	4.43	19
施策20 低炭素社会の構築	4.37	20	4.17	24	4.49	17	4.08	26	4.29	23	4.00	28	4.33	24	4.53	17	4.65	15
施策05 生涯健康づくりの推進	4.35	21	4.25	21	4.43	21	4.21	24	4.39	18	4.18	23	4.51	18	4.54	16	4.21	25
施策32 情報の共有化と活用	4.31	22	4.17	25	4.40	22	4.37	21	4.39	19	4.13	26	4.38	22	4.30	20	4.34	23
施策13 生涯学習の推進	4.22	23	4.19	22	4.23	24	4.27	23	4.30	22	4.27	20	4.41	21	4.06	27	4.16	27
施策18 自然共生社会の構築	4.20	24	4.26	20	4.16	26	3.68	32	4.04	27	4.22	22	4.30	25	4.17	23	4.34	21
施策21 環境教育・学習の推進	4.20	25	4.01	27	4.31	23	4.00	28	4.24	24	4.23	21	3.97	28	4.16	24	4.38	20
施策22 未来に伝える景観づくり	4.13	26	4.07	26	4.17	25	4.38	19	4.04	28	4.11	27	4.14	26	3.87	29	4.34	22
施策29 観光基盤の整備充実	4.13	27	4.17	23	4.10	28	4.60	15	4.24	24	4.36	18	4.13	27	3.91	28	3.98	30
施策10 安全な消費生活の推進	4.08	28	3.97	28	4.14	27	4.15	25	4.04	28	3.72	31	4.34	23	4.13	26	4.17	26
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.99	29	3.89	29	4.05	29	4.44	18	4.00	30	3.81	29	3.79	32	4.13	25	4.02	28
施策16 文化芸術の振興	3.88	30	3.79	30	3.95	30	3.62	33	3.96	31	4.14	25	3.87	29	3.61	32	3.98	29
施策31 市民参画の推進	3.85	31	3.69	32	3.95	31	4.07	27	4.09	26	3.72	31	3.86	31	3.73	30	3.90	31
施策12 男女共同参画の推進	3.82	32	3.71	31	3.88	32	4.36	22	3.68	32	3.72	30	3.87	29	3.70	31	3.87	32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.31	33	3.05	33	3.48	33	3.76	31	3.21	33	3.22	33	3.31	33	3.24	33	3.37	33
平均	4.56		4.48		4.61		4.57		4.56		4.49		4.62		4.54		4.59	

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからな い
施策01 子育て支援の推進	5.50 1	5.45 1	5.52 1	5.33 4	5.76 1	5.42 1	5.45 2	5.43 1	5.47 1
施策25 良質な水道水の安定供給	5.35 2	5.29 3	5.35 2	5.56 1	5.43 3	5.31 3	5.50 1	5.18 5	5.30 2
施策06 社会保障の適正な運営	5.22 3	5.10 6	5.27 5	5.33 4	5.49 2	4.97 9	5.00 11	5.33 2	5.24 3
施策26 下水道の整備と普及促進	5.19 4	5.22 4	5.05 11	5.39 3	5.06 9	5.32 2	5.40 3	5.09 6	5.11 6
施策02 高齢者福祉の推進	5.19 5	5.12 5	5.29 3	5.55 2	5.28 6	5.02 7	5.24 4	5.00 9	5.18 4
施策07 防災・消防体制の整備充実	5.16 6	5.05 8	5.11 9	5.20 8	5.31 5	5.05 5	5.16 8	5.21 4	5.17 5
施策03 障がい福祉の推進	5.15 7	4.98 9	5.28 4	5.24 6	5.38 4	5.02 6	5.24 4	5.04 7	5.08 7
施策15 学校教育の充実	5.10 8	5.06 7	5.24 7	5.23 7	5.04 10	5.12 4	5.16 9	5.22 3	4.81 11
施策24 地域交通体系の整備	5.07 9	5.42 2	5.27 5	4.71 13	5.11 8	4.89 10	5.21 7	4.89 11	4.79 12
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	5.05 10	4.91 10	5.16 8	5.11 9	5.15 7	5.00 8	5.14 10	4.96 10	5.05 8
施策09 交通安全対策の推進	4.93 11	4.89 11	4.95 12	4.98 10	5.02 11	4.81 11	5.00 11	5.04 7	4.75 13
施策04 地域福祉の推進	4.90 12	4.88 12	4.88 14	4.95 11	4.90 12	4.70 13	5.24 4	4.82 12	4.95 9
施策19 循環型社会の構築	4.65 13	4.65 14	4.71 17	4.89 12	4.61 15	4.58 15	4.59 17	4.60 16	4.40 19
施策23 計画的なまちづくり	4.64 14	4.68 13	5.10 10	4.45 16	4.61 14	4.74 12	4.70 14	4.38 17	4.34 20
施策33 市民のための行政運営	4.56 15	4.58 16	4.92 13	4.41 18	4.65 13	4.18 22	4.42 20	4.69 14	4.88 10
施策14 社会教育の推進	4.56 16	4.57 17	4.82 15	4.64 15	4.48 18	4.45 17	4.62 16	4.70 13	4.28 22
施策28 文化遺産の保存と活用	4.51 17	4.63 15	4.67 18	4.33 20	4.49 16	4.46 16	4.65 15	4.30 21	4.56 15
施策17 生活環境の向上	4.49 18	4.49 18	4.67 18	4.35 19	4.46 19	4.27 18	4.83 13	4.38 18	4.51 17
施策27 産業の振興	4.39 19	4.48 19	4.72 16	4.17 24	4.29 24	4.59 14	4.20 24	4.30 20	4.48 18
施策20 低炭素社会の構築	4.37 20	4.44 20	4.62 20	4.68 14	4.48 17	4.00 25	4.23 23	4.27 22	4.12 25
施策05 生涯健康づくりの推進	4.35 21	4.13 26	4.59 21	4.30 21	4.43 20	4.21 21	4.00 26	4.61 15	4.74 14
施策32 情報の共有化と活用	4.31 22	4.30 23	4.42 24	4.29 22	4.40 21	4.07 23	4.24 22	4.19 24	4.55 16
施策13 生涯学習の推進	4.22 23	4.00 29	4.37 25	4.43 17	4.35 23	4.07 24	4.44 19	4.15 25	4.26 23
施策18 自然共生社会の構築	4.20 24	4.13 25	4.45 23	4.09 25	4.20 28	3.81 31	4.52 18	4.23 23	4.33 21
施策21 環境教育・学習の推進	4.20 25	4.42 21	4.46 22	3.76 28	4.27 25	3.96 26	4.00 26	4.37 19	4.13 24
施策22 未来に伝える景観づくり	4.13 26	4.36 22	4.21 26	3.69 30	4.03 30	4.22 20	4.10 25	4.04 29	4.00 27
施策29 観光基盤の整備充実	4.13 27	4.09 27	4.00 28	3.90 26	4.24 27	4.24 19	4.28 21	4.08 28	4.06 26
施策10 安全な消費生活の推進	4.08 28	4.14 24	3.95 30	4.22 23	4.37 22	3.89 28	3.91 30	4.08 26	3.78 30
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.99 29	4.02 28	4.10 27	3.81 27	4.26 26	3.89 27	3.91 29	3.88 31	3.67 31
施策16 文化芸術の振興	3.88 30	4.00 29	3.95 30	3.59 32	3.95 32	3.71 32	3.77 31	4.08 27	4.00 27
施策31 市民参画の推進	3.85 31	3.74 32	3.62 32	3.76 28	4.10 29	3.85 29	4.00 26	3.80 32	3.88 29
施策12 男女共同参画の推進	3.82 32	3.78 31	4.00 28	3.61 31	3.98 31	3.85 30	3.77 32	3.92 30	3.52 32
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.31 33	3.48 33	3.24 33	3.00 33	3.43 33	3.33 33	3.33 33	3.16 33	3.27 33
平均	4.56	4.56	4.67	4.51	4.64	4.45	4.58	4.53	4.50

(2)満足度(33 施策)(問 65)

- 「施策 28 文化遺産の保存と活用」「施策 26 下水道の整備と普及促進」「施策 19 循環型社会の構築」「施策 13 生涯学習の推進」などで『満足派』の割合が高い。

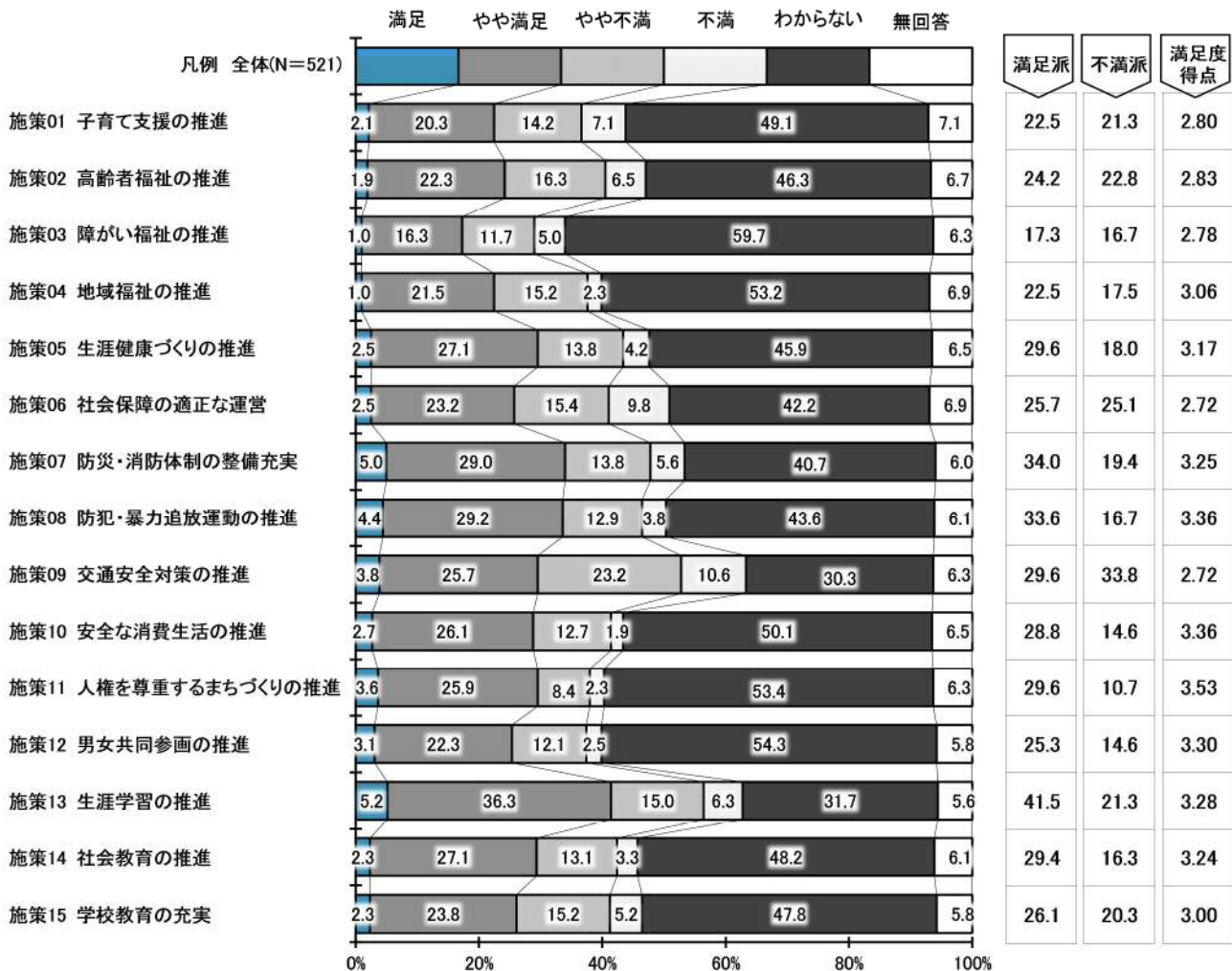
第五次太宰府市総合計画後期基本計画の施策に掲げた 33 項目への取り組みについて、『満足派』（「満足」と「やや満足」の合計）と考えている割合が高いのは「28. 文化遺産の保存と活用」（43.8%）、「26. 下水道の整備と普及促進」（43.4%）、「19. 循環型社会の構築」（42.8%）、「13. 生涯学習の推進」（41.5%）、「16. 文化芸術の振興」（40.9%）などがある。

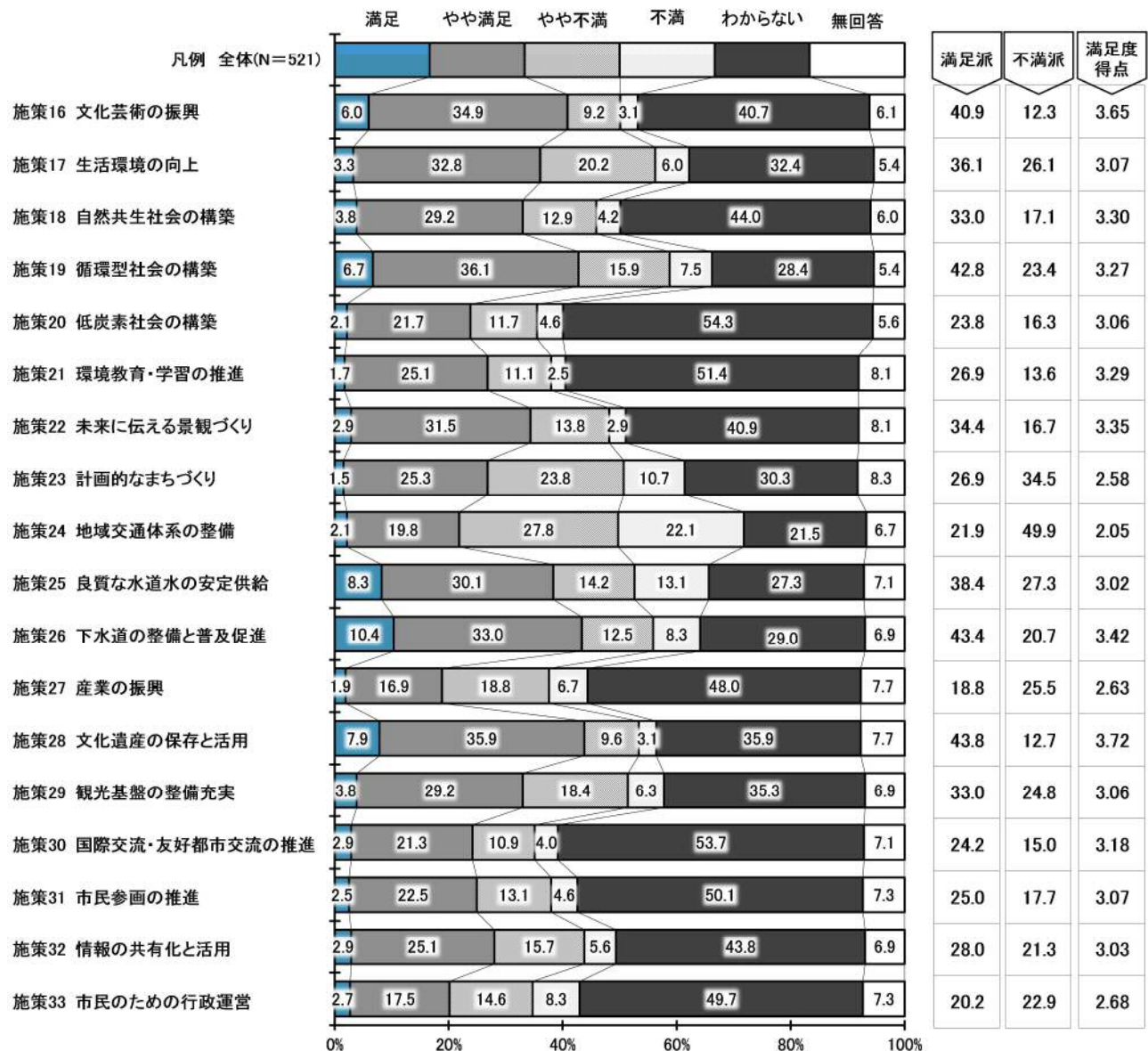
一方、『満足派』の割合が低い施策としては、「03. 障がい福祉の推進」（17.3%）、「27. 産業の振興」（18.8%）、「33. 市民のための行政運営」（20.2%）、「24. 地域交通体系の整備」（21.9%）などがあげられる。

問 65. 太宰府市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の 1～33 の施策についてお尋ねします。

(B) あなたは、この施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





満足度の得点化の手順

満足度	得点
1. 満足	→ 6点
2. やや満足	→ 4点
3. やや不満	→ 2点
4. 不満	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

満足度 得点	=	$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4} \text{ の回答者数})}$
-----------	---	--

	回答者の割合(%)			満足度	
	『満足』	『不満』	わからない	満足度 得点	順位
施策24 地域交通体系の整備	21.9	49.9	21.5	2.05	33
施策23 計画的なまちづくり	26.9	34.5	30.3	2.58	32
施策27 産業の振興	18.8	25.5	48.0	2.63	31
施策33 市民のための行政運営	20.2	22.9	49.7	2.68	30
施策09 交通安全対策の推進	29.6	33.8	30.3	2.72	29
施策06 社会保障の適正な運営	25.7	25.1	42.2	2.72	28
施策03 障がい福祉の推進	17.3	16.7	59.7	2.78	27
施策01 子育て支援の推進	22.5	21.3	49.1	2.80	26
施策02 高齢者福祉の推進	24.2	22.8	46.3	2.83	25
施策15 学校教育の充実	26.1	20.3	47.8	3.00	24
施策25 良質な水道水の安定供給	38.4	27.3	27.3	3.02	23
施策32 情報の共有化と活用	28.0	21.3	43.8	3.03	22
施策29 観光基盤の整備充実	33.0	24.8	35.3	3.06	21
施策04 地域福祉の推進	22.5	17.5	53.2	3.06	20
施策20 低炭素社会の構築	23.8	16.3	54.3	3.06	19
施策31 市民参画の推進	25.0	17.7	50.1	3.07	18
施策17 生活環境の向上	36.1	26.1	32.4	3.07	17
施策05 生涯健康づくりの推進	29.6	18.0	45.9	3.17	16
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	24.2	15.0	53.7	3.18	15
施策14 社会教育の推進	29.4	16.3	48.2	3.24	14
施策07 防災・消防体制の整備充実	34.0	19.4	40.7	3.25	13
施策19 循環型社会の構築	42.8	23.4	28.4	3.27	12
施策13 生涯学習の推進	41.5	21.3	31.7	3.28	11
施策21 環境教育・学習の推進	26.9	13.6	51.4	3.29	10
施策12 男女共同参画の推進	25.3	14.6	54.3	3.30	9
施策18 自然共生社会の構築	33.0	17.1	44.0	3.30	8
施策22 未来に伝える景観づくり	34.4	16.7	40.9	3.35	7
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	33.6	16.7	43.6	3.36	6
施策10 安全な消費生活の推進	28.8	14.6	50.1	3.36	5
施策26 下水道の整備と普及促進	43.4	20.7	29.0	3.42	4
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	29.6	10.7	53.4	3.53	3
施策16 文化芸術の振興	40.9	12.3	40.7	3.65	2
施策28 文化遺産の保存と活用	43.8	12.7	35.9	3.72	1

満足度
【平均値】
3.09

『満足』＝「満足」＋「やや満足」

『不満』＝「やや不満」＋「不満」

●『満足』『不満』『わからない』のうち、各項目で最も割合が高いものを太字で示している

各施策について、第五次総合計画に掲げた市民意識調査による満足度評価を整理する。

①性別

満足度の平均値は 3.09 となり、その内訳をみると男性が 2.97 に対し女性は 3.15 で、女性の方がやや高い。

男性は、「12. 男女共同参画の推進」「15. 学校教育の充実」「25. 良質な水道水の安定供給」「17. 生活環境の向上」「16. 文化芸術の振興」「26. 下水道の整備と普及促進」の計 6 項目で女性より満足度得点が高い。

また、女性の方が重要度得点が高い項目（男女差が 0.3 以上）は、「30. 国際交流・友好都市交流の推進」「09. 交通安全対策の推進」「22. 未来に伝える景観づくり」「05. 生涯健康づくりの推進」「32. 情報の共有化と活用」「23. 計画的なまちづくり」「19. 循環型社会の構築」「27. 産業の振興」「21. 環境教育・学習の推進」がある。

②年齢別

第 1 位をみると、20 歳代と 60 歳代は「16. 文化芸術の振興」、30～50 歳代は「28. 文化遺産の保存と活用」、70 歳代以上は「26. 下水道の整備と普及促進」となっている。

③地域別

第 1 位をみると、太宰府小学校区、水城西小学校区と太宰府西小学校区では「16. 文化芸術の振興」、太宰府東小学校区は「08. 防犯・暴力追放運動の推進」、太宰府南小学校区、水城小学校区、国分小学校区では「28. 文化遺産の保存と活用」となっている。

第2章 調査結果の分析

(左列:満足度得点/右列:順位)

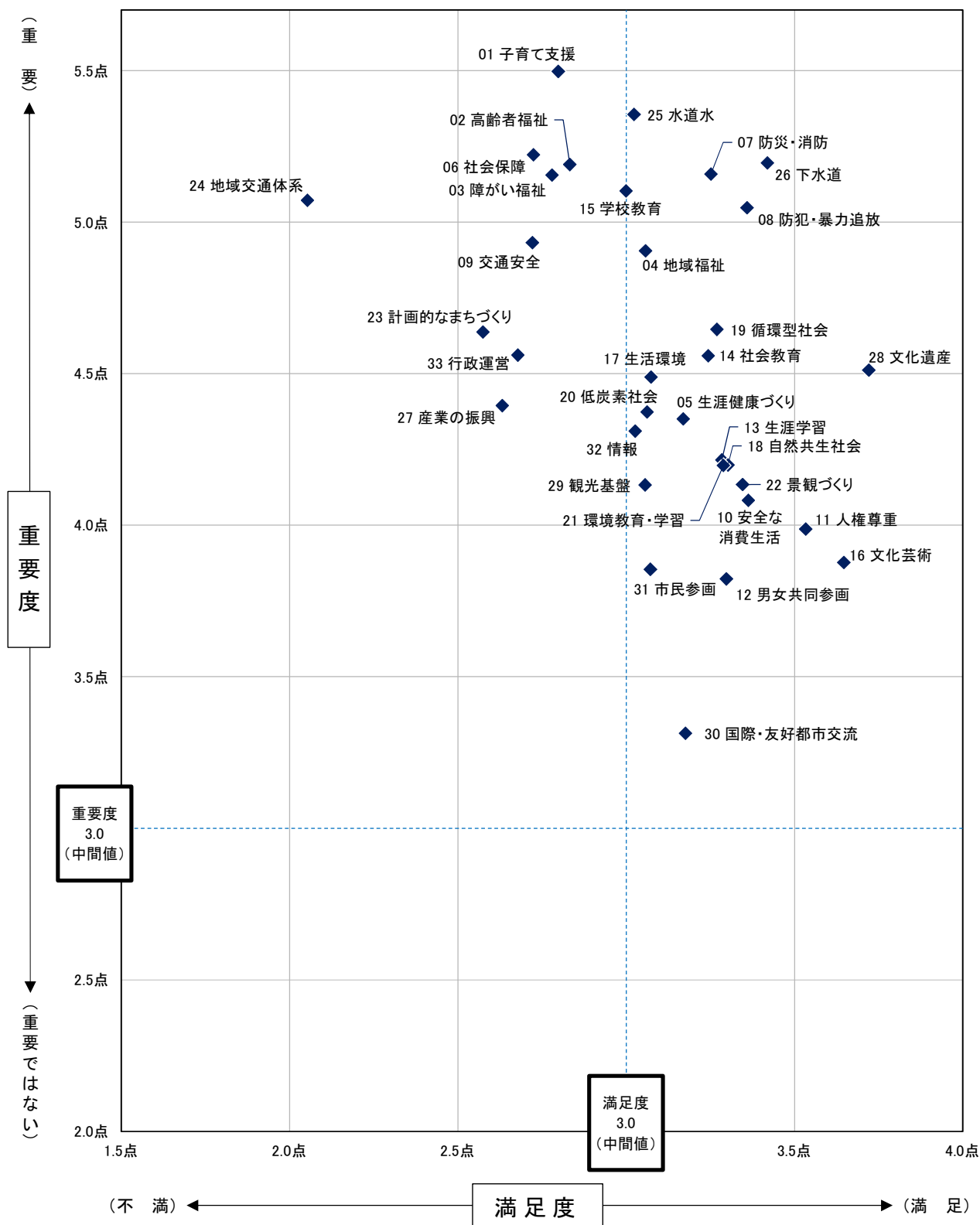
	全体		男性		女性		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代 以上	
施策28 文化遺産の保存と活用	3.72	1	3.67	1	3.75	1	4.38	2	3.93	1	3.70	1	3.80	1	3.72	2	3.48	8
施策16 文化芸術の振興	3.65	2	3.66	2	3.65	2	4.47	1	3.57	5	3.62	4	3.56	2	3.79	1	3.50	6
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.53	3	3.49	3	3.52	4	4.13	3	3.33	8	3.68	2	3.19	15	3.56	4	3.50	6
施策26 下水道の整備と普及促進	3.42	4	3.41	4	3.40	8	4.12	5	2.88	16	2.98	19	3.27	6	3.59	3	3.70	1
施策10 安全な消費生活の推進	3.36	5	3.17	10	3.46	5	3.63	13	2.95	12	3.65	3	3.44	3	3.25	9	3.26	15
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	3.36	6	3.32	6	3.38	9	3.57	16	2.59	25	3.40	7	3.28	5	3.46	6	3.55	3
施策22 未来に伝える景観づくり	3.35	7	3.07	13	3.53	3	3.57	16	3.68	4	3.27	12	3.27	6	3.37	7	3.23	16
施策18 自然共生社会の構築	3.30	8	3.24	8	3.34	12	3.69	12	3.84	2	3.41	6	3.16	17	2.96	18	3.29	13
施策12 男女共同参画の推進	3.30	9	3.33	5	3.24	16	3.71	10	2.93	13	3.47	5	3.20	14	3.29	8	3.23	18
施策21 環境教育・学習の推進	3.29	10	3.10	12	3.40	7	3.60	15	3.75	3	3.38	8	3.09	19	3.03	14	3.27	14
施策13 生涯学習の推進	3.28	11	3.27	7	3.28	14	3.41	19	3.03	11	3.25	14	2.96	23	3.18	10	3.64	2
施策19 循環型社会の構築	3.27	12	3.06	15	3.37	10	3.41	19	3.42	6	2.99	18	3.19	16	3.13	11	3.53	4
施策07 防災・消防体制の整備充実	3.25	13	3.21	9	3.26	15	3.63	13	2.88	15	3.32	10	3.25	9	2.81	24	3.52	5
施策14 社会教育の推進	3.24	14	3.11	11	3.34	11	3.29	23	2.73	21	3.33	9	3.26	8	3.09	13	3.41	9
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.18	15	2.79	23	3.46	6	4.13	4	2.82	19	2.78	25	3.25	9	3.53	5	3.00	24
施策05 生涯健康づくりの推進	3.17	16	2.90	22	3.33	13	4.00	6	2.67	24	3.26	13	2.97	22	3.00	15	3.35	11
施策17 生活環境の向上	3.07	17	3.07	14	3.06	22	3.73	9	2.86	17	2.92	21	3.13	18	2.90	22	3.23	18
施策31 市民参画の推進	3.07	18	3.01	18	3.10	19	3.86	7	3.05	10	2.93	20	3.22	12	2.87	23	3.03	22
施策20 低炭素社会の構築	3.06	19	2.92	21	3.13	18	3.33	22	3.38	7	3.29	11	2.52	30	2.92	21	3.05	20
施策04 地域福祉の推進	3.06	20	2.98	20	3.09	20	3.71	10	2.84	18	3.06	15	3.22	12	2.80	25	3.03	23
施策29 観光基盤の整備充実	3.06	21	2.99	19	3.08	21	3.36	21	3.16	9	2.90	22	3.23	11	2.98	17	2.95	27
施策32 情報の共有化と活用	3.03	22	2.77	24	3.17	17	3.20	25	2.80	20	3.02	17	3.00	20	3.00	15	3.04	21
施策25 良質な水道水の安定供給	3.02	23	3.05	16	2.98	23	3.81	8	2.47	28	2.55	30	2.87	24	3.11	12	3.36	10
施策15 学校教育の充実	3.00	24	3.03	17	2.95	24	2.93	29	2.48	26	3.05	16	3.00	20	2.70	26	3.34	12
施策02 高齢者福祉の推進	2.83	25	2.73	25	2.89	26	3.09	27	2.47	27	2.88	23	2.72	27	2.95	19	2.80	29
施策01 子育て支援の推進	2.80	26	2.69	27	2.83	27	2.57	31	2.24	30	2.45	31	3.38	4	2.93	20	3.23	17
施策03 障がい福祉の推進	2.78	27	2.68	28	2.80	28	2.92	30	2.71	22	2.43	32	2.71	28	2.67	27	3.00	24
施策06 社会保障の適正な運営	2.72	28	2.71	26	2.72	31	2.43	33	2.43	29	2.78	26	2.78	26	2.44	30	2.99	26
施策09 交通安全対策の推進	2.72	29	2.42	31	2.93	25	3.50	18	1.89	32	2.85	24	2.68	29	2.65	28	2.84	28
施策33 市民のための行政運営	2.68	30	2.55	29	2.75	30	3.29	24	2.70	23	2.63	29	2.83	25	2.27	32	2.78	30
施策27 産業の振興	2.63	31	2.44	30	2.75	29	3.06	28	2.91	14	2.67	28	2.51	31	2.35	31	2.66	31
施策23 計画的なまちづくり	2.58	32	2.37	32	2.70	32	3.11	26	2.06	31	2.72	27	2.48	32	2.63	29	2.51	32
施策24 地域交通体系の整備	2.05	33	1.88	33	2.16	33	2.55	32	1.68	33	2.17	33	2.24	33	1.93	33	1.94	33
平均	3.09		2.97		3.15		3.49		2.88		3.05		3.05		3.00		3.16	

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからない
施策28 文化遺産の保存と活用	3.72 1	3.51 5	3.28 4	3.93 1	4.13 1	3.57 4	3.50 4	3.94 1	4.09 1
施策16 文化芸術の振興	3.65 2	3.78 1	3.12 9	3.60 4	3.69 2	3.78 1	3.85 1	3.50 8	3.73 4
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.53 3	3.53 4	3.40 2	3.88 2	3.67 4	3.63 2	3.22 18	3.60 6	3.45 10
施策26 下水道の整備と普及促進	3.42 4	3.40 7	3.19 6	3.63 3	3.67 3	3.26 12	3.55 2	3.10 21	3.57 7
施策10 安全な消費生活の推進	3.36 5	3.20 13	3.10 10	3.47 6	3.40 5	3.31 10	3.14 23	3.70 2	3.71 5
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	3.36 6	3.44 6	3.60 1	3.22 14	3.17 18	3.33 8	3.50 4	3.21 14	3.88 2
施策22 未来に伝える景観づくり	3.35 7	3.19 15	2.96 15	3.50 5	3.17 17	3.56 5	3.23 17	3.66 4	3.86 3
施策18 自然共生社会の構築	3.30 8	3.25 11	3.00 14	3.23 12	3.35 10	3.47 7	3.24 15	3.53 7	3.41 11
施策12 男女共同参画の推進	3.30 9	3.25 10	2.60 21	3.22 13	3.35 9	3.52 6	3.24 16	3.68 3	3.33 13
施策21 環境教育・学習の推進	3.29 10	2.94 23	2.86 19	3.47 6	3.24 15	3.60 3	3.36 9	3.66 4	3.33 13
施策13 生涯学習の推進	3.28 11	3.54 3	2.44 26	3.35 9	3.38 7	3.29 11	3.27 12	3.19 15	3.41 11
施策19 循環型社会の構築	3.27 12	3.20 13	3.27 5	3.15 18	3.33 11	3.33 8	3.47 6	3.14 20	3.25 16
施策07 防災・消防体制の整備充実	3.25 13	3.37 8	3.31 3	2.52 27	3.39 6	3.20 15	3.36 8	3.06 22	3.47 9
施策14 社会教育の推進	3.24 14	3.34 9	3.13 8	3.20 16	3.14 19	3.24 13	3.12 24	3.29 12	3.50 8
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.18 15	3.13 16	2.89 17	3.29 11	3.35 8	2.78 28	3.12 24	3.48 9	3.25 16
施策05 生涯健康づくりの推進	3.17 16	3.54 2	3.19 7	3.31 10	3.22 16	3.03 17	2.64 32	2.81 26	3.14 21
施策17 生活環境の向上	3.07 17	2.84 25	2.48 25	2.97 21	3.32 12	3.21 14	3.53 3	3.16 18	3.22 18
施策31 市民参画の推進	3.07 18	3.02 19	3.09 11	2.94 23	2.97 23	2.86 24	3.28 11	3.45 10	2.44 33
施策20 低炭素社会の構築	3.06 19	2.81 27	2.87 18	3.16 17	3.00 22	2.96 22	3.27 12	3.41 11	3.33 13
施策04 地域福祉の推進	3.06 20	3.24 12	3.06 12	2.73 25	3.06 21	3.00 19	3.30 10	2.88 24	3.20 19
施策29 観光基盤の整備充実	3.06 21	2.94 22	2.69 20	3.46 8	3.12 20	2.68 29	3.47 6	3.19 15	3.00 22
施策32 情報の共有化と活用	3.03 22	3.00 20	2.55 24	2.95 22	3.26 14	2.97 20	3.19 21	3.16 17	2.80 28
施策25 良質な水道水の安定供給	3.02 23	2.93 24	3.06 12	3.21 15	3.32 12	2.89 23	3.06 26	2.24 32	3.62 6
施策15 学校教育の充実	3.00 24	3.07 18	2.59 22	3.10 20	2.79 28	3.03 18	3.17 22	3.24 13	3.00 22
施策02 高齢者福祉の推進	2.83 25	3.08 17	2.56 23	2.36 29	2.85 25	2.79 27	3.00 28	2.77 27	3.16 20
施策01 子育て支援の推進	2.80 26	2.96 21	2.30 28	3.14 19	2.53 32	2.84 25	2.92 29	2.64 30	2.89 26
施策03 障がい福祉の推進	2.78 27	2.79 28	2.92 16	2.12 33	2.69 30	3.05 16	3.20 20	2.72 28	2.86 27
施策06 社会保障の適正な運営	2.72 28	2.84 26	2.30 28	2.36 29	2.92 24	2.97 20	3.22 18	2.55 31	2.57 31
施策09 交通安全対策の推進	2.72 29	2.58 30	2.34 27	2.65 26	2.82 26	2.80 26	2.81 31	2.86 25	3.00 22
施策33 市民のための行政運営	2.68 30	2.62 29	2.09 30	2.19 32	2.80 27	2.62 31	3.25 14	2.92 23	3.00 22
施策27 産業の振興	2.63 31	2.56 31	2.00 31	2.50 28	2.73 29	2.33 32	3.04 27	3.15 19	2.63 30
施策23 計画的なまちづくり	2.58 32	2.43 32	1.81 32	2.87 24	2.58 31	2.64 30	2.85 30	2.67 29	2.74 29
施策24 地域交通体系の整備	2.05 33	1.63 33	1.67 33	2.33 31	2.13 33	2.12 33	2.30 33	2.00 33	2.52 32
平均	3.09	3.06	2.78	3.06	3.14	3.08	3.20	3.14	3.22

(3)重要度と満足度の相関関係

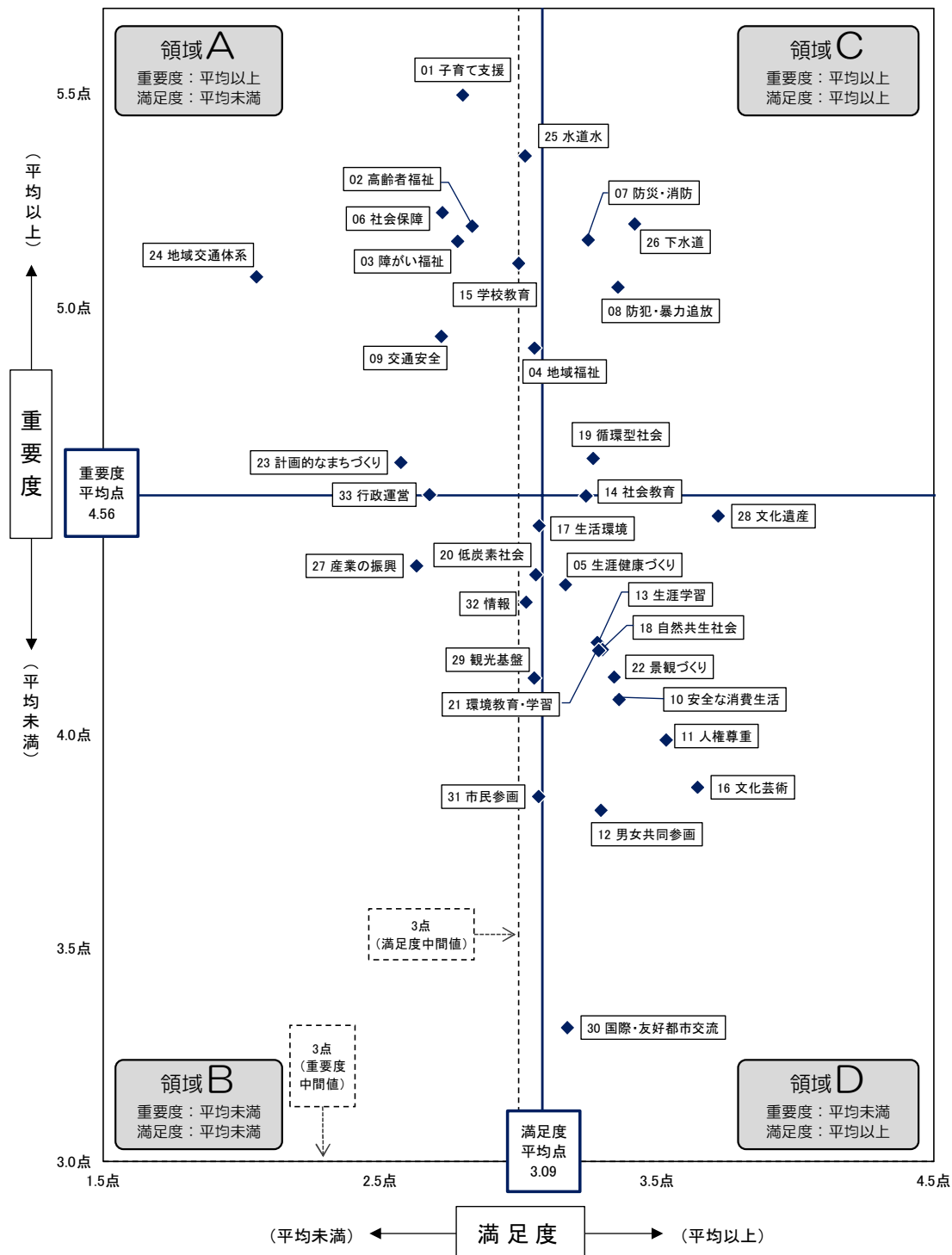
縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関関係をみると、重要度はすべての項目で中間値(3.0)を上回っている。一方、満足度が中間値(3.0)を上回っているのは、「28. 文化遺産の保存と活用」「16. 文化芸術の振興」「11. 人権尊重」「26. 下水道」「10. 安全な消費生活」「08. 防犯・暴力追放」「22. 景観づくり」「18. 自然共生社会」「12. 男女共同参画」「21. 環境教育・学習」「13. 生涯学習」「19. 循環型社会」「07. 防災・消防」「14. 社会教育」「30. 国際・友好都市交流」「05. 生涯健康づくり」「17. 生活環境」「31. 市民参画」「20. 低炭素社会」「04. 地域福祉」「29. 観光基盤」「32. 情報」「25. 水道水」の23施策となっている。



(4)重要度と満足度の領域別相関関係

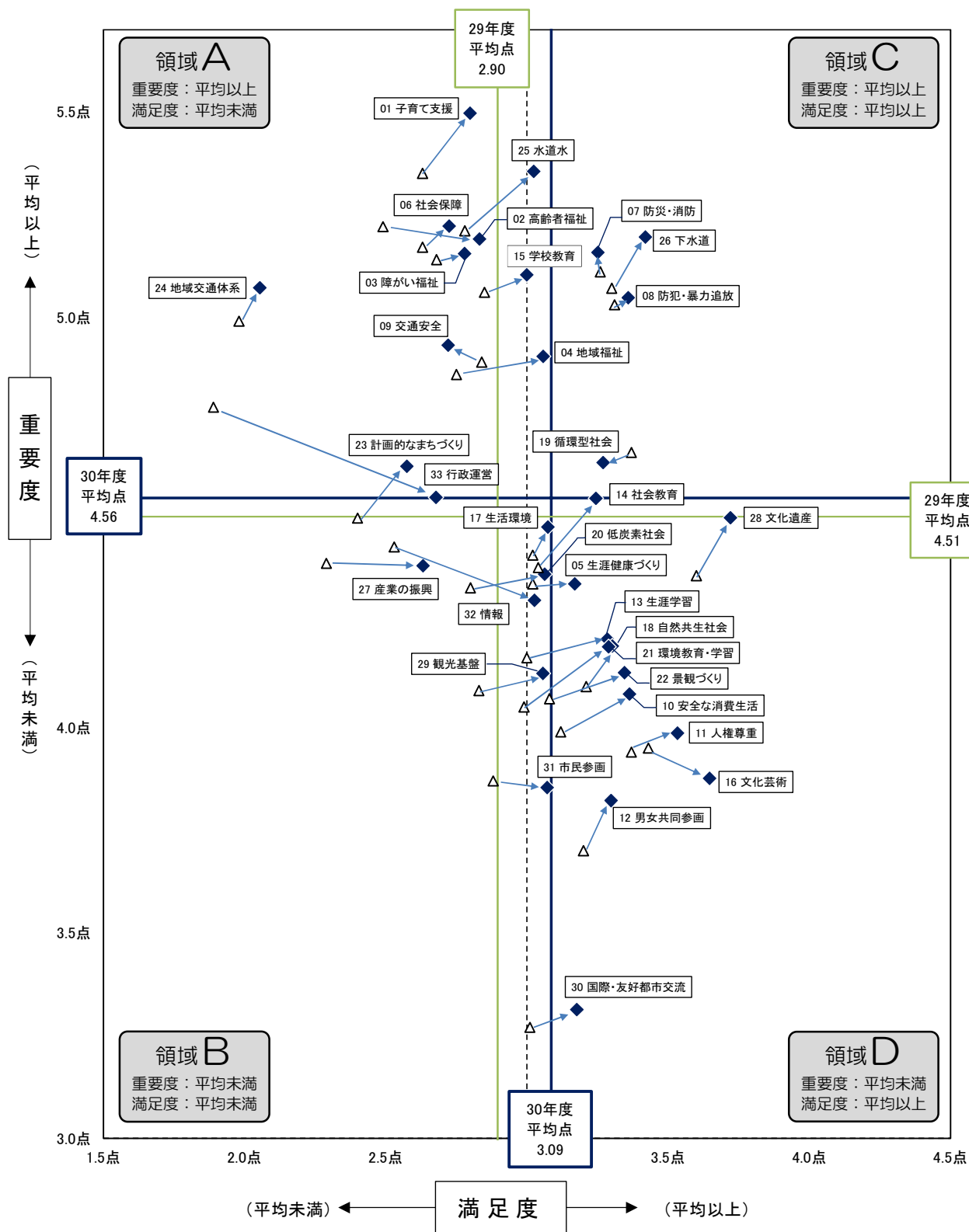
重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高くかつ満足度が低い【領域A】に入る施策が早急に対応すべき優先度が高い項目となり、その施策は「24. 地域交通体系の整備」「01. 子育て支援の推進」「06. 社会保障の適正な運営」「03. 障がい福祉の推進」「09. 交通安全対策の推進」「02. 高齢者福祉の推進」「25. 良質な水道水の安定供給」「15. 学校教育の充実」「23. 計画的なまちづくり」「33. 市民のための行政運営」「04. 地域福祉の推進」の11施策となっている。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度・高 満足度・低	今後改善の優先度が高い（行政的ニーズが高い）。
	【領域B】	重要度・低 満足度・低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度をあげていく必要がある。
	【領域C】	重要度・高 満足度・高	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度・低 満足度・高	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。



(5)平成 29 年度の重要度と満足度の相関関係との比較

平成 29 年度の重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高い一方、満足度が低い【領域 A】に入る、早急に対応が必要と考えられる施策としては「24. 地域交通体系の整備」「01. 子育て支援の推進」「06. 社会保障の適正な運営」「03. 障がい福祉の推進」「09. 交通安全対策の推進」「02. 高齢者福祉の推進」「25. 良質な水道水の安定供給」「15. 学校教育の充実」「23. 計画的なまちづくり」「33. 市民のための行政運営」「04. 地域福祉の推進」の 11 施策となっている。このうち、「23. 計画的なまちづくり」は平成 29 年度から重要度が増加して【領域 A】に入っている。



※△:平成29年度の相関関係

◆:平成30年度の相関関係

重要度と満足度による相関領域（重要度×満足度）

	重要度			満足度			重要度 × 満足度
	重要度 得点	全体平均 との差	順位	満足得点	全体平均 との差	順位	
施策24 地域交通体系の整備	5.07	0.51	9	2.05	▲1.03	33	A
施策01 子育て支援の推進	5.50	0.94	1	2.80	▲0.29	26	A
施策06 社会保障の適正な運営	5.22	0.66	3	2.72	▲0.36	28	A
施策03 障がい福祉の推進	5.15	0.59	7	2.78	▲0.31	27	A
施策09 交通安全対策の推進	4.93	0.37	11	2.72	▲0.36	29	A
施策02 高齢者福祉の推進	5.19	0.63	5	2.83	▲0.25	25	A
施策25 良質な水道水の安定供給	5.35	0.80	2	3.02	▲0.06	23	A
施策15 学校教育の充実	5.10	0.54	8	3.00	▲0.09	24	A
施策23 計画的なまちづくり	4.64	0.08	14	2.58	▲0.51	32	A
施策33 市民のための行政運営	4.56	0.00	15	2.68	▲0.41	30	A
施策04 地域福祉の推進	4.90	0.35	12	3.06	▲0.03	20	A
施策27 産業の振興	4.39	▲0.17	19	2.63	▲0.45	31	B
施策17 生活環境の向上	4.49	▲0.07	18	3.07	▲0.01	17	B
施策20 低炭素社会の構築	4.37	▲0.19	20	3.06	▲0.02	19	B
施策32 情報の共有化と活用	4.31	▲0.25	22	3.03	▲0.06	22	B
施策29 観光基盤の整備充実	4.13	▲0.43	27	3.06	▲0.03	21	B
施策31 市民参画の推進	3.85	▲0.71	31	3.07	▲0.01	18	B
施策07 防災・消防体制の整備充実	5.16	0.60	6	3.25	0.17	13	C
施策26 下水道の整備と普及促進	5.19	0.64	4	3.42	0.33	4	C
施策08 防犯・暴力追放運動の推進	5.05	0.49	10	3.36	0.27	6	C
施策19 循環型社会の構築	4.65	0.09	13	3.27	0.18	12	C
施策14 社会教育の推進	4.56	▲0.00	16	3.24	0.16	14	D
施策05 生涯健康づくりの推進	4.35	▲0.21	21	3.17	0.08	16	D
施策28 文化遺産の保存と活用	4.51	▲0.05	17	3.72	0.63	1	D
施策13 生涯学習の推進	4.22	▲0.34	23	3.28	0.20	11	D
施策18 自然共生社会の構築	4.20	▲0.36	24	3.30	0.22	8	D
施策21 環境教育・学習の推進	4.20	▲0.36	25	3.29	0.20	10	D
施策22 未来に伝える景観づくり	4.13	▲0.43	26	3.35	0.26	7	D
施策10 安全な消費生活の推進	4.08	▲0.48	28	3.36	0.28	5	D
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進	3.99	▲0.57	29	3.53	0.45	3	D
施策16 文化芸術の振興	3.88	▲0.68	30	3.65	0.56	2	D
施策12 男女共同参画の推進	3.82	▲0.74	32	3.30	0.21	9	D
施策30 国際交流・友好都市交流の推進	3.31	▲1.25	33	3.18	0.09	15	D
【全体平均】	4.56			3.09			

*4領域ごとに、対応すべき優先度が高い項目順に並べている

《重要度×満足度》

- A：【重要度】平均以上【満足度】平均未満
- B：【重要度】【満足度】ともに平均未満
- C：【重要度】【満足度】ともに平均以上
- D：【重要度】平均未満【満足度】平均以上

《全体平均》

33施策の重要度得点、満足度得点をそれぞれ単純平均

第4節 まちづくりに対する自由意見

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【施策01 子育て支援の推進】9件			
水城	女性	18-20代	シングルマザーの人の就労支援や将来、子どもたちの教育の見直しをして欲しい。子供達がなぜ勉強しないといけないのか情報難民の若い世代たちがわからないまま年をとっていることに生きづらさを感じます。もっと市民と寄り添える方法を作って行って欲しいです。
水城	女性	30代	保育所をもっと増やして、女性が働きだしたいと思った時にすぐに入所できるようにしてください。待機児童の解消の為目に見える実績を何か行えていますか？いまだに保育所の待機児童が沢山いるのではないですか？ 今仕事をしている人、復帰しようとしている人、これから仕事をしたいと思っている人、様々な働き方をしたいと思っている人全員が安心してわが子をすぐに保育所へ預ける事が出来ていますか？出来ていないですね。
水城	女性	30代	待機児童問題を早期に改善していただきたいです。一時保育や一時預かりのサービスや産前・産後サポート体制充実をしていただきたいです。生涯学習など参加したいが、0歳児の託児所がないため、託児できる年齢を下げていただきたいです。（例えば、6カ月以降のお子さんなど）
水城西	女性	40代	子育て支援は就学前や待機児童に関しては重視されていますが、小学生に関しては支援や手立てが少ないと思う。例えば、児童館を公民館単位で作るなど地域と触れ合ったり、遊んだり、宿題をする場所があればいいと思う。小学生になると相談する場所がないと思う。学校や教育委員会に話しても話にならないことがある。子供達が安心して過ごせる場所づくりを希望します。市内にはあるのでしょうか
水城西	男性	30代	他の市町村とは違う明確な子育て支援をお願いします。
太宰府西	女性	40代	可もなく不可もなく実際のところ感じていますが、まわりの声では不満を持っている方が多い様です（特に子育てで）
国分	女性	18-20代	出産後の助産師さん訪問すごく心強かったです。出産後にパパのみで色々学ぶものをしてくれるとママとしては嬉しいです。出産前に参加しても忘れてしまうようなので。
国分	女性	30代	市民のためのまちづくりをして欲しい。子育て世代にとっても住みにくい町です。
わからない	女性	30代	佐賀県みたいに子どもの喜ぶイベントを頻繁に開催して欲しい。プレマイイベントやママイベントをたくさん行ってほしい。キッズルーム付きのお店を増やしてもらいたいです。
【施策02 高齢者福祉の推進】5件			
太宰府東	女性	60代	知らない事が多すぎて反省しています。これからはもっと市政に目を向けようと思いました。高齢者のために高台に小さくても良いから店があると良いですね。
太宰府東	男性	70代以上	高齢者の交通事故等より免許返納等が言われています。太宰府東小学校区は高台にあるが近頃小規模スーパーもなくなり買い物が不便になった。以前からまほろば号を東ヶ丘、星ヶ丘まで走らせてほしい旨陳情しているが西鉄バス路線との兼ね合いから実現しない。（西鉄バスだと東ヶ丘一五条間でも160円かかる）（山北谷地区は両路線あり）市内でバス路線の格差があるのは納得いかない。よって免許を返納したら食品などの買い物にさえ不便をきたす。高齢者でも住みやすい町づくりを頼みます。
太宰府南	男性	60代	早くから開発された住宅地域では高齢化が急速に進行し、独居後期高齢者や夫婦とも後期高齢者の二人暮らし世帯がとて多くなってきており、町内会の活動（特に町内会の組長や係長の人選や広報の配布等）が大きな負担となりつつある。市全体として町内会のあり方や活動内容を再検討する時期に来ていると思います。
太宰府南	男性	70代以上	高齢者のスポーツ交流を各自治地区任せでなく市役所主催で各自治地区に連絡し2～3年の間隔で何らかのスポーツ（ソフトボール、バレーボール等）地区対抗試合を開催したらどうでしょうか？
水城	女性	70代以上	高齢者であるために必要性が少なくなり又情報も入ってこないので実情は良く分かりません。しかし高齢者が増え今日では皆の生活がより向上できるシステムができればと希望いたします。
【施策03 障がい福祉の推進】1件			
不明	男性	50代	とにかく障がい者や福祉に熱心な自治体は初めての体験。しっかりと調査をして与えるところにはきっちりと障害を偽って申請しているものが周りにいたのでそこはよろしくをお願いします。

校区	性別	年代	《まちづくりについで意見など》
【施策04 地域福祉の推進】2件			
国分	女性	40代	就業場所が欲しいです。福岡市内で就業しているため、通勤時間もかかり毎日の生活がじたばたとあわただしく過ぎていきます。普通に3食食べて、働いて、お風呂に入るとい生活もゆっくりとは出来ないし、余暇もあまりなく家族や友人のケアもままなりません。起きている時間はほぼ仕事と家事に従事。地域活動への参加などできません。個人の努力ではどうにもなりません。助けてください。賛成は望みません。普通に暮らして働いて家事・友人と余暇を過ごす心を通わすゆとりを与えてください。将来への不安もあります。太宰府市の取り組みを知る機会が（他市町村で働いているときは）無いのでいざ歳をとって困ったときにどう利用するのか分からないと思います。
国分	女性	50代	国の中でも市の中でも働ききれない方がいると思います、何か対策を立ててそちらの何パーセントの方々が働けるようになれば町の役にも立てる本人たちもかなり生きていく力をもらえるはずで。モデルケースのトップになるような町の形も必要なんじゃないかと思っています。これから先の人間の生きる道を助ける役所がいいのではないのでしょうか。外見からの見た目もある程度必要かとは思いますが。ニュースとかでるとこれから先の日本のことを考えると市からの発信も有々です。
【施策06 社会保障の適正な運営】1件			
太宰府	男性	50代	太宰府は生活保護の方が多すぎると思う。他市からの流れ込みが多く、太宰府で審査、調査が甘すぎる。働く人が少なく、出費が多くなって市の財政を圧迫していると思う。もっと厳しくすべきだと思う。
【施策08 防犯・暴力追放運動の推進】4件			
太宰府南	女性	40代	住宅地の街灯が少なく冬は子どもたちの帰宅時は暗くてとても心配です
水城西	女性	30代	街灯を増やし夜安全に歩ける街にしたい
国分	男性	40代	治安が良く感じるのは最大の売りだと思います。飲み屋やホテルが少ないのはむしろ利点だと思います。酔っ払いを見たことがありませんので。ただ今後の観光客等の増加に対処するためにもあと一つ「交番」があると安心です。人口7万人の都市に交番2つはさすがに少なすぎるかと。理想は4つくらいあると良いのでしようがせめて3つにしたいと思います。
わからない	女性	30代	都府楼南駅付近は街灯が少なく薄暗く夜道は怖い。都府楼南駅の駐輪所、屋根をつけてほしいです。
【施策09 交通安全対策の推進】4件			
太宰府南	女性	30代	高雄の畑の中に通っている細い道がありますが、道沿いに小屋が建っていて対向車が来ているか見えないので危ない。道も離合できないくらい狭いので運転しにくい。よくお年寄りが自転車で転びそうになっている。小屋をなくして欲しいと何度か市役所に話したことがあるが改善されない。
太宰府南	女性	70代以上	団地内の道路が県道や市道の様になっており幼稚園児や小学校生の歩行が非常に危険です。
水城	男性	50代	ポケモンGOのポケストップが水城小から市役所あたりまで道路沿いにかなりの数ある為車の運転しながらスマホを操作している方をよく見かける。事故にもつながりかねないのでポケストップ削除申請していただきたい。
水城西	女性	50代	住宅内道路や駐車場で遊ぶ子供達への危険性を周りの大人がしっかりと指導して欲しい。子供に対して親や大人の考えが甘い。
【施策13 生涯学習の推進】6件			
太宰府	女性	18-20代	立派な図書館が欲しい
太宰府	女性	40代	学生や子どもが多い町なのでもっと学生が勉強できる環境を整えれば良いと思います。いきいき情報センターにはいつも沢山の学生で溢れかえっています。 日本経済大学には勉強机がある図書館があります。もしも市で十分なスペースを確保できないので、あればそういった所を利用できるようにするのも手だと思います。駅に近いとなお便利で安全です。無料が難しければ企業とタッグを組むことも考えられると思います。
太宰府	女性	70代以上	太宰府の文化施設などがあちらこちらに分散されていて交通の便も大変不便である。また施設の中に簡単な軽食などで市民の集う場所や仲間と交流できる所（例として春日、大野城、那珂川）の様に図書館の隣に館内でも声を出しておしゃべりして休める（子ども、大人、老人が自由に交わる）コアを作ってください
太宰府南	女性	60代	市民プールに行く元気作りのポイントをもらえる。民営プールに行ってももらえるようにしてほしい。健康増進の為に励んでいる事は、どこのプールに行っても同じでは。民営に行くことで市に税金として返ってくるのでいいのではないのでしょうか。

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【施策13 生涯学習の推進】6件（つづき）			
太宰府南	女性	70代以上	図書館利用など筑紫野市に近いのでいつも筑紫野市の図書館を利用しています。筑紫野市と太宰府市の両方を利用できることは幸せだと思っています。これからも共用できることはできればいいと思っています。
水城	男性	50代	公民館が使われていないのに不満があります。転勤で引っ越してきたのですが、公民館が閉め切ったままで習い事もしていないのでとても驚きました。地元に馴染める雰囲気でないのではなかなかじめないので交流できる場所が身近にあればと思います。
【施策15 学校教育の充実】3件			
水城	男性	40代	小学生の子どもがいますが自分の子どもの時と比べて思うこと。 集団下校について、嫌いな迷惑な生徒といつも一緒にその時間が地獄。防犯上安全対策なことは十分承知だが自分たちは下校時など自由に寄り道して帰る事で色んな体験・発見がありそれがすごく楽しかったし大事だったと思うのだがしょうがないのだろうか。給食がしょぼい。マラソン大会があった方が良くと思う。
水城西	女性	70代以上	市長様まちづくりと違いますが、中学校の給食に取り組んでくださいそのために市長選挙に投票しました。
太宰府西	女性	60代	未来を担う子供達の教育に力を注いで下さい・学力が上がると若い人たちが住みたい町移住を考えると思うのでよろしくお願いします。
【施策17 生活環境の向上】7件			
太宰府南	女性	70代以上	団地の中には大きな貯水池がありますが、今水は抜いてあります。池には色々なゴミが散乱し、石も何十年のがたまっています。せめてビン・缶ぐらいつて清掃したいのですが、中には入れません。近年の台風ゲリラ豪雨とても怖いです。池のまわりも古くなりせめて1度位池の中を清掃して頂きたいと思います。
太宰府南	男性	70代以上	私は毎日車に乗って市内を移動します。日頃から強く感じていたことは道路脇の雑草などの管理が全くと言っていいほどされていない事です。太宰府市は史跡や文化財が多い町ですペットボトル、缶、ポリ袋が捨てられていて観光の町とはとても程遠いです。市民としてもとても恥ずかしいです。ぜひとも早急の対策と実行をお願いします。天皇陛下様等、国の偉い方が来られるときだけ3号線の通過される道だけ清掃するような事はやめてください、子供達に誇れる町にして下さい。
太宰府南	男性	70代以上	歴史の町に住めると希望いっぱい引っ越して来ましたが、町中流れる川を見てびっくり、あまりにも汚い川、しかも1年中汚い川。川は市民の心に反映するし町中を流れる川が美しく豊かだと市民の心も豊かになる。文化遺産を生かしたまちづくりに一貫したビジョンがないように思われかねない、事実この4年間この町は少しも進歩したとは思えない、偉大なる文化遺産が町のいたるところに実在しているが、それをとりまく環境はそれとはあまりにもかけて離れていてバラバラで町に重みを感じる事が出来ないのが残念でなりません。
水城	女性	60代	道路脇、河川敷の草が目立ちます。雑草は害虫もでてくるので取って欲しいです。悩まされています。
水城	女性	60代	パチンコ3店舗の近所に住んでいますが街路樹や植え込みの中にゴミのポイ捨てが多く朝の出勤時から嫌な気分です。大野城からここに来て2年になりますが緑は多いのにゴミも多いのにびっくりしました。自覚も必要ですが定期的に回収もして欲しいです。
水城	男性	40代	2018年10月6日の台風の時に自宅前の桜の木が折れてしまい2018年12月17日に建設課の人に景観が悪いので相談に行きました。一度現場を見て見積り（今年度は予算を全部使ったので無理と言っていました）2019年2月13日現在何の音沙汰もないですどうなったのでしょうか？
わからない	女性	40代	以前住んでいた所では犬のふんを見かける事はなかったのですがこちらではよく見かけます。
【施策19 循環型社会の構築】2件			
太宰府東	男性	30代	公民館やコミュニティセンター等にダンボールや古紙を回収（持ち込みによる）できる機能があると助かります。
水城西	女性	40代	1月よりプラリサイクルがなくなり燃えるごみとして処理する事になりましたが今までリサイクル資源だったものをゴミと捨てる事に大きな違和感があります。ゴミとして処理する事で太宰府市にとっては大幅なコストダウンとなったのかもしれませんが、地球環境規模で考えた時にどうしても罪悪感が残ります。地球にも優しく市にも優しい施策があればと思います。

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【施策22 未来に伝える景観づくり】2件			
太宰府	女性	60代	三条台バス停付近から太宰府駅前まで歩いています。45年前からずっと変わらない変わることが困難な感じです。でも将来はゆったり歩道を歩けたり自転車も通ることが出来る道があると良いなと思います。緑豊かで静かな美しい街並みが続く未来の太宰府であって欲しいと思うしそんな街に住んで居たいです。
水城西	女性	60代	向佐野区に住んでいます、散歩をしますが近くに前田公園がありますが、お花がまったくありません。せめて公園のすみにでもお花があれば心と和むと思います。
【施策23 計画的なまちづくり】2件			
太宰府西	女性	40代	歴史ばかりにこだわりすぎて、古いものが（施設など）多いと思います。若い人達をもっと住みたいと思うような土地作りが（新しいものを取り入れる）必要だと思います。
国分	女性	40代	子供達を安心して遊ばせられる公園が欲しい。
【施策24 地域交通体系の整備】35件			
太宰府	女性	50代	太宰府市は太宰府天満宮がある為観光客が多くとても栄えていて素晴らしいと思うが、車の渋滞が観光客も住民も苦しめていると思う。福岡市内や空港にも近い太宰府市なのに、四天神山を回る道しかなく、道幅も狭いままで、交通の便が非常に悪いと感じる。四王寺にトンネルを作り、もう一本福岡市への道を作るか天神へ直接行ける電車を通してはどうか？人の渋滞、車の渋滞の改善策を至急見つけてほしい。
太宰府	女性	50代	まほろば号運転手の方にお願いがあります。ニモカの障害者カードはカードをタッチするだけで割引運賃で精算されます。まほろば号に障がい者割引がない事を知らずに乗ってニモカで支払いした障がい者の方にまるで無銭乗車したかのように「そんな割引はないから」などと大きな声で叱責するような言い方はやめてほしいです。そういう方が何人もいてうんざりなのかもしれませんが相手はお年寄りや障がい者の方です。バスに同乗している人達も不快になります。また太宰府市が西鉄バスにバスの運行を委託していると知らない人は太宰府市のコミュニティバスなので運転手さんを太宰府市の公務員だと思っている人もいました。太宰府市のイメージダウンになります。腹が立ってもお年寄りや障がい者の方には特に優しく接してくださいお願いします。
太宰府	女性	60代	私が連歌屋に住んで1番気になるところは太宰府駅前ローソンから赤い橋の所に行くまで本当に道路ぞいの歩いていくのに道幅が狭くトラック、バスが通り歩きづらい買い物して両手に荷物袋抱えて歩けなく危ないと思う。車も多く何とか道幅ならないのですかって。
太宰府	女性	60代	日々の渋滞に困っています、どうにかならないでしょうか？
太宰府	女性	60代	車を運転する人のための道づくりをわかってやっているのか。歩行者は大切だが、歩行者、自転車に乗る人のマナーも向上させるべき、歩行者のためになっているとしか思えないような道路もあるような。
太宰府	女性	60代	太宰府といえば天満宮と文化遺産で有名な所ですが生活する上では買い物や病院など車で移動するしかないのもっと生活をするのに便利になると良いと思います。まほろば号も渋滞にはまるといつ来るか分からなくなるので文句を言われる運転手の方も気の毒になります。
太宰府	女性	60代	まほろば号の三条公民館前の便を朝、夕1便ずつ増やして欲しい。
太宰府	女性	70代以上	西鉄太宰府駅前付近から宇美線三条でセブンくらいまでの道路の混雑どうにかなりませんか。
太宰府	男性	30代	（太宰府天満宮前郵便局付近）道路の右折が全くできません。しまいに前方がつまっても詰められてはいる事もできません。なので消防署のように白線で2台分入れる停止禁止区画を作って欲しいです！
太宰府	男性	40代	徒歩で通勤する際に歩道が広ければいいなと思います。
太宰府	男性	50代	五条の信号（セブンイレブン）付近の信号がおかしい曲がれない 土日の渋滞をどうかして欲しい天満宮が儲かるだけで市民は迷惑
太宰府	男性	50代	太宰府6丁目より旧県道35号の御笠川側道、松川浄水場の市道の使用再開を強く希望。自転車・歩行者の安全通路確保（歩行者専用道路として再開）宝満山登山道としても要望。旧県道35号は歩道整備されてなく坂も急であり自転車や弱者には大変危険である迂回路として使用を再開されたし。筑紫台高校の自転車移動も危険である。
太宰府	男性	60代	太宰府館コミュニティバスなど赤字の所は廃止したらいい。特に太宰府館は廃止。
太宰府	男性	70代以上	西鉄二日市駅前の踏切を高架にしてください。西鉄二日市駅經由JR二日市駅までを乗り換えなしで行けるバスを。

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【施策24 地域交通体系の整備】35件（つづき）			
太宰府東	女性	60代	天満宮付近の交通渋滞が大変迷惑で時間の約束をすることが難しい時がある
太宰府東	女性	70代以上	車椅子を使用することにはじめて分かりました。安心して押すことができません。もう少し歩道の幅が広ければなと又でこぼこ道路もとても操作が難しいと感じました。（近くでもタクシー利用します。）
水城	女性	30代	普段の移動は徒歩が多いのですが歩道が狭い、地盤が悪い所（日経大前、西鉄二日市西側など）が結構あります。ガードレールもなくいつも車や自転車とスレスレで人とすれ違う時も危なく感じる事があります。その為もう少し歩道が広くなれば大変ありがたいです。
水城	女性	30代	歩道が狭かったり無い所がある。なのに車はスピードあげて通る。横断歩道に止まってても車は止まってくれない。自転車で走っていたら車が幅寄せしてきて危ないので、自転車専用道路を作って欲しい。安全対策に取り組んで欲しい。
水城	女性	40代	急行電車が停まるようになれば良いないつも思います。都府楼前駅の利用者は多いように感じるのです。
水城	男性	70代以上	太宰府天満宮に通じる幹線道路の渋滞緩和を図って欲しい
水城	男性	70代以上	老人で足が悪いので歩行者専用の三笠川添いの桜並木の下を時々歩きますが近年桜の根が張りすぎてレンガを押し上げています。でこぼこが多くなり危険です。昨年は妻が転倒して顔をけがしました。少しずつでも整備していただけたら幸いです。
水城	不明	50代	まほろば号ができて喜んでいる人もいますが、地域によりかえって不便になって困っている人もいます。（西鉄二日市発の宇美行きは中止、太宰府市役所前もなくなった）太宰府市役所に行くには足が悪い人はタクシーか五条駅まで電車で行く歩くしかなく二日市の近くの住民はまほろば号が出来たので、不自由になり出来れば東口二日市駅に1日数回来るようになりたい。宇美行きを再開して頂ければ幸いです。
水城西	女性	18-20代	まほろば号をたまに利用しますが、もう少しバスの本数を増やして欲しいと思います。周りにも利用したいという友人等いますが本数が少ないため利用しにくいとのことです。
水城西	女性	30代	・近隣の高校生の自転車のマナーがよくない。たまに先生が立っている時だけよくなる。車にぶつかりそうになる小さな子供が見えてなく急ブレーキをかける横3列で車道を走り車が来ても1列にならない、スマホ片手に運転。道幅狭い所でするので危険。道路整備しないと解決にならない。 ・旧5号線大佐野から長浦台までの間（フードストリート）に信号と横断歩道が欲しい。車がスピード出しすぎていて怖い。渡り歩いて、食べに行きたい人も多いのでは。
水城西	女性	60代	飛梅アリーナの川沿いの歩道は散策路なのに自転車が通るので安心して歩道を歩けないとても怖い草刈りもあり出来てなくてくずのツルが伸びる頃は、歩くところが半分に狭まっている。 マルヒ食品の川に老人が落ちたことがある。ガードレールついていないところで道路が平らでない老人や自転車の子どもが落ちないか心配。川の向こう側は田んぼなので人通りはほとんどないがマルヒ側は人は通っている。川底まで3～5mはあると思う
水城西	男性	30代	歴史を重視するのももちろん重要であるが、市役所のアプローチ等やり方をはき違えており、そこに大量の税金が投入されていることに非常に怒りを感じます。近隣の市と比較しても交通渋滞への対応が消極的に感じており、もう少し改善いただける様検討してください。（西鉄の立体交差事業も大野城までで分かりやすく切れますし…）
水城西	男性	50代	新駅計画はどうなったか。大佐野向佐野通古賀では駅ができると数十年前から聞いていたがまったくの嘘。JR駅早く作って欲しい。
水城西	男性	50代	大野城市と協力し、JR水城駅や西鉄下大利駅周辺の整備や交通（特に歩行者に優しく）を改善して欲しい。
太宰府西	女性	18-20代	まほろば号の本数が増えたと良い。
太宰府西	男性	60代	近隣道路の交通量が増えて渋滞が増えた
太宰府西	男性	70代以上	大佐野公民館の裏側、つまりまほろば号の通る歩道ですがその一帯に角石材が使われています。雨などで濡れている状態や雪道の時足元がすべりよく転倒しそうになります。つまり滑らない様な歩道に改善してもらえたらと思います。
国分	女性	60代	市の端っこに位置するので市の恩恵にあずかっていないと思う。運転できなくなることを考えると移動手段のバスが他の市も連携していけたらいいと思います。
国分	女性	70代以上	西鉄春日原の高架、太宰府までつなげてくれたら交通渋滞もだいぶ違ってくると思います。太宰府市内の信号、幹線道路だけでも右折信号を追加してくれないと本当に渋滞して先に進めません、早く手を打ってください。
国分	男性	50代	大谷川の蓋をして欲しい。道が狭く火事の時に心配。税金の使い方をもっと考えてほしい。
国分	男性	70代以上	正月から1か月近く渋滞。正月の道路は使い物にならない。太宰府市民には駐車料金必要なし。天満宮付近。

校区	性別	年代	《まちづくりにつての意見など》
【施策25 良質な水道水の安定供給】3件			
水城	女性	40代	水道を民間に任せないでください
水城西	男性	50代	水道料金が高すぎる。高い事を広く世間に知らせるべき（移住の判断基準）
国分	男性	50代	水道料金が高すぎる
【施策27 産業の振興】3件			
太宰府東	男性	30代	太宰府市青山に住むものです。2年前に福岡市より移住しました。 高台にある閑静な住宅です。この地区に唯一あった商店（木嶋ストア）が去年閉店し、クリーニング屋がぼつんと有るだけです。徒歩20分下ったところにあった五条駅前の「マミーズ」というスーパーも先日閉店しました。私は若いので体力がありますが、ご年配の方々が買い物に困っていると思います。バスの本数も少ないですし、レガネットまでは歩くと結構かかります。みなさん生協なども利用されていますが、自身で手に取って食材を選びたい方がご年配の方は多いと思います。買い物を通しコミュニケーションがとれたり生きがいだったりする方々もいます。住宅街に商店が欲しいと思います。
水城西	男性	50代	飲食店業の誘致が欲しい。
国分	男性	18-20代	近くに商業施設が欲しい。
【施策28 文化遺産の保存と活用】1件			
太宰府東	男性	60代	「広報だざいふ」の太宰府の文化財でその場所の地図を載せてほしい。またその場所の現在状況等（以前行ってみた住宅地になり侵入できず）。
【施策29 観光基盤の整備充実】6件			
太宰府	女性	60代	観光バスは、宮前の駐車場でなく大きな駐車場に止める誘導できないですか。観光バスが駐車する時に一般の車が渋滞します。宮前から五条まで混みます何とかして欲しいです。
太宰府	男性	40代	太宰府周辺の激しい渋滞について。我々市民は等しく公共サービスを楽しむ権利があるにもかかわらず、天満宮周辺住民は激しい渋滞に苦慮している。特に緊急状態（火災、事故など）発生時には緊急車両到着までに相当の時間がかかるのは明白であり生活しているうえで非常に恐怖を感じている。その元凶となっているのが道路に面した土地を利用した個人駐車場であり、その経営者たちである。彼らは自分の駐車場に誘導することのみに必死で、激しい交通渋滞を発生させている事に何の意識もない。太宰府市は年間800万人の観光客が訪れる、日本でも有数の観光地でありながら集客のみに没頭する市というのが実態である。同じ有数の観光地である京都市、奈良県各市とは雲泥の差である。他の観光地特に京都市がどのように渋滞問題に取り組んでいるのか見習ってほしい。そして我々市民が恐怖を感じず生活できる環境を早急に整備してくれることを強く要望する。 渋滞に対するイメージ→市民安全に対する権利<一部駐車場経営者の土地活用の権利
太宰府	男性	50代	太宰府天満宮周辺の交通渋滞の緩和について。駐車場などの整備、幹線道路の整備が最重要課題だと思います。しかし議会市長を含め新権の取り組んでいるようには思えません。大駐車場を整備してもらい現在より2から3倍程度まで対応してもらおう。五条周辺の信号を大型バス対応右左折車両に対応する交差点へ整備する等。総合体育館から洗出の信号踏切渋滞の緩和に対してどのように考えているのでしょうか。費用と時間がかかると思いますが、方向性を出して欲しいです。
水城西	女性	30代	JR水城駅やJR二日市駅に向かうまほろば号があればいいと思います。まほろば号や都府楼駅で困っている外国人観光客をたまに見ます、韓国語や中国語のアナウンスや表記が充実すると良いのかと思います。また難しいとは思いますが、駅員さんやバスの運転手が簡単な英語を話せたらいいと思います。私がみかけた時だけかもしれませんが、英語で韓国人が話しかけたのに全く会話にならず、早く降りてほしいようにしている運転手がいまして。私が話しかけると、太宰府駅からまほろば号で都府楼前まで来て、竈門神社はここから歩いていけるかとのこと。反対方向に来てしまったようでした。
水城西	女性	40代	歴史があり雰囲気のある落ち着いた土地で子育てしたいと思い昨年福岡市より転居しました。市の大きさや経済力でサービスのなものは福岡市より劣ることがあるのは覚悟の上でしたが、太宰府特有な歴史的イベントや環境のよさ、観光地としての先進的な取り組みなどもっと強みを生かした市政を期待していましたが今の所あまり福岡市と変わらない感じです。これから太宰府市ならではの歴史ある落ち着いたあたたかい環境に期待しています。
国分	男性	40代	太宰府には太宰府天満宮という世界的にもPR可能な観光名所があり、外国人の訪問も多い。一方観光バスの市内への乗り入れにより地域渋滞が発生している。そこで交通網の整備の一つとして福岡市や近隣市と協力してスカイウェイの協同構築など新たな展開を希望します。

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【施策31 市民参画の推進】2件			
太宰府東	女性	70代以上	まちづくりには市民参加が大事だ、市議会、委員会には参加できるか意見投票はできない。公募の形をとってもらいたい市民とのまちづくりを生かしたい。色んな問題の中での進捗状況が反映されない。(例)学校給食など
水城西	女性	50代	ほとんど地域活動していないが、こりかたまった集団にみえてしまって。年齢とかいろんな人が参加しやすい環境を望みます。 都府楼団地の放送内容を吟味してください。何を言っているのかわからない毎週カラオケのお誘い放送ありますか。緊急及びゴミ集荷などにしないとみんな聞けません。
【施策32 情報の共有化と活用】2件			
太宰府	女性	60代	「回答結果をそのまま公表することはない」とのことだが意見に大して何がどれくらい良かったのか、悪かった点は何が多くそれをこれからどう対応していくのか分からないが多かった問題に対しての説明など何らかの文章が読みたいと思います。広報など個人の手元にもらっていつも読めるようにして欲しい。回覧板だとその時に読むだけで後で読み返せないの。
わからない	男性	30代	町内会費を毎月支払っているがいつ何に使われているのか知らない、情報も無いのできちんと管理されているのか不安。広報紙や市議会だよりはわかりやすさと見やすさを重視して欲しい。ページが多いと読む気にならない。
【施策33 市民のための行政運営】16件			
太宰府	女性	50代	地方自治への住民の積極的な参加が地域包括ケアシステムを構築していくのだと思いますが、日中仕事をしている中で、得られる情報が限られています。今他県で働いていますが、行政側にいる方にはよくわかっておられるでしょうが、断片的な情報のみ広報では何のこともやら次々に国から降りて来る命令も国、政府が嘘ばかり言っている現状では地方は大変だと思います。地方自治の権限を大きくして欲しいです。東京一極集中して地方は財源が乏しい、乏しいなりに生み出す力をつまり良い人を育てていくしかないのでは。人を大切にすればおのずとまちづくりはなっていくと思います。
太宰府	女性	70代以上	市はまだやるべきことがまだまだあると思います、市民が市役所へ行ったときは耳を貸して欲しい。相談に行ってもそれで終わり話がつながらなく残念です聞くだけで終わるなら市役所はいらない。
太宰府	女性	70代以上	前市長から楠田市長に代わり喜んでます。古い体質の議員（ベテランかもしれないが）より新しい議員に期待しています。
太宰府東	女性	70代以上	選任された議員は誰のための議員か認識して欲しい。市職員の選出方法、給与等公報して
太宰府東	男性	70代以上	現在太宰府市役所の業務は非正規社員によって支えられているといっても過言ではないのでは。正職と非正規の違いをもう少し縮めるように年収550万と170万ではおかしい痛みは仕事をしている人みんなで分けるべきだ。今から～支援とか、～介護とか、人はもっと増加しなくてはいけないのでしっかりとした対応を。
太宰府南	女性	60代	先日職員の対応の仕方であまり思いやりをして欲しいと思いました。障がい者の手続きで自動車税申請のことで行きましたが、福祉の手続き全て終わってますか尋ねてもらいたかった。知らなかった私共がいけないですが創意工夫気配りも欲しいですね。また手続きに行きました。
太宰府南	女性	70代以上	行政（市議会議員）15名ぐらいにするべき
太宰府南	男性	60代	市役所の職員の意識改革の提案 1.挨拶運動（実施して効果があると聞いています） 2.呼び名の変更 ①市長から一般職員まで年齢性別に関係なく〇〇さんと呼ぶようにする（市議会も同様） ②効果 各個人が責任をもって仕事するようになる。パワハラセクハラ防止になる。仕事に関しては責任の軽、重はあるが、基本ベースは全員に責任はある。知らない部署の人に対し、気を使わず対応ができる。条件としては市長及び部長から実践する。2年位続けると浸透する一人間として尊重する。
水城	女性	60代	行政の事については良く知らないが市長さん他役所職員の方太宰府市をより良い町になるようよろしくお願いします。
水城西	女性	50代	歴史、緑豊かも大切ですが、近隣都市に比べて明らかに便利性に欠けている印象です。観光地への配慮は手厚く感じますが若い世代へも魅力ある市となり子供も増えて、古い物も新しい物へも同じくらい市政で目を向けていただきたいと思います。市役所のシステムが不便すぎてびっくりしました。これまで通勤族で回っていましたが当たり前にできていた事がまだまだ太宰府市では出来ない事があります。歴史あるものを守る事重視だけでは市の活気は弱っていく印象です。高齢化が他市より加速して進むと思っています。若いファミリー世代にも住みやすい、住んでみたい市となってほしいと思いアンケート参加しました。

校区	性別	年代	《まちづくりにについての意見など》
【施策33 市民のための行政運営】16件（つづき）			
水城西	女性	70代以上	役所は、縦ばかりでなく横との繋がりを持ってほしい。1つの課で無理な仕事他の課と協働する事によって達成されることが多々あると思います。
水城西	男性	40代	有言実行してください。何をするにしても私たちの税金ですから。
太宰府西	男性	70代以上	ふるさと納税について、もっと太宰府をPRできるアイデアを期待します。
国分	女性	18-20代	日頃お仕事お疲れ様でございます。正直市民は「広報ださいふ」を読むくらいで市税がこう使われているんだというのは後で分かりますか、そんな感じです。 太宰府は文化、観光、史跡等にお金をかけすぎているのでは？とびうめアリーナも思ったほど内容は広くなく足が悪い方には階段が多すぎて、何のために建てたのだらう？と疑問に思いました。何か背伸びとして、他市に「おいつけ」とばかりな感じもします。自然に恵まれ観光地も知名度（観光地として）もあると思いますので、もっと市民だったらどうしてほしいだろう？と考えてから市税を生かしていただきたいと思います。
国分	男性	40代	活きた公金の使い方をして欲しい。
国分	男性	60代	文化遺産、観光、史跡なども大切ですが、市民生活に対してもっと予算を使ってほしい。
【その他】10件			
太宰府東	女性		仕事は福岡に出ている為太宰府のことは分からない、税金だけは払っています、高い税金払っています。
太宰府南	男性	60代	設問65が難しかった
水城	女性	40代	観光地としても大切だが、住んでる人が太宰府を好きでいられることが1番大切だと思う。
水城	男性	60代	ほとんど参加していないので分かりません
水城西	女性	40代	高齢者市民団体と思われる団体のチラシが定期的に配布されているが、行政の批判ばかりでもっと前向き意見や諸策に対して無駄と切り捨てることなく費用対効果や経済波及効果などを提案すべき、又将来に対しての夢がなさすぎると思う。
太宰府西	女性	40代	私は独身の40歳のため毎日会社へ出勤し土日に休む生活をしています。市の活動について全く知りません。母は地域の福祉活動に率先して参加しております。無作為に1000名を選んでいるとのことですが、選択方法を変更してはいかがですか？無作為500、指定500とか。私へのアンケートより、母のアンケートの方がより有意義な意見が回収できるのではないかと思います。せっかくこういった活動をされているのですから、よりよい活動になればと思います。
太宰府西	男性	50代	5年前より広島市福山市より転居してまいりました。1番驚いたのは公共料金の高さでした企業税収が少なく高いと近所の人から教えてもらいました。この問題を解決して欲しいと思います。食べ物、雑貨、衣料などはかなり安価で逆にびっくりしますが生住の源となる公共料金が高くては生活が。
太宰府西	男性	60代	重要度は重要と思うが満足度は分からない。
国分	男性	60代	子供達や若い人達に焦点を置いてみてはいかがでしょうか、未来のために。
わからない	男性	70代以上	人生は1度地球は一つ
【複数の施策に関するご意見】67件			
太宰府	女性	18-20代	天満宮があるからといって周囲を合わせようとするのではなく、その時代その時代の町のあり方で良いと思う。そこに力を入れるのではなく子育て、福祉にもっと力を入れるべき。福岡市を見習ってください。誰かがこだわれば周りにはたがってしまいます、本当に大事な事をまず考えて行動してください。1度振り返ってまずなにからしたらいいのか、一人一人、市の職員の意見考えを聞いたらどうでしょうか？ そしてまほろば号ですが、太宰府にまわって付けてるのはありがたいですが西鉄二日市駅くらいまで行ってもらいたいです、そこまであれば利用者も増えます。
太宰府	女性	30代	いきいき情報センターの下は何かできるのでしょうか。母もマミーズがなくて不便だと言っています。道路を渡ってレガネットに行くにも車の通りが多く渡るのが怖いと言っています。よろしくお願いします。

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【複数の施策に関するご意見】67件（つづき）			
太宰府	女性	30代	早急に中学校給食を実現させてほしい。未だに実現しないのが恥ずかしいぐらい。 プラゴミなどの回収ボックスがなくなったのが非常に残念。不要になったボックスの撤去などにもお金はかかっているだろうし一般ごみは増えるし良い事ない。どういう経過でプラゴミなどを回収するようになったのか知らないが見通しが甘い。管理などが難しい等の理由でなくなったのではないかと疑っている。 他市ではペットボトルなども回収ボックスでおこなっているのに当市はリサイクル推進どころか後退している気がする。 周辺の自治体の水納はだいたい福銀なのにのうして当市はJAなのか。道を挟んですぐにJA支所があるのにも関わらず、意味が分からない。とても不便に思っている。せめて福銀と西銀のATM ぐらいは置いて欲しい。JAのATM はいらない、向かいに支所があるのだから。 太宰府天満宮はどれくらい市に寄与しているのか、税金は払わないし、交通渋滞は酷いし、一市民としてはいいことないように思う。市に還元されているものがあれば納得できる。
太宰府	女性	40代	若い人に手にとってもらえるような街を探索できるフリーペーパーを色んなところで配布して欲しい。参道にフリーペーパーを置く場所を作るとか。若い人にもっと時間を使ってもらえる街に。 街灯・ミラーを増やして欲しい。とにかく夜が暗くて怖い。
太宰府	女性	50代	海外からの観光客のマナーが悪すぎる。特に太宰府駅前の横断歩道では信号が赤で車が動いているにも関わらず横断歩道の真ん中で立っていたり渡ろうとしている危ないと思う。ところかまわず大声でしゃべるので怖い公衆トイレではドアをしめないで使っている。歩道で酒盛りしている外国人がいた。太宰府市はとても好きなのでこれからも住み続けたいと思いますが時々こういう事で困ることがあります。 6年ほど住んでいますが、未だに広報誌が届いたことがありません。福岡市に住んでいた時はいつもポストに入っていました。広報誌が届いていないので太宰府市がどのくらいいいところなのか分かりません。 以前市役所にゴミ捨ての事で電話したら3回位人が変わってなぜすぐに答えられないのだろうと思った。多分死ぬまで太宰府市に住んでいるとは思いますが、子供もいないので歳をとった時に老人がここに住んでいるということを見つけてもらえるのだろうか。時々不安に思うことがある。ご近所つきあいがまったくないので。
太宰府	女性	50代	観光資源の活用により、駐車税の増収等見込めるのであろうが実際一般市民からすると外国人観光客の増加は必ずしもプラスではない。何より日本人の観光客からはむしろ引かれている現状でもある。公共交通機関での外国人観光客のマナーアップを希望します。渋滞も起こるし緊急時の対策をもっと根本から考えるべきであろう。大雨等災害時の対策にも力を入れて頂ければと思う。
太宰府	女性	70代以上	道路の整備が不十分です。交通量が多いのに歩道がなかったりあっても白線が引いてあるだけの狭さだったり安心して歩ける歩道は少ないですね、道路の不備は街の美しさにも関わってきます。政庁通りの楠並木ですが、毎年丸坊主に近いほど枝を切り詰めますね。初めから無かった方がよかったのでは、大量の落ち葉の処理も大変でしょう。
太宰府	男性	18-20代	参道のドラッグストアコスモスのピンク色が景観を崩している。ファミレスが近所に欲しいです。
太宰府	男性	40代	新市長に期待しています。新しい事にチャレンジしてより良い太宰府にしてくれることを楽しみにしています。まず交通渋滞問題をよろしく願います。
太宰府	男性	70代以上	・教育問題①自分の事は自分でする他人にできる限り迷惑かけない、これ基本。②事件事故が多い、今日大人になると悪事が多いのはなぜか。 ・公務員は誰のための公務員？公務員は市民の手本になれ
太宰府	男性	70代以上	為政者が公約を実現するためには原資が必要。前為政者が頓挫したのも公約を実現する原資不足にある。現為政者は「三つの工程。7つのプラン」を公約に掲げているが実行するには原資が必要。狭い市域、神社、学校実績が多く、固定資産税が少ないこれらは絶対前提条件となる。その上で公約を実現するためには税收不足をどうするかに絞られる。 1.国、県又は福岡市に対し太宰府の存在価値を了承させ特別交付金を要求すべき。ホテル、飲食店、魅力的な商業施設がなく観光者は素通りしてしまう。西鉄はさらに投資すべき。当市を利用しているだけ 2.市域は狭いが遊休地は多い、企業、商業施設の誘致に本腰をいれるべき 慢性的渋滞にはうんざりしている

校区	性別	年代	《まちづくりに関する意見など》
【複数の施策に関するご意見】67件（つづき）			
太宰府	男性	70代以上	交通渋滞（天満宮近辺）をどうかしてもらいたい。 土砂災害に対する対策、災害後の復旧など無策である。
太宰府	男性	70代以上	渋滞について、天満宮近辺の道路状況なんとかしたいです。今できることがあるはず。例えば大型観光バスの進入禁止など。企業誘致。
太宰府東	女性	40代	五条駅ミーズあとの活用。観光客が多く渋滞がひどいわりに市には還元されていないと思う、物産館などあればいいと思います。
太宰府東	女性	40代	野良猫対策、道路整備。
太宰府東	女性	40代	外国人のマナーが悪い、水道代が高い、ごみのリサイクルBOXを設置して欲しい、ごみ袋を安くして欲しい。鉄道の充実、高齢者、地元の人への優遇。税金に対して施設などが立派すぎる。
太宰府東	女性	40代	住宅地の中を国立博物館と五条駅の間でタクシーが何回も往復するときが気になります。また「梅大路」の交差点の信号が混むため家の前の通り（石坂2丁目の学園通り）を抜け道にする車が多く危険です。（朝の進入禁止時間も入ってくる） 「五条」の交差点に右折信号を設置して欲しいです。 五条駅前の通りに歩行者専用レーンが欲しいです。 年配の方がもっと外に出てくる事が出来るように自治体社会にするのではなく、市の職員の人も地域の中に入ってきて欲しい。 若い人たちがたくさん住んでくれるようなまちづくりをお願いします。
太宰府東	男性	18-20代	全体的に街灯が少ない、夜道が暗い。 パトカーを見る事がほとんどない（特に夜間）。 犬、猫のふんなどが家や道路などによく見る。 青山は坂が多いのにバスが少ないから困っている。 青山はスーパーなど買い物できる商店を作って欲しい。 天満宮から君畑交差点渋滞をもっと考えてほしい。
太宰府東	男性	60代	①企業立地による財政の健全化 ②道路整備（年末年始の道路混雑の解消） ③観光でお金が地元へ落ちる仕組みづくり ④包括支援センターを早急に推進、高齢者が地域で安心して暮らせるまちづくり ⑤若い人が増える町づくり
太宰府東	男性	70代以上	天満宮までの道路渋滞の解消、国立博物館の宣伝不足（イベントやってないときも）、水道代が高すぎる、高齢化向け乗り物無料バス。
太宰府東	男性	70代以上	土地利用を検討して欲しい、具体的には太宰府駅周辺の住宅密集を区画整理する。高雄公園のビオトープの活性化市民を巻き込んだものに観世音寺裏のテニスコートの上にある土地の利用策。総合体育館の利用促進。国際大会、日本大会、九州大会の誘致。プロアマの交流。子供のスポーツ体験。市内のビューポイントの周知活用。
太宰府南	女性	30代	高雄交差点の空き地にドラッグストアを作って欲しい。ドラッグストアが無理なら子どもが遊べるようなものを。アスレチック以外の公園には大きな遊具がある公園がないのでいつも市外に出ています。春日市、大野城市、那珂川では児童館が土日祝も開いているのでとてもうらやましいです。高雄あたりはゆめタウンやイオンが近くにあるが、子育て世代や年配の方にはそこでいつも買い物するのは経済的に厳しいです。ディスカウントストア、ドラッグストアが欲しいです。 中学校に給食がない事も引っ越してきて知ったのでとても驚きました。全国80%にあるのに、義務教育中なのに逆にないのですか？引っ越してきて子育てしにくい所だとわかり、再引っ越し検討しています。
太宰府南	女性	30代	古紙回収が子ども会や学校だけなので回数が少なすぎます業者に頼んで回収して欲しい。 子供の通学路について3号線とグッディ交差点の65号線を横断するのですが信号が赤になっているのに通ろうとする車結構多いです、子どもが信号を待つ場所も狭いですしトラックも結構通るので事故が起こったら怖いと感じています。高いブロック塀のお宅が多いので地震がきたら崩れるだろうなと思っているので、大阪の地震の時もブロック塀の下敷きになった子がいましたが同じことが起こるだろうなと感じています。個人宅なのでどうにもならないでしょうが。 うちのまわりは犬猫のそのまま放置が当たり前になっています子供も通る道なので飼っているかは自分で処理して欲しいです。においもありますし、子どもが間違えて踏んだりもあります。

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【複数の施策に関するご意見】67件（つづき）			
太宰府南	女性	50代	まちづくりは直接関係ないかもしれないが、動物愛護について積極的に取り組んで欲しい。以前防災担当者に尋ねたが「まずは人間の命が大事ですから」といわれ今後考えていきますとの事だったがそれ以降市報にも何も情報はないし進展がない。 地域猫活動の推進に取り組んで欲しい。防災時、一緒に逃げるまでは出来るか、その後の預かりや保護について具体的な対策して欲しい。動物も人間の命も同じです。救える命は救っていききたい。太宰府市もそんな優しい街にしていって欲しい。 あと自然を壊さないで欲しい。山を崩して家ばかり建てて。空き家とか問題になっている時代家ではなく地球環境を大切にしていけることの方が大切。太宰府には天満宮しかないのでせめて緑が豊かで動物にも優しいそんな誰もが癒される街として存続していって欲しい。
太宰府南	男性	60代	まほろば号でゆめタウンやイオンモールへ行けるようにして欲しい（筑紫野市との相互乗入）。市民オーケストラ（クラシック管弦楽団）を作って欲しい。
水城	女性	18-20代	道路を広くして欲しいです。ゴミ出しの時間を統一して欲しい（猫が中身をだしているの道路が臭い）。家の近くが電灯がなく仕事帰りが怖い。
水城	女性	18-20代	天満宮に行く観光客のために自分の家の周りは木もきれいに剪定されていますが、三笠の辺りなど観光地を過ぎるとあまり手入れがされていないのが気になります。 とびうめアリーナは新しく建てられましたが実際のところ多くの方は図書館やプラム・カルコアを利用されているし駐車場をもっと整備する事や図書館の本を新しいもの多く取り入れたりするなどこの辺りの施設が充実するといったと思います。 太宰府は名も知れていて歴史ある町なので地元が太宰府なのは誇らしく思っています。だからこそもっと良くなったらいいなと思う事もあります。楠田市長、太宰府市をもっといい町にしてください楽しみにしています。お願いします。
水城	女性	30代	施策30について・友好都市はお互いに交流のためのメリットが市民にないなら形だけ結ぶ必要はないと思う。数年前まであった子どもどうしの交流もなくなっているようなのでこのままなくして良いのではないか。 施策21.22.23.25について・公共施設全面禁煙にして欲しい。改正健康増進法から社会のニュースは禁煙の方向に向かっている。館内だけでなく敷地内全面禁煙ということにし学校、幼稚園、公園をはじめとした子供がいるところでの受動喫煙がゼロになるように希望します。 施策24について・渋滞緩和のための対策を早急にして欲しい
水城	女性	30代	宿泊施設を増設。繁忙期の渋滞緩和や雇用拡大につながる。例えば受験シーズン等はこちら数年宿泊施設不足が問題になっているが、学問の神様の太宰府近辺で宿泊、お参り。試験に臨むことで精神的に安定するかもしれない。また観光地周辺商店、施設、スタッフ対象の外国語研修などが無料で受けられると思う。地域住民も簡単な英会話研修等が気がるに受けられれば道案内やおすすめスポット等が教えられる。市民も観光案内スタッフの一員となれるような研修。 又地域住民が楽しめるイベントがもっと増えると良いと思う。現在行われているイルミネーションや水城跡のコスモス桜や葉の花等のイベントがもっと大規模で行われると良いとおもう。政庁跡での夏祭りや花火大会などがあると良いと思う。
水城	女性	30代	子育て支援センターが土日の利用が全くできずで共働き家庭では利用ができず春日市や福岡市の児童館を利用していますとても残念です。 いつも道路を掃除してくださっている緑のピブスをつけている方々黙々と作業してくださって、町がきれいできて感謝しています。子供達も見習ってほしいと姿を見るたびに思っています。
水城	女性	30代	外部向け（観光客）の施策は充実しているが太宰府市民向けはおろそかである印象。外ばかり見るのではなく、もっと市民向けを重視して対策を考えて欲しいです。コミュニティセンター設立や会社設立など市内での市民による発展を促して欲しい。 政庁跡での市民祭も復活して欲しいです。

校区	性別	年代	《まちづくりに関する意見など》
【複数の施策に関するご意見】67件（つづき）			
水城	女性	40代	公共施設にカフェや喫茶がないのは近隣市では太宰府市ぐらいではないでしょうか。本を借りたり、芸術、文化活動したりするにも人が集え休憩しながら、お茶を飲みそれが収益につながればいいことだと思います。公共・商業の中でも福祉事業（就労支援）所とコラボしてパンや手作り商品を販売している所もありますので是非太宰府でもそんな憩いの場を今ある既存の建物から作って欲しい。 ふるさと納税の返納品で大刀洗町では町民の方々の手作り雑貨（赤ちゃんのアイテム、おばあちゃん手作りの雛セット）があります。太宰府の中でもこのようなハンドメイドをされる方はいらっしゃると思います。商店だけでなく社協の「あいの会」さんや、シルバー人材センターにも手作り部門があると、広報折込機関紙を拝見しました。このように太宰府の住民の方々の技術が生かされる返礼品を増やして欲しい。
水城	女性	40代	洗出交差点付近の踏切周辺が混雑するので将来的に西鉄の路線を高架にして欲しい。 最近まほろば号の運転マナーが悪い。特に踏切の警報が鳴り始めたのにも関わらず、走行したため徒歩でよぎろうとした時ひかれそうになった。警報の無視は周囲の声でもよく上がっている。 とびうめアリーナで行われた試合を8月に観戦した際、冷房がきつくてブランケットを使ったり外に出て暖をとるひとが多数いた、冬になると誰もいない2階のソファのあるコーナーのテレビはつきっぱなしで暖房がきつすぎる。利用者もまばらにみえるのに成り立っているのか不安になる。紙やプラスチックなどの回収は難しいと思うが、ゴミの量が増えてしまったので再考して欲しい。
水城	女性	50代	西鉄都府楼駅のロータリーにコミュニティバスが集まるのでバスで渋滞になっています。コミュニティバス運行当初はまだよかったのですがシステムが変わり、ロータリーで乗り換えになったのが原因だと思います。駅前の郵便ポストに投函する際、バスが何台も止まっていて車をポストの前に停める事ができませんでした。改善していただきたいと思います。過去に水害のあったところは側溝の掃除を定期的に行ってほしいと思います。水害が心配です。
水城	女性	50代	筑紫野市から太宰府市へ引っ越して約2年ぐらいになり介護の仕事をしておりあまり地域の活動に参加することもなく太宰府市のことをあまりよく理解していないのでこのようなアンケートを提出するのは大変申し訳ないと思っております。 町そのものとしてはとても歴史があり観光地として名のあるすばらしい所ではありますが、生活するにはやはり何かと不便な気がいたします。特に交通の便渋滞する道が多い。夏は暑く、冬は寒い、自然は豊かではありますが、なんとなく高齢者と学生の多い町で経済的な発展があまり見られないような気がいたします。物価も筑紫野市に比べると少し高い様な気がいたします。お店もすくないですね。
水城	女性	60代	空き家の管理。広報でも注意されていますが道路に出ている生垣をきれいにしたい。（せまい道路で離合する時車に当たるので） 都府楼団地で水道工事中のメッセージをフロントガラスにおいた車が2台路駐していましたコーンも置いて隣の家で工事されていたようですが、駐車禁止のステッカーが貼られていました、ここまで取り締まりをしないとイケないのかと思いました。
水城	女性	60代	西鉄電車の踏切廃止と道路整備が歩行者のことを考えられて実施されていない。車中心の道路整備では高齢者が増加するこの先交通弱者が増加し外に出られない、外に出なければ歩行機能低下、健康障害にもつながる。 住民の意見を聞く場を設けているとの役所の考えもあると思うが、どこの場所が今後どのようなのかなかなか想像できない状態で開催されても参加する前に「行かない」を選択してしまう。先に文書などで広報（どこをこのようにしたいが、その後生活はこうになっているとの説明）して欲しい。
水城	男性	30代	3歳から医療費が600円かかることに反対です。 ベビーカーや幼児を連れて外出しやすい環境作りをお願いします。 大野城市や筑紫野市のコミュニティバスとまほろば号が連絡していたら便利だと感じます。 海外からの観光客の受け入れを制限してほしいです。 街灯を増やしてください。観世音寺1丁目在住ですが夜道が不安でなにか起こってからでは取り返しがつかないと思います。

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【複数の施策に関するご意見】67件（つづき）			
水城	男性	70代以上	ゴミの夜間収集の見直し、全国的にあまりないのでは？ましてや午前2時ごろなど全くの論外。 西鉄高架化の申し入れを（踏切が道路整備の障害）。 道路の安全確保、歩道が困難であればハンプを設ける等強制的に減速させる対策を。 宿泊施設の充実、クルーズのツアー客が増加したところで参道の店が多少潤う程度波及効果は少ない、観光を数少ない市の産業の1つに位置づけるのであれば宿泊してでも観光散策したと思わせるコンテンツも必要。
水城	男性	70代以上	・観光推進と市民生活の快適性とは相反することです。これ以上観光推進したら市民の生活は悪くなる一方です。 ・まほろば号でイオンや湯町に行けるようにする。
水城	不明	70代以上	（坂本2丁目交差点付近）信号時間が長・短となっているのでたぶん悪影響になっているのではないかと思います。以前のままの信号差では奥に人口も増えた事もあり。事故がおこらないうちに改善された方が好ましいのではないかと思います。 都府楼駅前より太宰府（政庁跡）の前の通りは広告看板の大きさ色（派手な色はやめる）等統一出来たらいいのではないかと思います。
水城西	女性	18-20代	図書館の蔵書を増やして欲しい。図書館で勉強したいので勉強できるスペースが欲しい。 周辺の市と話し合って二日市や下大利へ行くバスが欲しい（通学のため）
水城西	女性	30代	・水城西小区の通学路の整備を進めてほしい（歩道のない区間が多い）。 ・まほろば号の便数を増やして欲しい。 ・公園の砂場のまわりを柵などでかこって衛生的にして欲しい。遊具が古く錆が目立つ。 ・野良猫が目立つので対応してほしい。
水城西	女性	30代	働きたいと思い保育園（認可）に申し込みをしましたが待機が多すぎては入れませんでした。以前住んでいた所はすんなりと入れたのに太宰府は全然入れず働きたいと思っている人には優しくない市だなと思いました。水道料金が高すぎます引っ越してきた時驚きました。 昨年大雨が降った時にとびうめアリーナの横の川がかなり増水していました。避難場所に指定されていますが大雨の時は逆に危なくないですか？
水城西	女性	40代	太宰府市は水道代が高いです。図書館が悲しすぎるくらいおそまつです。小学生が九州国立博物館に入るのにお金がかなりかかりました。せめて市内に住んでいる小学生の学校の授業の一環として割引があれば嬉しいのですが。以前学校から本を買うお金がないから寄付してくれと頼まれました。学校に置いたための本を買うお金さえないなんてびっくりです。税金で箱物ばかり（市役所のエントランスの長い豪華な通路（屋根）などにお金を使わないで欲しいです）史跡を整備する事ばかりにお金を使わないでください。
水城西	女性	60代	・散歩道の確保 ・子供たちの通学の安全確保（特に筑紫機材の前の交差点が怖い、事故があつてからでは遅い何らかの対策を考えてほしい）よろしくお願いします。
水城西	男性	60代	御笠川の洪水対策をお願い致します。 御笠川周辺の犬の散歩時の大小便の後始末強化推進をお願いします。 子供の道路でのサッカー、キャッチボール、バスケットボール遊びで危険。学校での指導強化をお願いします。 太宰府は歴史的資産が多くあるのでこの資産を有効活用しもっと多くの観光客や事業者を呼び込む事により人口増加経済活性化を図り、経済的、文化的に豊かな街づくりをもっとやる必要がある。
水城西	男性	70代以上	・歴史と文化遺産の市であるが福岡市のベッドタウンでもありバランスの取れたまちづくりは大変と思う。観光時にも他より多くの遺産があるので現状を大事に育てていけたらいいと思う。 ・幹線的な道路整備が必要では。

校区	性別	年代	《まちづくりに関する意見など》
【複数の施策に関するご意見】67件（つづき）			
太宰府西	女性	30代	水城駅が大野城市と言う事は分かりますが、市バス（まほろば号）を駅に停留してほしい。青葉台、吉松区は不便です。（最寄りのバス停から、高齢者、子連れは辛い）駅に停留すれば利用者も増えると思う。3号線、31号線以外にも一本裏道が欲しい。渋滞をどうにかならないだろうか（天拝坂から筑紫野への道など）子育て世代です。市長がおっしゃってた子どもの学力の底上げ期待してます。若い世代の定住のPRにもなると思う。中学校給食を切に願います。 太宰府市は住みよい町だと思います。お年寄りにもやさしく縁も多く、観光もベッドタウンとしても今後の発展期待してます。 どの社会にも不平不満はあると思うが行政が一丸となって太宰府市のマイナスイメージを払拭してほしい。
太宰府西	女性	50代	水道代が高いので対策をお願いしたい。 太宰府アリーナは35億もかかり市民の利用が不便です、地域住民のために健康体操を実施したいが毎月1日にならないと翌日の施設利用日が予約できない毎月第○曜日に定期的に予約が出来ない。イベント優先？地域住民のための健康体操なのにポスターも半年のみしか貼ってもらえないなぜでしょうか？誰のためにある体育館でしょうか。
太宰府西	女性	60代	市が行っている施策はどれも大切だと思うが具体的にどういうことを行ったという事がわからないと満足度は測れないのではないかと思います。 最近野良猫をよく見かけるが個人レベルでどうこうできる問題ではないと思う。よその市では地域猫の取り組みなど行っているようだが、太宰府市ではそのような考えはないのでしょうか。
太宰府西	男性	18-20代	まほろば号の本数がもう少し増えたらいいと思います（ルートも）。太宰府にも「ふれあい子供館」みたいな施設を作って欲しいです。
太宰府西	男性	40代	バスの路線を増加してください。 住宅地増加に伴いバス停の場所の見直し、また増加を希望します。 大佐野にある特別支援学校に難聴者が通えない事に不満を感じます。またそのために福岡ろう学校に息子を通わせてますが太宰府市のデイサービスも支援してくれない事にも不満です。 下水管の整備をして頂いたのはありがたいですが、整備後道路の凹凸が激しくなり、車を運転する際危険なので道路の整備も行なってほしい。 このようなことを記入しても意味ないと思いますが、せっかくの機会なので書きました。
太宰府西	男性	70代以上	大野城市や筑紫野市と一体となって街づくりをすべき太宰府市のみでのまちづくりは厳しいのでは。観光資源は豊富に、観光客もたくさん来られているが宿泊施設不足のため日帰りになっているように思う。道路の整備、区画整理、人口減少問題、特産品開発への支援。
国分	女性	40代	太宰府市は高齢の方が多いと思いますが、場所によって歩道の段差や幅が狭く危険に感じる事があります。街灯もLEDのものとならないもの（とても暗い）があるので場所によっては暗く学生さんが安心して通れるよう改善して欲しいと思います。 福岡市内より転居し、自然や歴史的な場所が多く子供たちと歩いて回ることが増え、とてもよい時間を過ごせています。子育てにとってもいい環境と喜んでます。
国分	女性	50代	国分地区はコンビニエンスストアがありますがスーパーがないので不便ですね、マミーズ太宰府西店より小さなお店でいいのでお店が出来たらいいなと思います。市役所では対応できないかもしれませんが賃貸物件（激安物件）のアパートやマンションをこれ以上増やさないようにして欲しい。投資目的のため入居者審査も厳しくないでトラブルが起こります。ネット上の管理会社の口コミにも不満を書き込んでる方もいましたよ。 私の家は山に近く空気もきれいでしたが、ここ2、3年で環境が変わりタバコを吸う男性が増えて（何人かは1日中家におられて屋外で吸われます、においが窓から入ってきたり洗濯物ににおいが付着します）大変困っています。発がん性もあるので受動喫煙が迷惑であることを多くの方に知らせていただきたいと思います。
国分	女性	50代	市内中学校に給食の導入。水道料金が高い。福祉面が遅れている。車があつてこそ住みやすい太宰府市ですが。福岡市と比べ対策が遅れすべてにおいて明確さがないように感じます。もっと市民に分かりやすく丁寧な太宰府市であって欲しいと思います。

校区	性別	年代	《まちづくりについての意見など》
【複数の施策に関するご意見】67件（つづき）			
国分	女性	50代	私は20歳から太宰府市に住み22歳の10月から今の住所に籍を置いています。ただ地域及び地域活動への貢献度は極めて低いと言わざるを得ません。地域との関わりは年に数回あるグリーンデイにおける清掃活動への参加のみ職場が福岡市ということもあり、住居をかまえる太宰府市について考えを巡らし何らかを実践した記憶がほとんどなく、観光産業以外での市政の歳入についても意識を向けた事がない。そうした中でも街並みが変わり環境が整備され教育にも力が注がれている事は感じています。急激な社会の变革の中で世界に取り残されることなく太宰府市が発展していくことを祈念いたします。ご近所さんに会うよりはるか遠いドイツの友人やオランダの友人に会う機会の方が多く4人の子どもがお世話になった学業院中学校より福岡市内の学校やドイツ、オランダの学校とのつながりが多く足元の学校教育が時代の波に乗り遅れていないか心配しています。
国分	女性	60代	問65は内容が難しいものもあり的確な答えがありません。※40年以上太宰府市に住んでいます住みやすい所だと思います。水道代がちょっと高いかな？交通の便も良いです（インター近くです）市役所の皆さんお疲れ様です。感謝です、住みよいです。
国分	女性	70代以上	自転車道の整備（水城跡から閑屋交差点から市役所）歩道と自転車道の確保に努めてもらいたい。駐車違反の件について。山の上の住宅街は公共の駐輪場の整備がなく1時間に1台通るかどうかの場所であるが、最近駐車違反の取締が厳しくなっている。道路に駐車するのはいいことではないが、商談のために来てもらっている時や近くで工事をする車両にさえ違反切符をとるのはあまりにやりすぎだと思う。古い住宅街は2台以上の駐車場を持っている所は少ないうえ、駐車場を借りに行ける場所もない。市として警察署と協議してもらい駐車場の確保や、やむをえない事情で駐車が必要な場合は事前の申請書で市の許可証を与えるなどの条例制定をしてもらいたい。
国分	女性	70代以上	1.地域の共同利用施設（公民館）に「市長への希望書」ポストを設置して欲しい。 2.太宰府館利用者への「駐車券」無料か割引券制にして欲しい。 3.災害時の避難場所が災害内容によって場所が異なるのは市民には判断が難しいまたスムーズに避難受け入れができるのかどうか？ 4.太宰府は史跡地が多く駐車場は少ない、空き地情報を市は収集して活用して欲しい。
国分	男性	30代	水道事業の効率化や見直し。給食事業の実施に伴う民間事業者の活用。
国分	男性	60代	自分の地区はどちらかといえば大野城圏であり西鉄下大利駅へのバス路線開設に向けて近隣市との連携もしっかりと取って欲しい。 一昨年の市長・市議会との対立から選挙があったがこういう市民を無視したやり方はやめて市民ファーストの政治・政策を行ってほしい。
わからない	女性	30代	ルミエール裏から都府楼駅までの道の整備を（道路の拡張と街灯） 回覧板不要です。Twitterとかで必要な情報のみホームページで確認するだけで十分です。 高齢化が急に進みます。まほろば号の増便で高齢者世帯に優しくして欲しい太宰府市内でも空き家が増えてくるでしょう。早めに空き家バンクを開設し税収を確保していただきたい。 太宰府市職員の給与平均が633.8万円となっています。効率的な働き方が出来ているのか見直していただきたいと思います。 太宰府市に新駅をつくる構想があるようですが何も話が進んでなくせに400万円の予算がついていました。おかしいと思います。税金の使い道に透明性がない。
わからない	女性	40代	単身世帯なのであまり地域活動に参加する機会もなく交流が全く無い為昨年の災害時は不安でした健康診断に参加させていただいた時は申し込み方法も簡単で分かりやすく安心して受けられたので大変良かったです。 住みよい町に引っ越してこれとうれしかったのですが騒音トラブルご近所トラブルが多く落ち着きがない地区でした。残念な事はガラの悪い方々が小学校地区を歩いていた時にとても不安を覚えました。良い所は太宰府に住んでいることを知人に話すと話が盛り上がるようです（九州国立博物館、神社など）
わからない	女性	60代	他国からのお客様が大変マナーが悪いので太宰府市が進んでマナーの教育係を作り教えてもらいたい。 税金関係をもう少し安くできないか他の市町村に比べて少し高いと思います。 70歳以上に対する福祉をもう少し教えて欲しい。免許返納で西鉄バス券を10000円分出すとかもっと福祉に対する利点を増やして欲しい。
わからない	男性	40代	市政のお仕事お疲れ様です。太宰府市は国保と水道代が周辺の都市より高いと思います。広報の紙の質がもう少し良くないものでもいいのではないのでしょうか？無駄をなくして国保を少しでも下げてほしいです。

附属資料

附属資料＜使用した調査票＞

太宰府まちづくり市民意識調査 アンケートご協力のお願い

太宰府市では、「歴史とみどり豊かな文化のまち」を将来像として掲げた第五次太宰府市総合計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）を平成23年3月に策定し、まちづくりに取り組んでいます。その実施にあたり、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きして、これを今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

そこでお忙しい中恐縮ですが、調査票の質問に○印でご回答いただき、**2月22日（金）**までに同封の返信用封筒によりポストに投函してください。（切手は不要です）

設問数が多くお手数をおかけしますが、これからのまちづくりにとって非常に重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

※このアンケートは、太宰府市にお住まいの18歳以上の方1,000人を無作為に抽出し、お願いしています。

※アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので、個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。

※返信用封筒に印刷しているバーコードは、郵便番号818-8790をバーコード化したものです。よって、すべての封筒に同じバーコードを印刷していますので、個人を特定するものではありません。
※氏名や住所などの記入の必要はありません。

平成31年2月

太宰府市長 楠田 大蔵

ご記入にあたって

① あて名のご本人がお答えください。

※ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

② お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

③ たとえば、「○は1つ」や「2つまで」と回答の数が指定されている質問がありますので、それぞれ指定の数を選んでください。

④ ご記入は鉛筆またはボールペンをお願いします。

◎この調査に関してのお問い合わせは、次のところをお願いします。

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係
電話 921-2121（内線548）

(まず、あなた自身についておたずねします)

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(平成31年3月末時点で)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18～24 歳 | 6. 45～49 歳 | 11. 70～74 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳 | 12. 75 歳以上 |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳 | |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60～64 歳 | |
| 5. 40～44 歳 | 10. 65～69 歳 | |

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯(親と子)
4. 3世代世帯(親と子と孫)
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他()

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会社員 | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業 | 7. 学生 |
| 3. 自営業(農林水産業以外) | 8. 無職 |
| 4. 団体職員・公務員 | 9. その他() |
| 5. 家事専業 | |

付問1. 【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。

- | | |
|---------|-------------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川市 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 1から6以外の福岡県内市町村 |
| 4. 春日市 | 8. 福岡県外 |

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。

1. 太宰府小学校区
2. 太宰府東小学校区
3. 太宰府南小学校区
4. 水城小学校区
5. 水城西小学校区
6. 太宰府西小学校区
7. 国分小学校区
8. わからない

問6. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(平成31年3月末時点で)

次の中から選びください。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上

問7. あなたのお住まいを次の中から選びください。

1. 持ち家(一戸建て)
2. 持ち家(集合住宅(アパート、マンション))
3. 賃貸住宅(一戸建て)
4. 賃貸住宅(集合住宅(アパート、マンション))
5. 社宅・寮
6. 間借り・下宿
7. その他()

(まちの住みやすさについておたずねします)

問8. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | |

問9. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 2. 住み続けたくない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。

「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 友人・知人が多い | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん |
| 2. 自宅周辺の環境がよい | 11. 高齢者施設が充実している |
| 3. サークル活動が盛ん | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる |
| 6. まちの知名度が高い | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い |
| 9. 商店が多く買い物便利 | 18. その他 () |

付問2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。

「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 近所づきあいが苦手 | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い | 11. 高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分 |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない |
| 5. 保険料や公共料金が安い | 14. 教育・文化施設の整備が不十分 |
| 6. 災害対策に不安がある | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分 |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている |
| 8. 近所に商店が少ない | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない |
| 9. 就職先が少ない | 18. その他 () |

(あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします)

子育て支援の推進

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 10. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかといえば子育てがしやすい
3. どちらかといえば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

高齢者福祉の推進

【65歳以上の方だけにおたずねします。】

問 11. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. とても感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 全く感じていない

問 12. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

付問 1. なぜそう思うのか理由を記入してください。

()

障がい福祉の推進

問 13. あなたは太宰府市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 障がい福祉サービスの内容を知らない

地域福祉の推進

問 14. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 15. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 16. あなたは太宰府市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 17. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

生涯健康づくりの推進

問 18. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とても健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 19. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問 20. あなたはこの一年間に、「健康診査」(がん検診、人間ドックを含む)を受けましたか。

(○は1つ)

1. 受けた
2. 受けなかった

問 21. 市では、40 歳以上の市民を対象として、健康寿命の延伸を目的に元気づくりポイント事業を実施していますが、ご存じですか。(○は 1 つ)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

→ 付問 1. 【知っていると答えた方】で 40 歳以上の方におたずねします。あなたは、平成 30 年度に元気づくりポイント事業に参加しましたか。(○は 1 つ)

- 1. 参加し、ポイントを商品券と交換した
- 2. 参加したが、商品券と交換できるポイントまで貯まらなかった
- 3. 参加していない

防災・消防体制の整備充実

問 22. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。

以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。
(○はそれぞれ 1 つずつ)

- ① 3 日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
 - 1. はい
 - 2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。
 - 1. はい
 - 2. いいえ
- ③ 避難勧告などの災害情報の入手方法を知っている。
 - 1. はい
 - 2. いいえ
- ④ 家具の転落・転倒防止策をとっている。
 - 1. はい
 - 2. いいえ

問 23. あなたは消防団という団体の活動内容を知っていますか。(○は 1 つ)

- 1. 活動内容をよく知っている
- 2. 活動内容を一部知っている
- 3. 活動内容は知らないが、消防団があることは知っている
- 4. 消防団があることを知らない

防犯・暴力追放運動の推進

問 24. あなたは市内に住むことについて防犯の面で安心していませんか。(○は 1 つ)

- 1. とても安心してしている
- 2. どちらかといえば安心してしている
- 3. どちらかといえば不安である
- 4. とても不安である

付問 1. あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありましたら、具体的に記入してください。

[]

安全な消費生活の推進

問 25. あなたやあなたの家族が、この 1 年間に架空請求・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。（○は 1 つ）

- 1. 被害を受けた
- 2. 直接の被害はないが不安を感じた
- 3. 特になかった

→ 付問 1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。

具体的には、どのような被害や不安ですか。（○はいくつでも）

- 1. 架空請求・不当請求
- 2. 点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）
- 3. キャッチセールス・催眠商法による被害
- 4. 振り込み詐欺
- 5. その他（具体的に ）

人権を尊重するまちづくりの推進

問 26. あなたやあなたの家族が、この 1 年間に人権を侵害されたことがありますか。（○は 1 つ）

- 1. ある
- 2. ない

→ 付問 1. 【あると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。

（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 同和問題 | 5. 高齢者の人権 |
| 2. 性別（男女）に関する人権 | 6. 外国人の人権 |
| 3. 子どもの人権 | 7. HIV感染者などの人権 |
| 4. 障がい者の人権 | 8. その他（具体的に ） |

問 27. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。（○は 1 つ）

- 1. 尊重されている
- 2. どちらかといえば尊重されている
- 3. どちらかといえば尊重されていない
- 4. 尊重されていない

男女共同参画の推進

問 28. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。（○は 1 つ）

- 1. 同感する
- 2. ある程度同感する
- 3. あまり同感しない
- 4. 同感しない

問 29. 配偶者（元配偶者も含む）や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ（誰）かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む]
(○は1つ)

1. 相談した
2. どこ（誰）にも相談しなかった
3. DVを受けたことはない

生涯学習の推進

問 30. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 31. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に3回程度行っている
3. 週に1回程度行っている
4. 月に数回程度行っている
5. 年に数回程度行っている
6. ほとんど行っていない

文化芸術の振興

問 32. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

生活環境の向上

問 33. あなたは自宅周辺の環境は清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 34. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。(○は1つ)

1. かなり守られている
2. ある程度守られている
3. あまり守られていない
4. ほとんど守られていない

問 35. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(○は1つ)

1. いつも参加している
2. たまに参加している
3. 参加していない

自然共生社会の構築

問 36. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 37. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。

(○は1つ)

1. 観察したり、ふれあう場所があり、満足している
2. 観察したり、ふれあう場所がわからない
3. 観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う

循環型社会の構築

問 38. あなたは日頃から、生ごみの^{たいひか}堆肥化に取り組んでいますか。(○は1つ)

1. 取り組んでいる
2. ときどき取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいない

問 39. あなたは、不要な紙類（新聞紙・雑誌及び雑紙・ダンボール）及び古布の資源回収を利用していますか。(○は1つ)

1. いつも利用している
2. たまに利用している
3. 利用していない

低炭素社会の構築

問 40. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。(○は1つ)

1. 行っている
2. ある程度行っている
3. あまり行っていない
4. ほとんど行っていない

環境教育・学習の推進

問 41. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベント(環境フェスタ等)に参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 年に2回以上参加した
2. 年に1回程度は参加した
3. 参加したことはない

未来に伝える景観づくり

問 42. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 43. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。
(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 44. あなたが住んでいる地区は、良好なまちなみだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

計画的なまちづくりの推進

問 45. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 46. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

付問 1. あなたの家の近くにあれば便利だと思う施設がありましたら、具体的に記入してください。
()

地域交通体系の整備

問 47. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを利用しないのでわからない

付問 1. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についてお尋ねします。

まほろば号は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 「まほろば号」を利用しないのでわからない

問 48. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 49. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

付問 1. 歩行者環境についてお尋ねします。

安全に歩ける環境が整備されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

付問 2. 自転車環境についてお尋ねします。

安全に自転車を運転できる環境が整備されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 50. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. 徒歩 | 5. コミュニティバス(まほろば号) |
| 2. 自転車 | 6. 路線バス |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー |
| 4. 鉄道 | 8. その他() |

産業の振興

問 51. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------|----------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川市 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町 |
| 4. 春日市 | 8. 1 から7以外の市町村 |

文化遺産の保存と活用

問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 53. あなたは太宰府地域の歴史文化が、日本遺産として文化庁に認定されていることをご存知ですか。(〇は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

観光基盤の整備充実

問 54. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかといえば好ましいと思う
3. どちらかといえば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う

問 55. 今後の太宰府観光に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 宿泊施設 | 3. 駐車場整備 | 5. 道路整備 | 7. PR |
| 2. 飲食施設 | 4. 特産品 | 6. 市内交通機関 | 8. その他() |

国際交流・友好都市交流の推進

問 56. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

- ブ ョ グ ン
- 問 57. あなたは太宰府市が大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(○はいくつでも)
1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
 2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
 3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
 4. 中津市との友好都市締結は知っていた
 5. どれも知らなかった

コミュニティ活動等への参加

- 問 58. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか。(○は1つ)
1. 積極的に参加している
 2. どちらかといえば参加している
 3. どちらかといえば参加していない
 4. 参加していない
- 問 59. あなたは自治会活動以外(問 58 以外)のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)
1. 積極的に参加している
 2. どちらかといえば参加している
 3. どちらかといえば参加していない
 4. 参加していない

情報の共有化と活用

- 問 60. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(○は1つ)
1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない

問 61. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。（○はそれぞれ1つ）

広報だざいふ	議会だより	太宰府市ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 読まない	4. 見ていない
		5. 見るできない

→ 付問 1. 「広報だざいふ」を【いつも読んでいる・たまに読んでいる】と答えた方にお尋ねします。
どのページを読みますか。(○はいくつでも)

1. すべてのページ
2. 特集記事
3. まちのトピックス
4. 消費者コーナー
5. 地球にやさしいエコライフ
6. 手と手をつないで（人権のページ）
7. みんなのとしょかん
8. 太宰府の文華（公文書館だより）
9. さあ協働を進めよう
10. 防犯だより
11. 防災だより
12. おめでとう 1 さい
13. にこにこ通信
14. こんにちは保健師です
15. ヘルシークッキング
16. 生け花・短歌・俳句のコーナー
17. 国際交流・韓国
18. 太宰府館イベント情報
19. なんでも情報コーナー
20. 太宰府の文化財
21. まほろば号でお・で・か・けっ♪
22. その他（

付問2. 「広報だざいふ」はどの媒体で読みますか。(○はいくつでも)

1. 紙
2. パソコン
3. タブレット
4. スマートフォン

問 62. あなたはインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

市民のための行政運営

問 63. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 64. あなたは市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。

(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 65. 太宰府市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで太宰府市が行っている次の1～33の施策についてお尋ねします。

(A) あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたは、この施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
(A) 重要度、(B) 満足度のそれぞれに、○印を1つずつつけてください										
記入例	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
施策01 子育て支援の推進 (子育て家庭への支援や保育サービスの充実、児童虐待の防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策02 高齢者福祉の推進 (高齢者の介護予防や生活支援の充実、生きがいづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策03 障がい福祉の推進 (障がい者の生活支援や就労支援、相談体制の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策04 地域福祉の推進 (地域での福祉活動の推進や災害の被災者への援護、雇用・労働対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策05 生涯健康づくりの推進 (健康づくりの支援や人材の育成、環境の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策06 社会保障の適正な運営 (国民健康保険の健全運営、後期高齢者医療・介護保険適正運営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策07 防災・消防体制の整備充実 (防災体制や消防・救急体制の整備充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策08 防犯・暴力追放運動の推進 (防犯体制の充実や暴力追放運動の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策09 交通安全対策の推進 (交通安全啓発の推進や交通安全施設の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策10 安全な消費生活の推進 (消費生活相談の充実や消費者意識の啓発など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策11 人権を尊重するまちづくりの推進 (人権教育・啓発の推進や同和問題の解決など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策12 男女共同参画の推進 (男女共同参画の啓発や男女が共に参画する機会の促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策13 生涯学習の推進 (生涯学習・スポーツの推進や公民館・図書館・スポーツ施設の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策14 社会教育の推進 (家庭や地域の教育力の向上、青少年の健全育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策15 学校教育の充実 (学校運営・改善の支援、学校教育の内容や教育環境の向上、学力向上の推進、生徒指導の拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策16 文化芸術の振興 (文化芸術活動の充実、市史の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策17 生活環境の向上 (生活環境の保全、環境マナーの向上と環境美化の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策18 自然共生社会の構築 (みどりや水環境の保全と創造、水とみどりのネットワークづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策19 循環型社会の構築 (ごみの減量やリサイクルの推進、廃棄物の適正処理など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策20 低炭素社会の構築 (省エネ対策や新エネルギー導入の促進、温室効果ガスの排出抑制など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策 2 1 環境教育・学習の推進 (環境教育・学習の推進や環境に優しいライフスタイルの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 2 未来に伝える景観づくり (景観形成のための仕組みづくりや個性ある地域景観の保全整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 3 計画的なまちづくり (秩序ある土地利用の推進や市街地の整備、公園機能の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 4 地域交通体系の整備 (幹線道路や市道の整備や公共交通の利便性の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 5 良質な水道水の安定供給 (水道施設の整備・維持や水道事業の健全経営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 6 下水道の整備と普及促進 (下水道施設の整備・維持や下水道事業の健全経営など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 7 産業の振興 (商工業の振興や都市近郊農業の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 8 文化遺産の保存と活用 (史跡地の公有化や文化財の調査・保護・整備、市民遺産の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 9 観光基盤の整備充実 (観光宣伝の充実や観光資源の整備、太宰府ブランドの展開など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 3 0 国際交流・友好都市交流の推進 (国際交流活動の推進や姉妹都市・友好都市交流の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 3 1 市民参画の推進 (自治基本条例の制定や地域コミュニティ、NPO・ボランティア、学校との協働)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 3 2 情報の共有化と活用 (行政情報の開示や情報セキュリティの確保、広聴・広報の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 3 3 市民のための行政運営 (行政改革や財政健全化の推進、行政職員の能力開発資質向上、広域連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください)

《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。

今後も、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



◎ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、2月22日（金）までに投函してください。

太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

発行年月日 平成 31 年 3 月
編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目 1 番 1 号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601